

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズメモリーナビコンポ

VXM-128VS

VXM-128C

ナビゲーション・オーディオ編



Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんので承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

- ・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/O401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

本書の見かた(1)

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

下記表に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

 アドバイス	● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
 お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表しています。
MENU	本体のパネル部のボタンを表します。
目的地	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
 / 	操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。

使用上の注意事項等

● デュアルサイズメモリーナビコンボの操作

- ・ 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
- ・ 運転中に画面を注視しないでください。

- 本機の故障、誤動作または不具合によりSDカード内などの保存データの消失等については補償できません。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

本書の見かた(2)

型式	機能
VXM-128VS	         MP3 WMA AAC
VXM-128C	     MP3 WMA AAC

●Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。☆



 A11-0143005
 005WWCA0570



 A11-0143005
 005WWCA0571

☆印…VXM-128VSの場合

目次(1)

本書の見かた	3
目次	5

はじめに A

安全上のご注意	2
お願い	5
主な特長	10
オーディオ／テレビ☆／ラジオの設定について	16
本機で再生できるディスク	17
ディスクの取り扱いかた	20
SDカード／USB機器について	21
SDカードの取り扱いかた	23
GPS衛星の電波受信と測位	24
GPS(Global Positioning System)について	24
受信しにくい場所について	24
受信するまでの時間について	24
自律航法とマップマッチング	25
現在地の誤差について	25
自律航法&マップマッチング	25
学習度と現在地	25
音声案内について	26

おぼえておきたい基本操作 B

各部の名称とはたらき	2
ディスクを入れる／取り出す	3
SDカードを入れる／取り出す	4
地図を表示する	5
現在地表示について	6
現在地を表示する	7
表示された現在地が実際の現在地と違う場合	7
地図画面の見かた	8
代表的な画面の表示内容について	8
地図表示(方位)を切り替える	10
地図スクロール(地図を動かす)	12
地図スクロール	12
微調整をする	14
地図を拡大／縮小する	15
MENU画面について	16
MENU画面を表示させる	16
各MENU項目について	17
設定を終える	18
ページの送り／戻しについて	18
クイック機能について	19
地点を登録する	21
登録地点について	22
自宅を登録する	23

クイック ルート探索をする	26
現在地から目的地までのルートを探索する	26
現在地から自宅までのルートを探索する	27
右画面に地図／情報を表示する	28
全画面表示に戻す	29
右画面の方位／縮尺スケールを変える	30
文字／数字の入力方法について	31
ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する	31
数字を入力する	33
文字／数字を訂正する	33

目的地 C

名称で地点を探す[施設50音]	2
順番を並び替えて表示する	4
電話番号で地点を探す	6
個人宅の電話番号を入力した場合	7
住所で地点を探す	8
施設のジャンルから地点を探す	12
自宅周辺の地図を表示する	14
周辺にある施設から地点を探す	15
表示できる施設	18
登録地点で地点を探す	21
登録地点の並び替えをする	23
目的地履歴の中から地点を探す	24
目的地履歴を削除する	25
地名から地点を探す[50音]	27
郵便番号で地点を探す	29
緯度・経度で地点を探す	30
マップコードで地点を探す	31
地図から地点を探す	32

ルート D

ルート設定について	2
ルート探索について	3
細街路探索について	4
ルート設定の流れ	4
1 ルート探索をする	6
複数ルートを探索する	9
ルートを変更する	10
出発地／目的地の変更	10
経由地の追加	12
経由地の変更／削除	14
経由地／目的地など地点の入れ替え	15
探索条件の変更	15
再探索をする	17
迂回探索をする	18

目次(2)

ルート案内をストップ／スタートする	19
現在の全ルートを表示する	20
デモ走行をする	21
経由地をスキップする	22
現在のルートを保存する	23
現在のルートを削除する	24
保存したルートの呼び出しをする	25
保存したルートの削除をする	26
渋滞地点を確認する	27

情報

E

交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について	2
交通情報(VICS情報)について	3
VICS情報の更新に伴う表示変更について	4
交通情報(VICS情報)とは	5
表示について	5
マーク一覧表	7
VICS放送局	7
一般情報について	8
一般情報とは	8
表示について	8
一般情報の内容(番組)について	8
一般情報放送局	8
交通情報／一般情報の操作の流れ	9
情報の消去について	9
受信する情報を選ぶ	10
交通情報(文字情報)／一般情報を見る	11
交通情報(図形情報)を見る	13
緊急情報を見る	14
緊急情報について	15
交通情報／一般情報を選局する	16
自動選局	16
自動選局を止める	17
手動選局	18
エリア選局	19
プリセット(保存)する	20
プリセット(保存)呼び出しをする	21
プリセット(保存)の上書きをする	22
エコドライブ情報を設定する	23
エコドライブ設定をする	25
評価履歴を見る	26
グラフ表示で見る	26
評価履歴を削除する	27
軌跡を使う	29
登録地点の編集／見る	31
登録地点を並び替える	36
自宅／登録地点の地図を呼び出す	38

自宅／登録地点を削除する	39
ETC情報を見る	41
QQコールを利用する	43
QQコールとは	43
QQコールを利用するまでの流れ	43
QQコールを表示する	44

設定

F

平均速度を設定する	2
ルート探索条件の設定をする	3
メイン画面／右画面の設定をする	7
3Dビューの角度を調整する	9
地図の色を設定する	10
表示項目の設定をする	11
ルート案内画面の設定をする	13
ランドマーク表示の設定をする	28
現在地(自車)の位置を変更する	30
自車マークの種類を設定する	32
音声案内の音量を調整する	33
VICS表示の設定をする	34
情報表示を止める	35
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について	35
ETCの各機能を設定する	36
ETCについて	39
ETCを利用する	40
ETCの基本操作	40
料金所通過表示について	40
予告案内／警告表示について	41
メンテナンス情報を設定する	42
設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する	46
携帯電話について☆	47
キー操作音の設定をする	48
データを初期化(消去)する	49
リアカメラ映像を設定する	51
リアカメラ映像を表示する	51
ビューの切り替えをする	51
リアカメラガイドを表示する	52
警告文の位置を下げる	53
リアカメラガイドの見かた	54
カメラの映像について	55
リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	56

オーディオ／共通 G

ワンセグについて☆	2
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更 (リパック)について☆	2
ワンセグの番組受信について☆	3
マルチサービスについて☆	3
ワンセグの画像について☆	4
ディスクのMP3／WMA音楽再生について	5
DVDビデオについて☆	11
ディスクに表示されているマークについて☆	11
VRモードで作成したディスクについて☆	12
ディスクの構成について☆	12
SDカードの音楽再生について	13
USB機器の音楽再生について	16
iPodについて	18
iPodとは	18
使用上のご注意	18
対応可能なiPod	19
各部の名称とはたらき	20
パネル部について	20
基本操作	22
各モードを選択する	22
映像の表示について	24
SDカードを入れる／取り出す	25
オーディオモードをOFFにする	26
設定の保持について	26
ページのスクロールについて	26
AV SOURCE画面のモードボタンについて	27
パネル部のボタンで選曲する	28
早戻し／早送りをする	29
リピート／ランダム／スキャン／ シャッフル再生	30
音量を調整する	33
音質／音量バランスの調整をする	34
車速連動音量を設定する	36
時計を表示する	38
もとの画面に戻す	38
交通情報を受信する	39
音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	40

FM／AM(ラジオ) H

各部の名称とはたらき	2
タッチパネル部について	2
表示部について	4
FM／AM放送を切り替える	5

FM／AMを使う	6
選局する	6
プリセットボタンにメモリーする	10
交通情報を受信する	12
周波数の設定を変える	13

ワンセグ☆ I

各部の名称とはたらき	2
バー表示について	2
タッチパネル部について	3
ワンセグメニュー画面について	4
ワンセグを見る	5
ワンセグモードにすると	5
番組表を見る	6
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	8
エリア変更を 自動 にする	10
中継・系列局サーチをする	11
スキャンする	12
初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンを する	12
選局する	14
手動選局で放送局を選ぶ	14
自動選局で放送局を選ぶ	14
プリセットで放送局を選ぶ	15
リストで放送局を選ぶ	16
プリセットボタンにメモリーする	19
エリア呼出／プリセット呼出について	20
チャンネルリスト／プリセットリストを 初期化する	21
設定をする	23
時計表示設定／中継・系列局サーチ設定	23
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	25
アンテナ電源の設定をする	27
設定を初期化する	28
音声と字幕の設定をする	29

CD／MP3／WMA J

各部の名称とはたらき	2
タッチパネル部について	2
表示部(再生画面)について	3
CD／MP3／WMAプレーヤーを使う	4
再生を一時停止する	4
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	4
好きなフォルダを選ぶ	5

目次(3)

DVD☆ K

各部の名称とはたらき	2
タッチパネル部について	2
DVDプレーヤーを使う	4
再生を停止する	5
再生を一時停止(静止)する	6
画面のサイズを変更する	6
再生中にチャプターを戻す／進める	7
コマ戻し／コマ送りをする	8
スロー戻し／スロー送りをする	9
DVDメニューを使う	10
タイトルメニューを使う	12
好きな所から再生する(サーチ選択)	14
音声言語／字幕言語を切り替える	16
時間の表示を替える	17
リピート(繰り返し)再生する	18
アングル(角度)を切り替える	19
VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる	20
DVDの初期設定について	22
初期設定を変更する	22

SD(SDカード) L

各部の名称とはたらき	2
タッチパネル部について	2
表示部(再生画面)について	3
SDカードを使う	4
再生を一時停止する	4
リストより選曲する	4
好きなフォルダを選ぶ	6

VTR M

各部の名称とはたらき	2
タッチパネル部について	2
VTR機能を使う	3
接続する	3
画面のサイズを変更する	5

USB／iPod N

各部の名称とはたらき	2
タッチパネル部について	2
表示部(再生画面)について	3
接続する	4

USB機器を本機に接続する	4
iPodを本機に接続する	4
iPodを本機に接続すると	5
USB機器またはiPodの接続をやめる	5
USB機器を使う	6
再生を一時停止する	6
リストより選曲する	6
好きなフォルダを選ぶ	8
iPodを使う	9
再生を一時停止する	9
リストより好きなトラックを選び再生させる	10
選曲モードより選択し再生させる	11

ハンズフリー☆ 0

ハンズフリーについて	2
Bluetoothとは	2
ハンズフリーとは	2
音声について	2
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
初期登録設定	5
携帯電話を登録する	5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	8
携帯電話を切り替える	10
登録した携帯電話の自動接続を設定する	11
登録した携帯電話の優先接続の設定をする	13
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	14
発信音量を設定する	15
受話音量を設定する	16
送話音量を設定する	17
パスキーを変更する	18
電話を受ける	20
着信音量を調整する	20
電話に出る	20
保留にする	21
通話を拒否(終了)する	22
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)	22
通話を携帯電話に切り替える	23
トーン入力する	24
電話をかける	25
電話番号から	25
リダイヤルから	27
履歴から	28
発着履歴を削除する	31
通話中に地図画面を表示する	32

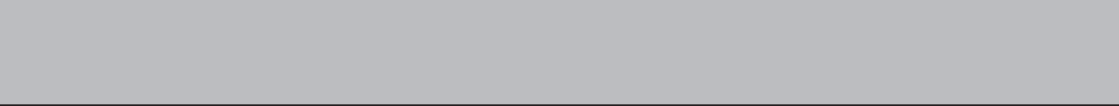
その他 P

画質調整のしかた	2
画質調整を初期値に戻す	3
オーディオ リモコン スイッチ	4
音声はそのまま画面を消す	6
ボタンの照明について	6
個人情報の取り扱いについて	7
工場出荷状態に戻す	7
ルート案内時の注意点	8
出発地・経由地・目的地の設定について	12
経由地、目的地の登録のポイント	12
経由地を使って上手にルートを作る	13
地図ソフトについて	14
地図に表示される記号	18
市街地図(Q 10m/Q 25m/Q 50mスケール) の収録エリア	20
VICSについてのお問い合わせ	24
VICSの概要	24
VICS 情報有料放送サービス契約約款	26
VICS 削除リンクに関する告知	27
故障かな?と思ったら	28
メッセージ表示について	44
チャンネル一覧*	48
用語説明	50
初期設定一覧	55
別売品(システムアップ)について	57
主な仕様	58
構成内容	59
保証/アフターサービスについて	60

索引 Q

索引	2
----	---

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。



A

はじめに

安全上のご注意	A-2
お願い	A-5
主な特長	A-10
オーディオ／テレビ [☆] ／ラジオの設定について	A-16
本機で再生できるディスク	A-17
ディスクの取り扱いかた	A-20
SDカード／USB 機器について	A-21
SDカードの取り扱いかた	A-23
GPS 衛星の電波受信と測位	A-24
GPS(Global Positioning System)について	A-24
受信しにくい場所について	A-24
受信するまでの時間について	A-24
自律航法とマップマッチング	A-25
現在地の誤差について	A-25
自律航法&マップマッチング	A-25
学習度と現在地	A-25
音声案内について	A-26

安全上のご注意(1)

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

-  : △は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。
-  : ⊘は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。
-  : ●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

警 告

-  テレビなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない
車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。



-  本機を船舶、航空機などの主航法装置として使用しない
測定誤差が生じたりするため、事故の原因となります。
また、塩害などにより、火災・感電の原因となります。



-  本機は12V車専用です。24Vの車(トラック・バス・寒冷地仕様のディーゼル車など)では使用しない
24V車で使用すると火災や故障などの原因となります。

12V車専用

-  実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制、道路標識に従って走行してください。



-  リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する
後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

-  電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない
コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電・故障の原因となります。

-  フィルムアンテナは取付説明書に指示された場所に貼り付ける
視界不良となり事故の原因となることがあります。取付説明書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープ等で取り付けないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。

-  ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

警告

! 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する
ショートにより火災や感電、故障の原因となります。

! 取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことを確認する
正常に動かない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。



! 当商品を分解したり、改造しない
故障の原因となります。

分解禁止



! コード類の配線は、高温部を避けて行なう
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。

! 直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、火傷する可能性があります。

! ディスク挿入口に手や指を入れない
けがの原因となることがあります。

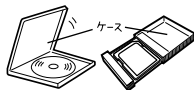


! 本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の
放熱板や、アンプに触れない
高温のため、やけどの原因となることがあります。

接触禁止



! 長時間で使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておく
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める
原因となることがあります。



! 安全のため運転者は、走行中に操作しない
また、走行中画面を見るときは、必要最小限にする
前方不注意などにより、思わぬ事故につながる恐れがあります。



! 運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する
テレビは安全のため走行中は表示されません。

! エンジンを停止したままで長時間使用しない
車のバッテリーがあがる恐れがあります。



! 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因になることがあります。

! カード類は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。

禁止

! 故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、
ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

! 機器内部に、水や異物をいれない
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障
の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

安全上のご注意(2)

注 意



音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない
火災の原因となることがあります。



ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。



液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。



取り付け(取り外し)や配線は、Honda販売店に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

お願い(1)

温度について



- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。振動が止むと通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にいくと、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・車のセレクトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面

※ 細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

※ 細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

お願い(2)

車のエンジン停止中／アイドリング中での使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間で使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなる恐れがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

<ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

<本体の清掃>

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。
GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。



フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布で拭いてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理の時などに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 当商品を分解したり改造しないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがあるなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になる恐れがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやTV[☆]、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行なってください。

☆印…VXM-128VSの場合

お願い(3)

- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。

外部接続機器(iPod／USB機器／VTR機器／携帯電話☆)について

- iPod／USB機器を車室内に放置しないで下さい。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod／USB機器が接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないで下さい。故障の原因となります。
- 接続するVTR機器／携帯電話☆を車室内に放置しないで下さい。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

☆印…VXM-128VSの場合

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について ☆

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音とぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が入れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が入る場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要です。改造または、分解は禁止されています。
- 本機は ARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アプリアックスの登録商標です。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

主な特長(1)

メンテナンス機能

日付・距離を設定すると、車のオイルや消耗品の交換、あるいは記念日などがきたことをナビゲーションの画面と音でお知らせします。

「メンテナンス情報を設定する」F-42

ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、ワンセグ*受信中に音声案内を割り込ませたりすることができます。

「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」G-40

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

「**現在地から目的地までのルートを探索する**」B-26

また、あらかじめ自宅を登録しておく、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

「自宅を登録する」B-23

「**現在地から自宅までのルートを探索する**」B-27

電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探ことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約850万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人情報約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

「電話番号で地点を探す」C-6 / 「住所で地点を探す」C-8

ハイブリッド検索

名称で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

「名称で地点を探す[施設50音]」C-2



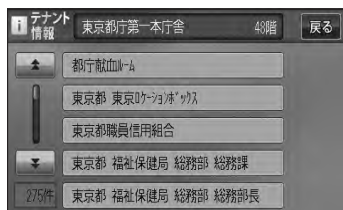
☆印…VXM-128VSの場合

ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(Q 10m/Q 25m/Q 50m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソル(→)を合わせると、地図画面上にビル名が表示されます。**設定**をタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報**をタッチするとテナント情報を見ることができます。

☞「クイック機能について」B-19



※データが収録されていない施設(物件)はカーソル(→)を合わせても名称は表示されません。

※ビル名のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

目的地到着までのルートを表示してくれる**目的地に着くまでルート表示(細街路探索)**

細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行います。探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT(ジャンクション)、渋滞/規制情報などを音声で案内します。

高速道路のJCTを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づく、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

☞「■ JCTビューの表示を設定をする場合」F-16

**行き方の候補を5種類表示(複数ルート探索)**

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。推奨のルートを探査する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

☞「複数ルートを探索する」D-9



主な特長(2)

進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを橙色で表示させることができます。

☞「■ 交差点拡大図を表示を設定する場合」F-17



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを黄色で表示し、交差点情報を表示させることができます。

☞「■ 交差点情報の表示を設定する場合」F-18



案内標識を表示(方面看板)

ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

☞「■ 方面看板の表示を設定する場合」F-20

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



リアル3D交差点を表示

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)で案内します。

☞「■ リアル3Dの表示を設定する場合」F-19

※札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



エコドライブ

GPSの信号や車速情報をもとに、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

☞「エコドライブ情報を設定する」E-23

QQ コール機能

オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などの情報を受けたりすることができます。

※ QQ コール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要になります。

〔P〕「QQ コールを利用する」E-43

詳しい交通情報を教えてくれる**VICS 対応**

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

〔P〕「VICS」E-2

一方通行規制箇所がわかる**一方通行表示**

縮尺スケールがQ 10m/Q 25m/Q 50mのとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる**遠くまで見渡せる視点で立体的に表示**

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を3Dビュー表示します。

〔P〕「地図表示(方位)を切り替える」B-10

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法*¹ & マップマッチング*²

自律航法とマップマッチングで、GPS 衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS 衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

* 1 印…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

* 2 印…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

ハンズフリー機能 ☆

携帯電話を手に持たなくても通話することができます。〔P〕O-1

※この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。

☆印…VXM-128VSの場合

主な特長(3)

A V 機 能

ラジオ

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットボタンにメモリーすることができます。[] H-10

道路交通情報

1620kHzまたは1629kHzに合わせることで道路交通情報を受信することができます。

[] 「交通情報を受信する」 G-39、H-12

地上デジタル放送(ワンセグ) ☆

地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。

番組表表示

各放送局のテレビ番組表を表示することができます。

音声字幕機能

音声の種類や字幕を表示するように設定することができます。

[] 「**音声と字幕の設定をする**」 I-29

※音声の設定は複数音声放送と二重音声放送の場合に有効です。

※字幕の設定は字幕がある番組の場合に有効です。

CD

CD再生

ディスクを挿入して、音楽データを再生し、聞くことができます。[] G-22、J-1

SD

SD再生

パソコンからSDカードに入れた音楽データを再生し、聞くことができます。

[] G-22、L-1

☆印…VXM-128VSの場合

DVD ☆**CPRM対応**

本機では、DVD-R／RWのビデオレコーディングモード(VRモード)で録画されたディスクを再生できます。さらに、デジタル放送を録画したCPRM対応のDVD-R／RWのディスクが再生できます。

マルチ音声機能

お好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。〔P〕K-16
※DVDに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチ字幕機能

お好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。〔P〕K-16
※DVDに収録されていない言語には切り替わりません。

リアカメラ対応

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。
〔P〕「リアカメラ映像を設定する」F-51

ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。
〔P〕「ETCの各機能を設定する」F-36

ビデオ入力対応

別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器を接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。〔P〕M-1

USB対応

別売のUSBメモリーデバイスコードを使用してUSB機器の音楽データを再生することができます。
〔P〕N-1

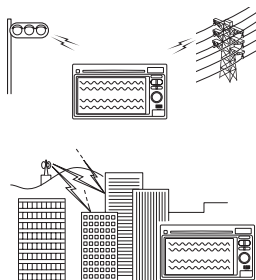
オーディオ リモコン スイッチ対応

車両標準装備または別売のスイッチを接続すれば運転中にハンドルについているスイッチでオーディオの操作をすることができます。
〔P〕「オーディオ リモコン スイッチ」P-4

☆印…VXM-128VSの場合

オーディオ／テレビ☆／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネル☆などの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビ☆の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、ラジオ、テレビ☆等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
 - ・ 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
 - ・ 携帯受信(ワンセグ)☆などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
 - ・ ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



☆印…VXM-128VSの場合

本機で再生できるディスク(1)

VXM-128VS

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL
		CD-R	CD-RW

VXM-128C

		CD-R	CD-RW
---	---	------	-------

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※ はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。



注意

すでにディスクが挿入されている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

●下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-----------|
| ● CD-G | ● フォトCD | ● CD-ROM | ● Blu-ray |
| ● CD-EXTRA | ● VIDEO CD | ● SACD | ● HD DVD |
| ● DVD-ROM | ● DVD-RAM | ● DVD オーディオ | ● SVCD |
| ● DVD-VIDEO★ | ● DVD+R★ | ● DVD-R★ | ● DVD+RW★ |
| ● DVD-RW★ | ● DVD+R DL★ | ● DVD-R DL★ | ● dts-CD★ |

●DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。☆

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

●CD-R／CD-RW／DVD-R☆／DVD-RW☆／DVD+R☆／DVD+RW☆／DVD+R DL☆／DVD-R DL☆でも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3／WMAにつきましては「ディスクのMP3／WMA音楽再生について」G-5をご覧ください。

☆印…VXM-128VSの場合

★印…VXM-128Cの場合

はじめに

「オーディオ／テレビ／ラジオの設定について」／「本機で再生できるディスク」

本機で再生できるディスク(2)

DVDモードのファイナライズについて ☆

DVD-R / DVD-RW / DVD+R / DVD+RW / DVD+R DL / DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

●DVDレコーダで作成したディスクについて☆

- DVD-R / RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R / RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り可能です。

※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。

DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

●8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

●コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

●Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の2つの技術を使用しています。☆

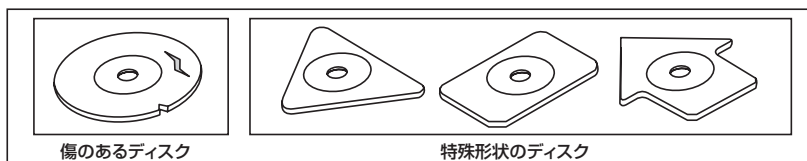
- マクロビジョン 本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要です。改造または分解は禁止されています。
- ドルビーデジタル 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

☆印…VXM-128VSの場合

●特殊形状のディスクについて

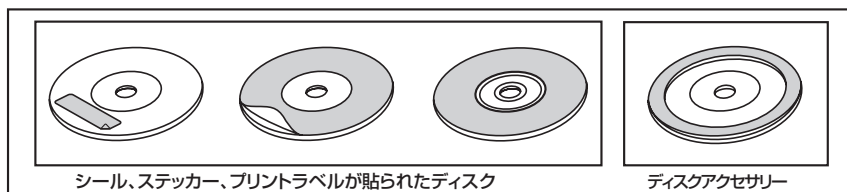
特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクが反り、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクまた、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。

- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。

- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

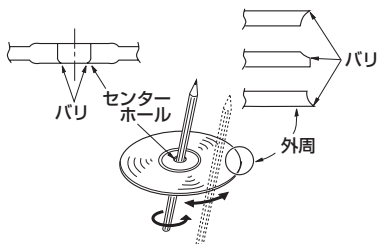
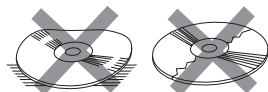
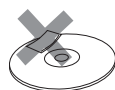
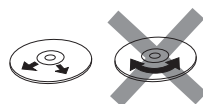
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。

- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。

※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。



SDカード／USB機器について(1)

はじめに

ディスクの取り扱い／SDカード／USB機器について

●本書では“SDメモリーカード・SDHCメモリーカード”のことをSDカードと記載しています。

●SDHCロゴは商標です。

●お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録された“SDカード／USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

●本機にはSDカード、USB機器は付属していません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

●本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

- SDカード
- SDHCカード
- miniSDカード*
- microSDカード*

*印…専用アダプターが必要です。

●miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。

●本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

●32GBまでの容量の“SDカード／USB機器”に対応しています。

●USB接続のカードリーダーには対応していません。

※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

●本機はSDXCカードには対応していません。

●本機はUHS- Iには対応していません。

●フォーマット(初期化)について

●SDカードのフォーマットは本機で行なってください。パソコンでのフォーマット(初期化)はSDカードの性能が十分に発揮なくなる場合や正しく動作しない場合があります。また、SDHCメモリーカード以外のSDカードを本機以外の機器からFAT32でフォーマット(初期化)すると、本機では認識できず、フォーマット(初期化)もできなくなる場合があります。その場合は、パソコンで一度FAT16でフォーマット(初期化)した後、本機でフォーマット(初期化)をお願いします。
[]「データを初期化(消去)する」F-49

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。

●USB機器のフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

●“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

●miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご利用の際は正常に動作しない場合があります。

SDカード／USB機器について(2)

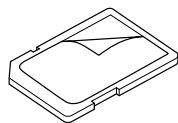
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSB機器を破損する原因になります。
- SDカードのデータ読み込み中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSB機器を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージに従って操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - ・SDモード  L-1
- 本機はUSB機器を使用して下記機能を使用することができます。
 - ・USB／iPod  N-1
- SDカード、USB機器内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSB機器が温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USB機器が不良の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの最適化は行なわないでください。
- 読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- SDカード内のデータは圧縮しないでください。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

SDカードの取り扱いかた

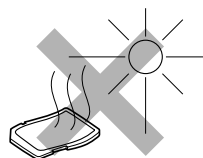
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



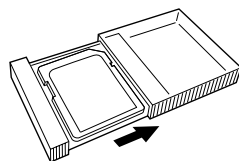
- 変形したSDカードやラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってある“SDカード”は使用しないでください。



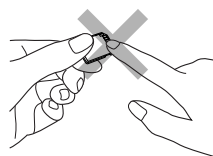
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。
“SDカード”が使用できなくなる場合があります。



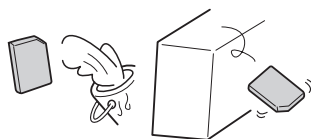
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。

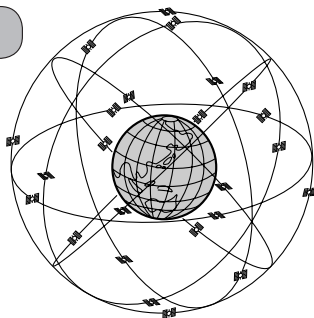


GPS 衛星の電波受信と測位

ジーピーエス グローバル ポジショニング システム GPS(Global Positioning System)について

地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※本機では高度は表示しません。



GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

受信しにくい場所について

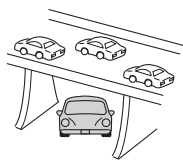
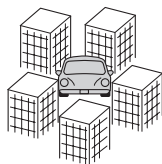
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところ です。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波が遮られ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*¹ & マップマッチング*²

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自転車マークの位置を補正します。

- * 1 印…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
- * 2 印…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自転車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行によりますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

音声案内について

音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくとき“まもなく経由地付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- デモ走行時、細街路の音声案内をしますが、実際の走行では細街路の音声案内はしません。



アドバイス

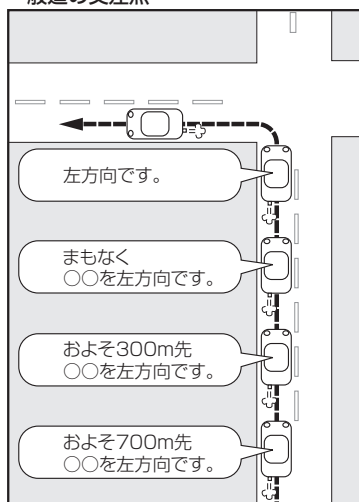
- 音声案内の音量を調整する場合は、「音声案内の音量を調整する」F-33をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合、**現在地**を押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。

■ 音声案内を止める場合」F-33で **消音** を選択している場合は、**現在地**を押しても音声案内を聞くことはできません。



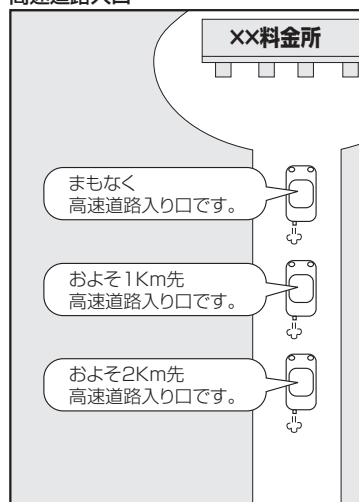
目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

一般道の交差点*¹

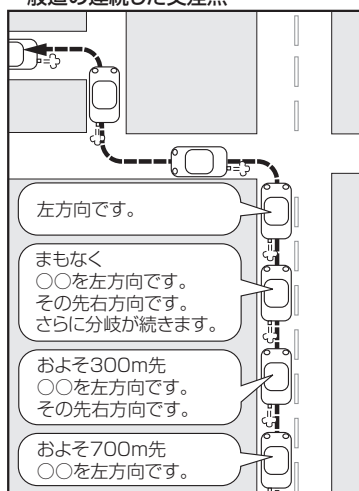


* 1 印…交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路入口

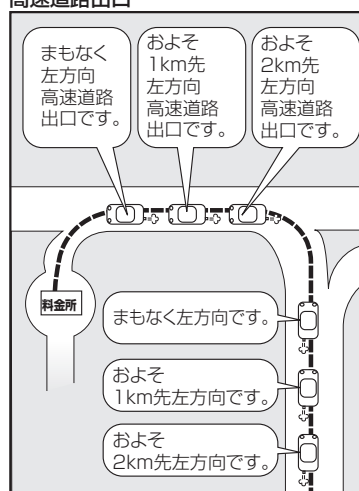


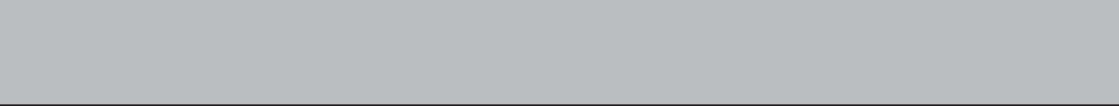
一般道の連続した交差点*²



* 2 印…連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

高速道路出口





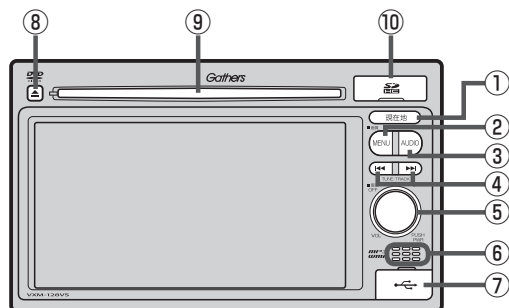
B

おぼえておきたい基本操作

各部の名称とはたらき	B-2
ディスクを入れる／取り出す	B-3
SDカードを入れる／取り出す	B-4
地図を表示する	B-5
現在地表示について	B-6
現在地を表示する	B-7
表示された現在地が実際の現在地と違う場合	B-7
地図画面の見かた	B-8
代表的な画面の表示内容について	B-8
地図表示(方位)を切り替える	B-10
地図スクロール(地図を動かす)	B-12
地図スクロール	B-12
微調整をする	B-14
地図を拡大／縮小する	B-15
MENU画面について	B-16
MENU画面を表示させる	B-16
各MENU項目について	B-17
設定を終える	B-18

ページの送り／戻しについて	B-18
クイック機能について	B-19
地点を登録する	B-21
登録地点について	B-22
自宅を登録する	B-23
クイック ルート探索をする	B-26
現在地から目的地までのルートを探る	B-26
現在地から自宅までのルートを探る	B-27
右画面に地図／情報を表示する	B-28
全画面表示に戻す	B-29
右画面の方位／縮尺スケールを変える	B-30
文字／数字の入力方法について	B-31
ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する	B-31
数字を入力する	B-33
文字／数字を訂正する	B-33

各部の名称とはたらき



① 現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

☞ B-7、G-40

② MENU ボタン

● FM / AM / CD / MP3 / WMA / USB / iPod / SD / ワンセグ^{*} / VTRモード時にボタンを押すと、ナビゲーションモードのトップMENU画面を表示します。

● DVD^{*}モード時にボタンを押すと、操作ボタン1を表示します。

☞ K-2

● 長押しすると画質調整画面を表示します。

☞ P-2

③ AUDIO ボタン

AV SOURCE画面または、選択中のオーディオ画面を表示します。

☞ G-23

④ 戻る / 再生 ボタン

● 好きな曲 / ファイル / チャプター / 放送局を選びます。

・ CD / MP3 / WMA / SD / USB / iPod

☞ G-28

・ FM / AM ☞ H-6

・ ワンセグ^{*} ☞ I-14

・ DVD^{*} ☞ K-7

● 長押しすると早戻し / 早送り / 自動選局を行ないます。

・ CD / MP3 / WMA / DVD^{*} / SD / USB / iPod

☞ G-29

・ FM / AM ☞ H-6

・ ワンセグ^{*} ☞ I-14

● 一時停止中にコマ戻し / コマ送りを行ないます。

・ DVD^{*} ☞ K-8

● 一時停止中に長押しすると、スロー戻し / スロー送りを行ないます。

・ DVD^{*} ☞ K-9

⑤ 〇 ボタン (VOL / PUSH PWR)

● ボタンを押すたびに、オーディオモードをON / OFFします。

☞ G-26

● 右方向または左方向に回転し、オーディオの音量を調整します。

☞ G-33

● 2秒以上長押しで画面を消します。

☞ P-6

⑥ 内蔵マイク^{*}

ハンズフリー機能を使用して、電話を発信または着信後に内蔵マイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

☞ O-2

⑦ USB接続口

カバーを開けると接続口があらわれます。USB / iPodモードを使用する場合、別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPodに付属のUSBケーブルを接続します。

☞ N-4

⑧ 上ボタン (DVD^{*} / CDイジェクト)

ディスクを取り出すときに使用します。

☞ B-3、G-24

⑨ ディスク挿入口

☞ B-3

⑩ SDカード挿入口

SDモードを使用する場合、カバーを開けてSDカードを差し込みます。

☞ B-4

☆印…VXM-128VSの場合

ディスクを入れる／取り出す



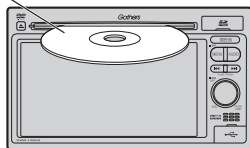
注意

ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。

1

ディスク挿入口にディスクを挿入する。

DVD[☆]/CD



※ディスク挿入口につきましては、図B-2でご確認ください。

■ ディスクを取り出す場合

①  (DVD[☆]/CDイジェクト)を押してディスクを取り出す。



アドハイス

- 長時間ディスクを挿入していると、ディスクが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生が始まります。

☆印…VXM-128VSの場合

SDカードを入れる／取り出す

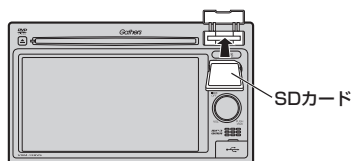


注意

- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり機器の故障の原因になります。

1

SDカードカバーを開け、SDカードを差し込む。



※ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※SDカード挿入口につきましては「 B-2」でご確認ください。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押してから取り出す。



アドバイス

長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温くなっている場合がありますが故障ではありません。

2

SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。

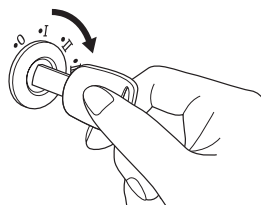
地図を表示する(1)

本書では、本体のボタンと画面のタッチボタンを使って操作説明をしています。使用するタッチパネル部のボタンは“**ボタン**をタッチ”、パネル部のボタンは“**ボタン**を押す”と記載しています。

1 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)またはⅡ(ON)に入れる。

：メッセージ画面が表示され、しばらくすると現在地の地図画面が表示されます。

※エンジンスイッチをⅢ(始動)し、手をはなすと自動的にⅡ(ON)に戻ります。



起動初期画面



測位計算中

「あれ？画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後は、前回車のエンジンスイッチをⅠ(ロック)にする前に表示していたモードの画面になります。

地図画面を表示しなかった場合は、**現在地**を押してAVモードからNAVIモードに切り替えてください。

現在地表示画面



自車マーク

GPS受信表示

“GPS”文字色 青色・方位表示の周りの色 青色
：現在地の測位ができています。

“GPS”文字色 灰色・方位表示の周りの色 灰色
：現在地の測位ができていない、または測位計算中。



アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。[P-2]「画質調整のしかた」P-2
- 現在地表示画面の見かたにつきましては、[B-7]「現在地を表示する」B-7をご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、[A-24]「GPS衛星の電波受信と測位」A-24をご覧ください。
- 地図画面に表示される各種設定内容は、お客様の設定によって変わります。

地図を表示する(2)

現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。

実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。

☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」A-24

☞ 「現在地を表示する」B-7



- “GPS”の文字色または方位表示の周りの色で現在の測位の状態がわかります。“GPS”の文字色が灰色で、方位表示の周りの色も灰色の場合は、☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」A-24に従って、電波を受信してください。
- お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。

現在地を表示する

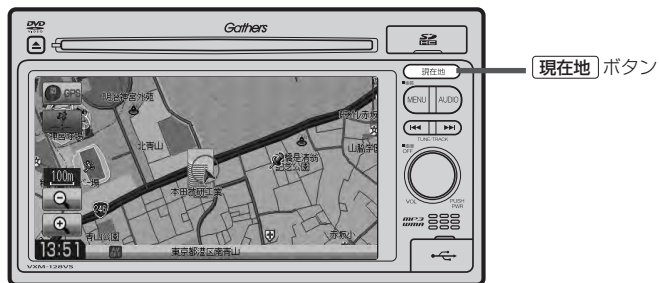
本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。

1

現在地を押す。

：現在地の地図画面が表示されます。

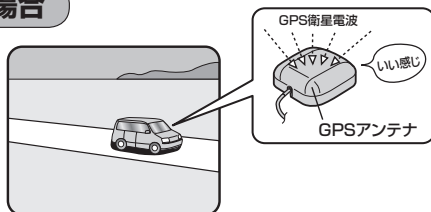
(例)現在地表示画面



地図画面の表示内容につきましては「**地図画面の見かた**」B-8を参考にご覧ください。

表示された現在地が実際の現在地と違う場合

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



アドバイス

- 自車マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 自車マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。
「**現在地(自車)の位置を変更する**」F-30
※ GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

地図画面の見かた

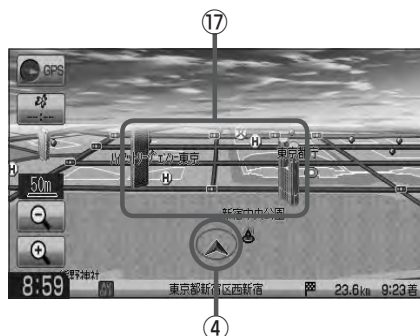
代表的な画面の表示内容について

ナビゲーションシステムでは、いろいろな情報を地図画面に表示しています。

平面地図画面



3D 地図画面



① GPS 受信表示

現在地の測位の状態を色で示します。
 “GPS” 文字色 青色・方位表示の周りの色 青色
 : 現在地の測位ができています。
 “GPS” 文字色 灰色・方位表示の周りの色 灰色
 : 現在地の測位ができていない、または測位計算中。



アドバンス

測位に時間がかかる場合があり、電源を入
 れてから約3～4分間はGPS受信表示が
 灰色のままのときがあります。

② 方位 ボタン

- 赤色の方向が北を示します。
 - 地図表示(方位)を切り替えることができます。
- 【F】 B-10

③ 交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を黄色で表示します。
 【F】 F-18

④ 自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

⑤ 道路

道路の種類を色で区別しています。

青 色 : 高速道路、有料道路

赤 色 : 国道

緑 色 : 主要地方道、県道

灰色(太線) : 一般道、細街路(経路案内対象)

灰色(細線) : 細街路(経路案内対象外)

青色(破線) : フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

※市街地図(Q 10m/Q 25m/Q 50m)の場
 合、上記と異なる色で表示されます。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道
 路は計画道路として道路種別を表す色の破線とし
 て表示されます。

⑥ 目的地方向表示

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を示します。
 初期値は“しない”設定になっております。
 【F】 「■ 目的地方向の表示を設定する場合」 F-27

⑦ 設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめ
 ルート)が太いピンク色または緑色(設定による
 【F】 「■ ルート色を設定する場合」 F-14)で表示されます。
 探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

⑧ 情報バー

【F】 F-11

⑨ VICS タイムスタンプ ボタン

- 提供されたVICS 情報を本機が受信した時刻を示
 します。【F】 E-6
- 渋滞/規制地点を表示します。
 【F】 D-27

⑩ 縮尺スケール

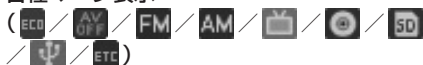
地図のスケールを表示します。

⑪ 地図スケール ボタン

地図のスケールを変更します。【F】 B-15

⑫ 現在の時刻

⑬ 各種マーク表示



ECO : エコドライブを開始したときに情報バーに表
 示されます。【F】 E-24

AV : AV モードがOFFのときに情報バーに表示さ
 れます。



: NAVIモード中にAVモードがONのときに情
 報バーに表示されます。

ETC : 本機に別売のETC 車載器(ナビ連動タイプ)を
 接続しているときに情報バーに表示されます。

⑭ 盗難多発地点案内

盗難が多発している地点を色で区別し表示します。
 最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険
 が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で
 表示しています。(各府県によって基準は異なります。)

⑮ 周辺の住所(または道路名)・AUDIO 情報

【F】 F-12

⑯ 目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への到着予想時刻と残距離
 を示します。

⑰ 立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。



アドバンス

- ③の交差点情報表示、⑥の目的地方向表示
 は、お客様の設定によっては表示されませ
 ん。【F】 F-18、F-27
- ④の自車マークは設定により変更できます。
 【F】 F-32

地図表示(方位)を切り替える

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。

画面には、“北方向を上”“進行方向を上”“3Dビュー”の3種類があります。

☞「メイン画面／右画面の設定をする」F-7

1 地図画面の**方位**をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

北方向を上

地図の動きが気になるときは、北方向を上
に固定できます。



進行方向を上

進行方向が常に上になるようにして、自転車
マークと画面の向きを一致させることがで
きます。走行に合わせて地図が回転します。



3Dビュー

進行方向は常に画面の上方向になります。



アドバイス

地図表示(方位)は、メイン画面または右画面の設定画面からでも設定することができます。

☞「メイン画面／右画面の設定をする」F-7



アドバイス

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3Dビューの角度調整をすることができます。
[F9]「3Dビューの角度を調整する」F-9
- 文字と建物が見えにくくなる場合があります。

平面地図画面とは

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。

3Dビューとは

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。

地図スクロール(地図を動かす)(1)

停車中、見たい地域の方に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図スクロール

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

1

画面をタッチする。

：画面にカーソル(—|—)が表示されます。



2

地図をスクロールする。

■ 地図画面を低速でスクロールする場合

- ① 画面のカーソル(—|—)近くを動かしたい方向に地図画面をタッチし続ける。

：低速でスクロールします。



■ 地図画面を高速でスクロールする場合

- ① 画面のカーソル(—|—)から離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。

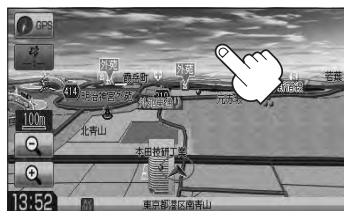


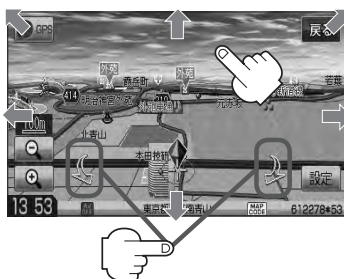
アドバイス

- 現在地に戻るときは、**現在地**を押すか**戻る**をタッチします。
 - 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
 - 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
 - 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
- * 印…赤い直線でスクロール先から現在地の方向を表示します。

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合**1**

画面をタッチする。

：   が表示されます。**2**動かしたい方向の地図画面、
または   をタッチする。
 : カーソル(—|—)を中心に右回転(時計まわり)
します。

 : カーソル(—|—)を中心に左回転(反時計まわり)
します。


アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- カーソル(—|—)に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル(—|—)より遠くなると高速で動きます。
- 3Dビュー表示画面で地図を動かした場合の自転車マークは  になります。



アドバイス

地図画面を平面地図画面↔3Dビューと切り替えるには  「地図表示(方位)を切り替える」B-10を
ご覧ください。

 「3Dビューの角度を調整する」F-9

地図スクロール(地図を動かす)(2)

微調整をする

微調整は平面地図画面のみ行なうことができます。

※ 3Dビュー画面の場合は、平面地図画面にしてください。

「」 「地図表示(方位)を切り替える」 B-10

※ 走行中 **微調整** は選択できません。

1

画面をタッチし、**微調整** をタッチする。

：画面に  が表示されます。



2

動かしたい方向の矢印をタッチする。

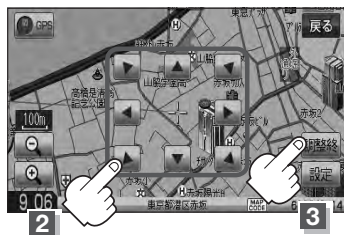
：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。



アドバース

 以外をタッチしてもスクロールはしません。

地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。



3

調整終 をタッチする。

：スクロール画面に戻ります。



アドバース

- 地図は矢印をタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、**現在地** を押すか **戻る** をタッチします。

地図を拡大／縮小する

1

地図画面で / をタッチする。

： / をタッチするたびにスケールが変わります。

※右画面に地図を表示しているとき、
右画面の地図を拡大／縮小する場合も、
同じように操作してください。

「」B-30



タッチすると選択
したスケールで表
示します。

拡大(詳細地図)



縮小(広域地図)



をタッチ



をタッチ



アドバイス

- 指定の縮尺の地図がないときは、メッセージが表示され、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、 / をタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。
- 市街地図データの収録エリアは、 P-20 をご覧ください。
- 市街地図(Q 10m / Q 25m / Q 50m)から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設(物件)にカーソル(—|—)を合わせると、地図画面上にビル名が表示されます。**設定**をタッチし設定メニューを表示させ、**テナント情報**をタッチすると、テナント情報を見ることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。)
※ データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。
- ※ 電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。
 O-1) 携帯電話を接続していない場合、**電話する** は選択できません。(ボタンは暗くなります)※

☆印…VXM-128VSの場合

おぼえておきたい基本操作

(地図スクロール(地図を動かす)) / (地図を拡大／縮小する)

MENU 画面について (1)

MENU 画面を表示させる

ナビゲーションの操作のほとんどは、MENU を使って行ないます。

本書では、パネルに配置しているボタンを **ボタン**、画面に表示されるボタンを **ボタン** と表記して操作説明をしています。

例 目的地画面を表示させる

1

MENU を押す。

：トップMENU画面が表示されます。

2

目的地 をタッチする。

：目的地画面が表示されます。



各MENU項目について

ナビゲーションでは、各項目を選択してさまざまな操作を行ないます。

MENU を押しトップMENUを表示させ好みのMENUを選び、サブMENUの中から実行したい項目をタッチして各操作に入ります。

1

MENU を押し、実行したい項目をタッチする。



2

サブMENUの中から実行したい項目をタッチする。

■ **目的地** をタッチした場合 **「クイック機能について」B-19**



■ **ルート** をタッチした場合 **「クイック機能について」B-19**



■ **情報** をタッチした場合 **「クイック機能について」B-19**



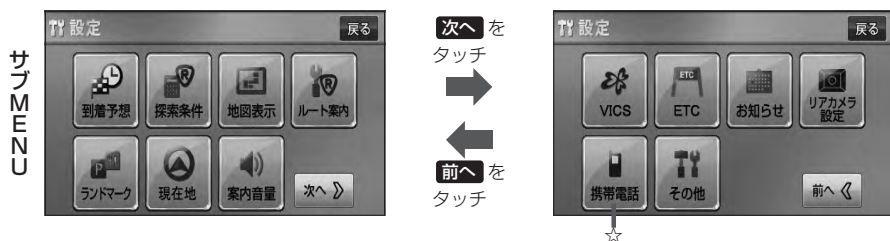
※ VXM-128C の場合 **QQ コール** は情報画面に表示されます。

「クイック機能について」B-19

※ **ETC 情報** は、別売の ETC 車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に選択できます。

MENU 画面について(2)

■ 設定 をタッチした場合 F-1



※ **リアカメラ設定** はリアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続時に表示されます。

設定を終える

設定を終えるには下記操作を行ないます。

1

戻る をタッチ、または **現在地** / **MENU** を押す。

： **戻る** をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

現在地 を押すと、現在地画面に戻ります。

MENU を押すと、トップMENU画面に戻ります。



設定を変更するときに **決定** が表示される場合は **決定** をタッチして設定を保存してください。 **決定** をタッチしないで、**現在地** / **MENU** を押したり、**戻る** をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

☆印…VXM-128VSの場合

ページの送り／戻しについて

リストや情報画面などのページを送り／戻しすることができます。

1

▼ または **▲** をタッチする。

▼ ： ページを送ります。

▲ ： ページを戻します。



走行中は規制がかかり、全てのページの送り／戻しはできません。



クイック機能について(1)

操作できないボタンは暗くなり選択できません。

本機では、主な操作を簡単にするため、クイック機能を設けています。現在地表示時または地図スクロール時にクイック機能を表示させるには **MENU** を押し、地図スクロール時に設定メニューを表示させるには **設定** をタッチします。(**×閉** =クイック機能閉じる)

MENU をタッチ(現在地表示時)

● **自宅へ帰る**

自宅までのルートを探索します。

 **「現在地から自宅までのルートを探索する」** B-27

※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

 **「自宅を登録する」** B-23

● **再探索**

探索条件を変えて、再探索することができます。

 **「ルート探索条件の設定をする」** F-3

 **「再探索をする」** D-17

※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。

● **案内ストップ** / **案内スタート**

タッチするたびに、ルート案内スタート ↔ 案内ストップと表示が切り替わります。

 **「ルート案内をストップ/スタートする」** D-19

※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。

● **右画面**

右画面に表示する情報画面を選択します。(選択時表示灯点灯)

 **「右画面に地図/情報を表示する」** B-28

● **地点登録**

地点の登録を行ないます。

 **「地点を登録する」** B-21

● **携帯電話** ☆

Bluetooth対応携帯電話をお持ちの場合、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

 **「ハンズフリー」** O-1

● **案内音量** ☆

音声案内の音量を調整することができます。

 **「音声案内の音量を調整する」** F-33

☆印…VXM-128VSの場合

★印…VXM-128Cの場合

クイック機能について(2)

設定 をタッチ(地図スクロール時)

- **目的地セット**

目的地を登録し、ルートを探索します。

 「**現在地から目的地までのルートを探索する**」 B-26

- **出発地セット** *

出発地を登録し、ルート探索します。 「**出発地／目的地の変更**」 D-10

※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。

- **経由地セット** *

経由地を登録し、ルート探索します。

 「**経由地の追加**」 D-12 / 「**経由地の変更／削除**」 D-14

- **自宅セット**

自宅を登録します。 「自宅を登録する」 B-23

※自宅の登録を行なう場合に表示されます。すでに自宅が登録されている場合は表示されません。

- **地点登録**

地点の登録を行ないます。 「地点を登録する」 B-21

- **地点編集**

登録地点の編集や並び替え、削除ができます。

 「登録地点の編集／見る」 E-31

 「登録地点を並び替える」 E-36

 「自宅／登録地点を削除する」 E-39

※登録地点マークにカーソル()をあわせませす。

- **テナント情報** *

テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。

※  10m /  25m /  50mの市街地図でテナント情報のある物件にカーソル()を合わせます。

- **周辺検索**

スクロール先の周辺施設を検索することができます。

 「周辺にある施設から地点を探す」 C-15

- **施設詳細**

スクロール先に施設の詳細がある場合に住所や電話番号などの詳細情報が確認できます。

* 印…地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

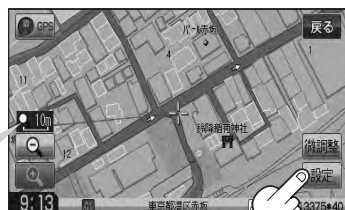
地点を登録する(1)

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大300ヶ所・自宅は含まれません)

- 1** 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定**をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



- 2** **地点登録**をタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



- 3** 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

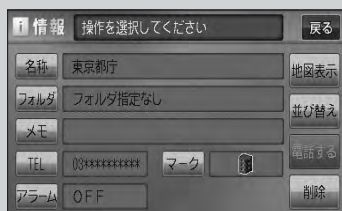
- 地図画面をスクロールさせるには「「地図スクロール(地図を動かす)」B-12をご覧ください。
- 本機に登録できる件数は合計300件までです。(自宅は含まれません。)
- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。

地点を登録する(2)

登録地点について

登録地点の名称、フォルダ、メモ、TEL、マーク、アラームは変更／登録することができます。

☞「登録地点の編集／見る」E-31



登録地点の地図を呼び出すことができます。

登録地点の表示方法は全表示とフォルダの2種類の表示方法があります。

☞「登録地点で地点を探す」C-21

また、☞「自宅／登録地点の地図を呼び出す」E-38でも呼び出せます。

登録地点の地図は、ルート編集で出発地／経由地／目的地を設定するときに、すばやく設定できます。

☞「ルートを変更する」D-10



地図上の登録地点マークの表示をやめることができます。

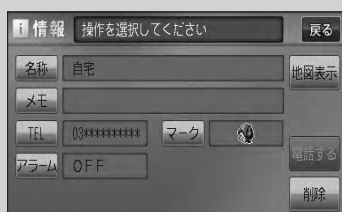
☞「表示項目の設定をする」F-11

自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までの参考ルートを探探索すること)ができます。また、自宅の情報画面を表示することもできます。

☞「クイック機能について」B-19

☞「(現在地から自宅までのルートを探探索する)」B-27

☞「登録地点の編集／見る」E-31



自宅を登録する(1)

自宅を登録しておく、自宅までの参考ルートを探ることができます。

1

MENU を押す。

2

情報 → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

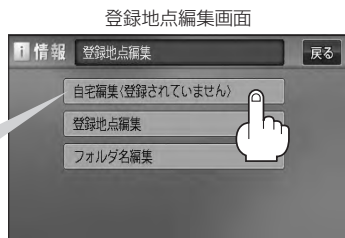


3

自宅編集(登録されていません) をタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。

自宅を登録すると“<登録されていません>”の表示は消えます。



4

登録方法を選び、タッチする。



- **名称** C-2
- **電話** C-6
- **住所** C-8
- **ジャンル** C-12
- **周辺施設** C-15
- **登録地点** C-21
- **履歴** C-24
- **地名** C-27
- **郵便番号** C-29

- **緯度経度** C-30
- **マップコード** C-31
- **地図から**：この画面に入る前の地図を表示
- **現在地付近**：現在地付近の地図を表示
- **出発地付近**：出発地付近の地図を表示
- **目的地付近**：目的地付近の地図を表示
- **自宅**：すでに自宅が登録されている場合に、登録済の周辺地図を表示
 C-14

おぼえておきたい基本操作

「地点を登録する」／「自宅を登録する」

自宅を登録する(2)

例 住所から自宅を探し登録する

① **住所** をタッチする。

② リストから画面に従って“都道府県名”“市区町村名”“町名”“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を順次選びタッチしていく。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。

(**地図から** / **現在地付近** / **出発地付近** /

目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。)

検索方法は「住所で地点を探す」の手順 **3**、**4** (C-9)を参考にしてください。

地名の頭文字表示*

リスト画面



アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)

*印…頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

- **地名入力** をタッチすると地名50音検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。[C-9]「**地名を入力して探す場合**」C-10

- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。

- 選択したい番地が収録されていない場合は、その付近に近い番地を選択すると、その付近の地図が表示されます。

- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

5

自宅を登録する。

■ 表示された位置で良い場合

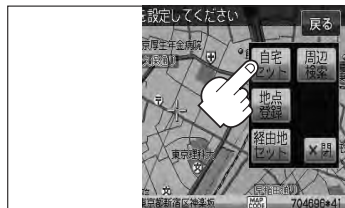
① **自宅セット** をタッチする。

■ 地図のみ表示された場合

① **設定** をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

② **自宅セット** をタッチする。



■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

- ① **×閉** または地図画面をタッチする。

：設定メニューを閉じます。

- ② カーソル(—|—)を自宅に合わせる。

- ③ **設定** をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

- ④ **自宅セット** をタッチする。



：登録地点編集画面に戻ります。

登録した位置を確認したい場合は **自宅編集** をタッチし、 **地図表示** をタッチすると地図が表示されます。(地図上には マークが表示されます。)



アドバース

- 自動的にマークは になります。マークを変更したい場合は E-33をご覧ください。
- 登録地点を表示“しない”に設定している場合は、地点を登録しても、地図上にマークは表示されません。
 「表示項目の設定をする」F-11
- 自宅を変更したい場合は登録した自宅を削除してから再登録してください。 E-39

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1

現在地を押して、現在地が測位できていることを確かめる。

☞ 「現在地を表示する」B-7

“GPS” 文字色が青色、方位表示の周りの色が青色ならOK!



現在地(自車)の位置／方向がまちがっている場合は、修正してください。

☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」F-30

(例)現在地表示画面



2

画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図画面を表示する。

☞ 「地図スクロール(地図を動かす)」B-12 ☞ 「地図を拡大／縮小する」B-15

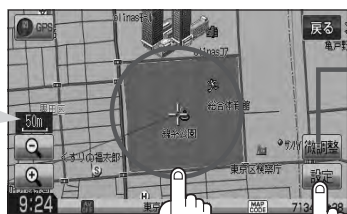
3

カーソル(—|—)を目的地に合わせ、**設定**→**目的地セット**をタッチする。

微調整 ボタン

☞ B-14

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



3-1



3-2

：参考ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

☞ D-8

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は **有料道路** を、一般道路上に設定する場合は **一般道路** をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

1

現在地 を押して、現在地が測位できていることを確かめる。

☞ 「現在地を表示する」 B-7

“GPS” 文字色が青色、方位表示の周りの色が青色なら OK!



現在地(自車)の位置／方向がまちがっている場合は、修正してください。

☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 F-30



(例) 現在地表示画面

2

MENU を押して **自宅へ帰る** をタッチする。



：参考ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

☞ D-8

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択するとルート探索を開始します。



アドバイス

- 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ、自宅を登録しておく必要があります。上記手順 **2** で自宅が登録されていない場合、自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、**はい** をタッチすると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。

☞ 「自宅を登録する」 B-23

- 新たにルート探索すると、前回探索した参考ルートは消えます。
- 参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
- **MENU** を押したときに表示されるクイック MENU の詳しい内容につきましては ☞ 「クイック機能について」 B-19 をご覧ください。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制に従って走行してください。

右画面に地図／情報を表示する(1)

現在地表示時、画面を2つに分けてルート情報やエコドライブ情報などの情報画面を表示させることができます。

1

MENU を押し、**右画面** をタッチする。

：選択画面が表示されます。



2

表示したい情報(**エコドライブ**／**地図**／**ルート情報**／**ハイウェイモード**／**時計**)を選択し、タッチする。

：左画面には現在の地図画面、右画面には選択した情報が表示されます。



■ エコドライブ画面を表示する場合

① **エコドライブ** をタッチする。

：右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケータまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。

(**表示切替** をタッチで表示の切り替え)

(例)エコドライブ(アニメーション画面)



アドバイス

- ルート案内中は交差点拡大などを表示する設定にしている場合、交差点拡大などを優先して表示します。
- エコドライブを開始していない場合に **エコドライブ** をタッチするとメッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。
- 2画面表示したエコドライブ画面につきましては **E-28** をご覧ください。

■ 地図画面を表示する場合

① **地図** をタッチする。

：右画面にも地図を表示することができます。



アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示⇄全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示は設定からも表示させることができます。
F-7「メイン画面／右画面の設定をする」

(例)地図画面



■ ルート情報を表示する場合

① **ルート情報** をタッチする。

：ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離などを表示します。



アドバイス

ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示されます。ルート情報は、ルート案内設定から表示することができます。

☞ 「ルート案内画面の設定をする」F-13

(例)ルート情報画面



■ ハイウェイモードを表示する場合

① **ハイウェイモード** をタッチする。

：ルート探索をしてルート案内に従って有料道路／一部の無料ハイウェイ道路を走行時のみ、ルート情報を表示します。



アドバイス

ハイウェイモードはルート案内時とデモ走行時に表示されます。ハイウェイモードはルート案内設定から表示することができます。

☞ 「ルート案内画面の設定をする」F-13

(例)ハイウェイモード



■ 時計を表示する場合

① **時計** をタッチする。

：右画面に日付けと時間が表示されます。

(例)時計画面



アドバイス

ルート案内画面の設定で **ハイウェイモード** を選択している場合他の項目を選択していてもハイウェイモードが優先して表示されます。

☞ 「ルート案内画面の設定をする」F-13

全画面表示に戻す

1

B-28手順 **1** に従って操作し、**OFF** をタッチする。



右画面に地図／情報を表示する(2)

右画面の方位／縮尺スケールを変える

1 右画面地図の方位／スケールを変える。

■ 右画面地図の方位を切り替える場合

① **方位** をタッチする。

：タッチするたびに方位と画面が切り替わります。



方位 ボタン
B-10

■ 右画面地図を拡大／縮小する場合

① 地図画面で **縮尺スケール** をタッチする。

：画面に  /  が表示されます。



縮尺スケール ボタン

② / をタッチする。

 ：広域(縮小)な地図を表示します。

 ：詳細(拡大)な地図を表示します。



スケール表示
タッチすると選択した
スケールで表示します。



アドバイス

- 右画面表示時に地図のスクロールをすると全画面表示に切り替わります。

現在地 を押す、または **戻る** をタッチすると、右画面表示に戻ります。

 「メイン画面／右画面の設定をする」F-7からでもできます。

- 右画面地図をフリーズームさせたいときは、スケール表示が出ているときに  /  をタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺スケールで止まります。

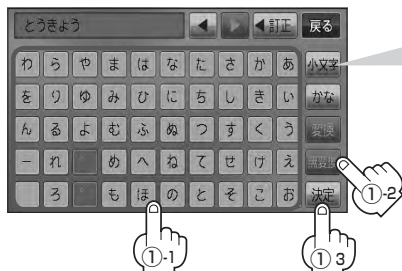
文字／数字の入力方法について(1)

目的地を施設の名称や電話番号などで探すときや、登録地点の編集などをするとき、文字や数字を入力します。

ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する

■ ひらがなを入力する場合

- ① 文字をタッチして入力し、**無変換** → **決定** をタッチする。



小文字に変換したい場合

小文字 をタッチする。

：パレットが変換可能な文字のみ小文字に変わります。

※ **小文字** ↔ **大文字** をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。



アドバイス

上記入力画面は登録地点編集画面の名称またはメモ(☞ E-32)を登録する場合の入力画面です。
目的地の50音検索(☞ C-2)、ジャンル名入力(☞ C-12)、地名50音検索(☞ C-27)をする場合、表示されるボタンが異なります。

■ 漢字を入力する場合

ひらがなを漢字に変換します。

- ① 文字をタッチして入力し、**変換** をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。



アドバイス

- 漢字変換しない場合は **無変換** をタッチしてください。
- ◀ / ▶ をタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。
- ■ をタッチすると1文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。



- ② 変換したい漢字をタッチし、**決定** をタッチする。



文字／数字の入力方法について(2)

■ カタカナ／英数を入力する場合

① **かな** をタッチする。



② 入力したい文字(**全カナ**／**半カナ**／**全英字**／**半英字**／**全数記**／**半数記**)をタッチする。

：50音パレットがカタカナ／英数表示になります。



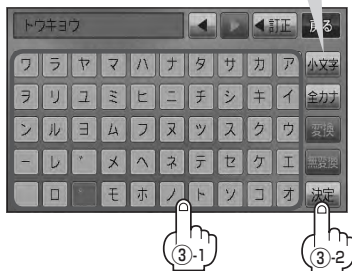
小文字に変換したい場合

小文字 をタッチする。

：パレットが変換可能な文字のみ小文字に変わります。

※ **小文字** ↔ **大文字** をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。

③ 文字をタッチして入力し、**決定** をタッチする。



数字を入力する

1 数字をタッチして入力する。



アドバイス

設定を変更するときに **決定** が表示される場合は **決定** をタッチして設定を保存してください。 **決定** をタッチしないで、**現在地** / **MENU** を押したり、**戻る** をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

文字／数字を訂正する

■ 最後の文字を訂正する場合

- ① **訂正** をタッチする。

■ 全ての文字を訂正する場合

- ① **訂正** を長めにタッチする。

■ 途中の文字を訂正する場合

- ① **左向き矢印** / **右向き矢印** をタッチし、訂正したい場所へカーソルを移動する。
- ② **訂正** をタッチする。



アドバイス

● 文字選択画面について

- かな** ……50音パレットがひらがなに変わります。
- 全カナ** ……50音パレットが全角カタカナに変わります。
- 半カナ** ……50音パレットが半角カタカナに変わります。
- 全英字** ……50音パレットが全角英字に変わります。
- 半英字** ……50音パレットが半角英字に変わります。
- 全数記** ……50音パレットが全角数字と記号に変わります。
- 半数記** ……50音パレットが半角数字と記号に変わります。

● 小文字に変換したい場合

小文字 をタッチしてください。(50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。)

※ 50音パレットは **小文字** ↔ **大文字** をタッチするたびに、小文字または大文字に切り替わります。

C

目的地

名称で地点を探す [施設 50 音]	C-2
順番を並び替えて表示する	C-4
電話番号で地点を探す	C-6
個人宅の電話番号を入力した場合	C-7
住所で地点を探す	C-8
施設のジャンルから地点を探す	C-12
自宅周辺の地図を表示する	C-14
周辺にある施設から地点を探す	C-15
表示できる施設	C-18
登録地点で地点を探す	C-21
登録地点の並び替えをする	C-23
目的地履歴の中から地点を探す	C-24
目的地履歴を削除する	C-25
地名から地点を探す [50 音]	C-27
郵便番号で地点を探す	C-29
緯度・経度で地点を探す	C-30
マップコードで地点を探す	C-31
地図から地点を探す	C-32

名称で地点を探す【施設50音】(1)

主な施設の名前を入力して探すことができます。行きたい施設の名前がわかっているときに便利です。
また、ハイブリッド検索*で探すことができます。

*印…施設の候補が多い場合に候補を絞り込んで探すこと。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **名称** をタッチする。

：名称入力画面が表示されます。



3

文字をタッチして、施設名を入力し、
検索 をタッチする。

☞ 入力方法はB-31を参考にしてください。

：施設リスト画面が表示されます。

※検索施設が10,000件より多い場合 **検索** は選択できません。10,000件以下になるよう入力してください。

例 “ほてる” と入力 → 10,000件より多い場合は検索できません。

“ほてるご” と入力 → 10,000件以下で検索可能。

↑ 次の文字を入力



3-1

3-2



アドバイス

- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

4

検索方法を選択する。

■ リストから“施設名”を選択する場合

① リストから“施設名”を選択しタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。



■ ハイブリッド検索で施設を選ぶ場合

① 絞込み をタッチする。

：条件入力画面が表示されます。



② 条件(地域 / ジャンル)を選んでタッチする。



□ 地域 をタッチしたとき

：検索リスト画面が表示されます。

1. “都道府県名” “市区町村名” の順に選ぶ。

☞ 検索方法は「住所で地点を探す」C-9 手順 ③ を参考にしてください。

* 印…頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。



□ ジャンル をタッチしたとき

：検索リスト画面が表示されます。

1. 施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種別を選択してタッチしていく。



③ リストから “施設名” を選択しタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。



目的地

〔名称で地点を探す「施設50音」〕

名称で地点を探す【施設50音】(2)



アドバイス

- 検索施設の件数が増えるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- 手順②(C-3)で **地域** を選択した場合のリスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- 名称がはっきりわからない場合や、病院・学校などを検索する場合は、周辺施設またはジャンルで検索してください。
[🔍]「周辺にある施設から地点を探す」C-15
[🔍]「施設のジャンルから地点を探す」C-12
- ハイブリッド検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- 手順②(C-3)で **ジャンル** を選択した場合、検索リスト画面には該当するジャンルのみ表示されます。
- 指定した条件を変更したい場合は、手順②(C-3)の条件選択画面で変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。

順番を並び替えて表示する

表示させたい方法(**50音順** / **距離順**)を選択し、タッチする。

50音順 …50音順に表示

距離順 …地図上の直線距離で現在地から近い順に表示

(例)距離順で表示



5

地図を見るまたは、詳細情報を見る。

■ 周辺の地図を見る場合

- ① **×閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

: 設定メニューを閉じ、周辺の地図が表示されます。



■ 施設の詳細情報を見る場合

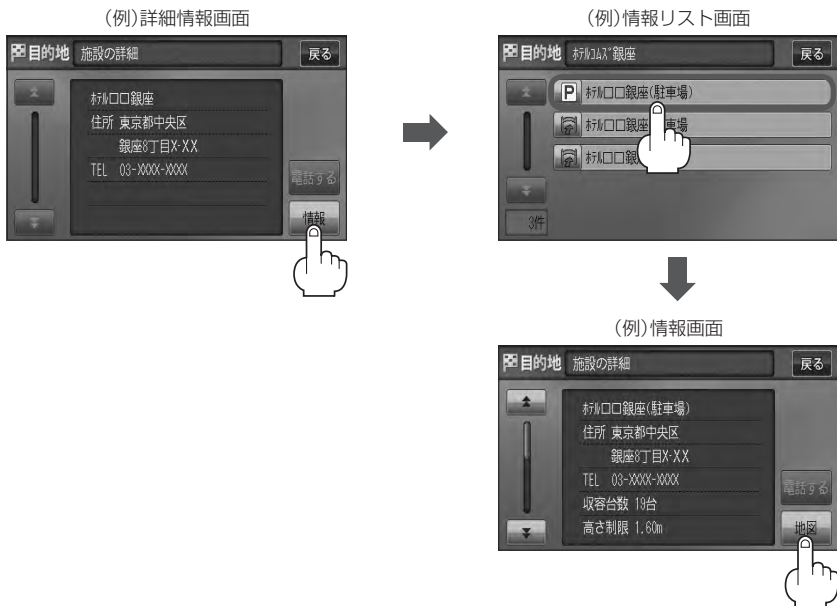
① 施設詳細 をタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

※ **施設詳細** は、情報がある場合しか表示されません。

※施設に詳細内容がある場合は **情報** が表示される場合があります。**情報** をタッチし、リストを表示させ選択すると、情報画面が表示され情報の確認ができ、**地図** をタッチすると周辺の地図を表示します。

※電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。)携帯電話を接続していない場合、**電話する** は選択できません。(ボタンは暗くなります)☆



 詳細情報画面で **電話する** をタッチして電話をかけるとハンズフリーの発信履歴に電話番号のみ登録されます。☆

目的地

〔名称で地点を探す〔施設50音〕〕

6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

☆印…VXM-128VSの場合

電話番号で地点を探す

電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して地点を探すことができます。本機には、NTTタウンページの情報の一部(約850万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報約3,000万件)が収録されています。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **電話** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。



3

数字をタッチして、電話番号を入力し、**検索** をタッチする。

☞ 入力方法はB-33を参考にしてください。

：周辺の地図が表示されます。

※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



入力途中で **検索** をタッチした場合

市内局番からの周辺の地図が表示されます。

※個人宅の電話番号を入力した場合は、電話番号登録者名入力画面が表示されます。

☞ 「(個人宅の電話番号を入力した場合)」C-7

3-2



※入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選択すると地図が表示されます。



該当する電話番号が収録されていない場合は、メッセージが表示されたあとに、周辺の地図が表示されます。入力し直す場合は、**戻る** → **訂正** をタッチして番号を確認のうえ、もう一度入力してください。また、ピンポイント検索できない場合があります。

4

周辺の地図を見るには、**×閉** または地図画面をタッチする。

：設定メニューを閉じ、周辺の地図が表示されます。



5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

個人宅の電話番号を入力した場合

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

1

C-6手順**3**で**検索**をタッチする。

：電話番号登録者名入力画面が表示されます。

電話番号登録者名入力画面



2

登録者名の名字を入力後、**検索**をタッチしてください。

：入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。入力した名字が間違っている場合は、メッセージが表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合は地図は表示されません。入力した名字を確認のうえ、もう一度入力してください。

2-1

2-2

名字が収録データと一致しません。
ご確認の上、再度入力してください。



アドバイス

- 電話番号登録者入力画面には“名字を入力してください”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチした文字が表示されます。
- 入力方法は、ひらがなのみとなります。
- 公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合または、ピンポイント検索ができない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

住所で地点を探す(1)

住所を入力して地点を探すことができます。本機には、約3,500万件のデータが収録されています。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **住所** をタッチする。

：都道府県リスト画面が表示されます。



アドバイス

検索リスト画面について



リスト

頭文字選択ボタン

※頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。



リスト

数字入力ボタン

※入力できない文字は暗くなり選択できません。

“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”の続きに地名がある場合、**他** をタッチして地名をリストに表示し、効率よく場所を絞り込んでいきます。(地名がない場合はボタンは暗くなり選択できません。)

3

リストから選択または地名を入力して探す。

※郡は表示(選択または入力)できません。町村から選択または入力をしてください。

■ リストから探す場合

例 愛知県名古屋市中区金山 1 丁目 5-1 を探す場合

① リストから **あ 愛知県** をタッチする。

：愛知県の市区町村リストが表示されます。

※目的の都道府県リストが表示されていない場合は、頭文字選択ボタンをタッチして、探してください。

② 頭文字選択ボタンから **な** → **な** → **な** をタッチする。

③ 頭文字選択ボタンから **か** → **か** → **か** をタッチする。

④ **1 丁目** をタッチする。

⑤ 数字入力ボタンから **5** → **5** をタッチする。

都道府県リスト画面



目的の地

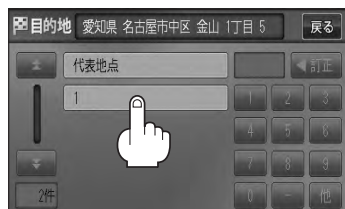
〔住所で地点を探す〕



住所で地点を探す(2)

⑥ 1 をタッチする。

：愛知県名古屋市中区金山1丁目5-1の周辺の地図が表示されます。



■ 地名を入力して探す場合

① 地名入力 をタッチする。

：地名50音検索入力画面が表示されます。



② 文字をタッチして地名を入力し、

検索 をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

☞ 入力方法はB-31を参考にしてください。

地名50音検索入力画面



アドバイス

地名50音検索入力画面には、“地名の一部でも検索できます”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチした文字が表示されます。

③ リストから“地名”を選択し、タッチする。

都道府県に複数の地名がある場合は **絞り込み** が表示されます。

絞り込み をタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。



都道府県に複数の地名がある場合に表示

④ “丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を選択する。

検索方法は「**🔍**」**■ リストから探す場合**」C-9の手順④～⑥を参考にしてください。

※ **×閉** または地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。
再度設定メニューを表示させるときには **設定** をタッチしてください。

「**🔍**」**「クイック機能について」**B-19



アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** をタッチして、訂正したいリストまで戻ってください。
- 番地など住所の詳細が分からないときは“都道府県名”“市区町村名”“町名”を選んだあと **代表地点** をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

目的地

「住所で地点を探す」

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

施設のジャンルから地点を探す

施設のジャンルや都道府県を指定して、該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」C-18をご覧ください。

1

 を押す。

2

目的地 → **ジャンル** をタッチする。

：検索リスト画面が表示されます。



3

検索方法を選択する。

■ リストを選択して探す場合

- ① 探している施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種類を選択してタッチしていく。



■ ジャンル名を入力して探す場合

- ① **ジャンル名入力** をタッチする。

：ジャンル名入力画面が表示されます。



- ② 文字をタッチしてジャンル名を入力し、**検索** をタッチする。

 入力方法はB-31を参考にしてください。

ジャンル名入力画面



③ジャンル検索リストから該当する
“ジャンル”を選択し、タッチする。



4 リストから“都道府県名”を選択し、タッチする。

※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。



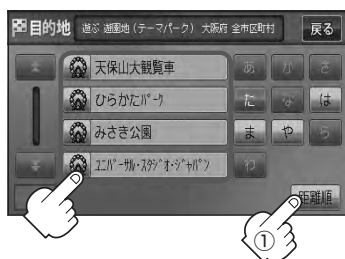
5 リストから“施設名”を選択し、タッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

■ 現在地から近い順に表示したい場合

① **距離順** をタッチする。

※ **距離順** が **50音順** に切り替わります。
50音順に表示させたい場合は **50音順** を
タッチしてください。



6 地図を見るまたは詳細情報を見る。

☞ 操作方法につきましてはC-4を参考にしてください。

7 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



* 印…頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- 入力したジャンルを訂正したい場合は、**戻る** をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- “都道府県名”を選んだあと **全市区町村** をタッチすると、選んだ場所の全施設名がリストに表示されます。

自宅周辺の地図を表示する

自宅周辺の地図を表示します。



この機能を使うには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

アドバイス

📄 「自宅を登録する」B-23

1

MENU を押す。

2

目的地 → **自宅** をタッチする。

：自宅周辺の地図が表示されます。



※ **×閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じることができます。再度設定メニューを表示させるときは **設定** をタッチしてください。

📄 「クイック機能について」B-19



3

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

周辺にある施設から地点を探す(1)

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から地点を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときなどに便利です。検索できる施設の種類のについては、「表示できる施設」C-18をご覧ください。

1

■ 現在地周辺の施設を検索する場合

下記手順 **2** へ進んでください。

■ スクロール先周辺の施設を検索する場合

地図上のカーソル(—|—)を検索したい施設の場所に合わせる。

「地図スクロール(地図を動かす)」B-12

2

MENU を押す。

3

目的地 → **周辺施設** をタッチする。

：検索リスト画面が表示されます。



4

■ 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合

① **地図周辺** をタッチする。

■ ルート沿いにある施設を検索する場合

① **ルート沿い** をタッチする。

■ 目的地周辺にある施設を検索する場合

① **目的地周辺** をタッチする。



アトバイス

- ルートを設定していない場合は **ルート沿い** / **目的地周辺** は選択できません。(ボタンが暗くなります)
- 現在地 / スクロール先 / 目的地周辺を検索する場合は、現在地 / スクロール先 / 目的地から半径10km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって10km以内で、ルートの左右約100m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地図周辺** / **ルート沿い** / **目的地周辺** では、リストに表示される施設は異なります。

目的地

「自宅周辺の地図を表示する」 / 「周辺にある施設から地点を探す」

周辺にある施設から地点を探す(2)

5

探している施設のジャンルを選択し、タッチする。

■ 施設の種別が表示された場合

下記手順 6 へ進んでください。

■ 施設名が表示された場合

下記手順 7 へ進んでください。



6

表示したい施設の種別を選択し、

検索 をタッチする。

：右画面には周辺のリストが表示されます。左画面にはカーソル(青色)で選択されているリストの周辺地図が表示されます。

※選択した種類にチェックマーク(✓)が付きます。

全選択 をタッチすると、全種類にチェックマーク(✓)が付きます。

選択をやめたい場合は再度ボタンをタッチしてチェックマーク(✓)を消します。**全解除** をタッチすると、リストに付いているチェックマーク(✓)が全て消えます。



チェックマーク(✓)

6-1

6-2

7

リストから“施設名”をタッチし **ここを** をタッチする。

：選択したリスト周辺の地図が表示されます。



- 右画面リストの **上** / **下** をタッチしてページ送り／戻した場合、左画面の地図は右画面のカーソルに反映されるため、周辺地図が変わります。
- 手順 4 (C-15) で **地図周辺** を選択した場合、施設名の横に現在地またはスクロール先からの距離を表示します。
- 手順 4 (C-15) で **ルート沿い** を選択した場合、右画面リストには現在地からの距離を表示し、左画面の周辺地図にはルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
- 手順 4 (C-15) で **目的地周辺** を選択した場合、右画面リストは目的地からの距離を表示します。

(例) 地図周辺を選択した場合



7-2

7-1

施設までの距離

8

地図を見るまたは詳細情報を見る。

 操作方法につきましてはC-4を参考にしてください。

9

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

- 入力した施設を訂正したい場合は、**戻る**をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- 上記手順 **8** で **施設詳細** をタッチしたとき、駐車場などの情報がある場合は、**情報**が表示されます。**情報**をタッチし、リストを表示させ選択すると、情報の確認ができ、**地図**をタッチすると、周辺の地図画面を表示することができます。

 C-5

目的地

〔周辺にある施設から地点を探す〕

表示できる施設(1)

交通機関

駅、高速・都市高速・有料道路施設、道の駅、フェリーターミナル、港、空港、タクシー

公共施設

役所、警察署・交番、消防署、図書館、裁判所、税務署、年金事務所、保健所、法務局、運転免許試験場

銀行

都市銀行、地方銀行、その他銀行

駐車場

駐車場

学校・教育施設

大学、高校、中学校、小学校、短大、高専、中等教育学校、幼稚園、保育園、特別支援学校、自動車学校、各種専門学校、予備校、その他学校・教育施設

病院

病院

冠婚葬祭

冠婚葬祭場、結婚式場、霊園・墓地、造花・装飾・花環

スポーツ施設

ゴルフ、スキー・スケート、マリンスポーツ、野球場、競技場、プール、モータースポーツ、自転車、テニスコート、体育館、武道館、スポーツクラブ、バッティングセンター、公営スポーツ施設、その他スポーツ施設

神社・仏閣・教会・巡礼

神社、仏閣・寺、教会、全国著名巡礼名所

遊ぶ

遊園地(テーマパーク)、レジャー公園・牧場、その他レジャー施設、海洋・海浜公園、サファリパーク、海水浴場、川くだり、果物狩り、遊覧船、遊覧飛行機、リフト・ロープウェイ、釣り、キャンプ場、公営ギャンブル、パチンコ、麻雀、ゲームセンター、ビリヤード、ボウリング場、カラオケボックス、マンガ喫茶、インターネットカフェ、プラネタリウム、クラブ・ライブハウス、マリーナ、待ち合わせ場所、趣味・娯楽・教養

観る

動物園、植物園、水族館、美術館、博物館、資料館、文化施設、ホール会館、劇場、映画館、城・城跡、史跡、名所・観光地等、イベント、ビューポイント、住宅展示場

泊まる

ホテル、ビジネスホテル、旅館、ペンション、公共の宿、ファッションホテル、カプセルホテル、家族旅行村、国民休暇村、民宿、その他宿泊施設

食べる

ファミリーレストラン、ファーストフード、ラーメン、うどん・そば、日本料理、中華、イタリア料理、寿司屋、回転すし、フランス料理、カレーハウス、焼肉・ホルモン、韓国料理、お好み焼き、とんかつ、持ち帰り弁当、喫茶、酒場、うなぎ料理店、おでん屋、海鮮料理店、懷石料理、割烹・料亭、スパゲティ専門店、ステーキハウス、てんぷら料理店、鳥料理店、ピザハウス、アイスクリーム、その他和風飲食店、その他洋風・中華飲食店

買う

カー用品、ホームセンター、ディスカウント、スーパー、デパート、複合大型商業施設、家電、本、ファッション、衣服・呉服・小物、シューズ、バッグ・コート・毛皮、その他繊維製品、スポーツ、雑貨、ドラッグストア、100円ショップ、その他日用品・雑貨・文具、チケット売買・プレイガイド、携帯電話ショップ、リサイクルショップ、おもちゃ屋、酒屋、食材、パン・お菓子、花屋、園芸店、家具店、インテリア用品店、メガネ・コンタクトレンズ、釣具店、アウトドア用品店、CDレコード店、中古CDレコード店、レンタルビデオ・CD、化粧品・装飾品・民芸品、オーディオ・パソコン・OA、金物店・刃物店、ガラス・陶磁器、その他小売店

生活施設

郵便、理容・美容、クリーニング、温泉、銭湯、サウナ・健康センター、クアハウス・スパ、教養施設・福祉施設、写真・写真館、組合、人材紹介・代行サービス、録音スタジオ、クレジット・質屋・買取、宅配便・運輸、リース・レンタル・修理

トイレ

トイレ

Honda Cars店

Honda Cars店

カーディーラー

Honda Cars店、スズキ、スバル、ダイハツ、トヨタ、日産、マツダ、三菱、レクサス、アウディ、アルファロメオ、クライスラー、シトロエン、ジャガー、GM、GMDAT、現代、BMW、フィアット、フェラーリ、フォルクスワーゲン、フォード、プジョー、ベントレー、ポルシェ、ボルボ、マセラティ、MINI、メルセデス・ベンツ、ヤナセ、ランドローバー、ランボルギーニ、ルノー、ロータス、ロールスロイス、いすゞ、日野、三菱ふそう、UDトラックス、その他カーディーラー

表示できる施設(2)

自動車関連

自動車整備工場、中古車販売、レッカーサービス、ロードサービス、レンタカー、レンタルバイク、その他自動車・オートバイ・自転車

コンビニエンスストア

コンビニエンスストア

ガソリンスタンド

ガソリンスタンド

エコステーション

エコステーション

その他ジャンル

大使館・領事館、マスメディア、旅行・観光業、ペット、製造・卸売業、農園・果樹園

登録地点で地点を探す(1)

あらかじめ登録しておいた場所の中から地点を探することができます。よく利用する場所を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **登録地点** をタッチする。

：登録地点リスト画面が表示されます。

※表示方法を変更する場合は手順 **3** へ進んでください。
表示方法を変更しない場合は手順 **4** (E-C-22) へ進んでください。



目的地

3

登録地点の表示方法を選択し、タッチする。

■ フォルダごとに表示する場合

登録地点をフォルダ指定されている場合、下記手順に従って操作すると、効率よく登録地点を絞り込むことができます。

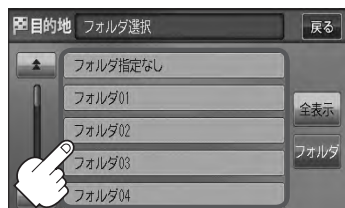
① **フォルダ** をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



② 表示させたい登録地点が入っているフォルダ (**フォルダ指定なし** ~ **フォルダ20**) をタッチする。

：選択したフォルダ内の登録地点リストが表示されます。



アドハイス

- 地点を登録していない場合はフォルダを選択することはできません。

「地点を登録する」B-21

- 登録地点をフォルダ指定していない場合は **フォルダ指定なし** のみ選択することができます。

※登録されているフォルダのみ選択することができます。登録地点のフォルダ指定につきましては「登録地点の編集/見る」E-31をご覧ください。

- フォルダ名は、フォルダ名編集画面から変更することができます。

※ **フォルダ指定なし** はフォルダ名を変更することができません。

- 表示方法を「フォルダ」に設定した場合、登録地点編集画面(E-31)の表示方法もフォルダ選択画面になります。

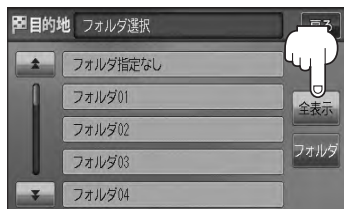
〔表示できる施設〕／〔登録地点で地点を探す〕

登録地点で地点を探す(2)

■ すべての地点を表示させて選ぶ場合

① **全表示** をタッチする。

：登録されている登録地点リストが表示されます。
(自宅は除く)



4

リストから登録地点を選択し、タッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※ **×閉** または地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。

再度設定メニューを表示させるときは **設定** をタッチしてください。

☞ 「クイック機能について」B-19



☞ 「登録地点の並び替えをする」

C-23

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

- この機能を使うには、あらかじめ地点を登録しておかないと使えません。

☞ 「地点を登録する」B-21

- 登録地点リスト画面の初期設定は“全表示”です。

登録地点の並び替えをする

登録地点検索リストに表示される地点の並び順を替えることができます。

1

C-21 手順 **1**、**2** に従って操作し、
表示させたい順(**登録順** / **マーク順**)を
タッチする。

：リストに表示されている並び順が替わります。

※タッチするたびに **登録順** ↔ **マーク順** と切り替わります。表示したい順を選択してください。

※表示されているボタン名が現在の並び順を示します。

登録順 …地点が登録された順(古いものから)に表示します。

マーク順 …同じマークのもの同士をまとめて表示します。

(例)登録順で表示



目的地

〔登録地点で地点を探す〕

目的地履歴の中から地点を探す

最近設定した目的地周辺の地図を表示することができます。
一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



3

履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。



4

履歴検索リストより見たい履歴を選択し、
タッチする。

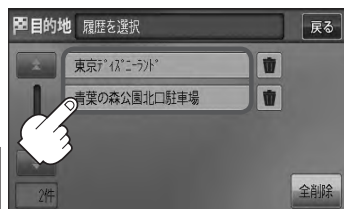
：選択した地点付近の地図画面を表示します。



アドバイス

設定した目的地は、最新のものから順に20か所まで自動的に登録されます。

登録件数が20件を超えると古いものから順に消去されます。



5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

目的地履歴を削除する(1)

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



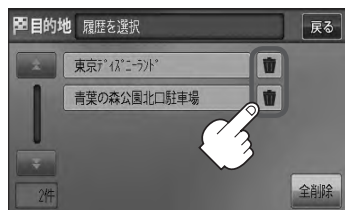
3

履歴 をタッチし、目的地履歴を削除する。



■ 目的地履歴を削除する場合

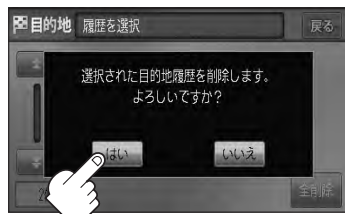
- ① リストから削除したい履歴の **⌵** をタッチする。



- ② 選択した目的地履歴を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

：選択した履歴を削除し、リスト画面に戻ります。

※他にリストに履歴がない場合はサブMENU画面に戻ります。



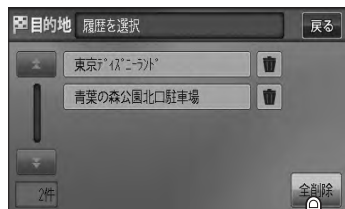
目的地

「目的地履歴の中から地点を探す」／「目的地履歴を削除する」

目的地履歴を削除する(2)

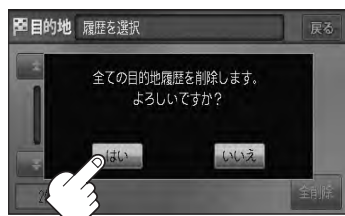
■ 目的地履歴を全削除する場合

① **全削除** をタッチする。



② 全ての目的地履歴を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

：全ての目的地履歴を削除し、トップMENU画面に戻ります。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

地名から地点を探す [50音](1)

地名を入力して地点を探すことができます。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



3

地名 をタッチする。

：地名 50 音入力画面が表示されます。

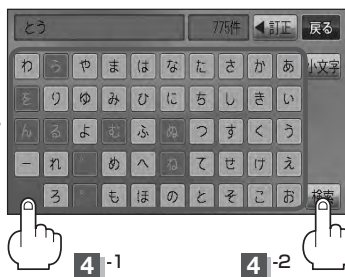


4

文字をタッチして、地名を入力し、**検索** をタッチする。

 入力方法につきましてはB-31を参考にしてください。

：地名リスト画面が表示されます。



アドバイス

- 地名 50 音入力画面には、“地名の一部でも検索できます”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチした文字が表示されます。
- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。例えば「ちゅうおう」や「ちよた」と入力するだけでも検索できますが、名前を正確に入力した方が、リストに表示する地名を絞り込むことができます。
- 入力できない文字は暗くなります。

地名から地点を探す [50音] (2)

5 リストから“地名”を選びタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※ “丁目・字・街区・地番・戸番・枝番” と続く場合は画面に従ってタッチしてってください。

検索方法は「「住所で地点を探す」C-9の手順 **3** を参考にしてください。

※ **×閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

再度設定メニューを表示させるには **設定** をタッチしてください。



都道府県に複数の地名がある場合に **絞り込み** が表示されます。

絞り込み をタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。

6 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

郵便番号で地点を探す

郵便番号簿(ポスタルガイド)等に掲載されている郵便番号から、周辺の地図を表示することができます。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



目的地

3

郵便番号 をタッチする。

：郵便番号入力画面が表示されます。



4

数字をタッチして、郵便番号を入力し、**検索** をタッチする。

☞ 入力方法につきましてはB-33を参考にしてください。

※ 4桁以上の入力が必要です。

：周辺の地図画面が表示されます。

※ **×閉** または地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。再度設定メニューを表示させるには **設定** をタッチしてください。



4-1

4-2

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

〔地名から地点を探す「50音」〕／〔郵便番号で地点を探す〕

緯度・経度で地点を探す

見たい場所の緯度と経度(日本測地系)を入力して地点を探すことができます。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



3

緯度経度 をタッチする。

：緯度・経度(日本測地系)入力画面が表示されます。



4

数字をタッチして、緯度・経度(日本測地系)
〔緯度(北緯)と経度(東経)]を入力し、
検索 をタッチする。

☞ 入力方法につきましてはB-33を参考にしてください。

：周辺の地図が表示されます。

※ **×閉** または地図画面をタッチすると設定メニュー
を閉じることができます。再度設定メニューを表示
させるには、**設定** をタッチしてください。



4-1

4-2

数字入力時、選べない数字は
暗くなります。

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、“指定座標の地図が収録されていません”と表示され入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

マップコードで地点を探す

ガイドブック等に掲載されているマップコードから、周辺付近の地図を表示することができます。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



3

マップコード をタッチする。

：マップコード入力画面が表示されます。



4

数字をタッチして、マップコードを入力し、**検索** をタッチする。

※ 入力方法につきましてはB-33を参考にしてください。

：周辺の地図が表示されます。

※ **×閉** または地図画面をタッチすると設定メニューを閉じることができます。再度設定メニューを表示させるには、**設定** をタッチしてください。



4-1

4-2

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバース

- **MAPPOLE** およびマップコードは株式会社デンソーの登録商標です。

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設等の位置を示すためにガイドブック等に掲載されています。
※ マップコードを掲載したガイドブックは、株式会社JTBパブリッシング社などから出版されています。(平成23年3月現在) 全てのガイドブックにマップコードが掲載されているわけではありません。ガイドブックをお買い上げの際に、ご確認ください。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、「該当するマップコードが収録されていません」と表示され入力画面に戻ります。

* について

マップコード入力後、***** をタッチし2ケタの数字を追加(入力)することで、さらに細かく地点を探すことができます。

目的地

〔緯度・経度で地点を探す〕／〔マップコードで地点を探す〕

地図から地点を探す

表示中の地図から地点を探すことができます。

1

MENU を押す。

2

目的地 → **次へ** をタッチする。



3

地図から をタッチする。

：この画面に入る前の地図を表示します。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

D

ルート

ルート設定について	D-2
ルート探索について	D-3
細街路探索について	D-4
ルート設定の流れ	D-4
1 ルート探索をする	D-6
複数ルートを探索する	D-9
ルートを変更する	D-10
出発地／目的地の変更	D-10
経由地の追加	D-12
経由地の変更／削除	D-14
経由地／目的地など地点の入れ替え	D-15
探索条件の変更	D-15
再探索をする	D-17
迂回探索をする	D-18
ルート案内をストップ／スタートする	D-19
現在の全ルートを表示する	D-20
デモ走行をする	D-21
経由地をスキップする	D-22
現在のルートを保存する	D-23
現在のルートを削除する	D-24
保存したルートの呼び出しをする	D-25
保存したルートの削除をする	D-26
渋滞地点を確認する	D-27

ルート設定について(1)

ルート設定をすると、本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。(この画面をルート案内画面と呼びます。)
この参考ルート上を走ることによって、目的地に到着します。

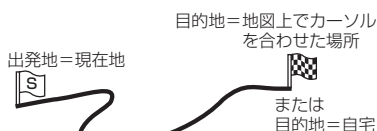
ルート案内画面



ルート設定は、主に以下の方法で行ないます。

クイックルート(クイック機能)探索 B-26

- カーソルを目的地に合わせ **設定** をタッチし、設定メニューを表示させ **目的地セット** をタッチすると、現在地から目的地までの参考ルートが表示されます。
 「クイック機能について」 B-19
 「**現在地から目的地までのルートを探索する**」 B-26
- 現在地表示時に、**MENU** を押してトップMENU画面を表示させ、クイックMENUの **自宅へ帰る** をタッチすると、現在地から自宅までの参考ルートを表示します。
 「**現在地から自宅までのルートを探索する**」 B-27
自宅の登録が必要です。 「自宅を登録する」 B-23

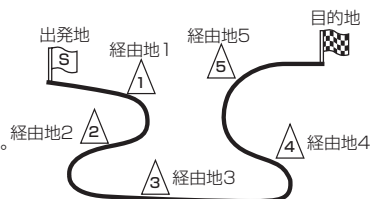


ルート から1ルート探索／複数ルート探索

 D-6、D-9

- ルート編集** から好きな場所を出発地にできます。
- 複数探索を選ぶと、5通りの参考ルートを同時に探索します。
表示されたルートを見て、好きなルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として登録できます。(5か所まで)

※経由地を設定すると複数探索はできません。



目的地 から探索方法を選択してルート探索 C-2

名称／電話／住所／ジャンルなど、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

設定 から探索条件を設定

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

 「ルート探索条件の設定をする」 F-3

※ルート案内中に探索条件を変更した場合、自動で再探索します。



アドバイス

参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制に従って走行してください。

ルート探索について

画面の流れ (例) ルート から探索した場合



- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1 ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、“ルート探索ができません”などと表示し、探索を中止します。この場合は、設定内容(出発地／経由地／目的地)を変更して、出発地と目的地との距離を短くしてください。

例えば、A地点からC地点に行く場合、

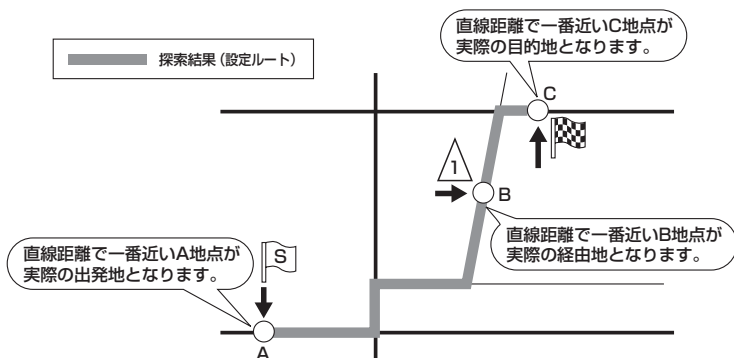
- ① A地点からB地点までのルートを設定して、B地点まで行く。
- ② B地点からC地点までのルートを設定して、C地点まで行く。

というも、1つの方法です。

- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行ないますが、地図上の全ての道路(場所)にこのデータがあるわけではありません。

出発地(🚩)／経由地(△)／目的地(🚩)を登録した地点から直線距離で一番近い探索データのある地点がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

ただし規制等があって道路が通れない場合、出発地(🚩)／経由地(△)／目的地(🚩)を登録した道路を通るルートになるとは限りません。



※有料道路(高速道路、都市高速道路を含む。)と一般道路が接近している地点に登録した場合は、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。

ルート設定について(2)

- 地図ソフトの更新によって収められている探索データが異なり、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、参考ルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に車のエンジンスイッチをO(ロック)に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にすると前回探索途中のルートは中止(削除)されています。

細街路探索について

- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。
※市街地図の収録エリアおよび細街路探索エリアにつきましては、 P-20をご覧ください。
- 細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行なうことができます。
探索されたルートは細街路中では黄色で表示されます。



お願い

狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。
運転の際は現地の状況に従ってください。

ルート設定の流れ(1)

■ 目的地 から探索する場合

目的地を登録する



探索実行

探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探します。



ルート案内開始

※ルート案内を止める場合は 「ルート案内をストップ／スタートする」D-19に従って操作してください。

ルート設定の流れ(2)

■ ルート から探索する場合

目的地を登録する

出発地を登録する

現在地以外の場所を出発地にする場合は、登録が必要です。

経由地を登録する

途中に寄りたい場所や通りたい場所(道)がある場合に登録します。(5か所まで)

探索条件を選ぶ

- **推奨** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先** のどれか1つを選択。
- **軽自動車** / **普通車** / **中型車** のどれか1つを選択。
- **探索開始** (参考ルートを1つ探索する)か
複数探索 (参考ルートを5つ探索して、好きなルートを選ぶ)のどちらかを選択。
※経由地が設定されている場合は **複数探索** は選択できません。
- 自動再探索/フェリーを優先/季節規制考慮/時間規制道路を考慮/スマートICを利用/ルート学習結果を利用/VICS自動再探索/VICS情報を考慮を表示する場合は **する** を選択する。
[F] 「ルート探索条件の設定をする」F-3

探索実行

登録した内容(目的地・出発地・経由地)、探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機が参考ルートを探します。

ルート案内開始

※ルート案内を止める場合は[F] 「ルート案内をストップ/スタートする」D-19に従って操作してください。



アドバイス

- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- ルート探索後、高速道路/フェリー/スマートICを通るルートが設定された場合、音声でお知らせします。設定されたルートを確認し、良い場合は **案内スタート** をタッチしてください。変更したい場合は [F] 「ルートを変更する」D-10または「ルート探索条件の設定をする」F-3を参考に变更してください。
- 有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)と一般道路が接近している地点に、出発地/経由地/目的地を登録すると、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。目的地登録時のみ **現在地** でキャンセルできます。
有料道路上に設定する場合は **有料道路** を、一般道路上に設定する場合は **一般道路** を選び、タッチしてください。
- ジャンルから高速ICの出入口を選択した場合は出入口が反映された地点が表示されます。その地点を登録し、登録地点から表示させルート探索をすると出入口情報は反映されません。画面にメッセージが表示されるので **有料道路** / **一般道路** を選択してください。
- 参考ルートは、必ずしも最短ルートが選ばれるわけではありません。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制に従って走行してください。

ルート

〔ルート設定について〕／〔ルート設定の流れ〕

1 ルート探索をする(1)

1

MENU を押す。

2

目的地 または **ルート** を選択する。

■ 目的地画面から選択する場合

① **目的地** をタッチし、検索方法を選択してタッチする。



■ ルートから選択する場合

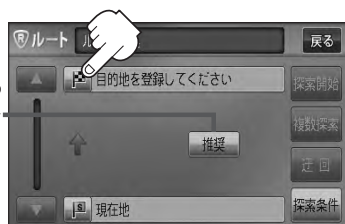
① **ルート** → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



② **目的** をタッチする。

探索条件を変更する
場合はここをタッチ
D-15



この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示させます。

- **目的地付近**：目的地の地図を表示
- **出発地付近**：出発地の地図を表示
- **経由地付近**：経由地の地図を表示
- **現在地付近**：現在地の地図を表示
- **自宅** C-14
- **電話** C-6
- **住所** C-8
- **登録地点** C-21
- **名称** C-2
- **ジャンル** C-12
- **履歴** C-24
- **周辺施設** C-15
- **マップコード** C-31
- **地図から** C-32
- **地名** C-27
- **郵便番号** C-29
- **緯度経度** C-30

3

目的地を設定する。

■ 表示された目的地で良い場合

- ① **設定** をタッチし、設定メニューを表示させ **目的地セット** をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合

- ① **目的地セット** をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

- ① **×閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。



- ② カーソル(—|—)を目的地に合わせる。

- ③ **設定** をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



- ④ **目的地セット** をタッチする。



- **目的地** から探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。
- **ルート** から探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。**探索開始** をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。

ルート

「ルート探索をする」

1 ルート探索をする(2)

4

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。



※探索条件を変える場合は、**[MENU]** を押してトップMENU画面を表示させ、クイックMENUの **再探索** をタッチし、表示された探索条件の中から選択します。



アドバイス

- 到着予想時刻は走行速度の設定によって異なります。**[F-2]**「平均速度を設定する」
- 有料道路を優先しない設定にしている場合、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 目的地** から探索して目的地を登録するとき、選択した場所に「出入口情報」や「提携駐車場情報」などの到着地点情報がある場合はメッセージが表示されます。**[はい]** を選択すると情報リスト画面が表示され、リストを選択すると情報画面を表示して情報の確認をすることができます。
[いいえ] を選択すると、ルート探索を開始します。
- ルート案内を止める場合は **[F-19]**「ルート案内をストップ/スタートする」D-19に従って操作してください。
- ルート案内の設定で“全ルートを表示”を **する** に設定している場合、上記手順 **4** で **別ルート** が表示されます。**別ルート** をタッチすると、複数ルート探索を開始します。経由地を設定している場合は、**別ルート** は、暗くなります。
[F-13]「**全ルートの表示を設定する場合**」

複数ルートを探索する

ルート設定した後、表示されたルートの中から(“推奨”“有料優先”“一般優先”“距離優先”“道幅優先”)お好みのルート案内を開始することができます。

※複数ルート探索はトップMENUの **ルート** より操作します。

1

MENU を押す。

2

ルート → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



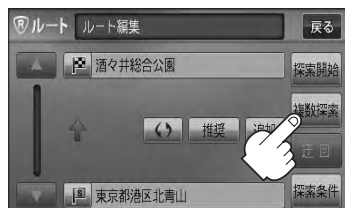
3

複数探索 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。



複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。経由地を設定した場合、“複数探索”はできません。



4

探索条件(**推奨** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先**)をタッチして
ルートを確認する。

：有料道路は青、一般道路はピンク／緑で表示されます。

目的地までのおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「---円」と表示されます。)

このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
[📄]「現在の全ルートを表示する」D-20



5

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。



- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
[📄]「地図スクロール(地図を動かす)」B-12
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。[📄]「平均速度を設定する」F-2
- 有料道路を優先しない設定にしている場合、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。
- 有料道路を優先する設定にしている場合、有料道路を使用しないルート探索をすることもあります。
- 出発地(現在地)または目的地の変更や出発地と目的地の入れ替えなどは手順 **3** で「複数探索」をタッチする前に設定できます。[📄]「ルートを変更する」D-10
- 探索条件については[📄]「探索条件の変更」D-15 / 「ルート探索条件の設定をする」F-3をご覧ください。

ルート

「1ルート探索をする」／「複数ルートを探索する」

ルートを変更する(1)

設定したルートを変更して、新しいルートを探索することができます。

出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。

1

MENU を押す。

2

ルート → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



出発地／目的地の変更

出発地や目的地を変更することができます。

3

S または **旗** をタッチする。

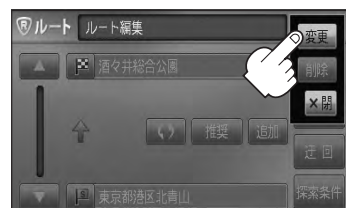
：吹き出しが表示されます。



4

変更 をタッチする。

：出発地または目的地設定画面が表示されます。



5

表示された MENU から、出発地または目的地を探す方法を選択してタッチする。

D-6



6

出発地または目的地を設定する。

■ 表示された出発地または目的地で良い場合

- ① **設定** をタッチし、設定メニューを表示させ **出発地セット** / **目的地セット** をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された出発地または目的地で良い場合

- ① **出発地セット** / **目的地セット** をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、出発地または目的地の位置調整をする場合

- ① **×閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

設定メニューの **周辺検索** をタッチして出発地を探すこともできます。 [P C-15]

- ② カーソル(—|—)を目的地に合わせる。

- ③ **設定** をタッチする。

: 設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

- ④ **出発地セット** / **目的地セット** をタッチする。

: ルート編集画面に戻ります。



微調整 ボタン
[P B-14]



ルート

（ルートを変更する）

ルートを変更する(2)

7

ルート探索を開始する場合は、**探索開始**／**複数探索**を選択しタッチする。

■ **探索開始**を選択した場合

：ルート探索が完了し、**案内スタート**をタッチすると、ルート案内を開始します。

■ **複数探索**を選択した場合

：ルート探索が完了すると、5つのルートの選択画面になります。好きなルートを選択し、**案内スタート**をタッチすると、ルート案内を開始します。



アドバイス

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、**複数探索**は選択できません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。[F-2]「平均速度を設定する」F-2
- 有料道路を優先しない設定にしている場合、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。

経由地の追加

経由地を追加することができます。追加方法は、ルート編集画面または目的地画面から設定できます。

1

追加方法を選択する。

■ ルート編集画面から追加する場合

- ① D-10手順**1**、**2**に従って操作し、追加する場所の**追加**をタッチする。

：経由地設定画面が表示されます。

- ② 表示されたMENUの中から、経由地を探す方法を選択し、タッチする。

[D-6]

出発地と目的地の間に追加する場合



■ ルート案内中に目的地画面から追加する場合

① **MENU** を押す。

：トップMENU画面が表示されます。

② **目的地** をタッチし、表示されたMENUの中から検索方法を選択し、タッチする。

☞ D-6

※経由地の位置を調整する場合は、地図をスクロールさせて経由地の地図を表示させてください。

☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-12



2

経由地を設定する。

■ 表示された経由地で良い場合

① **設定** をタッチし設定メニューを表示させ、**経由地セット** をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合

① **経由地セット** をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合

① **×閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。

カーソルを経由地に合わせたら **設定** をタッチし設定メニューを表示させ、**経由地セット** をタッチする。

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

※ルート編集画面が表示された場合はD-12手順 **7** へ、経由地追加画面が表示された場合は下記手順 **3** へ進んでください。



3

追加する場所の **追加** をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。



ルートを変更する(3)

4

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。



アドバイス

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- 経由地は5か所まで登録できます。また、すでに通過した区間には経由地を登録することはできません。
- 地図画面または **目的地** から経由地を追加する場合、ルート案内を停止していると **経由地セット** は表示されません。

経由地の変更／削除

経由地を変更または削除することができます。

1

D-10手順 **1**、**2** に従って操作し、
変更／削除する経由地の  をタッチする。

：吹き出しが表示されます。



2

変更または削除する。

■ 変更する場合

- ① **変更** をタッチし、新しい経由地を設定する。

設定方法につきましては、 「**経由地の追加**」D-12
を参考にしてください。



■ 削除する場合

- ① **削除** をタッチする。

：地点を削除し、ルート編集画面に戻ります。



アドバイス

変更または削除の操作を中止する場合は、**×閉** を
タッチしてください。



経由地／目的地など地点の入れ替え

地点の入れ替えをすることができます。

- 1 D-10手順 **1**、**2** に従って操作し、入れ替えたい場所の  をタッチする。



すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

経由地 1 と目的地を入れ替える場合



探索条件の変更

探索条件を変更することができます。

- 1 D-10手順 **1**、**2** に従って操作し、変更する場所の **推奨** をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地 1 までの探索条件を変更する場合



探索条件 をタッチして探索条件の変更をすることもできます。

 「ルート探索条件の設定をする」F-3

ルート

（ルートを変更する）

ルートを変更する(4)

2

探索条件(**推奨** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先**)を選択し、タッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、**×閉** をタッチしてください。



設定できる探索条件

- 推奨** : 高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探します。
- 有料優先** : 高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。
- 一般優先** : 国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。
- 距離優先** : 走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索します。
- 道幅優先** : なるべく道幅が広いところを優先的に探索します。



アドバイス

- **距離優先** を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- **距離優先** で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

再探索をする

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索するように初期設定されていますが(図F-3)、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で、現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

1

MENU を押す。

2

再探索 をタッチする。

：探索条件選択画面が表示されます。



3

探索条件(**推奨** / **有料優先** / **一般優先** / **距離優先** / **道幅優先**)を選択し、タッチする。

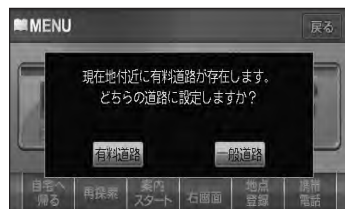
：再探索後、ルート案内画面が表示されます。

※探索を中止する場合は、**×閉** をタッチしてください。



アドバンス

- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を登録している場合、選択した探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行なってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。
- 自車位置によっては、探索条件選択後に一般道路/有料道路を設定することができます。



ルート

〔ルートを変更する〕／〔再探索をする〕

迂回探索をする

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1

MENU を押す。

2

ルート → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



3

迂回 をタッチする。

：迂回距離選択画面が表示されます。



4

迂回距離(**1km迂回** ／ **2km迂回** ／
5km迂回 ／ **10km迂回**)を選択し、
タッチする。

：選択した距離の迂回ルートを再探索します。



アドバイス

- 保存ルート呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。(すでに通過している経由地は除く。)

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ないときは、音声案内と画面表示を一時的に止めたり、設定したルートの案内を再び開始させることができます。

※一度もルート探索をしていない場合は選択できません。

 D-6

1

MENU を押す。

2

ルート をタッチし、ルート案内を停止または開始する。

■ ルート案内を止める場合

① **案内ストップ** をタッチする。

：ルート案内を停止し、地図画面が表示されます。



■ ルート案内を開始する場合

① **案内スタート** をタッチする。

：前回ルート探索したルート案内を開始します。



アドバイス

●クイックMENUの **案内ストップ** ／ **案内スタート** でも案内をストップ／スタートすることができます。

 「クイック機能について」B-19

●ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートと呼ばひ出したりするまでは保存されています。

ルート

〔迂回探索をする〕／〔ルート案内をストップ／スタートする〕

現在の全ルートを表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

1

MENU を押す。

2

ルート → **全ルート表示** をタッチする。

：全ルート画面が表示されます。



詳細情報 をタッチすると、
設定したルートの道路の種類や案内区間の距離を確認することができます。

戻る をタッチすると、
1つ前の画面に戻ります。

現在地から目的地までのおおよその距離(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示します。一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「—円」と表示されます。)

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。



案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

☞ D-12



アドバイス

- 地図表示が3Dビューのときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- ルートの一部が画面内に入りきらない場合があります。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
☞ 「地図スクロール(地図を動かす)」B-12
- 現在のルートに有料道路がある場合は、その目的地までの合計料金も表示されます。ただし、一部の有料道路等で料金不明な場合は「—円」と表示されます。
☞ 「料金表示について」F-5アドバイス内
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。
- デモ走行(☞ D-21)、ルート情報(☞ F-14)、音声案内(☞ A-26)など、ルート案内走行を助ける様々な機能もあります。
- 設定ルートの色(ピンク/緑)を選ぶことができます。
※ どちらを選んだ場合も、有料道路は青色になります。
☞ 「ルート案内画面の設定をする」F-13

デモ走行をする

設定したルートを表示し、地図上でそのルートを確認することができます。(これをデモ走行と呼びます。))ルート情報表示(☞ F-14)、音声案内(☞ A-26)をすることもでき、出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。

1

MENU を押す。

2

ルート → **全ルート表示** をタッチする。

：全ルート画面が表示されます。



3

デモ走行 をタッチする。

：デモ走行が開始されます。



4

デモ走行を終えるには **デモ走行中止** をタッチ
または **MENU** を押す。



アドバイス

- デモ走行時、交差点拡大をしない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／現在地(自車)マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- 細街路の音声案内はデモ走行時のみとなります。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(軌跡の表示はしません)
- デモ走行中に **×** をタッチすると、JCT、交差点拡大表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **1** をタッチしてください。
- 上記手順 **3** で **詳細情報** をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
- デモ走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。

ルート

(現在の全ルートを表示する)／(デモ走行をする)

経由地をスキップする

ルート案内時、経由地を設定している場合、検索した経由地に立ち寄る必要がなくなったときなど、経由地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

※この機能は通過していない経由地がある場合に選択できます。

1

MENU を押す。

2

ルート → **経由地スキップ** をタッチする。

：経由地を通過済みにしていいかどうかのメッセージが表示されます。

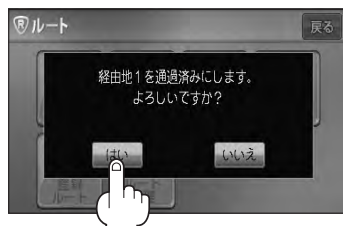


3

はい をタッチする。

：ルートが再探索され、ルート案内画面に戻ります。

※経由地を通過済みにしない場合は、**いいえ** をタッチすると、サブMENU画面に戻ります。



アドバイス

経由地のスキップは、次の経由地がスキップ(通過済み)されます。

現在のルートを保存する

設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。保存したルート（登録ルート）は、再び呼び出すことができます。☞「保存したルートの呼び出しをする」D-25

1

MENU を押す。

2

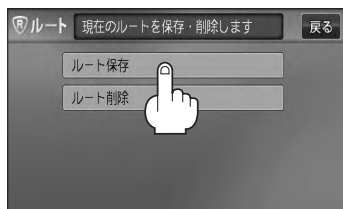
ルート → **ルート管理** をタッチする。



3

ルート保存 をタッチする。

：“このルートを保存しました。”と表示されます。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

- ルート設定後、次のルートを探索したり、ルートの変更後再探索をしたり、保存ルートを読み出ししたりすると、そのルートは、自動的に消去されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 上記手順 **3** で、すでに設定したルートの地点と探索条件が20件保存されている場合は、“登録可能件数を超過しました。不要な登録内容を削除してください。”と表示されます。**ルート** → **登録ルート** をタッチし、不要な登録内容を削除してください。
☞「保存したルートの削除をする」D-26

ルート

（経由地をスキップする）／（現在のルートを保存する）

現在のルートを削除する

1

MENU を押す。

2

ルート → **ルート管理** をタッチする。

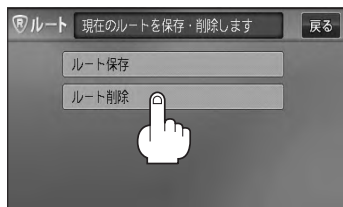


3

ルート削除 をタッチする。

：現在のルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとルートを削除し、サブMENU画面に戻ります。

※ルート削除しない場合は、**いいえ** をタッチしてください。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバース

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

保存したルート呼び出しをする

保存したルートを読み出して、ルート検索をすることができます。

※現在ルートを表示している場合は、そのルートは削除され、この呼び出したルートが表示されます。

あらかじめルートを作成しておきます。☞「現在のルートを作成する」D-23

1

MENU を押す。

2

ルート → **登録ルート** をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。



3

呼び出したいルートを選択する。

■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを変更していいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとルート検索を開始し、探索後 **案内スタート** をタッチすると、案内を開始します。

■ ルートがない場合

：ルート検索を開始します。ルート検索が完了すると全ルートが表示され **案内スタート** をタッチするとルート案内を開始します。

※保存したときの探索条件でルート検索されます。



ルート

〔現在のルートを変更する〕／〔保存したルートの呼び出しをする〕

保存したルート削除をする

保存したルートを削除することができます。

あらかじめルートを保存しておきます。☞「現在のルートを保存する」D-23

1

MENUを押す。

2

ルート → **登録ルート** をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。



3

削除したいルートの **🗑** をタッチする。

：登録ルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチします。登録ルートリスト画面に戻ります。

※登録ルートを削除しない場合は、**いいえ** をタッチしてください。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 現在地表示画面で **VICSタイムスタンプ** をタッチする

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。



2 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバース

- ルート上に渋滞／規制がない場合／情報が取得できない場合、**VICSタイムスタンプ** をタッチしても表示されません。音声案内のみとなります。

- 渋滞地点は現在地から前方 10km 以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。

- ルート案内を停止している場合、**VICSタイムスタンプ** は選択できません。

また、FM 多重の番組設定を“一般情報番組を受信します”*にしている場合も選択できません。

* 印… **VICSタイムスタンプ** が一般情報スタンプ(“FM一般”)表示時

 「ルート案内をストップ／スタートする」D-19

 「受信する情報を選ぶ」E-10

ルート

〔保存したルートの削除をする〕／〔渋滞地点を確認する〕

E 情報

情報

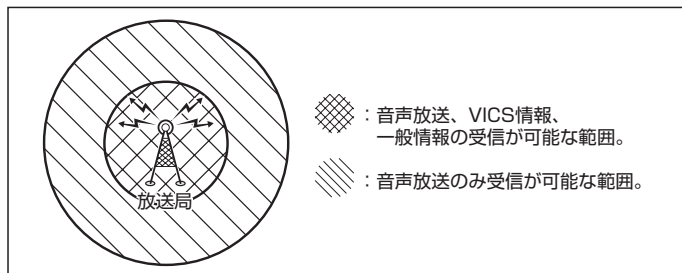
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信 について	E-2
交通情報(VICS情報)について	E-3
VICS情報の更新に伴う表示変更について	E-4
交通情報(VICS情報)とは	E-5
表示について	E-5
マーカー一覧表	E-7
VICS放送局	E-7
一般情報について	E-8
一般情報とは	E-8
表示について	E-8
一般情報の内容(番組)について	E-8
一般情報放送局	E-8
交通情報／一般情報の操作の流れ	E-9
情報の消去について	E-9
受信する情報を選ぶ	E-10
交通情報(文字情報)／一般情報を見る	E-11
交通情報(図形情報)を見る	E-13
緊急情報を見る	E-14
緊急情報について	E-15
交通情報／一般情報を選局する	E-16
自動選局	E-16
自動選局を止める	E-17
手動選局	E-18
エリア選局	E-19
プリセット(保存)する	E-20
プリセット(保存)呼び出しをする	E-21
プリセット(保存)の上書きをする	E-22
エコドライブ情報を設定する	E-23
エコドライブ設定をする	E-25
評価履歴を見る	E-26
グラフ表示で見る	E-26
評価履歴を削除する	E-27
軌跡を使う	E-29
登録地点の編集／見る	E-31
登録地点を並び替える	E-36
自宅／登録地点の地図を呼び出す	E-38
自宅／登録地点を削除する	E-39
ETC情報を見る	E-41
QQコールを利用する	E-43
QQコールとは	E-43
QQコールを利用するまでの流れ	E-43
QQコールを表示する	E-44

交通情報(VICS 情報)／一般情報の受信について

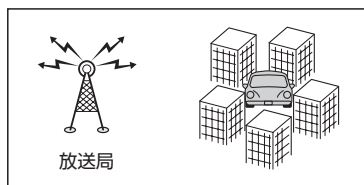
- 電波が強くなければ、これらの情報は受信できません。
従って、受信できるエリアも、音声放送に比べ、かなり狭い範囲に限られます。

解説

VICS 情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FM ラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。デジタルデータは、正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ、受信できません。従って、お手持ちのラジオで、FM ラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくる VICS 情報、一般情報は受信できない場合があります。VICS 情報、一般情報が受信できるエリアの目安は、音声放送が受信できる限界の距離の約半分の距離です。



- 放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。

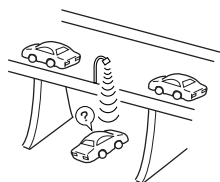


- すべての FM ラジオ放送局で VICS 情報、一般情報を放送しているわけではありません。
情報を放送している放送局については、 **VICS 放送局** JE-7 /  **一般情報放送局** JE-8 をご覧ください。

交通情報(VICS情報)について(1)

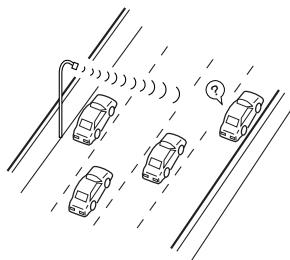
＜一般道路走行中には＞

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。



＜高速道路走行中には＞

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



交通情報(VICS 情報)について(2)

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。

本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。



アドバース

表示されるFM VICS 情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS 情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、「**VICSの概要**」P-24をご覧ください。

交通情報(VICS情報)とは

FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1～レベル3)を放送している局*があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

*印…本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。

📖 「VICSの概要」P-24

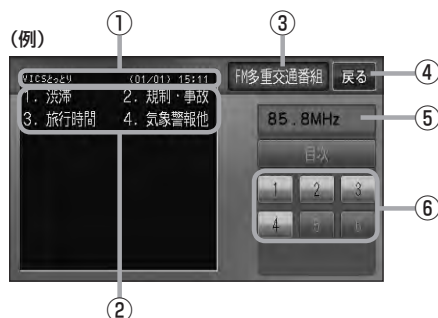
表示について

交通情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

レベル1(文字)表示

※表示内容は更新(変更)される場合があります。



① ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 表示内容

③ 受信中の情報

表示中の情報が交通情報であることを示します。

④ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑤ 受信中の周波数

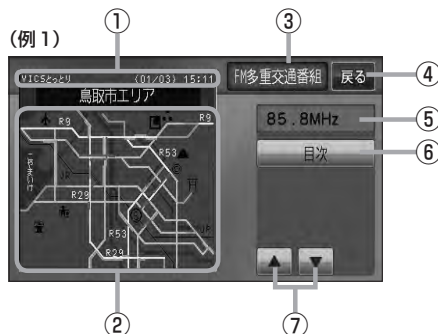
⑥ 表示内容選択ボタン



アドバイス

各ページは、ヘッダー文(1行)と表示内容(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。

レベル2(簡易図形)表示



① ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑

※渋滞方向を矢印で表示します。

③ 受信中の情報

表示中の情報が交通情報であることを示します。

④ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑤ 受信中の周波数

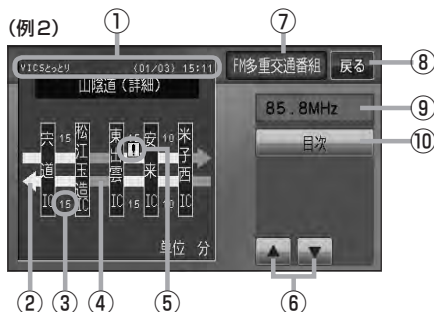
⑥ 目次 ボタン

目次画面に戻ります。

⑦ ▲ / ▼ ボタン(ページ戻し/送り)

※2ページ以上ページがある場合に表示されます。暗い項目は、選べません。

交通情報(VICS 情報)について(3)



① ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

- ② 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

- ③ 矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)
この例の場合は、松江玉造ICから穴道ICまで、約15分かかると示しています。

④ 渋滞情報

矢印方向の渋滞状況を示します。

赤色：渋滞 橙色：混雑

⑤ VICS 情報マーク

「マーク一覧表」E-7

⑥ ▲ / ▼ ボタン(ページ戻し/送り)

※2ページ以上ページがある場合に 표시됩니다。

⑦ 受信中の情報

表示中の情報が交通情報であることを示します。

⑧ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑨ 受信中の周波数

⑩ 目次 ボタン

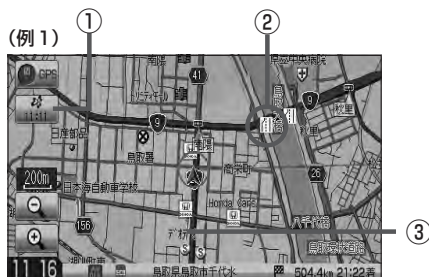
目次画面に戻ります。



アドバイス

渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。

レベル3(地図)表示



(例2)



① VICS タイムスタンプ ボタン

- 交通情報の提供時刻を表示します。

※表示可能なレベル3情報がない時は“—：—”を表示します。

※一般情報を受信する設定になっている場合は、表示されません。

- ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制を確認することができます。

「渋滞地点を確認する」D-27

② VICS 情報マーク

「マーク一覧表」E-7

③ 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑 緑色：渋滞なし 黄色：規制

※渋滞の方向を矢印で表示します。

→：交通情報

④ マーク詳細情報

VICS 情報マークにカーソル(→)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。



アドバイス

- 縮尺によってはレベル3表示できません。

レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。

情報提供時刻が表示されている時(“—：—”表示ではない時)に、レベル3が表示できます。

受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

マーク一覧表

交通情報によっては、下記のマークが表示されます。

※下記マークは一例です。

事故 	凍結 	チェーン規制 	駐車場(混雑)  (橙)	車線規制 	入り口制限 	速度規制40km/h 	速度規制80km/h 
故障車 	作業 	進入禁止 	駐車場(不明)  (黒)	徐行 	速度規制10km/h 	速度規制50km/h 	
路上障害 	通行止め/閉鎖 	駐車場(空)  (青)	駐車場(閉) 	入り口閉鎖 	速度規制20km/h 	速度規制60km/h 	
工事 	片側交互通行 	駐車場(満)  (赤)	対面通行 	大型通行止め 	速度規制30km/h 	速度規制70km/h 	

VICS放送局

●平成23年4月1日現在、開局されている放送局は次のとおりです。

VICS旭川(85.8MHz)、VICS札幌(85.2MHz)、VICS函館(87.0MHz)、VICS北見(86.0MHz)、VICS仙台(82.5MHz)、VICS福島(85.3MHz)、VICS前橋(81.6MHz)、VICSさいたま(85.1MHz)、VICS宇都宮(80.3MHz)、VICS水戸(83.2MHz)、VICS東京(82.5MHz)、VICS千葉(80.7MHz)、VICS横浜(81.9MHz)、VICS長野(84.0MHz)、VICS新潟(82.3MHz)、VICS甲府(85.6MHz)、VICS静岡(88.8MHz)、VICS金沢(82.2MHz)、VICS名古屋(82.5MHz)、VICS岐阜(83.6MHz)、VICS津(81.8MHz)、VICS大津(84.0MHz)、VICS奈良(87.4MHz)、VICS京都(82.8MHz)、VICS大阪(88.1MHz)、VICS和歌山(84.7MHz)、VICS神戸(86.5MHz)、VICS岡山(88.7MHz)、VICS広島(88.3MHz)、VICS山口(85.3MHz)、VICS高松(86.0MHz)、VICS松山(87.7MHz)、VICS徳島(83.4MHz)、VICS福岡(84.8MHz)、VICS大分(88.9MHz)、VICS熊本(85.4MHz)、VICS宮崎(86.2MHz)、VICS高知(87.5MHz)、VICS佐賀(81.6MHz)、VICS長崎(84.5MHz)、VICS鹿児島(85.6MHz)、VICS沖縄(88.1MHz)、VICS福井(83.4MHz)、VICS富山(81.5MHz)、VICS山形(82.1MHz)、VICS秋田(86.7MHz)、VICS青森(86.0MHz)、VICS松江(84.5MHz)、VICS鳥取(85.8MHz)、VICS盛岡(83.1MHz)、VICS釧路(88.5MHz)

※交通情報は、NHK-FM放送局の電波の一部を使用して放送されています。

上記の周波数は親局のものです。これら親局の中継局でも、交通情報を受信できます。



アドハイス

- VICSのサービスエリア外の地域やトンネルの中など電波の届きにくい場所、電波状況の悪い場合などは、交通情報の受信が困難になったり、情報がそろわないに時間がかかることがあります。
- VICS放送局の情報提供時間は、24時間です。ただし、メンテナンス作業のために午前1時～午前5時までは放送を休止する場合がありますので、この間は、交通情報は受信できません。

一般情報について

一般情報とは

FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*があります。本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。

*印…本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。

表示について



① ヘッダー文

放送局名、番組名、ページなどを表示します。

② 表示内容

③ 受信中の情報

表示中の情報が一般情報であることを示します。

④ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑤ 受信中の周波数

⑥ 表示内容選択ボタン

⑦ ▼ / ▲ ボタン

画面送り／戻しをします。



アドバンス

各ページは、ヘッダー文(1行)と表示内容(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

一般情報の内容(番組)について

1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。(「表示について」上記)

番組は大きく次の2つに分けられます。

● 連動情報番組(番組情報チャンネル)

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。

● 独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテインメントチャンネルなど)

FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行なう場合もあります。

※番組の名称、数、内容等は、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

一般情報放送局

一般情報放送局(民放FM放送局)にはJFN系列／JFL系列／独立局などがあります。

一般番組情報を受信する設定にしている場合は、現地周辺の最新エリアの放送局を受信します。



アドバンス

- 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信することはできません。
- 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
- 一般情報は、親局の中継局でも受信できます。

交通情報／一般情報の操作の流れ

本機では、FM多重放送を使って提供される交通情報(VICS)と一般情報(各放送局が独自に製作して放送している文字情報)を表示することができます。

1 受信する情報を選択する。

■ 交通情報を表示する場合

- ① **交通情報番組(VICS)を受信します** をタッチする。

■ 一般情報を表示する場合

- ① **一般情報番組を受信します** をタッチする。

 「受信する情報を選ぶ」 E-10

2 手順1で選んだ情報を放送している放送局を受信する。

 「交通情報／一般情報を選局する」 E-16



よく使う放送局は、プリセット(保存)しておくと便利です。

 「プリセット(保存)する」 E-20

3 見たい情報を表示させる。

■ 交通情報を表示する場合

 「交通情報(文字情報)／一般情報を見る」 E-11

 「交通情報(図形情報)を見る」 E-13

 「緊急情報を見る」 E-14

 「VICS表示の設定をする」 F-34

■ 一般情報を表示する場合

 「交通情報(文字情報)／一般情報を見る」 E-11

 「緊急情報を見る」 E-14

情報の消去について

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にしたり、受信周波数が変わったり、変えたりした場合に受信した情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間を経過した。(交通情報の場合)
- 受信する情報(交通情報／一般情報)を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。(たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。)

受信する情報を選ぶ

受信する情報を設定します。

1

MENU を押す。

2

情報 → **FM多重** をタッチする。



3

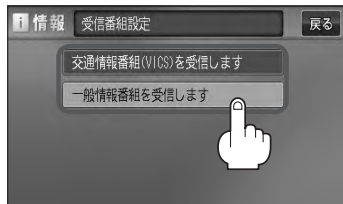
受信番組設定 をタッチする。

: 受信番組設定画面が表示されます。



4

受信する情報(**交通情報番組(VICS)**を受信します
／ **一般情報番組を受信します**)をタッチする。



5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

- 交通情報番組を受信する設定をしているときは、**VICSタイムスタンプ** に、交通情報提供時刻を表示します。一般情報番組を受信する設定をしているときは、**VICSタイムスタンプ** が、一般情報スタンプ(“FM一般”)の表示に変わります。
- 交通情報番組を受信する設定をしているときは、一般情報を放送している放送局を受信しても、一般情報は受信しません。同様に一般情報番組を受信する設定をしているときは、VICS放送局(交通情報を放送している放送局)を放送している放送局を受信しても、交通情報は受信しません。
- 交通情報番組を受信する、一般情報番組を受信する設定にただけでは、各情報を表示することはできません。[E-9]「交通情報／一般情報の操作の流れ」E-9

交通情報(文字情報)／一般情報を見る(1)

1

E-10手順**1**～**4**に従って操作し、受信する情報を設定する。

2

MENUを押す。

3

情報 → **FM多重** をタッチする。



4

文字情報 をタッチする。

：FM多重の目次画面が表示されます。



5

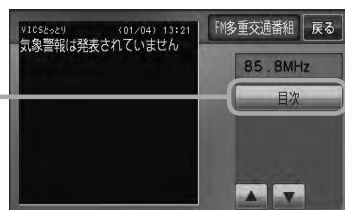
見たい情報の番号をタッチする。

選択画面が続く場合は、▼をタッチしてください。

(例)交通情報(文字情報)の目次画面
(“4. 気象警報他”を見る場合)



2ページ以上ある場合は、画面を送って、
見たい情報のある画面を表示してください。
※ページ数が表示されない番組もあります。



目次に戻るとき、タッチします。

※一般情報の場合、目次データが受信できていない
場合は“情報の受信中です。”と表示します。目次
データが受信できると、目次画面を表示します。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書きかえます。

情
報

〔受信する情報を選ぶ〕／〔交通情報／一般情報を見る〕

交通情報(文字情報)／一般情報を見る(2)

6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

- 一般情報の場合、手順 **1** ～ **3** (E-9) の操作をした後、目次画面ではなく、連動情報番組 (E-8) が表示されることがあります。目次データは受信できないが、連動情報番組データを受信できた場合に表示されます。他の番組を見たい場合は、しばらく待って、**目次** をタッチしてみてください。
- 表示内容は更新(変更)される場合があります。

交通情報(図形情報)を見る

1

“交通情報番組(VICS)を受信する”設定にする。

 「受信する情報を選ぶ」E-10

 「交通情報／一般情報を選局する」E-16

2

MENU を押す。

3

情報 → **FM多重** をタッチする。



4

図形情報 をタッチする。

：FM多重の目次画面が表示されます。



5

見たい情報の番号をタッチする。

選択画面が続く場合は、 をタッチしてください。

(例) 図形情報の目次画面



※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書きかえます。

6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバース

FM多重の **図形情報** は、**受信番組設定画面** → **一般情報番組を受信します** に設定している場合は暗くなり
ます。

情報

〔交通情報／一般情報を見る〕／〔図形情報を見る〕

緊急情報を見る

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。

1 E-10手順**1**～**4**に従って操作し、受信する情報を設定する。

2 **MENU** を押す。

3 **情報** → **FM多重** をタッチする。



4 **緊急情報** をタッチする。

※情報を受信していないときは、
ボタンは暗くなります。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、
自動的に情報を書きかえます。



5 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地表示時に受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
※約 15 秒後には、緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、**戻る** をタッチして、現在地表示に戻すこともできます。
- 交通情報(文字情報／図形情報)表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、**戻る** をタッチすると、MENUに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには、**E-14**に従って、FM多重の**緊急情報** をタッチしてください。



アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えません。**E-14**に従って、**緊急情報** をタッチすると、表示されます。
※ 情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。

E-9「情報の消去について」

- 交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。
- 緊急情報表示を止める場合は、**現在地** を押してください。

情報

〔緊急情報を見る〕

交通情報／一般情報を選局する(1)

交通情報を見るには、VICS放送局(「 E-7)を受信してください。

また、一般情報を見るには、一般情報放送局(「 E-8)を受信してください。選局には、

自動選局、**手動選局**、**エリア選局**の3つの方法があります。



アドバース

受信した放送局をプリセット(保存)しておくと、後で呼び出すことができます。

「 プリセット(保存する)」E-20

自動選局

自動選局に設定すると、受信中の電波が弱くなった場合、自動的に電波の強い周波数に切り替わります。

1

MENU を押す。

2

情報 → **FM多重** をタッチする。



3

周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。



4

自動選局 をタッチする。

：表示灯が点灯します。

周波数設定画面



自動選局機能が働いていることを示します。 受信中の放送局名と周波数

サーチ完了



サーチ中



自動選局表示に 選択時表示灯点灯 変わった。

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局(LEF E-18)またはエリア選局(LEF E-19)を試してみてください。

自動選局を止める

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り替わります。自動選局を止める(周波数が自動的に切り替わるのを止める)場合は、**自動選局** をタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に替えてください。

交通情報／一般情報を選局する(2)

手動選局

手動で周波数を合わせることができます。

1

MENU を押す。



2

情報 → **FM多重** をタッチする。

3

周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

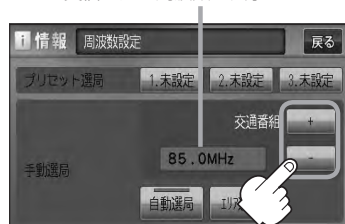


4

+ / **-** をタッチし、
受信したい周波数を表示させる。

※ **+** をタッチすると、0.1MHzアップ、長めにタッチすると始めは0.1MHzアップし、その後1MHzずつアップする。
- をタッチすると、0.1MHzダウン、長めにタッチすると始めは0.1MHzダウンし、その後1MHzずつダウンする。

ここに受信したい周波数を表示させる。



5

戻る をタッチする。



手順 4 で表示させた周波数に変わります。

6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

エリア選局

現在地周辺のFM放送局リストが表示され、選択した放送局を受信します。



電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。【**手動選局**】E-18

1

MENU を押す。

2

情報 → **FM多重** をタッチする。



3

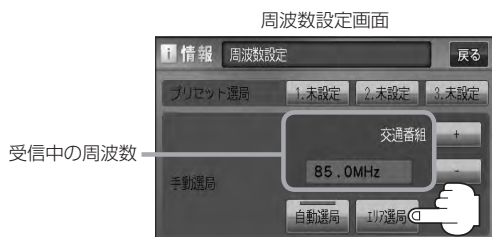
周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。



4

エリア選局 をタッチする。



5

受信する放送局を選択し、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト



これを受信する場合



リストで選んだ放送局を受信します。

6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

情報

〔交通情報／一般情報を選局する〕

プリセット(保存)する

放送局を3局までプリセット(保存)できます。

1

プリセットしたい放送局を受信する。
(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)

☞ 「交通情報／一般情報を選局する」E-16



アドバイス

自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。

☞ 「(自動選局を止める)」E-17

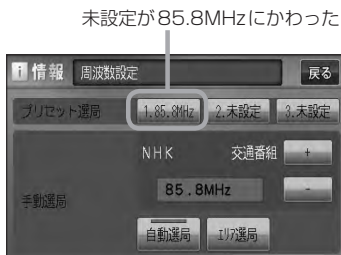
2

保存する場所(**1.未設定** ／ **2.未設定** ／ **3.未設定**)を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 **1.未設定** に保存する場合



1.5秒以上
タッチする



3

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

上記手順 **2** で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。☞ 「プリセット(保存)の上書きをする」E-22

プリセット(保存)呼び出しをする

プリセット(保存)した放送局を呼び出すことができます。

1

MENU を押す。

2

情報 → **FM多重** をタッチする。

：FM多重画面が表示されます。



3

周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。



4

呼び出す周波数を選択して、タッチする。

例 **83.8MHz** を呼び出す場合



85.8MHzが83.8MHzにかわった

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

情報

プリセット(保存)する／プリセット(保存)呼び出しをする

プリセット(保存)の上書きをする

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

1

MENU を押す。

2

情報 → **FM多重** をタッチする。



3

周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。



4

新しい放送局を呼び出す。

 「交通情報／一般情報を選局する」E-16

5

上書きしたい場所を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 **1. 85.8MHz** に上書きする場合



→
1.5秒以上
タッチする



6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

エコドライブ情報を設定する(1)

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(エコドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。

1

MENU を押す。

2

情報 → **エコドライブ** をタッチする。

：エコドライブ情報画面が表示されます。

※ 1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

評価レベル……初級で評価した場合、マークを表示

急加速 ………急に加速した回数

急減速 ………急に減速した回数

エコ速度……規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください)

アイドリング…車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

総合評価……総合評価をA～Eの5段階で判定

※この評価は本機独自の評価です。1つのバーに葉が3枚表示され、5つのバー全てに葉が表示された場合はA、4つの時はB、3つの時はC、2つの時はD、1つの時はE評価です。バーに表示される葉の数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。



(例)エコドライブ情報画面



メッセージがスクロールされます。

総合評価をバーで表示



エコドライブ情報画面では

評価履歴を見たり、削除することができます。

【 E-26

エコドライブの結果を、グラフにて確認することができます。【 E-26

「プリセット(保存)の上書きをする」

情報

「エコドライブ情報を設定する」

エコドライブ情報を設定する(2)

3 エコドライブ評価を中止／開始する。

■ エコドライブ評価を開始する場合

エコドライブ評価開始 をタッチする。

：エコドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の

ECD マークを表示します。

(例)エコドライブ情報画面



■ エコドライブ評価を止める場合

エコドライブ評価中止 をタッチする。

：エコドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の

ECD マークが消えます。

(例)エコドライブ情報画面



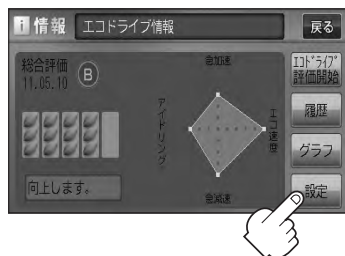
4 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

エコドライブ設定をする

1 E-23手順**1**、**2**に従って操作し、**設定**をタッチする。

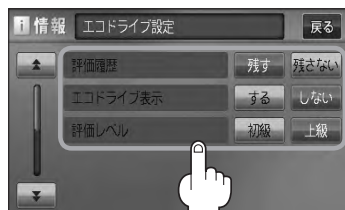
：エコドライブ設定画面が表示されます。

(例)エコドライブ情報画面



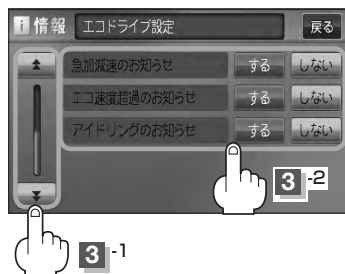
2 評価履歴を**残す**／**残さない**、エコドライブ表示を**する**／**しない**、評価レベル**初級**／**上級**を選択し、タッチする

※評価レベルを変更する場合、評価レベルの変更をしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい**／**いいえ**を選択しタッチしてください。



3 **▲**／**▼**をタッチして、急加減速／エコ速度超過／アイドリングのお知らせを**する**／**しない**を選択しタッチする。

※エコ速度超過のお知らせの**する**をタッチした場合、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認し**OK**をタッチしてください。



4 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

- 手順**2**でエコドライブ表示を**する**に設定した場合、現在地の地図画面に戻ったとき右画面にエコドライブ情報を表示します。エコドライブ情報の表示を止めたい場合は、エコドライブ表示の**しない**をタッチしてください。
- 手順**2**で評価レベルの**初級**を選択すると、2画面表示またはエコドライブ情報を表示させたとき マークが表示されます。[E-28、アドバイス内]
- ルート情報表示中はエコドライブ表示を**する**に設定しても右画面にエコドライブ情報は表示されません。[E-14「**■ ルート情報の表示を設定する場合**」F-14]
- [MENU]**を押し、**右画面 → エコドライブ**とタッチしても、右画面にエコドライブ情報を表示します。

エコドライブ情報を設定する(3)

評価履歴を見る

- 1** E-23の手順**1**、**2**に従って操作し、**履歴**をタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。

(例)エコドライブ情報画面



- 2** リストから見たい日時の履歴を選んでタッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

(例)エコドライブ評価履歴画面



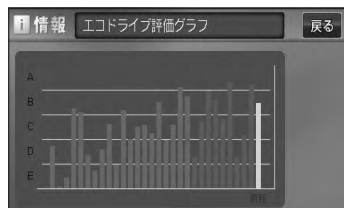
- 3** 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

グラフ表示で見る

- 1** E-23の手順**1**、**2**に従って操作し、**グラフ**をタッチする。

：グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。

(例)エコドライブ情報画面



- 2** 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

評価履歴を削除する

1 E-23の手順**1**、**2**に従って操作し、**履歴**をタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。

(例)エコドライブ情報画面



2 削除したい履歴を選び、タッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

■ 全履歴を削除する場合

① **全削除**をタッチする。

：全ての評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので**はい**をタッチします。

(例)エコドライブ評価履歴画面



情報

3 **削除**をタッチする。

：選択した評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので**はい**をタッチすると履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。

(例)エコドライブ評価履歴の詳細画面



「エコドライブ情報を設定する」

4 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

エコドライブ情報を設定する(4)



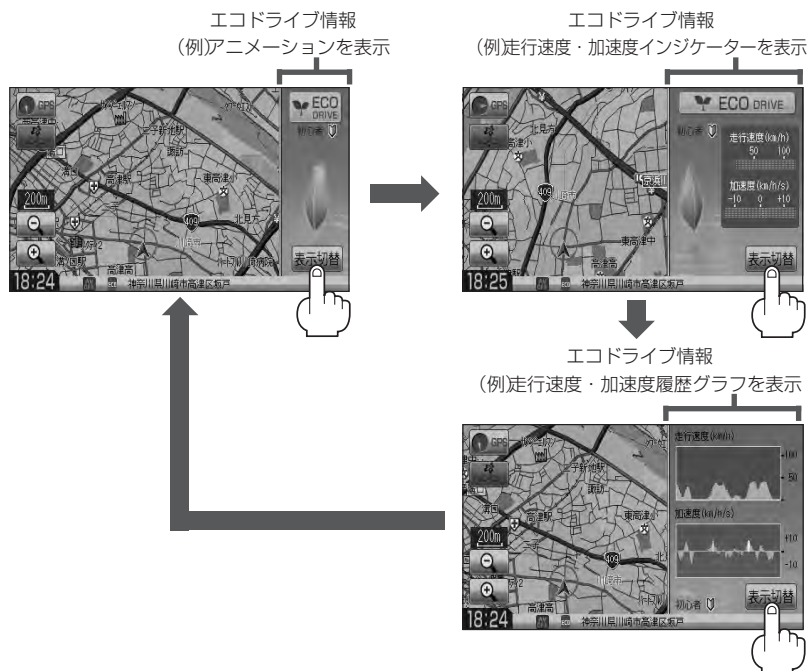
アドバイス

- E-24の手順 **3** でエコドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。
※エコドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。



- 右画面にエコドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケータまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたエコドライブ情報は、**表示切替** をタッチして、表示の切り替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大などを優先して表示します。

【例】「右画面に地図／情報を表示する」B-28



- エコドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。
- アニメーション、走行速度・加速度インジケータの場合、現在の走行状態によって葉の色が変わります。
(緑色＝優良、橙色＝注意、赤色＝要注意)
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- エコドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

軌跡を使う(1)

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1

MENU を押す。

2

情報 → **走行軌跡** をタッチする。

：走行軌跡の設定画面が表示されます。



3

軌跡の記録開始／停止／表示／非表示／確認／削除をする。

■ 軌跡の記録をする場合

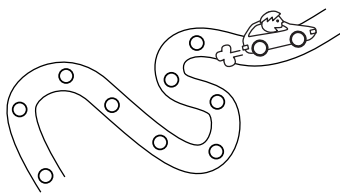
① **スタート** をタッチする。

：軌跡の記録を開始します。現在地(自車)マークが移動すると、軌跡があらわれます。また、それら軌跡の登録も開始します。



アドバイス

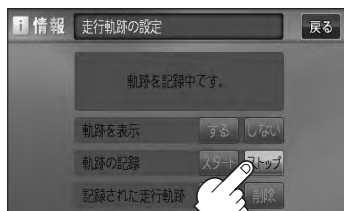
- 軌跡は、約500kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再び軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。



■ 軌跡の記録を止める場合

① **ストップ** をタッチする。

：軌跡の記録を止めます。

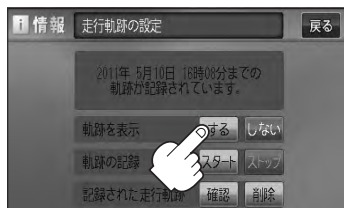


■ 地図上に軌跡を表示する場合

※表示だけで記録はされません。

① **する** をタッチする。

：軌跡を表示します。



情報

「エコドライブ情報を設定する」／「軌跡を使う」

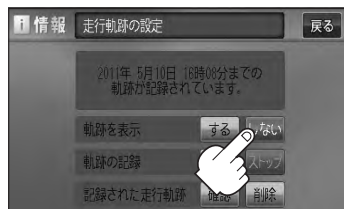
軌跡を使う(2)

■ 地図上の軌跡の表示を止める場合

※表示を止めるだけで、メモリから消すわけではありません。

① **しない** をタッチする。

：軌跡の表示を止めます。



アドバイス

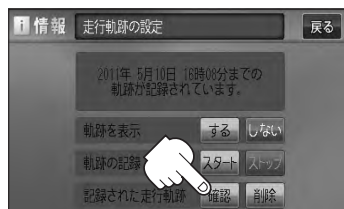
軌跡を記録中は、軌跡の表示を止めることはできません。

■ 記録した軌跡を確認する場合

※表示するだけで、記録はされません。

① **確認** をタッチする。

：軌跡が記録された地図が表示されます。



アドバイス

地図をスクロールして、地図上の軌跡を確認することができます。

■ 軌跡を削除する場合

① **削除** をタッチする。

：軌跡を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので、**はい** をタッチします。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

登録地点の編集／見る(1)

マークをつけた場所の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモの登録や登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくなることができます。

1

MENU を押す。

2

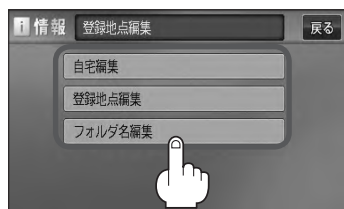
情報 → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。



3

編集したい項目(**自宅編集**／**登録地点編集**／**フォルダ名編集**)を選択し、タッチする。



■ 自宅／登録地点を編集する場合

① **自宅編集**／**登録地点編集** をタッチする。

：自宅情報画面／登録地点編集画面が表示されます。

※ **登録地点編集** をタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選択し、タッチしてください。



アトハイス

● C-21 で **フォルダ** を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには **全表示** をタッチしてください。

● カーソルを登録地点マークに合わせ **設定** をタッチして設定メニューを表示させ **地点編集** をタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

(例) フォルダ選択画面



情報

〔軌跡を使う〕／〔登録地点の編集／見る〕

登録地点の編集／見る(2)

- ② 変更／登録する項目(**名称**／**フォルダ**／**メモ**／**TEL**／**マーク**／**アラーム**)をタッチする。

名称 …名称を変更します。[E-32]

フォルダ …フォルダを選択します。[E-32]

メモ …メモを登録します。[E-32]

TEL …電話番号を登録します。[E-33]

マーク …マークを変更します。[E-33]

アラーム …アラーム音を変更します。[E-34]

(例)登録地点詳細画面



現在登録している情報を表示します。

- **名称／メモを編集するとき**

1. **名称**／**メモ** をタッチする。

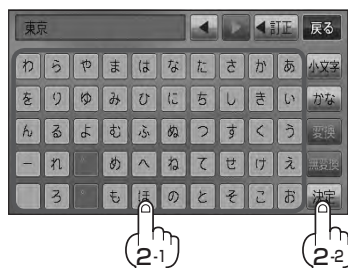
：名称入力またはメモ入力画面が表示されます。

2. 文字を入力し、**決定** をタッチする。

：入力した文字の設定を保持し、登録地点編集画面に戻ります。

※ひらがな／漢字／カタカナを16文字まで
半角英数字を32文字まで入力できます。

[E-31] 入力方法につきましてはB-31を参考にしてください。



- **フォルダを変更するとき**

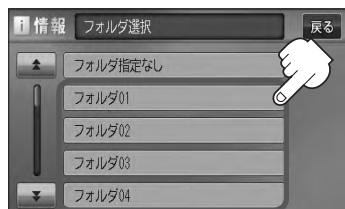
1. **フォルダ** をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

2. リストから移動させたいフォルダを選択し、タッチする。

：選択したフォルダに登録地点が移動し、登録地点編集画面に戻ります。

※自宅はフォルダの選択はできません。



アドバイス

・フォルダを指定していない場合は、**[MENU]** を押し、**目的地** → **登録地点** → **フォルダ** をタッチしてフォルダ選択画面を表示させたときに **フォルダ指定なし** をタッチすると登録した地点が表示されます。

※フォルダ(**フォルダ01** ～ **フォルダ20**)を指定した場合は“フォルダ指定なし”には表示されません。

・**フォルダ指定なし** ～ **フォルダ20** に登録した内容は、[E-31]「登録地点で地点を探す」C-21 または [E-31]「自宅／登録地点の地図を呼び出す」E-38でも確認できます。

□ 電話番号を編集するとき

1. **TEL** をタッチする。

：電話番号編集画面が表示されます。

2. 数字をタッチし、**決定** をタッチする。

※ 12文字まで入力できます。

☞ 入力方法につきましてはB-32を参考にしてください。



□ マークを編集するとき

1. **マーク** をタッチする。

：マーク編集画面が表示されます。

2. 変更したいマークをタッチして

戻る をタッチする。

※ ここで選んだマークが地図上に表示されます。



情報

〔登録地点の編集／見る〕

登録地点の編集／見る(3)

□ アラームを編集するとき

1. **アラーム** をタッチする。

：アラーム編集画面が表示されます。

2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。

※ **OFF** を選択した場合、アラーム音は鳴りません。

3. 案内距離(**50m** ／ **100m** ／ **300m** ／ **500m**) を選択し、タッチする。

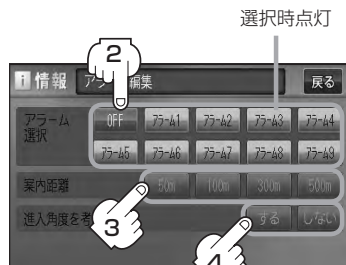
※ 選択した距離まで近付くと、アラーム音が鳴ります。

4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、進入角度を考慮 **する** をタッチする。

：進入方位編集画面が表示されます。

5. 矢印をタッチして、自車マークの方向を修正し、 **セット** をタッチする。

：アラーム編集画面に戻ります。



アラーム音の種類

アラーム1	登録地付近です
アラーム2	チェックポイントです
アラーム3	スピードに注意してください
アラーム4	お帰りなさい
アラーム5	運転おつかれさまでした
アラーム6	効果音1
アラーム7	効果音2
アラーム8	効果音3
アラーム9	効果音4

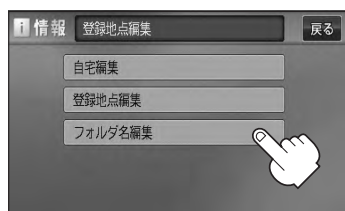


進入角度を考慮 **する** に設定をした場合、左15° 右15° の範囲から登録地点に近付いたときにアラーム音を鳴らします。

6. **戻る** をタッチする。

■ フォルダ名を編集する場合

- ① **フォルダ名編集** をタッチする。

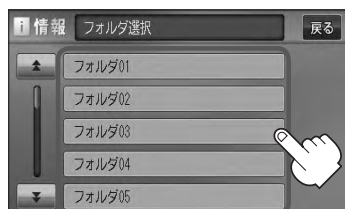


- ② リストから編集するフォルダを選択し
タッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。



フォルダ指定なし は編集できないため表示されません。



- ③ 訂正したい文字まで **◀訂正** をタッチする。

※全ての文字を訂正する場合は **◀訂正** を長めに
タッチしてください。



- ④ 文字を入力し **決定** をタッチする。

☞入力方法につきましてはB-31を参考にして
ください。



情報

〔登録地点の編集／見る〕

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



本機は“かな”を14文字入力すると文字が選択できなくなるため、14文字までに一度 **変換** / **無変換** を
タッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

登録地点を並び替える

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

1

MENU を押す。

2

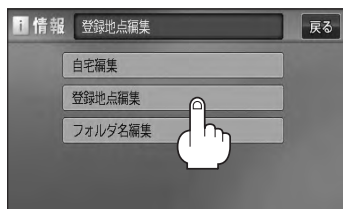
情報 → **地点編集** をタッチする。



3

登録地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。



「**C-21** または、**E-31** で **フォルダ**」を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

4

並び替えをしたい地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点での並び替え、フォルダで表示している場合は選択したフォルダ内での並び替えをします。

「**表示方法**」につきましては

「**登録地点の並び替えをする**」C-23 を参考にしてください。

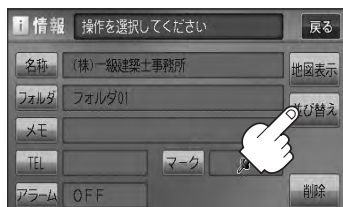
(例)登録順で表示



5

並び替え をタッチする。

：登録地点並び替え画面が表示されます。



6

挿入したい場所の **挿入** をタッチする。

例 1. 東京都庁の下に挿入する場合

並び替えしたい地点の番号を赤色で表示



7

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

- 登録地点が自宅以外に2個以上ある場合に並び替えができます。1 個の場合は **並び替え** は表示されません。
- カーソル(→)を登録地点マークに合わせ、**設定** → **地点編集** をタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

情報

〔登録地点を並び替える〕

自宅／登録地点の地図を呼び出す

1

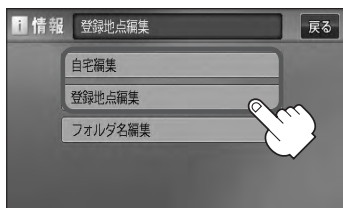
MENU を押す。



2

情報 → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。



3

自宅編集／**登録地点編集** をタッチする。

：自宅の情報画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ **自宅編集** をタッチした場合は手順 **5** へ進んでください。



C-21 または、**E-31** で **フォルダ** を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

4

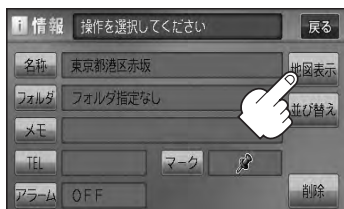
登録地点の表示方法を選択し、登録地点をタッチする。

C-23 表示方法につきましては **C-23** を参考にしてください。

5

地図表示 をタッチする。

：自宅または選択した登録地点の地図が表示されます。



6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



- 地図の呼び出しは、**MENU** を押し、**目的地** → **登録地点** をタッチしてもできます。**C-21**「登録地点で地点を探す」
- 電話番号が収録されている場合、登録地点編集画面に **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するには Bluetooth 対応の携帯電話を接続する必要があります。)携帯電話を接続していない場合、**電話する** は選択できません。(ボタンは暗くなります)※
- **電話する** をタッチして電話をかけると、ハンズフリーの発信履歴に電話番号のみ登録されます。* **C-28**

☆印…VXM-128VS の場合

自宅／登録地点を削除する(1)

1

MENU を押す。

2

情報 → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

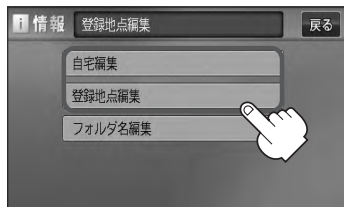


3

自宅編集／**登録地点編集** をタッチする。

：自宅の情報画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ **自宅編集** をタッチした場合は手順 **4** -② へ進んでください。



アドバース

【P C-21または、【P E-31で **フォルダ** を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

4

登録地点を削除する。

■ 登録地点を選択して削除する場合

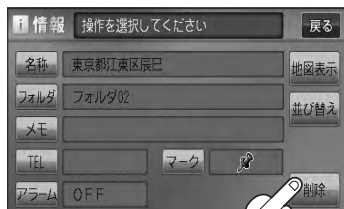
① 削除したい地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。



② **削除** をタッチする。

：登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



「自宅／登録地点の地図を呼び出す」

情報

「自宅／登録地点を削除する」

自宅／登録地点を削除する(2)

■ 全ての登録地点を削除する場合

① **全削除** をタッチする。

：“全ての登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、全地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

- 地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称／TEL／メモも全て消えてしまいます。一時的に、地図上からマークを消したい場合は、**設定**「表示項目の設定をする」F-11 をご覧ください。(この場合は、全ての登録地点マークが、地図上から消えます。)
- カーソル(→|←)を登録地点マークに合わせ、**設定** → **地点編集** をタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

ETC情報を見る(1)

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

1

MENU を押す。

2

情報 → **ETC情報** をタッチする。

：ETC情報画面が表示されます。



3

履歴または管理情報を表示する。

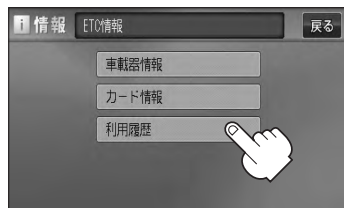
■ 履歴を見る場合

① **利用履歴** をタッチする。

：今までの利用履歴が最大100件まで日付の新しい順に表示されます。

② 履歴をリストから選択し、タッチする。

：履歴の詳細情報が表示されます。



アドバイス

地図ソフトに収録されていない料金所につきましては、入口／出口料金所の名称は“登録なし”と表示されます。

情報

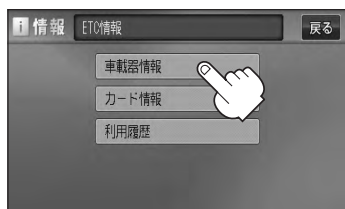
〔自宅／登録地点を削除する〕／〔ETC情報を見る〕

ETC 情報を見る(2)

■ 車載器情報を表示する場合

① **車載器情報** をタッチする。

：ETC 本体の登録内容が表示されます。



■ カード情報を表示する場合

① **カード情報** をタッチする。

：カード情報内容が表示されます。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバース

別売の ETC 車載器 (ナビ連動タイプ) を接続すると、上記の方法で ETC 情報を確認することができます。接続可能な ETC 車載器 (ナビ連動タイプ) について詳しくは、Honda 販売店へご相談ください。

QQ コールを利用する

QQ コールとは

「QQ コール」とは、QQ コール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。

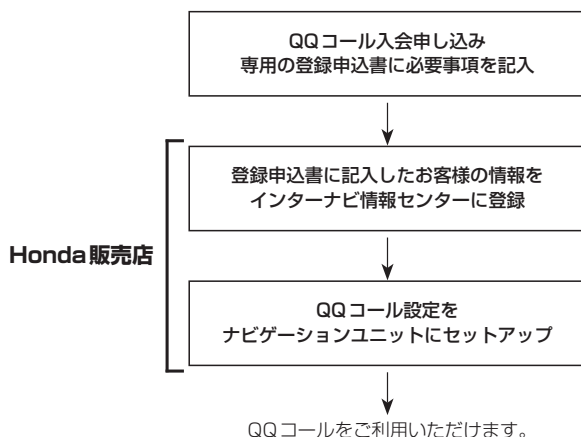
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQ コール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQ コールの紹介ページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/qccall/>

QQ コールを利用するまでの流れ

QQ コールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。



QQ コールを表示する

QQ コールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。

QQ コール は Honda 販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1

MENU を押す。

2

■ VXM-128VS の場合

- ① **設定** → **次へ** → **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



注意 QQ コールをご利用になるときは、本機に Bluetooth 対応携帯電話の初期登録を行ってください。



- ② **QQ コール** → **発信** をタッチし、
QQ コールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている
現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。



ここに現在地のマップコードが表示されます。



アドバイス

- **閉じる** をタッチすると QQ コールへの接続は行ないません。
- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- **発信** をタッチしてもつながらない場合や、バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。
- 走行中は QQ コールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。

■ VXM-128C の場合

① 情報 → QQ コール をタッチする。

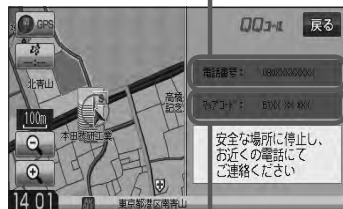
： QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。



QQ コールの電話番号が表示されます。

② お手持ちの携帯電話を利用して表示されている QQ コールセンターへ電話をかける。

： オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。



ここに現在地のマップコードが表示されます。

3

会話終了後 **閉じる** をタッチすると、現在地の地図画面に戻る。



アドバイス

- QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能の操作が可能です。
 - ・地図表示(方位)の切り替え
 - ・地図の拡大／縮小
 - ・地図スクロール
 - ・オーディオモードの音量調整
 - ・オーディオモードのON／OFF
- 走行中は QQ コールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。

F 設定

設 定

平均速度を設定する	F-2
ルート探索条件の設定をする	F-3
メイン画面／右画面の設定をする	F-7
3Dビューの角度を調整する	F-9
地図の色を設定する	F-10
表示項目の設定をする	F-11
ルート案内画面の設定をする	F-13
ランドマーク表示の設定をする	F-28
現在地(自車)の位置を変更する	F-30
自車マークの種類を設定する	F-32
音声案内の音量を調整する	F-33
VICS表示の設定をする	F-34
情報表示を止める	F-35
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／ しない”について	F-35
ETCの各機能を設定する	F-36
ETCについて	F-39
ETCを利用する	F-40
ETCの基本操作	F-40
料金所通過表示について	F-40
予告案内／警告表示について	F-41

メンテナンス情報を設定する	F-42
設定したメンテナンス情報のお知らせを 止める／消去する	F-46
携帯電話について*	F-47
キー操作音の設定をする	F-48
データを初期化(消去)する	F-49
リアカメラ映像を設定する	F-51
リアカメラ映像を表示する	F-51
ビューの切り替えをする	F-51
リアカメラガイドを表示する	F-52
警告文の位置を下げる	F-53
リアカメラガイドの見かた	F-54
カメラの映像について	F-55
リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	F-56

平均速度を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。
そのとき、平均走行速度を設定しておけばより正確な到着予想時刻を知ることができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **到着予想** をタッチする。

：平均速度設定画面が表示されます。



3

平均速度を自動で設定の **する** / **しない** または
各道路（一般道／国道／有料道路）の **-** / **+**
をタッチして平均走行速度を設定する。
(5km/h単位)

※走行は実際の法定速度に従って走行してください。



- 平均速度を自動で設定 **しない** をタッチしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。
- 平均速度を自動で設定 **する** に設定するとVICS情報を考慮して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

ルート探索条件の設定をする(1)

ルートを探索する条件を変更することができます。変更後の条件で探索します。

1

MENU を押す。

2

設定 → **探索条件** をタッチする。

：探索条件の設定画面が表示されます。



3

探索条件を選び、タッチする。

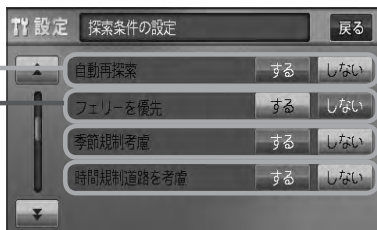


探索する条件を設定します。

車種別に有料道路料金表示を設定します。

▼ をタッチ ▲ をタッチ

自動再探索する／しないを設定します。
フェリーを優先する／しないを設定します。



季節規制考慮する／しないを設定します。

時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定します。

- 祝祭日指定の時間規制のある道路は、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場合がありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

▼ をタッチ
F-4

〔平均速度を設定する〕

設定

〔ルート探索条件の設定をする〕

ルート探索条件の設定をする(2)

↑  をタッチ
F-3

TV 設定 探索条件の設定 戻る

スマートICを利用

ルート学習結果を利用

利用できるスマートIC(SA／PAなどから一般道
に出入り可能なETC専用のIC)を利用する／しない
を設定します。

過去の交通状況データや自車の走行履歴などを
もとにしたルート学習結果を利用する／しないを設
定します。

※ **距離優先** を選択している場合は、ルート学習結
果を考慮しない場合があります。

▼ をタッチ ↓ ↑ ▲ をタッチ

TV 設定 探索条件の設定 戻る

VICS自動再探索

VICS情報を考慮

VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しな
いを設定します。

※VICS情報考慮を“しない”に設定するとボタ
ンが暗くなり選択できなくなります。

※FM VICSの場合は、規制による自動探索は行
ないますが、渋滞による自動探索は行ないません。

VICS情報をもとに交通規制を考慮する／しな
いを設定します。

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



アドバイス

- 手順 **3** (F-3) で自動再探索を **する** に設定している場合、ルート案内中に探索条件を変更し、**現在地**を押す／**戻る**をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、**有料優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。**道幅優先** を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- **推奨**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** は、いずれか1つ設定できます。
- フェリーを優先 **する** 設定にしている場合でも、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先する設定にしている場合でも、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行なうルート案内探索の探索条件になります。

スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
 - 社会実験として実施されているスマートICは収録されていません。
 - 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行なっていますが、対象車種を考慮したルート探索は行なっていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)
- ※ ETCを搭載していない車両は通行できません。
- ※ 通行可能車両、通行可能時間等が制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。



アドバイス

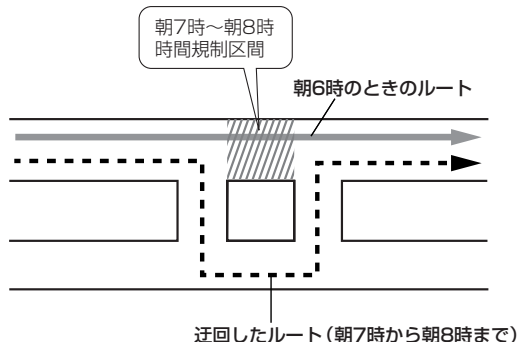
料金表示について

- 本機に収録されている高速(有料)道路料金データについては、高速道路無料化実験の内容が反映されております。無料化社会実験については、2011年6月に終了致しましたので、実際の料金と収録内容が異なります。事前に料金を確認してご利用ください。
- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行なうと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行なった場合は、料金は表示されず「――円」になります。(ルートの出発地/目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「――円」になります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路/有料道路の料金は表示されない(――円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行なわない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は「――円」または実際の料金と異なる場合があります。

時間規制道路を考慮について

例) 下記斜線部分が朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。

※ ルート探索した時間が朝6時のときは、迂回しないルートを探しますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると、自動的に再探索され迂回するルートに変わります。



設定

〔ルート探索条件の設定をする〕

ルート探索条件の設定をする(3)



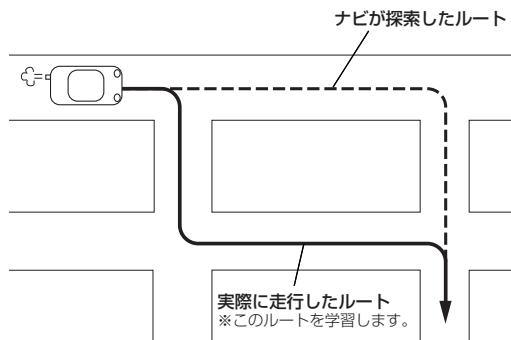
アドバイス

ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。

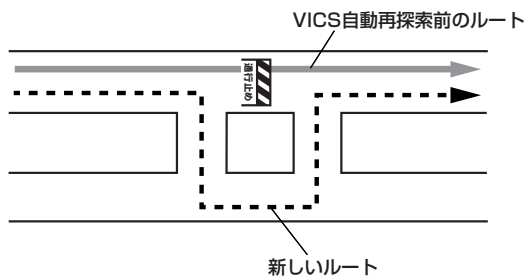
※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。

※ルート学習結果を初期化するには「「データを初期化(消去)する」F-49をご覧ください。



VICS 自動再探索・VICS 情報を考慮について

- VICS 情報を考慮“する”は通行止めなどを考慮したルート探索となります。
- VICS 情報を考慮“する”、VICS 自動再探索“する”に設定しても、VICS 情報を受信できていない場合は規制を考慮するルート探索やVICS 自動再探索はされません。
- VICS 自動再探索“する”に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。



メイン画面／右画面の設定をする(1)

住所の色分け／吹き出し表示／名称の文字サイズ／地図モードを選ぶことができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **地図表示** をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定をする場合

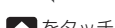
- ① “メイン画面の地図設定” から変更したい項目(**する**／**しない**、**大**／**小**、**北向き**／**進行方向**／**3D**)を選択し、タッチする。



▼ をタッチ



◀ をタッチ



表示項目

※ 3D ビューの角度調整につきましては「 「3D ビューの角度を調整する」 F-9 をご覧ください。

■ 右画面の設定をする場合

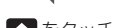
- ① ▼ を2回タッチし“右画面の設定”を表示させ、変更したい項目(**する**／**しない**、**大**／**小**、**北向き**／**進行方向**／**3D**)を選択し、タッチする。



▼ をタッチ



◀ をタッチ



表示項目

※ 3D ビューの角度調整につきましては「 「3D ビューの角度を調整する」 F-9 をご覧ください。

ルート探索条件の設定をする)

設定

(メイン画面／右画面の設定をする)

メイン画面／右画面の設定をする(2)

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

“住所の色分けを表示”について

地図の縮尺レベルが2km以下の画面で都道府県や市区町村などの境ごとに色分けをする／しないの設定ができます。

“名称の文字サイズ”について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。



“吹き出しを表示”について

高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行なうため、収録されていない交差点では表示しません。



“標高地図を表示”について

地図の縮尺が5km以上の画面で、詳細な地形地図にする／しないの設定ができます。

“地図モード”について

- 地図表示(方位)を“北方向を上”“進行方向を上”“3D”に設定できます。
地図表示(方位)は、地図画面の**方位**をタッチして切り替えることもできます。
各地図表示の特長については「**地図表示(方位)**」を切り替える」B-10をご覧ください。
- 1 ルート探索／複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

3Dビューの角度を調整する

メイン画面、2画面で3Dビュー表示時に、地図を見下ろす角度を高く設定すると、道路を上空から見下ろす感じで地図が表示され、低く設定すると、道路を水平方向から見る感じで地図が表示されます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **地図表示** をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定をする場合

① をタッチする。

■ 右画面の設定をする場合

① を3回タッチする。



4

/ をタッチして調整する。

：角度を下げます。

：角度を上げます。



見下ろし角度が低いとき



見下ろし角度が高いとき



5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

〔メイン画面／右画面の設定をする〕

設定

〔3Dビューの角度を調整する〕

地図の色を設定する

平面・3D地図画面時の色(スモール連動／昼／夜／時間連動)と標高地図の色(季節連動／標準／春／夏／秋／冬)を選択することができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **地図表示** をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

▼ を4回タッチしていき、

“地図の色”を表示させ、昼夜切り替え

(**スモール連動**／**時間連動**／**昼**／**夜**)または

標高地図色(**季節連動**／**標準**／**春**／**夏**／

秋／**冬**)を選択し、タッチする。

※ **スモール連動** を選択した場合は、車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替わります。

時間連動 を選択した場合は、日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替えます。

季節連動 を選択した場合は、GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替わります。

どの設定画面を表示しているか、この部分で確認できます。



地図色設定画面



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

表示項目の設定をする(1)

地図画面や情報バーにMAPCODE／AUDIO情報／緯度・経度／登録地点の表示または非表示の設定、地図情報の表示設定を行ないます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **地図表示** をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。



3

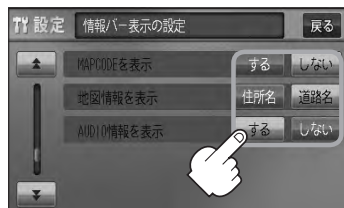
情報バー(MAPCODE／地図情報／AUDIO情報)表示または
その他(緯度・経度／登録地点)の設定をする。

■ 情報バー表示の設定をする場合

- ① を5回タッチし“情報バー表示の設定”を表示させ、
設定項目(**する**／**しない**、**住所名**／**道路名**)を選択し、タッチする。

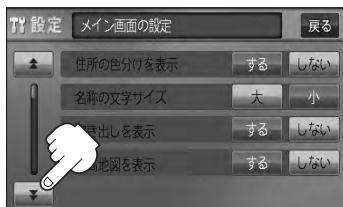


を5回タッチ

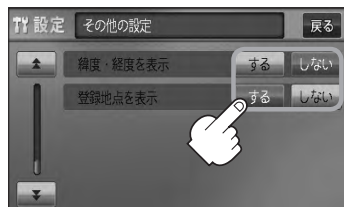


■ その他の設定をする場合

- ① を6回タッチし“その他の設定”を表示させ、
設定項目(**する**／**しない**)を選択し。タッチする。



を6回タッチ



〔地図の色を設定する〕

設定

〔表示項目の設定をする〕

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。

表示項目の設定をする(2)

“MAPCODEを表示”について

情報バー(現在地表示時は除く)に、マップコードを表示することができます。



“地図情報を表示”について

- 情報バーの表示を住所名または道路名のどちらを表示させるか選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

道路名を表示する場合



“AUDIO 情報を表示”について

現在地表示時に、情報バーに再生中の下記内容を表示することができます。

※ CD / MP3 / WMA、SD、USBを再生している場合は曲名を、FM / AMを再生している場合は周波数と放送局名を、ワンセグ[※]を選択している場合は放送局名、DVD[※]ビデオを再生している場合はタイトル / チャプター番号を表示します。また、再生しているモードのアイコンが表示されます。

各アイコンにつきましては「 地図画面の見かた」B-8をご覧ください。

曲名を表示する場合



“緯度・経度を表示”について

地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示することができます。



“登録地点を表示”について

しない にすると、一時的に地図上から登録地点マークを消すことができます。



登録地点マーク

☆印…VXM-128VSの場合

ルート案内画面の設定をする(1)

ルート案内時に表示する内容を設定します。

(全ルート／ルート色／ルート情報／JCTビュー／交差点拡大／交差点情報／リアル3D／方面看板／VICS案内／合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／盗難多発地点／AV画面中の案内割込み／目的地方向)

1

MENU を押す。

2

設定 → **ルート案内** をタッチする。

：ルート案内の設定画面が表示されます。



3

設定する項目を選択しタッチする。

- | | |
|--|--|
| ☒ 全ルートを表示……………F-13 | ☒ VICS案内……………F-21 |
| ☒ ルート色……………F-14 | ☒ 合流案内……………F-22 |
| ☒ ルート情報を表示……………F-14 | ☒ 踏み切り案内……………F-23 |
| ☒ JCTビューを表示……………F-16 | ☒ 専用レーン案内……………F-24 |
| ☒ 交差点拡大図を表示……………F-17 | ☒ 盗難多発地点案内……………F-25 |
| ☒ 交差点情報を表示……………F-18 | ☒ AV画面中の案内割込み……………F-26 |
| ☒ リアル3Dを表示……………F-19 | ☒ 目的地方向を表示……………F-27 |
| ☒ 方面看板を表示……………F-20 | |

■ 全ルートの表示を設定する場合

ルート探索後に全ルートを表示するかしないかの設定をします。

① **設定(する／しない)**を選択し、
タッチする。

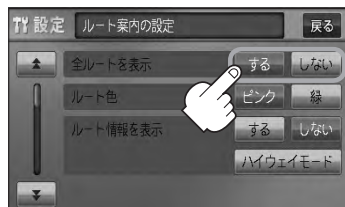
☐ **する** をタッチしたとき

：ルート探索終了後、全ルートを表示します。

☐ **しない** をタッチしたとき

：ルート探索終了後、全ルートを表示しません。

※複数ルート探索終了後は全ルート表示となります。



〔表示項目の設定をする〕

設定

〔ルート案内画面の設定をする〕

ルート案内画面の設定をする(2)

■ ルート色を設定する場合

設定ルートの色を変えることができます。

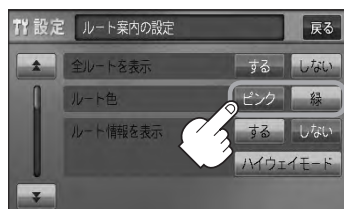
- ① 設定したい色(**ピンク** / **緑**)を選択し、タッチする。

- **ピンク** をタッチしたとき

：設定ルートの色をピンク色で表示します。

- **緑** をタッチしたとき

：設定ルートの色を緑色で表示します。



アドバイス

設定ルートの色は **ピンク** / **緑** のどちらかを選んだ場合も、有料道路は青色になります。

■ ルート情報の表示を設定する場合

ルート情報の表示をするかしないかの設定をします。

- ① 設定(**する** / **しない** / **ハイウェイモード**)を選択し、タッチする。

- **する** をタッチしたとき

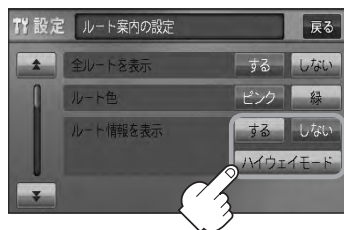
：ルート案内時、ルート情報を表示します。

- **しない** をタッチしたとき

：ルート情報を表示しません。

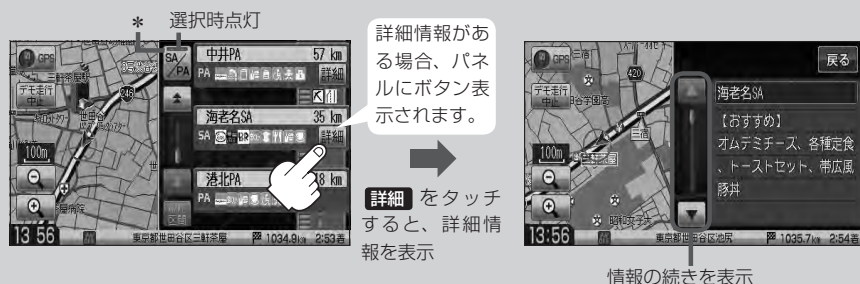
- **ハイウェイモード** をタッチしたとき

：高速道路／一般有料道路走行時のみルート情報を表示します。



- ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金などを表示します。
- **する** をタッチした場合、ルート情報はルート案内時とデモ走行時に表示します。
ハイウェイモード をタッチした場合、ルート情報はルート案内時とデモ走行時に表示します。
- 高速道路を走行中に、パーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、料金所(¥)のボタンが表示された場合、そのボタンをタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。(探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。)
- 現在地表示時に **MENU** を押し、**右画面 → ルート情報** をタッチして、右画面にルート情報を表示することもできます。

「右画面に地図／情報を表示する」B-28



- 走行中は詳細情報は表示できません。
- * 印…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 **SA/PA** をタッチすると、サービスエリア・パーキングエリアのみルート情報を表示します。
再度 **SA/PA** をタッチするともとの情報に戻ります。
探索したルートに高速道路または有料道路がある場合でもその高速道路または有料道路にサービスエリアまたはパーキングエリアがないときは選択することができません。
- VICS 情報を受信している場合、その区間の渋滞状況や VICS 情報マークを表示します。

「マーク一覧表」E-7

VICS 情報マーク

この区間の渋滞状況を色で表示します。
赤：渋滞 橙：混雑 緑：渋滞なし

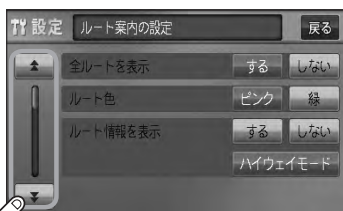


ルート案内画面の設定をする(3)

■ JCTビューの表示を設定をする場合

JCTビューの表示をするかしないかの設定をします。

- ①  をタッチし、“JCTビューを表示”を表示させ、設定( / )を選択し、タッチする。

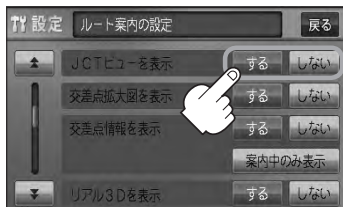


- ☐ **する** をタッチしたとき

: JCTビューを表示します。

- ☐
- しない**
- をタッチしたとき

：「ICTビューを表示しません。」



- 高速道路や都市高速道路のJCT(ジャンクション)分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図(JCTビュー)を表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- JCTビュー表示のとき **✕** をタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
- ・ データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
 - ・ データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。
- (例)JCTビュー表示
- 



■ 交差点拡大図を表示を設定する場合

交差点拡大図を表示するかしないかの設定をします。

- ①  をタッチし、“交差点拡大図を表示”を表示させ、設定(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

- **する** をタッチしたとき

：交差点拡大図を表示します。

- **しない** をタッチしたとき

：交差点拡大図を表示しません。



- 主要な交差点に近づくとき、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク(ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公園など、目印となる施設)とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に動きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は動きません。
- 交差点拡大表示のとき **×** をタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

(例) 交差点拡大表示



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
 - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
 - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
 - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

ルート案内画面の設定をする(4)

■ 交差点情報の表示を設定する場合

交差点情報を表示するかしないかの設定をします。

- ①  をタッチし、“交差点情報を表示”を表示させ、設定(する / しない / 案内中のみ表示)を選択し、タッチする。

- **する** をタッチしたとき

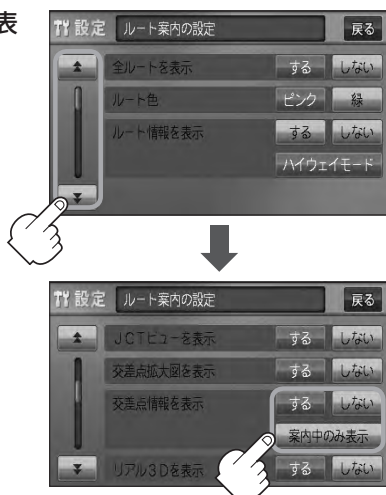
：走行中は常に交差点情報を表示します。

- **しない** をタッチしたとき

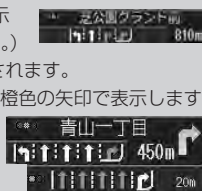
：交差点情報を表示しません。

- **案内中のみ表示** をタッチしたとき

：ルート案内時のみ交差点情報を表示します。



- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。(表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。) ※次の交差点が10km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- **する** / **案内中のみ表示** に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を橙色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。



■ リアル3Dの表示を設定する場合

リアル3D交差点を表示するかしないかの設定をします。

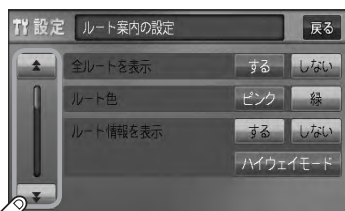
- ①  をタッチし、“リアル3Dを表示” を表示させ、設定(する／しない)を選択し、タッチする。

- ☐ **する** をタッチしたとき

：リアル3D交差点を表示します。

- ☐ **しない** をタッチしたとき

：リアル3D交差点を表示しません。



- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
-  をタッチすると、リアル3D交差点表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は  をタッチしてください。



設定

〔ルート案内画面の設定をする〕

ルート案内画面の設定をする(5)

■ 方面看板の表示を設定する場合

方面看板を表示するかどうかの設定をします。

- ①  を2回タッチし、“方面看板を表示”を表示させ、設定(**する** / **しない** / **案内中のみ表示**)を選択し、タッチする。

- ☐ **する** をタッチしたとき

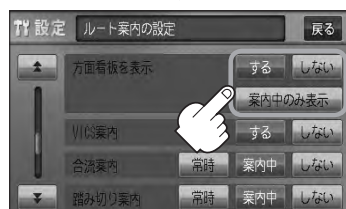
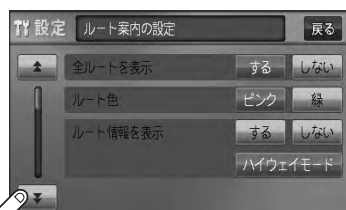
: 走行中は常に表示します。

- ☐ **しない** をタッチしたとき

: 方面看板を表示しません。

- ☐ **案内中のみ表示** をタッチしたとき

: ルート案内時のみ表示します。



- 全国の主要交差点の国道をはじめとした一般道の行き先案内を示す方面看板(案内標識)が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約1km手前で表示され、案内ポイントに近付くと約150m手前で交差点拡大表示に切り替わります。

(例) 方面看板表示



- 交差点までに距離がない(約150m未満)の場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- **する** / **案内中のみ表示** に設定している場合、ルート案内時に進む方向を橙色の矢印で表示します。
- **X** をタッチすると、方面看板表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は **戻る** をタッチしてください。

■ VICS案内の設定をする場合

ルート案内中にルート上に発生した渋滞や交通規制を音声でお知らせするかどうかの設定をします。

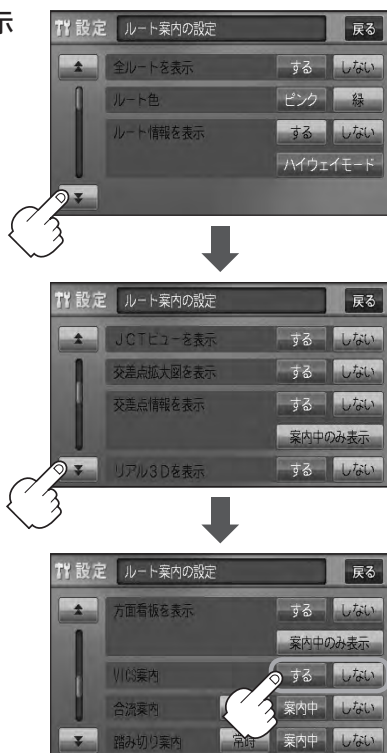
- ①  を2回タッチし、“VICS案内”を表示させ、設定(する／しない)を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。
例)「およそ2km先、渋滞しています。」

□ **しない** をタッチしたとき

：音声案内を行ないません。



アドバース

VICS情報を受信できない場合などは、VICS案内の **する** を選択していても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

設定

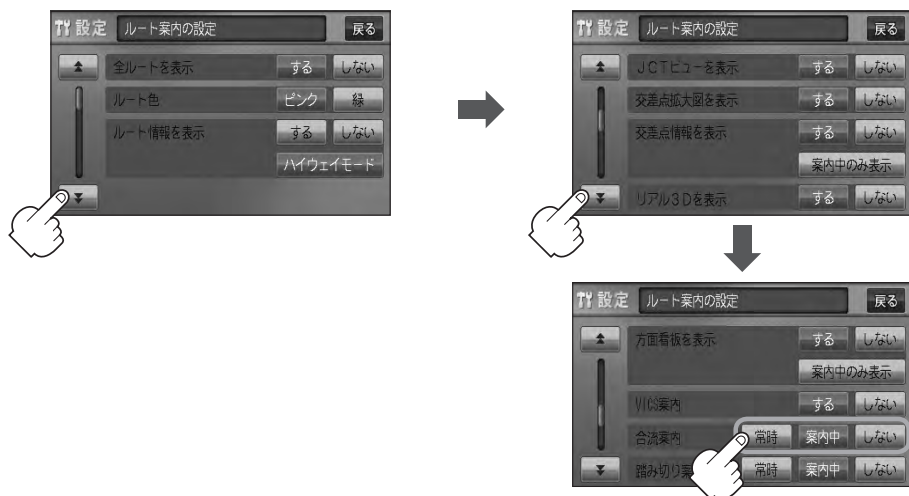
〔ルート案内画面の設定をする〕

ルート案内画面の設定をする(6)

■ 合流案内を設定する場合

高速道路の合流地点が近くなると音声でお知らせするかしないかの設定をします。

- ①  を2回タッチし、“合流案内”を表示させ、設定(**常時** / **案内中** / **しない**)を選択し、タッチする。



- **常時** をタッチしたとき

: ルートを設定していないときでも音声案内をします。

- **案内中** をタッチしたとき

: ルート案内中に音声案内をします。

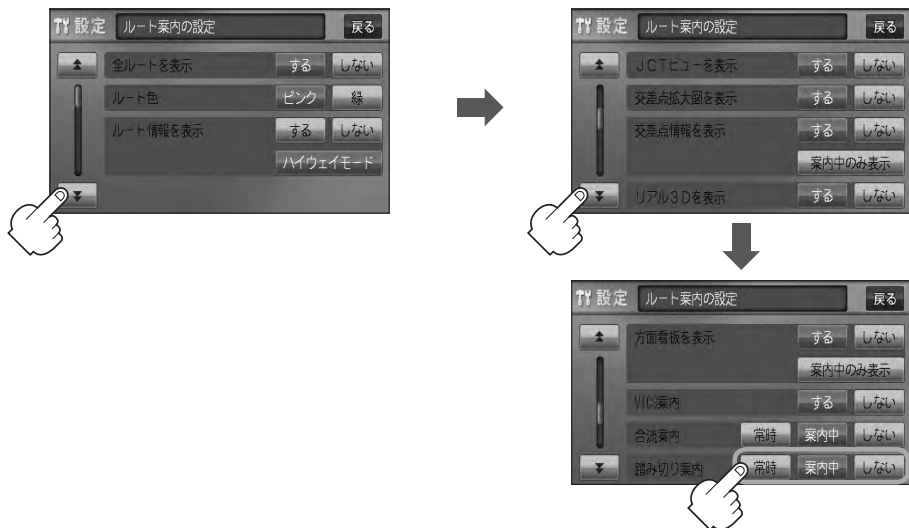
- **しない** をタッチしたとき

: 音声案内を止めます。

■ 踏み切り案内を設定する場合

踏み切りが近くなると音声でお知らせするかしないかの設定をします。

- ①  を2回タッチし、“踏み切り案内”を表示させ、設定(常時／案内中／しない)を選択し、タッチする。



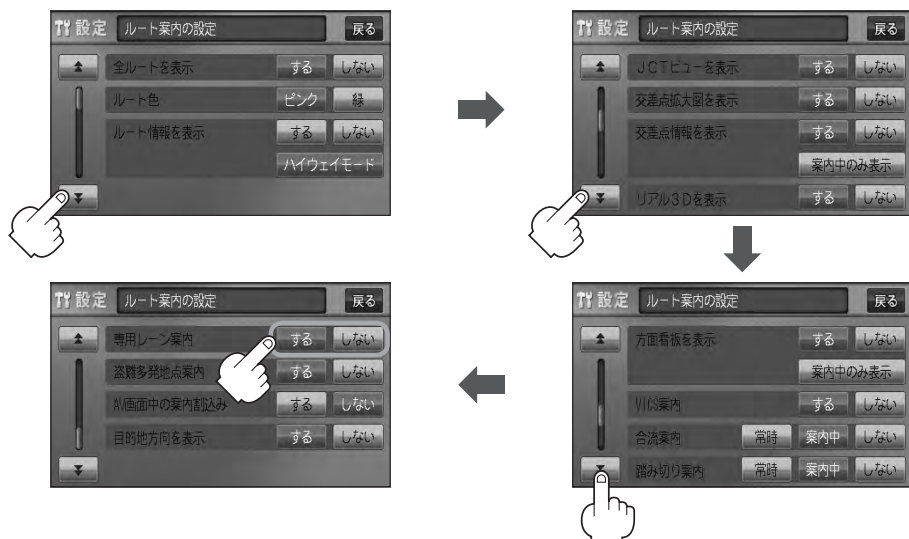
- **常時** をタッチしたとき
：ルートを設定していないときでも音声案内をします。
- **案内中** をタッチしたとき
：ルート案内中に音声案内をします。
- **しない** をタッチしたとき
：音声案内を止めます。

ルート案内画面の設定をする(7)

■ 専用レーン案内を設定する場合

ルート案内中に右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声でお知らせするかどうかの設定をします。

- ①  を3回タッチし、“専用レーン案内”を表示させ、設定(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。



- **する** をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。

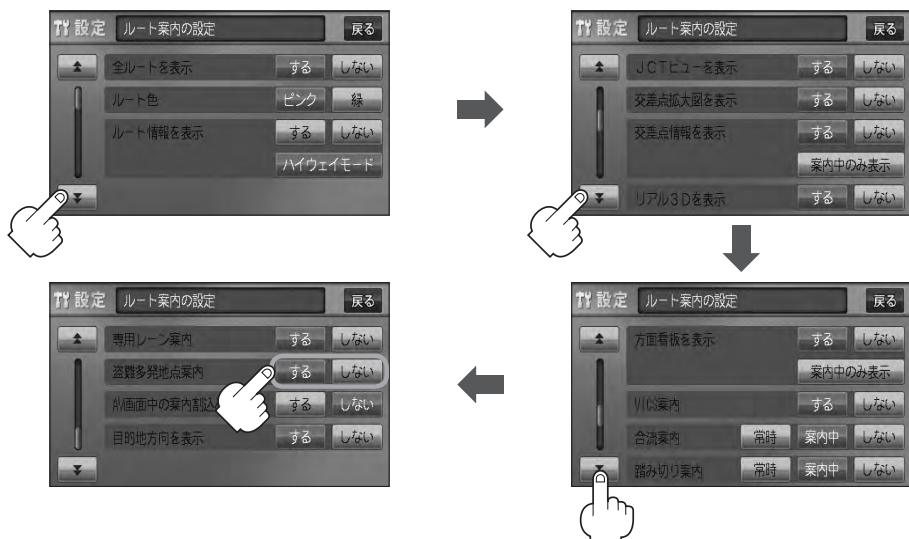
- **しない** をタッチしたとき

：音声案内を止めます。

■ 盗難多発地点案内を設定する場合

盗難多発地点を表示するかしないかの設定をします。

- ①  を3回タッチし、“盗難多発地点案内”を表示させ、設定(する／しない)を選択し、タッチする。



- ☐
- する**
- をタッチしたとき

：地図上に盗難多発地点(❗マーク)を表示します。

- ☐
- しない**
- をタッチしたとき

：地図上に盗難多発地点(盗難マーク)を表示しません。

- **する** を選択した場合は、地図画面で画面をタッチし地図をスクロールさせて  マークにカーソルを合わせると、多発地点の詳細情報を見ることができます。

※ マークは地図の縮尺スケールが200m以下で表示されます。

☞「地図を拡大／縮小する」B-15



スクロールし、
マークに合わせる。

設定 を
タッチする。

施設詳細 を
タッチする。

：過去に盗難があった地点の
情報が表示されます。

ルート案内画面の設定をする(8)

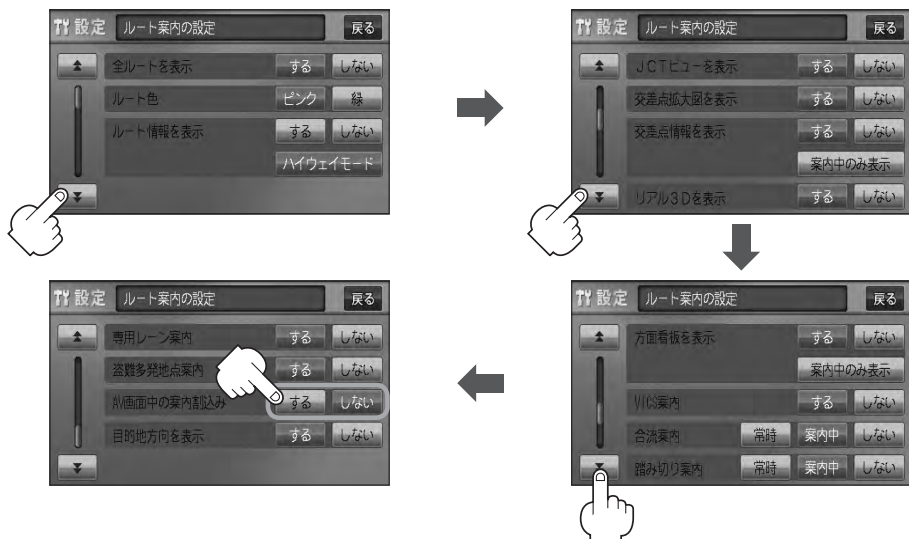


- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に適用しています。
- 盗難多発地点の マークの表示は3段階で表示しています。最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、ルート探索前に“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行すると“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声でお知らせします。
- 3Dビューでは マークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、**設定** をタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。
[] B-10

■ AV画面中の案内割込みを設定する場合

AV画面表示中に右折または左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をするかしないかの設定をします。

- ① を3回タッチし、“AV画面中の案内割込み”を表示させ、設定(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

：AV画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をします。ルート案内終了後、AV画面に戻ります。

□ **しない** をタッチしたとき

：案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面に切り替わりません。

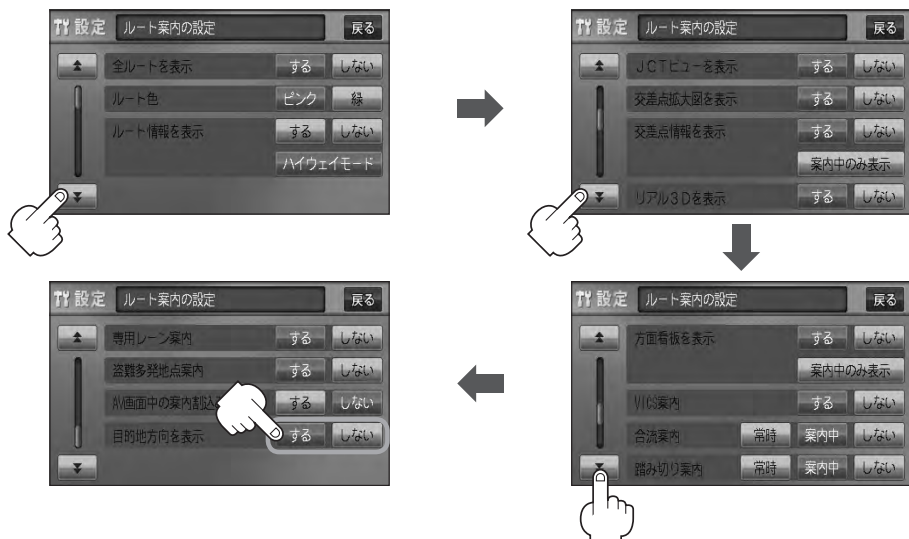


- AV 画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、AV 画面表示中に、右折や左折などの案内割込みが発生しても、AV 画面を操作している場合は NAVI 画面に切り替わりません。
- AV 画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、NAVI 画面に切り替わった際に NAVI 画面を操作すると、AV 画面には戻りません。

■ **目的地方向の表示を設定する場合**

自車マークから目的地まで直線で表示するかしないかの設定をします。

- ①  を 3 回タッチし、“目的地方向を表示” を表示させ、設定 (**する** / **しない**) を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

：自車マークから目的地まで直線で表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：自車マークから目的地まで直線で表示しません。

4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／盗難多発地点案内／AV 画面中の案内割込みなどの音量調整につきましては、 「音声案内の音量を調整する」F-33 をご覧ください。

ランドマーク表示の設定をする

1

MENU を押す。

2

設定 → **ランドマーク** をタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。



3

リストから表示したいジャンルを選んでタッチする。

：詳細施設が表示されます。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、手順**5**(**F-29**)へ進んでください。

ランドマークが表示できる数
(300件)

チェックマークされた数



チェックマーク
F-28の手順**4**で全件選択すると
☒ (チェックマーク小)が
☒ (チェックマーク大)になる

詳細施設がある場合は
▶マークが表示されます。

4

リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

：選択した施設にチェックマーク(☒)が付きます。**全選択**をタッチすると全施設にチェックマーク(☒)が付きます。



5

戻る をタッチする。

：選択したジャンルにマーク()が付きます。

■ マークの表示を止める場合

□ **駐車場**、**トイレ**、**道の駅** の表示を止めるとき

手順 **3** ( F-28)で再度ボタンをタッチしてチェックマーク()を消します。

□ **その他のジャンルの表示を止めるとき**

手順 **3** ( F-28)でジャンルをタッチし、手順 **4** ( F-28)で詳細施設をタッチして()を消します。

※全解除したい場合は、**全解除** をタッチします。

6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

●縮尺スケールが400m以上の場合は、ランドマークは表示されません。

 「地図を拡大／縮小する」B-15

●複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。

●ランドマークにカーソル()を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。

設定 をタッチして設定メニューを表示させ、**施設詳細** をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。

●施設に電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。

電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。)*

※携帯電話を接続(登録)していない場合、**電話する** は選択できません。(ボタンは暗くなります)*  O-5

☆印…VXM-128VSの場合



(例) 詳細情報画面



設定

(ランドマーク表示の設定をする)

現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

- 1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソル(—|—)を合わせる。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。



- 2 **MENU** を押す。

- 3 **設定** → **現在地** をタッチする。

：現在地設定画面が表示されます。



- 4 自車位置設定の **修正** をタッチする。



5

カーソル(—|—)の位置を確認し、必要であれば画面をタッチして修正する。

6

セット をタッチする。

：角度修正画面になります。



カーソル(—|—)

6

7

矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、**セット** をタッチする。

：「現在地を修正しました」とメッセージを表示し、現在地画面に戻ります。

進行方向



7-1

7-2



アドバイス

- 現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。
- 現在地(自車)マークの位置／角度を修正する際の地図は“北方向を上”の地図になります。
- GPSを受信すると、受信した位置を表示します。
- 地図画面をスクロールさせるには「「地図スクロール(地図を動かす)」B-12をご覧ください。

設定

〔現在地(自車)マークの位置を変更する〕

自車マークの種類を設定する

自車マーク種類を選ぶことができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **現在地** をタッチする。

：現在地設定画面が表示されます。



3

マークの種類(**エスロク** / **Nコロ** / **バイク** / **ジェット** / **ペンギン** / **矢印**)を選択し、タッチする。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

音声案内の音量を調整する

ルート案内時の音声案内の音量を調整することができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **案内音量** をタッチする。

：ルート案内の音量設定画面が表示されます。



3

■ 音声案内の音量調整をする場合

- ① **-** / **+** をタッチして、
好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します”と音声がかかります。



■ 音声案内を止める場合

- ① **消音** をタッチする。

：消音ボタンが点灯し、音声が消えます。

※音声を出したい場合は、もう一度 **消音** をタッチしてください。



4

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバンス

- 音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。
- ルート案内時に音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報も聞きたい場合は、**現在地** を押すと、音声案内を聞くことができます。
- 上記手順 **3** で **消音** を選択している場合、**現在地** を押しても音声案内を聞くことはできません。
- 各音声案内(合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／AV画面中の案内割込み)を設定することができます。各設定につきましては、**設定**「ルート案内画面の設定をする」F-22をご覧ください。
- **MENU** を押し、クイックMENUの **案内音量** からでも音量設定画面に入り、設定することができます。*

★印…VXM-128Cの場合

〔自動車マークの種類を設定する〕

設定

〔音声案内の音量を調整する〕

VICS 表示の設定をする

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。

☞「交通情報(VICS 情報)について」E-3

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。



3

VICS をタッチする。

: VICS 表示設定画面が表示されます。



4

表示したい項目(**駐車場**、**規制**、**渋滞無し**、**渋滞混雑**)をタッチする。

※項目ボタンをタッチし、表示灯を点灯／消灯するたびに、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

表示灯



5

表示したい道路(**一般道** / **有料道**)をタッチする。

一般道 …一般道路に対し交通情報を表示します。

有料道 …有料道路に対し交通情報を表示します。

表示灯



6

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

情報表示を止める

F-34の手順 **4** の設定画面で、表示を止めたい項目(**駐車場**、**規制**、**渋滞無し**、**渋滞混雑**)、F-34の手順 **5** で表示を止めたい道路(**一般道**、**有料道**)をタッチし、表示灯を消灯させます。



アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
- 情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。
- レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、交通情報(VICS)を受信する設定にし、VICS放送局(**E-7**)を受信してください。
E-10 「受信する情報を選ぶ」
E-16 「交通情報／一般情報を選局する」

レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について

1

手順 **4** (**E-7** F-34)または手順 **5** (**E-10** F-34)で、**点滅** をタッチして、表示灯を点灯させると、レベル3の矢印表示が点滅します。

※もう一度 **点滅** をタッチして表示灯を消灯させると、矢印は点滅しません。



設定

2

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

〔VICS表示の設定をする〕

ETCの各機能を設定する(1)

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンやETCレーンの非表示/表示、料金所通過確認ブザーやETC音声ガイドの有無の設定をすることができます。

詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。



3

ETC をタッチする。

: ETC画面が表示されます。



4

設定する項目を選択し、タッチする。

■ カード挿入アイコン表示の設定をする場合

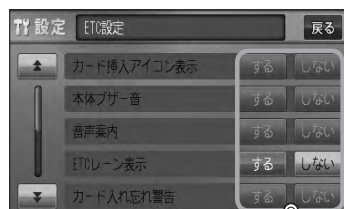
① カード挿入アイコン表示(**する** / **しない**)
を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

: ETCカードを挿入すると情報バーに **ETC** アイコンが表示されます。

□ **しない** をタッチしたとき

: ETCカードを挿入しても情報バーに **ETC** アイコンが表示されません。



アドバイス

カード挿入アイコン表示を **する** に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーに **ETC** アイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

■ ブザーの設定をする場合

① ブザーの設定(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

：ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時にETC車載器のブザーを鳴らします。

□ **しない** をタッチしたとき

：ブザーは鳴りません。

■ 音声案内を設定する場合

① 音声案内の設定(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

：利用料金等をナビゲーション本体から音声案内します。

□ **しない** をタッチしたとき

：音声案内しません。

■ ETCレーン表示の設定をする場合

① ETCレーン表示の設定(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

：料金所の手前でETCレーンを表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：ETCレーン表示は行ないません。

■ カード入れ忘れ警告の設定をする場合

① カード入れ忘れ警告(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

：車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)またはⅡ(ON)にしたときにETCカードが挿入されていない場合、音声と画面でお知らせします。

□ **しない** をタッチしたとき

：カード未挿入警告はしません。



アドバイス

ETCレーン表示の設定は、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続しなくても設定することができます。

ETCの各機能を設定する(2)

■ カード有効期限案内の設定をする場合

- ① カード有効期限案内(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

- **する** をタッチしたとき

: ETCカードの有効期限の2ヶ月前または、有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI(アクセサリー)またはII(ON)にすると音声と画面でお知らせします。

- **しない** をタッチしたとき

: カード有効期限案内のお知らせはしません。



■ 表示割込み時間の設定をする場合

- ① 表示割込み時間(**5秒** / **10秒** / **15秒** / **30秒** / **しない**)を選択し、タッチする。

- **5秒** / **10秒** / **15秒** / **30秒** をタッチしたとき

: ETC関係のお知らせがそれぞれの時間で表示されます。

- **しない** をタッチしたとき

: ETC関係のお知らせは表示されません。



しない に設定していても料金通過時、料金支払時は表示割込みされます。

5

現在地の地図画面に戻るときは、 **現在地** を押す。



アドハイス

手順 4 (**アドハイス F-36**) の ETC レーン 表示 の **する** / **しない** の 設定 は、 常 に 変 更 で き ま す が、 他 の 設 定 は、 本 機 に 別 売 の ETC 車 載 器 (ナ ビ 連 動 タ イ プ) を 接 続 し て い る 場 合 の み 変 更 で き ま す。



ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

< ETCとは >

インターチェンジランプなどの料金所では、いったん、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)ユニットは、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器(ナビ連動タイプ)間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

< ETCを利用するには >

ETCをご利用になるには、ETC車載器(ナビ連動タイプ)のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法につきましては、ETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。



お願い

ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。

ETCの基本操作

ETCカードの挿入や取り出しにつきましては、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

料金所通過表示について

1 料金所手前でETCレーンが表示されます。

※F-36の手順 **4** でETCレーン表示 **する** に設定している場合のみ表示されます。



2 ETCゲートを通過すると「利用料金は〇〇円でした」という音声ガイドが流れ、利用金額と利用時刻が画面に表示されます。



アドバイス

- この機能を利用するには、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)が必要となります。
[P]「別売品(システムアップ)について」P-57
- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCレーン表示(F-36の手順 **4**)を **しない** に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCカード未挿入でETC予告アンテナ付近を通過すると、音声でお知らせと、“ETCが利用できません。停車してください。”と画面にメッセージが表示されます。

予告案内／警告表示について

ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示、一部音声でのお知らせをします。

内容は以下のとおりです。

<予告案内>

料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

“ETCが利用できません”

“ETCが利用可能です”

<警 告>

“ETCカードを確認してください”

ETCカードが故障、またはカードがETCでないときに表示されます。

“ETCに異常が検出されました 販売店に連絡してください”

ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

“ETCカードが挿入されていません”

ETCカードを挿入しないで、「**■カード入れ忘れ警告の設定をする場合**」F-37で **する** に設定している場合、本機起動時に表示されます。

“ETCユニットがセットアップされていません”

ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。

“ETCカードの有効期限が切れています ETCがご利用できません”

有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)またはⅡ(ON)にすると、「**■カード有効期限案内の設定をする場合**」F-38で **する** に設定した場合、音声と画面でお知らせします。

設
定

(ETCを利用する)

メンテナンス情報を設定する(1)

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のオイルや消耗部品の交換・イベント時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

■日付の設定：オイル交換／クリーンフィルター交換／車検・点検／タイヤローテーション／結婚記念日／誕生日1／誕生日2／お好み

■距離の設定：オイル交換／クリーンフィルター交換／タイヤローテーション

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。



3

お知らせ をタッチする。

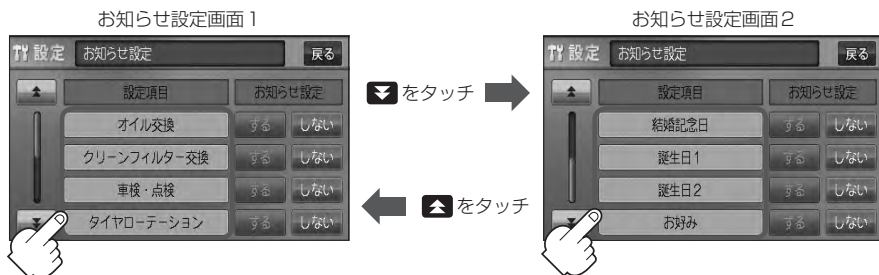
：お知らせ設定画面が表示されます。



4

設定項目 (**オイル交換** ／ **クリーンフィルター交換** ／ **車検・点検** ／ **タイヤローテーション** ／ **結婚記念日** ／ **誕生日1** ／ **誕生日2** ／ **お好み**) を選択し、タッチする。

：各設定の詳細画面が表示されます。



交換時期や記念日の設定をします。



アドバイス

日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定してください。項目によっては日付のみの場合があります。

■ 日付の設定をする場合

① 年月日の **設定** をタッチする。

：年月日入力画面が表示されます。

② 数字をタッチして日付を入力し、

決定 をタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。

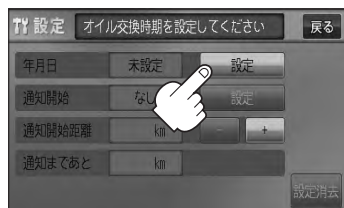
☞ 入力方法はB-32を参考にしてください。

※年の入力は西暦(4桁)で入力します。

ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けてください。

例) 2011年10月15日は「**2 0 1 1**
1 0 1 5」とタッチする。

(例) オイル交換設定詳細画面

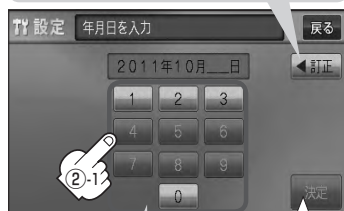


入力した数字を訂正する場合

◀ **訂正** をタッチします。

全ての数字を訂正する場合

◀ **訂正** を長めにタッチします。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

決定

②-2



アドバイス

- 日付の設定はお知らせしたい年の西暦(年)を入力してください。
- 設定した日付がすぎたら、もう一度、日付の設定をしなおしてください。

■ 通知開始日の設定をする場合

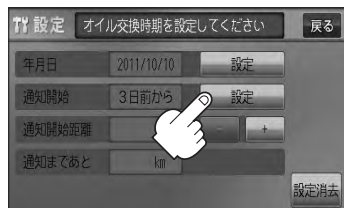
① 通知開始の **設定** をタッチする。

：タッチするたびに

→ 3日前から → 7日前から → なし
(当日)

と切り替わります

(例)



メンテナンス情報を設定する(2)

■ 距離の設定をする場合 (オイル交換・クリーンフィルター交換・タイヤローテーション選択時)

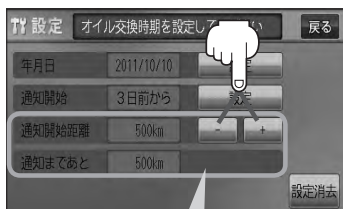
① **－** / **＋** をタッチして距離を設定する。

※設定距離は500～3万kmの範囲で、500km単位で設定できます。



- 設定した距離がすぎたら手順**1**～**4**(**ⓘ** F-42)にしたがって操作し詳細画面を表示させ、情報の消去(**ⓘ** F-46)を行ってから、もう一度距離の設定をしておしてください。
- 一定通知距離を設定した後、通知距離に満たない距離を走行した状態で、通知開始距離を短く設定した場合(通知距離“0”表示)次のエンジンスイッチⅠ(アクセサリ)／Ⅱ(ON)でメンテナンス情報が表示されます。このような場合は一度設定消去を行ない、通知開始距離を現在の走行距離から通知距離に再設定しておってください。

(例)



距離の設定をする場合に表示されます。

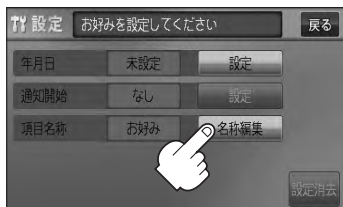
■ 名称の編集をする場合 (お好み選択時)

① **名称編集** をタッチする。

：名称編集画面が表示されます。

② **訂正** をタッチして訂正したい文字を削除する。

※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** を長めにタッチしてください。



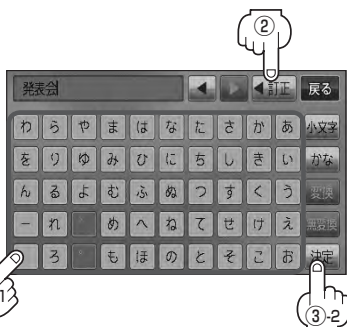
③ 文字をタッチして入力し、

決定 をタッチする。

ⓘ 入力方法はB-31を参考にしてください。

※かな、全カナ、全英字、全数記を5文字まで、半カナ、半英字、半数記を10文字まで入力できます。

：お好み設定詳細画面に戻ります。



6

戻る をタッチする。

：お知らせ設定画面が表示され、設定した項目のお知らせ設定は **する** が選択されます。
(ボタン点灯)

7

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。



アドバイス

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションを立ち上げた(起動した)ときにそれぞれの画面でお知らせします。

※ **お知らせ不要** をタッチすると現在地表示画面に切り替わり、次回起動時からは案内されません。

(例) 設定当日



- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきましたHonda販売店へご相談ください。
- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を **しない** にしているときは案内されません。
[図] 「■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合」 F-46
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

設定

(メンテナンス情報を設定する)

メンテナンス情報を設定する(3)

設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する

■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合

- ① F-42手順 **1**、**2** に従って操作し、
各設定項目の **しない** をタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 **する** をタッチしてください。

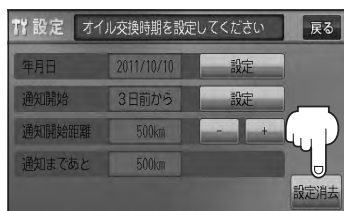


■ メンテナンス情報の設定を消去する場合

- ① F-42手順 **1**、**2** に従って操作し、
設定を消去する項目を選びタッチする。



- ② **設定消去** をタッチする。



: 設定を消去してもいいかどうかの確認
メッセージが表示されるので **はい** を
タッチします。

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。

**3**

携帯電話 をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

**4**

各操作につきましては **図 0-1** をご覧ください。

〔メンテナンス情報を設定する〕

設定

〔携帯電話について〕

キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。



3

その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。



4

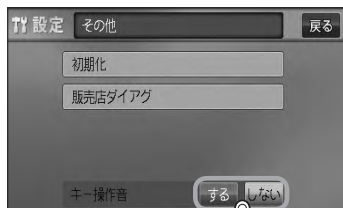
キー操作音(**する**／**しない**)を選択し、タッチする。

■ キー操作音を出す場合

① **する** をタッチする。

■ キー操作音を出さない場合

① **しない** をタッチする。



5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

データを初期化(消去)する(1)

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルートなど)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。



3

その他 をタッチする。

: その他画面が表示されます。



4

初期化 をタッチする。

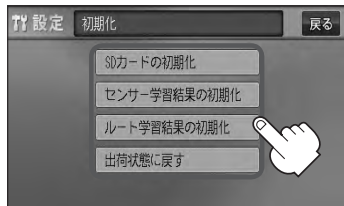
: 初期化画面が表示されます。



5

初期化したい項目(**SDカードの初期化** / **センサー学習結果の初期化** / **ルート学習結果の初期化** / **出荷状態に戻す**)をタッチする。

: 初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を画面に従って選択します。



「キー操作音をの設定をする」

設定

「データを初期化(消去)する」

データを初期化(消去)する(2)



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選択すると、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。
※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。



アドバイス

- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチ(電源)をO(ロック)にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 手順 **4** (E F-49)で選択する項目によって初期化される内容が異なります。
 - SDカードの初期化** ボタン ……………SDカードにあるデータを初期化します。
 - センサー学習結果の初期化** ボタン ……車の走行状況を初期化します。
 - ルート学習結果の初期化** ボタン ……本機のルート学習機能を初期化します。
 - 出荷状態に戻す** ボタン ……………個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位)を学習し、記録しています。
(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行なってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかって、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。
- **出荷状態に戻す** を行なったときは、オーディオモードがOFFになります。

リアカメラ映像を設定する(1)

車両標準装備
別売

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

(リアカメラの映像を調整するには「**設定**」画質調整のしかた」P-2をご覧ください。)

リアカメラ映像を表示する

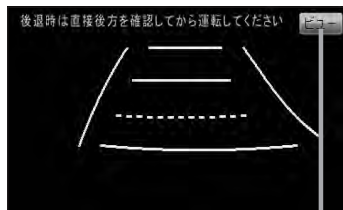
■ 車のセレクトレバーをリバースに入れた場合

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。
その間、後方確認のメッセージが表示されます。

■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れた場合

：もとの画面に戻ります。

(例)リアカメラ映像



ビュー はリアワイドカメラ接続時のみ表示されます。

ビューの切り替えをする (リアワイドカメラ接続時のみ)

1 リアカメラ映像画面表示中に **ビュー** をタッチする。

：ビュー切り替えボタンが表示されます。



2 ビュー切り替えボタン(**ノーマル** / **ワイド** / **トップダウン**)をタッチする。

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューはグレイアウトとなりタッチできません。

※ビューの切り替えボタン表示後、5秒間操作がない場合はビュー切り替えボタンが消えます。



お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行なってください。

データを初期化(消去)する

設定

リアカメラ映像を設定する

リアカメラ映像を設定する(2)

車両標準装備
別売

リアカメラガイドを表示する

- 1 パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れ、リアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして **ガイドON** をタッチする。

：リアカメラガイドが表示されます。



ガイドON ↔ **ガイドOFF** と切り替わります。



ガイドON ↔ **ガイドOFF** はパーキングブレーキをかけなくてもボタンをタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行なってください。

- 2 表示を止めるには画面をタッチして **ガイドOFF** をタッチする。



お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行なわないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行なってください。

警告文の位置を下げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↓** をタッチする。

：画面上部の警告文が画面下部に表示されます。



警告文↓ ↔ **警告文↑** と切り替わります。

2 位置を上げるには画面をタッチして **警告文↑** をタッチする。



アドバイス

- 車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。
- リアワイドカメラ接続時では、警告文の位置を下側にすると **ビュー** も下側に移動しますが、ビュー切り替えボタンは上側に表示されます。



設定

〔リアカメラ映像を設定する〕

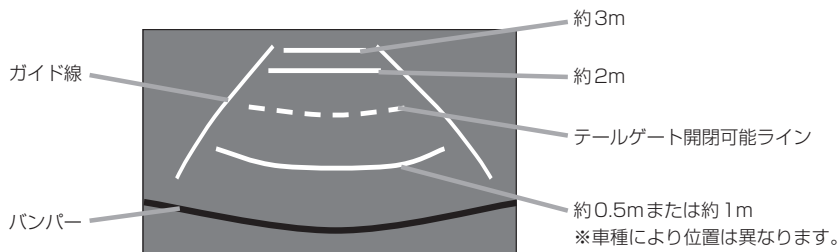
リアカメラ映像を設定する(3)

車両標準装備
別売

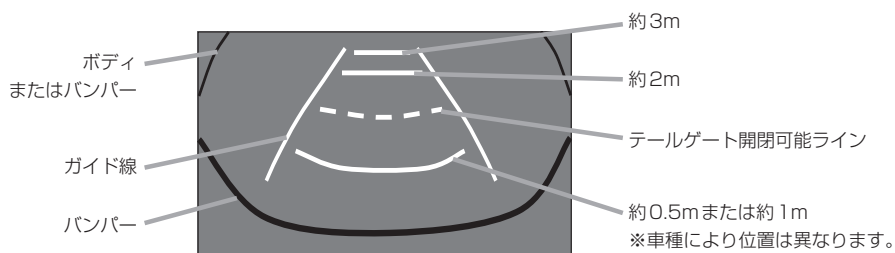
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類及び選択した表示ビューにより見え方が異なります。

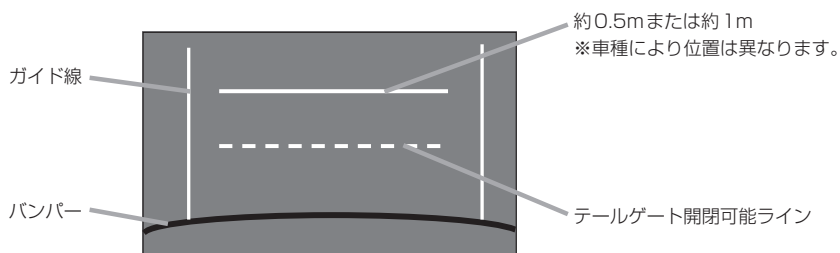
●リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)の画面



●リアワイドカメラ(ワイドビュー)の画面



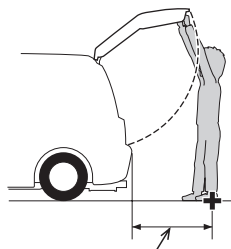
●リアワイドカメラ(トップダウンビュー)の画面





アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、各 Honda 販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、各 Honda 販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・ 図(F-54)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - ・ 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

設定

〔リアカメラ映像を設定する〕

リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)

車両標準装備
別売

リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているとき、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。

リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1

MENU を押す。

2

設定 → **次へ** をタッチする。



3

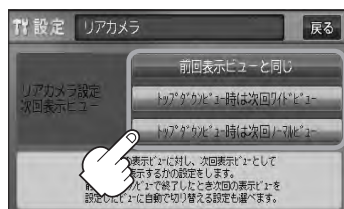
リアカメラ設定 をタッチする。

：リアカメラ設定画面が表示されます。



4

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。



- 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える場合

- ① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** / **トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー** をタッチする。

- 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする場合

- ① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。

5

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地** を押す。

オーディオ／共通

ワンセグについて☆	G-2
地上デジタルテレビ放送の チャンネル変更(リパック)について☆	G-2
ワンセグの番組受信について☆	G-3
マルチサービスについて☆	G-3
ワンセグの画像について☆	G-4
ディスクのMP3／WMA音楽再生について	G-5
DVDビデオについて☆	G-11
ディスクに表示されているマークについて☆	G-11
VRモードで作成したディスクについて☆	G-12
ディスクの構成について☆	G-12
SDカードの音楽再生について	G-13
USB機器の音楽再生について	G-16
iPodについて	G-18
iPodとは	G-18
使用上のご注意	G-18
対応可能なiPod	G-19
各部の名称とはたらき	G-20
パネル部について	G-20
基本操作	G-22
各モードを選択する	G-22
映像の表示について	G-24
SDカードを入れる／取り出す	G-25
オーディオモードをOFFにする	G-26
設定の保持について	G-26
ページのスクロールについて	G-26

AV SOURCE画面のモードボタン について	G-27
パネル部のボタンで選曲する	G-28
早戻し／早送りをする	G-29
リピート／ランダム／スキャン／ シャッフル再生	G-30
音量を調整する	G-33
音質／音量バランスの調整をする	G-34
車速連動音量を設定する	G-36
時計を表示する	G-38
もとの画面に戻す	G-38
交通情報を受信する	G-39
音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	G-40

地上デジタルテレビ放送は、地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

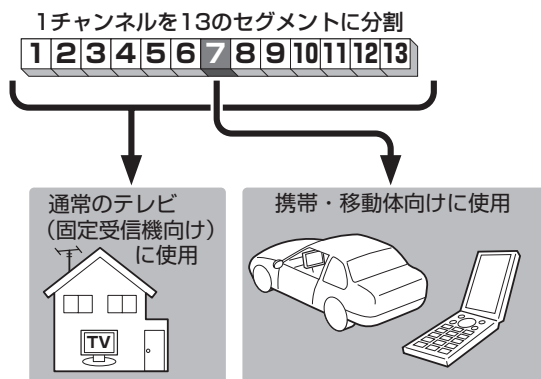
本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。



「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。

アドバンス 社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。

※ただし、東北地方の岩手県、宮城県、については2013年の3月末までに実施されます。

- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。(P12)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報に関しては下記のホームページをご覧ください。

<http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main>

ワンセグの番組受信について(1)

VXM-128VS

共通
オーディオ

ワンセグについて／ワンセグの番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CM や次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例) 周りが黒く表示される



(例) 上下が黒く表示される



(例) 左右が黒く表示される



ディスクのMP3／WMA音楽再生について(1)

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

●再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio* ¹
対応サンプリング周波数	 G-9 参照	 G-10 参照
対応ビットレート* ²		

* 1 印…●DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

- Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。

* 2 印…●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

- VBR(可変ビットレート)に対応しています。

- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

●使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

●ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
※拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

ディスクのMP3 / WMA 音楽再生について(2)

●ID3タグについて

MP3 ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は全角、半角ともに32文字です。
※対応バージョンはVer 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3となります。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

●MP3 / WMAの再生について

MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。



アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(飛ばします。)

●MP3 / WMAの演奏時間表示について

MP3 / WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

●使用できるディスクのフォーマットについて

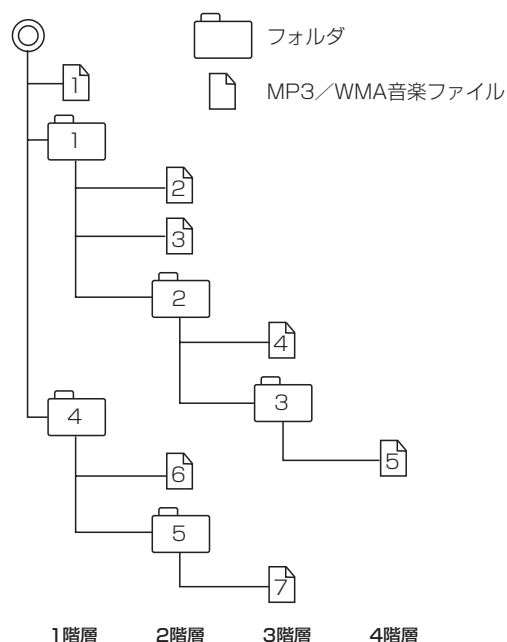
使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3 / WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角、半角ともに32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS 第一水準
- 1メディア内の最大ファイル数 : 255
- 最大フォルダ数 : 100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3i フォーマット／MP3 PRO フォーマット／ディエンファシスには対応していません。

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並び替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

●著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作権者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディスクのMP3／WMA音楽再生について(3)

●MP3／WMA ファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

●インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。

音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

●音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)

本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合があります。)”の項目にチェックを付けないでください。

●CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート(kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※ VBR…可変ビットレート

ディスクのMP3／WMA音楽再生について(4)

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※ VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3／WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで保存されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

(例)



オーディオ
共通

DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバース

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の2つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要です。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

マーク (例)	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクのMP3 / WMA音楽再生について / DVDビデオについて

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。

VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R／DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

DVD再生ディスク対応一覧表

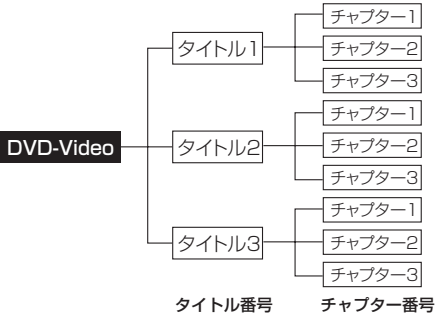
メディアの種類 (記録方式) 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×

—…記録できないディスク

×

*印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

ディスクの構成について



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3／WMA／AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

- SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。
- AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。
※MP3／WMAの説明につきましては「 G-5をご覧ください。

●SDカードについて

- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- SDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS- Iには対応していません。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
「「データを初期化(消去)する」F-49
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、反りなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

SDカードの音楽再生について(2)

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては[図 G-9]をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数 16～48kHz、対応ビットレート 16～320kbps となります。

※ 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※ 64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

●操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機 能		SDカード (2GB以下)	SDHCカード (4GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

※本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3i フォーマット／MP3 PRO フォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 再生の順序は、同一のSDカードでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 選曲モード([図 L-4])のフォルダやトラックリストに表示される順番は[図 G-7]「階層と再生順序のイメージ」G-7に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

●ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3 ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。

（トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。）

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

USB機器の音楽再生について

USB機器を使用して本機で再生することができます。

- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。
- AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。
※MP3／WMAの説明につきましては「 G-5をご覧ください。

●USB機器について

- 32GBまでの容量のUSB機器に対応しています。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードに接続してください。
※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodの再生をすることもできます。「 「iPodを本機に接続する」N-4
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- マストストレージクラスのUSB機器に対応しています。
- パーティションが複数ある機器には対応していません。
- 電流が500mAを超える機器には対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求される機器には対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。
- ウォークマン[®](USB音楽プレーヤー)には対応していません。
- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USB機器の音楽再生中にUSB機器を外さないでください。
USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSB機器の動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を置かないでください。故障の原因となります。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。

- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数：3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 選曲モードのリストに表示される順番は、「階層と再生順序のイメージ」G-7に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACファイルは再生できません。

●ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
- ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
- ※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては G-9をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

- ※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

iPodについて

iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、本機でiPodの曲を再生することができます。

Made for



iPod



iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォート、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

*印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピーターやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチのⅡ(ON)／O(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod用接続ケーブルをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- iPodはiPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードで再生させます。[A] N-4
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

対応可能な iPod

2011年6月現在

対応モデル	対応可否	ソフトウェア
iPod 第3世代	×	—
iPod 第4世代(クリックホイール)	×	—
iPod photo 含 iPod with color display	×	—
iPod 第5世代(with video)	○	1.3
iPod classic(80G/160G)	○	1.1.2
iPod classic(120G)	○	2.0.1
iPod classic(160G)	○	2.0.4
iPod mini(第1世代)	×	—
iPod mini(第2世代)	×	—
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	○	1.1.3
iPod nano(第4世代)	○	1.0.4
iPod nano(第5世代)	○	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.1
iPod touch(第1世代)	×	—
iPod touch 第1世代 (ソフトウェア ver3)	○	3.1.3
iPod touch(第2世代)	○	4.2.1
iPod touch(第3世代)	○	4.3.2
iPod touch(第4世代)	○	4.3.2
iPhone 3G(softbank)	○	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	○	4.3.2
iPhone 4(softbank)	○	4.3.2

○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可) ×：再生不可

最新の適応情報は下記 URL をご確認ください。

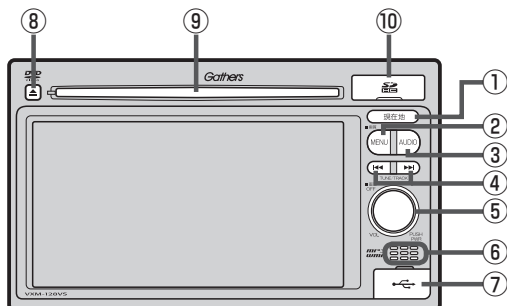
<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

アドバース

- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPad、iPad2には対応していません。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できないことがあります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini/iPod photoには対応していません。
- iPod/iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod/iPhoneを一度リセットしてください。
リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

パネル部について



① 現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

☞ B-7、G-40

② MENU ボタン

- FM / AM / CD / MP3 / WMA / USB / iPod / SD / ワンセグ☆ / VTR モード時にボタンを押すと、ナビゲーションモードのトップMENU画面を表示します。

- DVD☆モード時にボタンを押すと、操作ボタン1を表示します。

☞ K-2

- 長押しすると画質調整画面を表示します。

☞ P-2

③ AUDIO ボタン

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(モードの切り替えをする)ときに使用します。

☞ G-23

④ ◀▶ ボタン

- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。

・ CD / MP3 / WMA / SD / USB / iPod

☞ G-28

・ FM / AM ☞ H-6

・ ワンセグ☆ ☞ I-14

・ DVD☆ ☞ K-7

- 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。

・ CD / MP3 / WMA / DVD☆ / SD / USB / iPod

☞ G-29

・ FM / AM ☞ H-6

・ ワンセグ☆ ☞ I-14

- 一時停止中にコマ戻し／コマ送りを行ないます。

・ DVD☆ ☞ K-8

- 一時停止中に長押しすると、スロー戻し／スロー送りを行ないます。

・ DVD☆ ☞ K-9

⑤ ○ ボタン(VOL / PUSH PWR)

- ボタンを押すたびに、オーディオモードをON / OFFします。

☞ G-26

- 右方向または左方向に回転し、オーディオの音量を調整します。

☞ G-33

- 2秒以上長押しで画面を消します。

☞ P-6

☆印…VXM-128VSの場合

⑥ 内蔵マイク☆

ハンズフリー機能を使用して、電話を発信または着信後に内蔵マイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

 0-2

⑦ USB接続口

カバーを開けると接続口があらわれます。USB／iPodモードを使用する場合、別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPodに付属のUSBケーブルを接続します。

 N-4

⑧ ボタン(DVD☆／CDイジェクト)

ディスクを取り出すときに使用します。

 B-3、G-24

⑨ ディスク挿入口

 B-3

⑩ SDカード挿入口

SDモードを使用する場合、カバーを開けてSDカードを差し込みます。

 B-4



オーディオデバイス

画面に表示されるタッチパネル部のボタンにつきましてはそれぞれを参照してください。

- | | | |
|--|--|---|
| ・FM／AM  H-2 | ・ワンセグ☆  I-3 | ・CD／MP3／WMA  J-2 |
| ・DVD☆  K-2 | ・SD  L-2 | ・VTR  M-2 |
| ・USB  N-2 | | |

☆印…VXM-128VSの場合

基本操作(1)



- パネル部の詳細につきましては「**図2**」各部の名称とはたらき」G-20をご覧ください。
- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とは、FM／AM／CD／MP3／WMA／DVD[☆]／USB^{*1}／SD／ワンセグ[☆]／VTR^{*2}モード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

* 1 印…iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodの音楽データを再生させることができます。

* 2 印…本機に別売のVTRコードまたは別売のAUX接続コードを接続している場合に選択できます。

☆印…VXM-128VSの場合

各モードを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、G-23手順**2**へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)またはⅡ(ON)に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。



起動初期画面



(例)CDモード TOP画面



注意

車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)の状態(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2

AUDIO を押す。

： AV SOURCE画面または最後のオーディオモード画面が表示されます。最後のオーディオモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度 **AUDIO** を押して AV SOURCE画面を表示させてください。

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は、挿入または接続してください。

☞ B-3、B-4、M-3、N-4

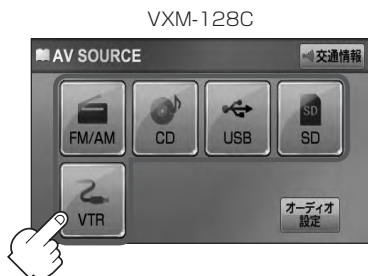
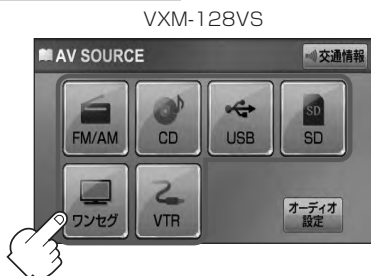
3

操作したいモード(**FM／AM**／**CD**／**DVD**☆／**USB**／**SD**／**ワンセグ**☆／**VTR**)をタッチする。

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面(下記)に表示されるモードボタン(各機能)は型式によって異なります。また、各ボタンの詳細につきましては☞ G-27を参照してください。

AV SOURCE画面



■ 操作したいモード画面が表示された場合

① ☞ それぞれの項目をご覧ください、ご希望の操作を行なってください。

- ・ FM／AM ☞ H-1
- ・ DVD☆ ☞ K-1
- ・ ワンセグ☆ ☞ I-1
- ・ SD ☞ L-1
- ・ CD／MP3／WMA ☞ J-1
- ・ VTR ☞ M-1
- ・ USB ☞ N-1

※音楽再生をしていた場合は前回の続きから再生を始めます。

☆印…VXM-128VSの場合

基本操作(2)

映像の表示について



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するモードはDVD☆/ワンセグ☆/VTRとなります。

(例)DVD☆モード画面(走行中)



注意

ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。

1

ディスクを入れる／取り出す。

■ ディスクを入れる場合

① ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動で再生を始めます。

■ ディスクを取り出す場合

① (DVD☆/CDイジェクト)を押す。

：ディスクがディスク挿入口より出てきます。



アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(続きから再生)を行ないます。☆
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、前に再生していた続きから再生を始めます。
-  (DVD☆/CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。

☆印…VXM-128VSの場合

SDカードを入れる／取り出す

1

SDカードカバーを開ける。

 B-4

：SDカード挿入口があらわれます。

2

SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

※SDモードを選択している場合は再生を始めます。

② SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

② SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。



アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。

※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。

- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)して取り出してください。

基本操作(3)

オーディオモードをOFFにする

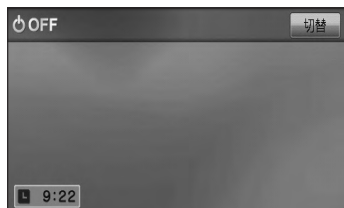
1 ○(VOL / PUSH PWR)を押す。

：画面に“OFF”と表示され、オーディオの各モードを終了します。

もう一度押すと、オーディオモードをONします。

※前回、音楽またはDVD※を再生していた場合は続きから再生を始めます。

(例)CDモード TOP画面



○ボタン(VOL / PUSH PWR)

☆印…VXM-128VSの場合

設定の保持について

決定のある画面では、**決定**をタッチすると設定が保持されます。

決定をタッチしないで**戻る**をタッチまたは**MENU** / **現在地**を押すと設定は保持されません。

※ **決定**のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。

ページのスクロールについて

次ページがある場合、**上** / **下** タッチでページのスクロール(戻し/送り)表示することができます。

※走行中はスクロールできません。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

AV SOURCE画面

VXM-128VS



VXM-128C



選択可能モードはモードをあらわす文字が黒色表示



選択不可能モードはモードをあらわす文字が灰色表示



● CD / DVD[☆]表示について

CD / DVD[☆]モードボタンまたは **CD**[★]モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

使用状態 型式	CD / DVD [☆] 未挿入時 ^{*1}	ディスク再生中に ディスクを抜いた とき ^{*2}	CD / MP3 / WMAディスクを 挿入し再生時	DVD [☆] ディスク を挿入し再生時
VXM-128VS				
VXM-128C				—



アドバンス

^{*}1 印…^{*}2 のとき、一度他のモードにすると選択不可(^{*}1 の状態)となります。

● **CD/DVD**[☆]は挿入したディスクによって **CD**、**DVD**[☆]と表示が変わります。

● SDモード / USBモードを使用するにはSDカードを本機に挿入 / 別売のUSBメモリーデバイスコードを本機に接続し、USB機器を接続しておく必要があります。[**⏮** B-4、N-4

※ SDカード未挿入 / USB機器未接続の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

● iPodを再生するにはiPod本体に付属されているUSBケーブルに本機とiPodを接続しておく必要があります。[**⏮** N-4

☆印…VXM-128VSの場合

★印…VXM-128Cの場合

オーディオ
共通

〔基本操作〕／〔AV SOURCE画面のモードボタンについて〕

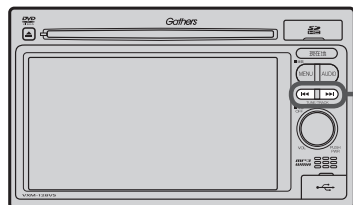
パネル部のボタンで選曲する

操作パネル上のボタンを押して1曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1

⏮ / ⏭ (トラック*¹)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



⏮ / ⏭ ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

① ⏮ を2回押す。

※ 1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。*²

■ 次のトラックに進む場合

① ⏭ を押す。



アドバイス

● 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

- ・ CD / MP3 / WMA  J-4
- ・ SD  L-4
- ・ USB  N-6
- ・ iPod  N-10

* 1 印…FM / AM / ワンセグ*モードでは選局、DVD*モードではスキップと呼び名を変えています。

- ・ FM / AM  H-6
- ・ ワンセグ*  I-14
- ・ DVD*  K-7 ~ K-9

* 2 印…CD / MP3 / WMA モードのとき、トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

☆印…VXM-128VSの場合

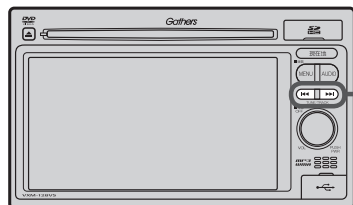
早戻し／早送りをする

1

⏮／⏭ (トラック／スキップ) を押し続ける。

：早戻し／早送りをします。

※DVD☆モードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。



⏮／⏭ ボタン
(トラック／スキップ)

■ 早戻しで戻る場合

① ⏮ を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

① ⏭ を押し続ける。

再生状態表示

▶ ：通常再生

⏭ ：早送り

⏮ ：早戻し

(例) 音楽再生の場合



アドバース

- それぞれのボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。
- FM／AM／ワンセグ☆モードのときに押し続けると自動選局を開始します。
 - ・FM／AM H-6
 - ・ワンセグ☆ I-14

☆印…VXM-128VSの場合

オーディオ
共通

〔パネル部のボタンで選曲する〕／〔早戻し／早送りをする〕

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(1)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 再生したいモード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート をタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート再生されます。

※ **リピート** をタッチすることにより
下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき
🔄マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが
表示されます。

選択時点灯

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム をタッチする。

：ボタンが点灯し、ランダム再生されます。

※ **ランダム** をタッチすることにより
下記のように用途が変わります。

CDの場合

ディスク内の曲をランダム再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき
🔀マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが
表示されます。

選択時点灯

MP3／WMAの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき
🔀マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

SD／USBの場合

今聞いているリストの中からランダム再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき)

 マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)



ランダム再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

(例)スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

CD／MP3／WMAの場合

ディスク内の曲をスキャン再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき)

 マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)



スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

SD／USBの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき)

 マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(2)

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※USBモード(iPod再生のみ)

① **シャッフル** をタッチする。

(例)シャッフル再生画面



選択中の再生状態を表示

選択時ボタン点灯

：ボタンが点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチすることにより、下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき)

 マーク表示有)



今聞いているリストをアルバムごとシャッフル再生

(ボタン点灯／TOP画面のとき)

 マーク表示有)



通常再生(シャッフル解除)

(ボタン消灯／マーク表示無)



シャッフル再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。



- マーク表示中はそれぞれの再生モードを繰り返します。
- SDモードまたはUSBモードの選曲モード(L-5、N-7)で“フォルダリスト”を選択している場合は、選択しているフォルダリストのランダム再生またはスキャン再生となります。

音量を調整する

1

○(VOL/PUSH PWR)を右方向／左方向へ回す。

右方向：音量が大きくなります。

左方向：音量が小さくなります。

(例)CDモード TOP 画面



○ ボタン(VOL/PUSH PWR)

音量を調整すると画面に現在の音の大きさ
(0～40)を示す ボリューム VOLUME表示されます。
VOLUME表示は約3秒間表示されます。



アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量は画面をタッチして調整します。

☞ 「音声案内の音量を調整する」 F-33

- DVD☆モードまたはVTRモードの場合、音量は個別に保持します。

※ CDモードで音量を“10”に設定した場合、FM/AM/ワンセグ☆/MP3/WMA/SD/USBモードの音量も“10”となります。

☆印…VXM-128VSの場合

オーディオ
共通

〔リピート／ランダム／スキップ／シャッフル再生〕／〔音量を調整する〕

音質／音量バランスの調整をする

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

- BASS^{バス}：低音域の調整
- TREBLE^{トレブル}：高音域の調整
- BALANCE^{バランス}：左または右スピーカーの音量調整
- FADE^{フェード}：前または後ろスピーカー音量調整

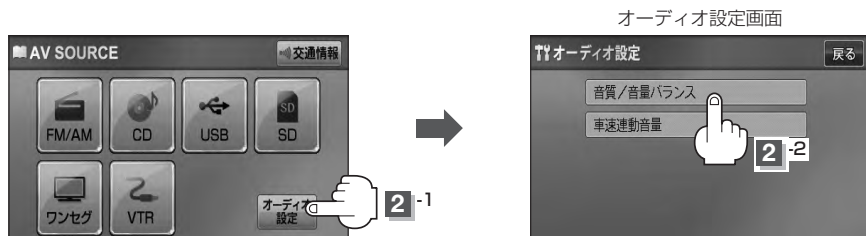
※オーディオモードOFFの場合、音質／音量バランスの調整をすることはできません。

1 各モード画面で **AUDIO** を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

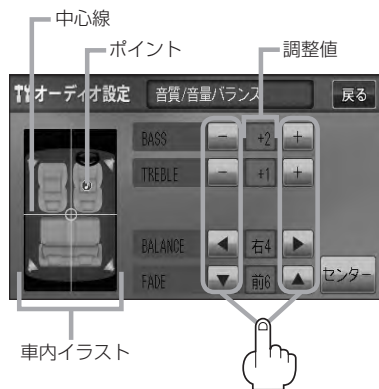
2 オーディオ設定 → 音質／音量バランス をタッチする。

：音質／音量バランス画面が表示されます。



3 調整したい項目(BASS^{バス}／TREBLE^{トレブル}／BALANCE^{バランス}／FADE^{フェード})の **-**／**+** または **◀**／**▶** または **▼**／**▲** をタッチする。

※BALANCEとFADEの場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。



■ BASS(-5～+5)調整の場合

- をタッチすると低音が弱まり、**+** をタッチすると低音が強まる。

■ TREBLE(-5～+5)調整の場合

- をタッチすると高音が弱まり、**+** をタッチすると高音が強まる。

■ BALANCE(左9～右9)調整の場合

- ◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
- ▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ FADE(前9～後9)調整の場合

- ▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
- ▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- **センター** バランス をタッチすると“BALANCE”または“FADE”の値が“0”になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。



ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に **－** / **＋** / **◀** / **▶** / **▼** / **▲** をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1 各モード画面で **AUDIO** を押す。

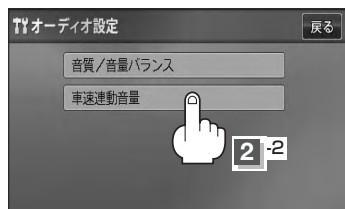
： AV SOURCE 画面が表示されます。

2 オーディオ設定 → 車速連動音量 をタッチする。

： 車速連動音量画面が表示されます。



オーディオ設定画面



3 設定したい音量ボタン(**LOW** / **MIDDLE** / **HIGH**)をタッチする。

： 車速(走行速度)に応じて音量変化は

- LOW…小さい
 - MIDDLE…HIGHとLOWの間
 - HIGH…大きい
- となります。

■ 車速連動音量を設定しない場合

- ① **OFF** をタッチする。



4 設定を終えるには、 **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

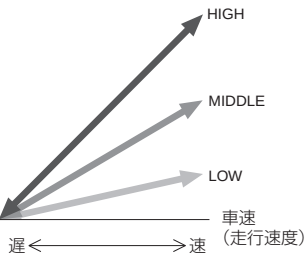


アドバイス

音量変化量

大
↑

なし



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

時計を表示する

FM／AM／CD／MP3／WMA／SD／USB／iPodを再生中、画面全体に時計を表示することができます。

1 各モードのTOP画面で **切替** をタッチする。

：画面全体に時計を表示します。

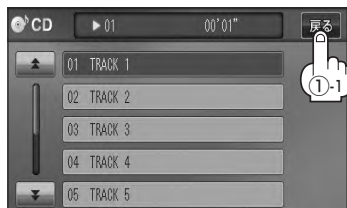
(例)CDモード TOP画面



■ リスト画面が表示されている場合

① **戻る** → **切替** をタッチする。

(例)CDモード リスト画面

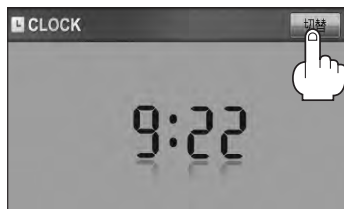


もとの画面に戻る

1 **切替** をタッチする。

：もとの画面に戻ります。

(例)時計表示画面



アドバース

ワンセグ☆モード／DVD☆モード／VTRモード時は、時計を表示させることはできません。

☆印…VXM-128VSの場合

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 各モード画面で **AUDIO** を押す。

： AV SOURCE 画面が表示されます。



ラジオモード(FM／AM)から操作する場合は、**【F】H-12**をご覧ください。

2 **交通情報** をタッチする。

： 交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は 1620kHz に設定されています。

AV SOURCE 画面



(例) 交通情報画面



■ 周波数の設定を変える場合

- ① 受信したい周波数(**1620kHz** ／ **1629kHz**)
をタッチする。

： 設定した周波数で道路交通情報を受信します。



3 交通情報の受信を止めるには、 **戻る** をタッチする。

： 選択していたモード画面に戻ります。



アドバイス

次回、**交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

オーディオ
共通

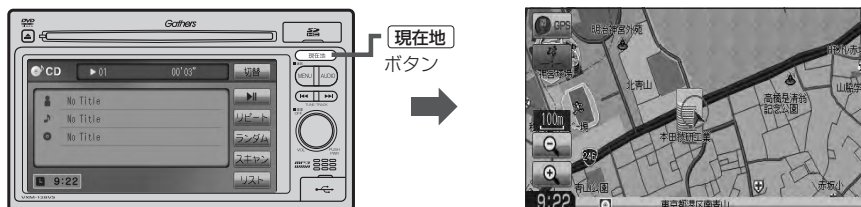
〔時計を表示する〕／〔交通情報を受信する〕

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モード画面で、**現在地**を押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。



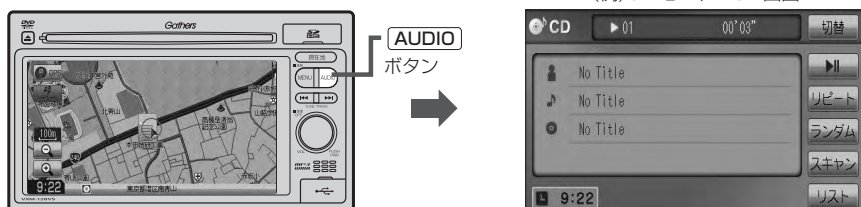
■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① **AUDIO**を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。

再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、**現在地**を押してください。

(例)CDモード TOP画面



アドバイス

オーディオモードの音量調整([G-33)や([/ [] ([G-28, G-29)を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでできます。

H

FM / AM(ラジオ)

ラ
ジ
オ

各部の名称とはたらき	H-2
タッチパネル部について	H-2
表示部について	H-4
FM / AM放送を切り替える	H-5
FM / AMを使う	H-6
選局する	H-6
プリセットボタンにメモリーする	H-10
交通情報を受信する	H-12
周波数の設定を変える	H-13

各部の名称とはたらき(1)

タッチパネル部について

(例)FMモード TOP 画面



(例) FMモード リスト画面
(プリセット1 / プリセット2 ボタン選択時)



(例) FMモード リスト画面
(エリア ボタン選択時)



- ① **リスト ボタン**
現在の車の位置周辺で放送されている放送局をリスト表示します。
[] H-6
- ② **バンド ボタン**
タッチするたびにAMモード↔FMモードと切り替わります。
[] H-5
- ③ **交通情報 ボタン**
道路交通情報を受信します。
[] H-12
- ④ **切替 ボタン**
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** をタッチすると選択中のモード画面に戻ります。
[] G-38
- ⑤ **プリセット ボタン(1～6)**
1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
[] H-10(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
[] H-7
- ⑥ **A.SEL ボタン**
1.5秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯)
[] H-11
※セレクトされた放送局は **プリセット** (1～12) に表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット画面の切り替えとなります。
[] H-8
- ⑦ **プリセット1 / プリセット2 ボタン***
ユーザープリセット1(プリセット1)/ユーザープリセット2(プリセット2)を表示します。
[] H-7
- ⑧ **エリア ボタン***
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** (1～12)に表示します。
[] H-6
- ⑨ **エリア表示 ボタン(1～12)**
エリア選局画面でエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。
[] H-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
- ⑩ **エリア更新 ボタン(1～12)**
エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。
[] H-7アドバイス内



アドバイス

*印…オートセレクト画面(**A.SEL** の表示灯点灯)のとき、**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** は表示されません。

各部の名称とはたらき(2)

表示部について



① FM / AM表示

選択中のバンド(FM放送 / AM放送)を表示します。

□ H-5

② 周波数表示

③ 放送局名表示

※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

④ エリア表示 / プリセット表示 / オートセレクト表示

※リストから選択したボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって表示は異なります。

エリア選局	：	エリア	選択時に表示
プリセット1	：	プリセット1	選択時に表示
プリセット2	：	プリセット2	選択時に表示
オートセレクト	：	A.SEL	選択時に表示

⑤ ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

FM / AM 放送を切り替える

1

バンド をタッチする。

：タッチするたびにAM放送 ↔ FM放送と切り替わります。

(例)FMモード(FM放送) TOP画面



FMモード選択時表示

(例)AMモード(AM放送) TOP画面



AMモード選択時表示

ラジオ

〔各部の名称とはたらき〕／〔FM / AM 放送を切り替える〕

FM / AMを使う(1)

選局する

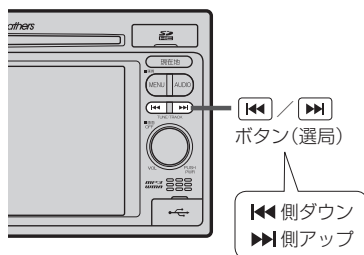
手動選局／自動選局／エリア選局／ユーザープリセット選局／オートセレクト選局があります。

1 選局する。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① ◀▶ (選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① ◀▶ (選局)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に◀▶ (選局)を押すと、自動選局は止まります。



アドバイス

- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① リスト → エリア をタッチする。

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12)に表示されます。

* 印… **エリア** が **エリア更新** に切り替わります。 **プリセット1** / **プリセット2** をタッチすると、**エリア** に戻ります。



② エリア表示 (1～12)の

中で聞きたい放送局を
タッチする。

：選択したラジオ放送を受信
します。

エリア表示 ボタン
(1～12)



- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数異なりますので、全ての**エリア表示**に表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に**エリア更新**をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** / **プリセット2**、**A.SEL**)によって異なります。[「H-9 アドバイス参照」](#)

■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ**プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

[「H-10」](#) **「プリセットボタンにメモリーする」**

① リスト → プリセットボタン (**プリセット1** / **プリセット2**) をタッチする。

：選択中モード(FM / AM)のプリセット表示となります。



② 呼び出したい**プリセット** (1～6)を タッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。



オートセレクト画面を表示している場合は **A.SEL**
をタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画
面に切り替えて手順①を行なってください。

[「H-8」](#) **「オートセレクト画面のときユーザープリセット
／エリア画面に戻すとき」**

H-8

(例)FMモード リスト画面
ユーザープリセット表示



プリセット ボタン(1～6)

ラジオ

FM / AMを使う

FM / AMを使う(2)

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動でFM/AM各12局までメモリー)した放送局を **プリセット** (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

☞「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」H-11

① リスト → **A.SEL** をタッチする。

：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** に表示します。

(例)FMモードTOP画面



(例)FMモード リスト画面*
ユーザープリセット表示



② **プリセット** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送局を受信します。

プリセット ボタン(1～12)
※セレクトできた局の数によって
ボタンの数も変わります。



□ オートセレクト画面のときユーザープリセット/エアリア画面に戻るとき

1. **A.SEL** をタッチする。

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエアリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト ↔ エアリア画面/ユーザープリセットと切り替わります。

(例)オートセレクト画面



表示灯



アドバイス

* 印…リスト画面は選択するボタン(**エアリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって異なります。☞ H-9アドバイス参照

● **A.SEL** を1.5秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。

☞ H-11

● 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。



アドバイス

FM / AMモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア** / **プリセット1** / **プリセット2** / **A.SEL**)によって異なり、画面が下記のように変わります。

(例)FMモード リスト画面

エリア 選択時

(エリア表示)



プリセット1 / **プリセット2** をタッチすると

エリア をタッチすると

(例)FMモード リスト画面

プリセット1 / **プリセット2** 選択時

(ユーザープリセット表示)



A.SEL をタッチして表示灯を点灯すると

(例)FMモード リスト画面

A.SEL 選択時

(オートセレクト表示)



A.SEL をタッチして表示灯を消灯すると

A.SEL をタッチして表示灯を消灯すると

ラジオ

FM / AMを使う

FM / AMを使う(3)

プリセットボタンにメモリーする

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

1 バンドを選ぶ。

☞ 「FM / AM 放送を切り替える」 H-5

2 リスト → メモリーしたいプリセットボタン(プリセット1 / プリセット2)をタッチする。

※ オートセレクトプリセット(自動メモリー)を行なう場合は、**リスト** をタッチ後
☞ 「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」 H-11 へ進んでください。
: ユーザープリセット1 または ユーザープリセット2 画面が表示されます。

(例) FM モード TOP 画面



(例) FM モード リスト画面



3 プリセットする方法を選択する。 (ユーザープリセット / オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

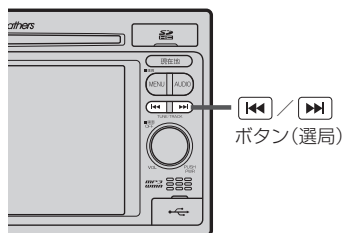
メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1 ~ 6) にメモリーします。

※ **プリセット** には、FM・AMの各モードでプリセット1 / プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

① ◀◀ / ▶▶ (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合」 /

☞ 「■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」 H-6



- ② **プリセット** (1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1～6)



アドバイス

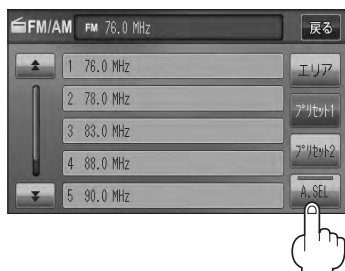
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**プリセット1** または **プリセット2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
 [音]「■ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合」H-7

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動でFM / AM各12局まで **プリセット** にメモリーします。

- ① **A.SEL** を1.5秒以上タッチする。

： **A.SEL** の表示灯が点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。



プリセット ボタン(1～12)

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** (1～12)を軽く(1秒未満)タッチします。
 [音]「■オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」H-8
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1

交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

(例)FMモード TOP画面



(例)交通情報画面



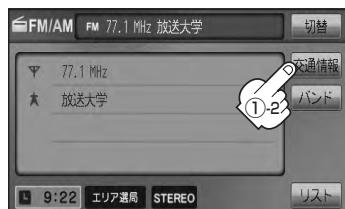
■ エリア／プリセット1／プリセット2／A.SEL画面を表示している場合

① **戻る** → **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

FMモード リスト画面

(エリア表示)



2

交通情報の受信を止めるには、

戻る をタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。



道路交通情報は、AV SOURCE画面からでも表示できます。

「交通情報を受信する」G-39

周波数の設定を変える

交通情報の周波数を変えることができます。

1

受信したい周波数(**1620kHz** / **1629kHz**)を
タッチする。

：選択した周波数で道路交通情報を受信します。



アドバイス

次回、 **交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

ラジオ

〔交通情報を受信する〕

ワンセグ

VXM-128VS

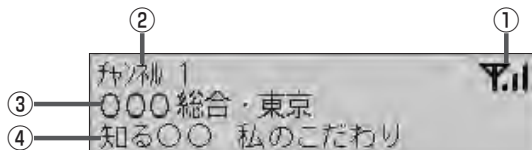
ワンセグ

各部の名称とはたらき	1-2
バナー表示について	1-2
タッチパネル部について	1-3
ワンセグメニュー画面について	1-4
ワンセグを見る	1-5
ワンセグモードにすると	1-5
番組表を見る	1-6
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	1-8
エリア変更を 自動 にする	1-10
中継・系列局サーチをする	1-11
スキャンする	1-12
初期スキャン／再スキャン／エリアスキャン をする	1-12
選局する	1-14
手動選局で放送局を選ぶ	1-14
自動選局で放送局を選ぶ	1-14
プリセットで放送局を選ぶ	1-15
リストで放送局を選ぶ	1-16

プリセットボタンにメモリーする	1-19
エリア呼出／プリセット呼出について	1-20
チャンネルリスト／プリセットリストを 初期化する	1-21
設定をする	1-23
時計表示設定／中継・系列局サーチ設定	1-23
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	1-25
アンテナ電源の設定をする	1-27
設定を初期化する	1-28
音声と字幕の設定をする	1-29

バナー表示について

地上デジタル放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



① 電波状態表示

：本数が多いほど受信状態は良好です。

② チャンネル番号

③ 放送局名

※マルチサービスを受信しているときは、放送局名の後ろにサービス番組が表示されます。

④ 番組名および記号

番組の名称を最大 15 文字まで表示します。

また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

番組連動データ放送

字幕放送

サラウンドステレオ音声

音声多重放送

再放送

ステレオ放送

音声解説

吹き替え

ワイド放送

マルチビューテレビ放送 …など

※記号は放送局側で付けられています。

※上記以外の記号もあります。

タッチパネル部について

画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約5秒間表示されます。(下記)

※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。



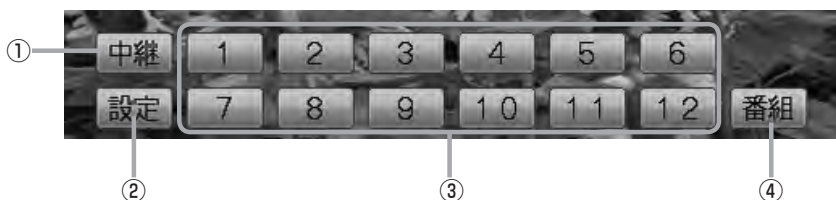
アドバイス

操作ボタンは、ワンセグメニュー画面で選択するボタン(**エリア呼出** / **プリセット呼出**)によって表示内容(機能)が異なります。

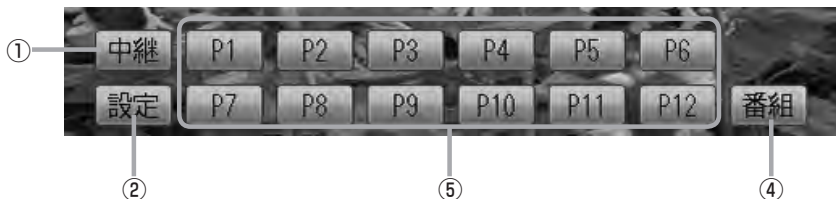
▶「ワンセグメニュー画面について」I-4

操作ボタン

■ **エリア呼出** を選択した場合



■ **プリセット呼出** を選択した場合



① **中継** ボタン

中継・系列局をサーチします。

▶I-11

② **設定** ボタン

ワンセグメニュー画面を表示します。

▶I-4

③ **1 ～ 12** ボタン(エリア)

あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。

▶I-15

④ **番組** ボタン

番組表を表示します。

▶I-6 アドバイス

⑤ **P1 ～ P12** ボタン(**プリセット**)

1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。

▶I-19

メモリーしたボタンは **P1 ～ P12** の表示から物理チャンネル(**13ch ～ 62ch**)表示となります。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(約1秒未満)タッチします。

▶I-15

ワンセグメニュー画面について

画面をタッチして操作ボタンを表示させているとき、**設定** をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行ないます。



① **エリア変更** ボタン

視聴エリアを変更します。

〔P〕I-8

② **チャンネルリスト** ボタン

チャンネルリストを表示します。

〔P〕I-16、I-21

③ **スキャン** ボタン

初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをすることができます。

〔P〕I-12

④ **番組表** ボタン

番組表を表示します。

〔P〕I-6

⑤ **システム設定** ボタン

各種設定(時計表示設定、中継・系列局サーチ)、受信レベル確認、アンテナ電源、システム情報の確認をすることができます。

時計表示設定 〔P〕I-23

中継・系列局サーチ設定 〔P〕I-23

受信レベル確認 〔P〕I-25

アンテナ電源設定 〔P〕I-27

システム設定 〔P〕I-28

⑥ **エリア呼出** ボタン

操作ボタン を表示します。

〔P〕I-3

表示された **1** ～ **12** (エリア) をタッチしてプリセット(メモリー)されている放送局を呼び出すことができます。なお、プリセットされている放送局は、視聴エリアの変更やスキャンなどによって変更されます。

〔P〕I-20

⑦ **プリセット呼出** ボタン

操作ボタン を表示します。

〔P〕I-3

表示された **P1** ～ **P12** (プリセット) をタッチして手動でプリセット(メモリー)した放送局を呼び出すことができます。(〔P〕I-19)

⑧ **音声字幕** ボタン

音声設定、字幕設定をすることができます。

(〔P〕I-29)

⑨ **戻る** ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑩ 操作状態を表示



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

ワンセグモードにすると

GPSから得たお車の位置に自動でワンセグの視聴エリアの変更を行ない、また中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行ないます。



中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合

I-23 参照(初期は自動に設定)

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、
視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」I-8

番組表を見る

VXM-128VS

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

1

画面をタッチし **設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



アドバイス

画面をタッチし **番組** をタッチして、ワンセグメニュー画面を表示させる方法もあります。

(例)操作ボタン表示画面

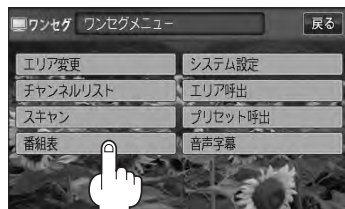


2

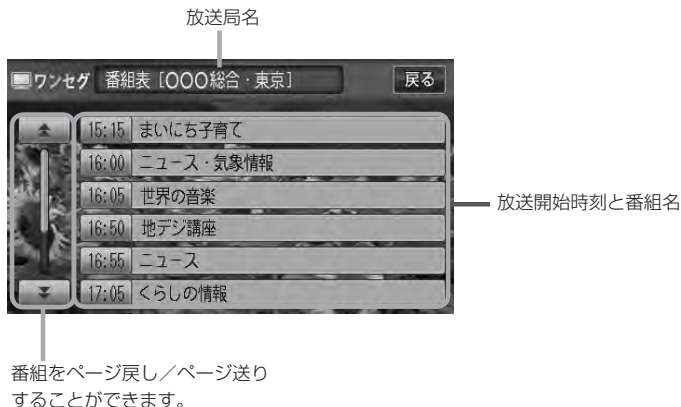
番組表 をタッチする。

：番組表が表示されます。

ワンセグメニュー画面



(例)番組表

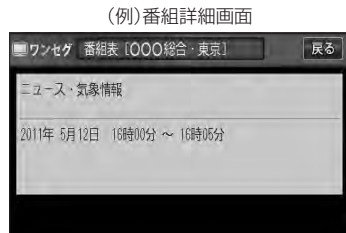
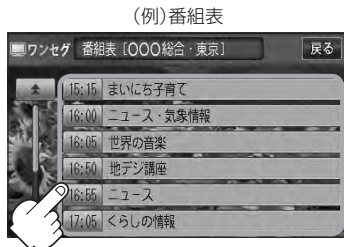


さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組表から詳細内容を見る場合

① 番組表(リスト)の中から詳細内容を確認したい番組をタッチする。

: 番組詳細画面が表示され、内容が確認できます。



ワンセグ
〔番組表を見る〕

3

番組表を見たら、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- 番組表(または番組の詳細内容)を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、表示内容が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルは、正しく表示できない場合があります。
- 他の放送局の番組表を表示したい場合は、受信画面で表示したい放送局を選局しなおす必要があります。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする(1)

VXM-128VS

初期設定のエリア変更は「自動」動作が設定されています。

エリア変更を「手動」動作を選択する場合は下記に従って操作してください。



アドバンス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行ないます。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。

現在地によって受信できる放送局(**1** ~ **12** (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

1

画面をタッチし **設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

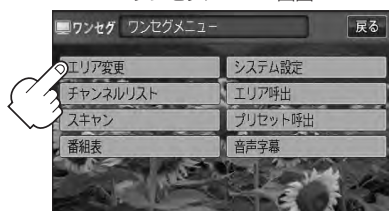


2

エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3

エリア変更 **手動** をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

※すでに“手動”に設定されている場合は、
手順 **4** (**1** ~ **9**)へ進んでください。



4

現在地の地方と県域をタッチする。

：初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



4-1

視聴エリア変更画面(県域選択時)



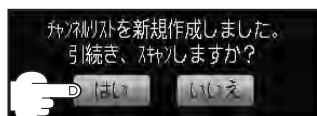
4-2

選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)されます。

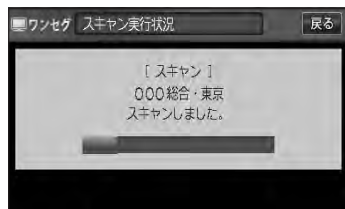
※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンを行なう場合

① はい をタッチする。



：初期スキャンを開始します。

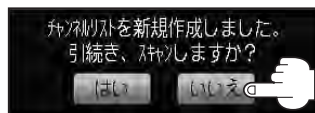


※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行なわない場合

① いいえ をタッチする。

：初期スキャンをしないで受信画面を表示します。



アドバース

- 視聴エリア変更後は **はい** をタッチしてスキャンすることをおすすめします。
- 初期スキャンは、チャンネルリストに追加された局の中継局を探索する機能で、チャンネルリストに新しく放送局を追加する機能ではありません。従って現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときには、**「再スキャンをする場合」**1-13を行なってください。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする(2)

VXM-128VS

エリア変更を**自動**にする

1

I-8の手順 **1**、**2** に従って操作し、
エリア変更の **自動** をタッチする。

：視聴エリア変更(地方)が選択できなくなります。



アドバイス

エリア変更を **自動** に設定した場合、視聴エリア(現在地)が変わると自動でその地域のチャンネルリストを作成します。その際には、ワンセグ画面にてメッセージが一定時間表示されます。

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。

もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。

「中継局」とは、放送局が周波数を変えて(あるいは同じ周波数で)、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。これに対して「系列局」とは、いわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局です。従って放送内容が必ずしも同じであるとは限りません。

「ネットワーク系列」として、次のものを定義しています。

NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列(2011年3月現在)

※中継・系列局サーチの自動/手動の設定につきましては、

「時計表示設定/中継・系列局サーチ設定」I-23をご覧ください。

1 自動/手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチを自動でする場合

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチを手動でする場合

① 画面をタッチし、**中継** をタッチする。

：受信状態にかかわらず直ちに中継・系列局をサーチします。



(例)中継・系列局サーチ中画面



サーチ中に **⏮** / **⏭** (選局) を押す、または **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) をタッチするとサーチは止まり、要求された選局をします。

初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする

- 画面をタッチし、**設定** をタッチする。
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



- スキャン** をタッチする。
：スキャン画面が表示されます。

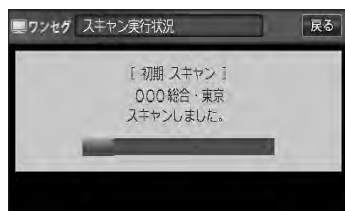
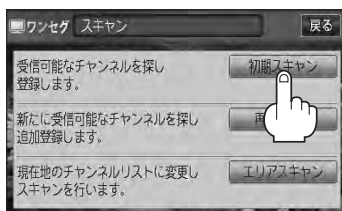
ワンセグメニュー画面



- 初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンを選択する。

■ 初期スキャンをする場合

- 初期スキャン** をタッチする。



：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット（メモリー）します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

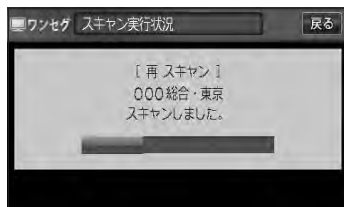
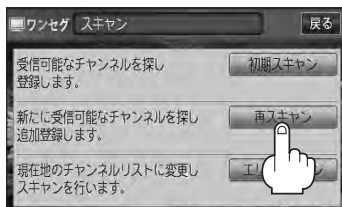


初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ～ **12** (エリア)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行ないます。

① 再スキャン をタッチする。

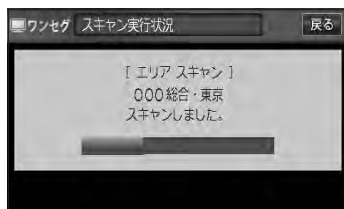
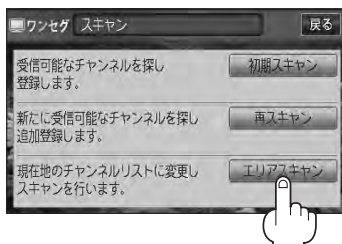


：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

■ エリアスキャンをする場合

現在の車の位置を視聴エリアとするチャンネルリストに変更します。変更した放送局の中継局をスキャンします。

① エリアスキャン をタッチする。



：現在の車の位置において準備されているチャンネルリスト／**1** ～ **12** (エリア) を変更し、変更した放送局の中継局をスキャンし、チャンネルリスト／**1** ～ **12** (エリア) にプリセット(メモリー)します。

※視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、エリアスキャンをしなくてもチャンネルリスト／**1** ～ **12** (エリア) は変更されます。(中継局のスキャンは開始されません。)



アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア) にプリセット登録されない番組もあります。
- エリア変更を“自動”にしている場合、現在地エリアが変わると、エリアスキャンを実行しなくてもチャンネルリストが変わります。ただし、その場合初期スキャンは実行されません。

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

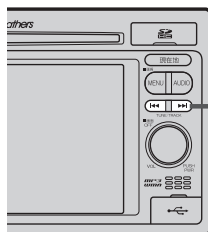
1

◀◀ / ▶▶ (選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局が登録される場合があります。その場合、タッチするたびに放送局が登録されている順に変わります。



◀◀ / ▶▶
ボタン(選局)

◀◀ 側ダウン
▶▶ 側アップ

自動選局で放送局を選ぶ

1

◀◀ / ▶▶ (選局)を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に ◀◀ / ▶▶ (選局)を押すと、自動選局は止まり、チャンネルリストの中でチャンネル番号の一番若い放送局を選局します。



- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合全チャンネルを一通り選局後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **1** ～ **12** (エリア) にメモリーされた放送局を呼び出す「エリア呼び出し」と、お好きな放送局をお客様ご自身が **P1** ～ **P12** (プリセット) にメモリーし呼び出す「プリセット呼び出し」があります。

※あらかじめ **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」I-8

☞ 「スキャンする」I-12

☞ 「プリセットボタンにメモリーする」I-19

1

画面をタッチし、**1** ～ **12** (エリア) または **P1** ～ **P12** (プリセット) の中で呼び出したい数字をタッチする。

：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

(例) **1** ～ **12** (エリア) に設定している場合



(例) **P1** ～ **P12** (プリセット) に設定している場合



アドバース

* 1 印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。

* 2 印… **P1** ～ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示 (**13ch** ～ **62ch**) となります。

● **1** ～ **12** (エリア) に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **1** ～ **12** (エリア) をタッチすることによって設定されたチャンネルを順に選局します。

● **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(☞ I-16)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」(☞ P-48)より確認できます。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身が好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする」I-8

☞「スキャンする」I-12

☞「プリセットボタンにメモリーする」I-19

1

画面をタッチし、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

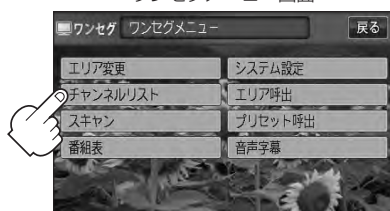


2

チャンネルリスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3

チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出します。

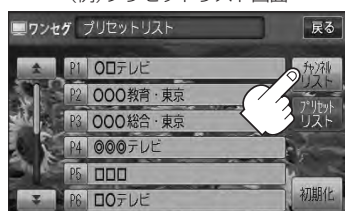
■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① **チャンネルリスト** をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリスト画面が表示されている場合は手順②(☞I-17)へ進んでください。

(例)プリセットリスト画面



② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

(例)チャンネルリスト画面



エリア番号 放送局名

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。



- チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」(P-48)より確認できます。
- 視聴エリアの変更で“自動”に設定している場合、チャンネルリストまたは **1** ~ **12** (エリア) は自動で変更されます。
※エリア変更の自動または手動の確認は「**設定**」の「視聴エリアの変更(地方/県域の設定)」をする「**1**」-**8** の手順 **1**、**2** に従って操作してください。

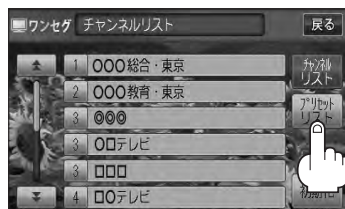
■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① プリセットリスト をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

※すでにプリセットリスト画面が表示されている場合は下記手順②へ進んでください。

(例)チャンネルリスト画面



② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

(例)プリセットリスト画面



手順①のとき **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面に戻ります。



プリセット番号 放送局名と物理チャンネル番号

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。



アドバイス

- チャンネルリストは操作ボタンの **1** ～ **12** (エリア) にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。



- プリセットリストは操作ボタンの **P1** ～ **P12** (プリセット) にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。
*印…物理チャンネル
I-25



プリセットボタンにメモリーする(1)

VXM-128VS

プリセット選局(☞I-15)やリスト選局(☞I-16)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

⏮ / ⏭ (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「**手動選局で放送局を選ぶ** / **自動選局で放送局を選ぶ**」I-14

2

画面をタッチし、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



3

プリセット呼出 をタッチする。

：操作ボタンを表示します。

ワンセグメニュー画面



4

メモリーしたい **P1** ～ **P12** (プリセット)を1秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※表示は **P1** ～ **P12** から **13ch** ～ **62ch** (物理チャンネル)表示へ変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。

操作
ボタン



P1 ～ **P12** ボタン(プリセット)



P1 に31チャンネルをプリセット (メモリー)した場合、**P1** → **31ch** 表示へと変わります。



アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには **P1** ～ **P12** (プリセット)を軽く(1秒未満)タッチします。
☞I-15
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- 画面をタッチしたときに **P1** ～ **P12** (プリセット)が表示された場合は、上記手順 **2**、**3** を省略することができます。

ワンセグ
「選局する」／「プリセットボタンにメモリーする」

エリア呼出／プリセット呼出について

画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

ワンセグメニュー画面



初期状態は **エリア呼出** が設定されています。

エリア呼出 設定中に



画面をタッチすると



1 ～ **12** (エリア)が表示される

ワンセグメニュー画面



手順 **3** (P1～19)で
プリセット呼出 が
選択されている場合

プリセット呼出 設定中に



画面をタッチすると



P1 ～ **P12** (プリセット)が表示される

※ **1** ～ **12** (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

P1 ～ **P12** (プリセット)には、お客様で自身がお好きな放送局をメモリーします。メモリーしたボタンは13ch～62ch(物理チャンネル*)表示に変わります。たとえば **P1** に31チャンネルをプリセットすると **P1** は **31ch** 表示になります。

*印…物理チャンネル P1～25

※操作ボタンの表示は最終選択時の状態を保持するため、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらを選択したかによって表示が異なります。

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する(1)

VXM-128VS

1

画面をタッチし、**設定**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



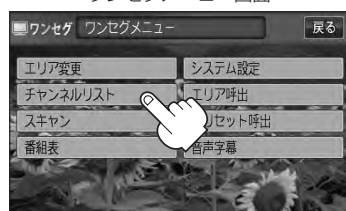
2

チャンネルリストをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※チャンネルリストの確認だけの場合は、確認終了後
戻るをタッチしてください。

ワンセグメニュー画面



3

チャンネルリストまたはプリセットリストを初期化する。

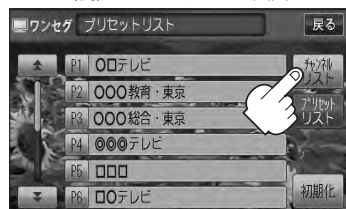
■ チャンネルリストを初期化する場合

① **チャンネルリスト**をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリスト画面が表示されている場合は下記手順②へ進んでください。

(例)プリセットリスト画面



② **初期化**をタッチする。

：チャンネルリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチするとチャンネルリストが初期化されます。

(例)チャンネルリスト画面



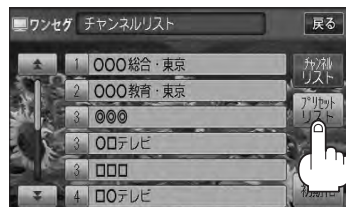
ワンセグ
プリセットボタンにメモリーする／(チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する)

■ プリセットリストを初期化する場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

(例)チャンネルリスト画面



② **初期化** をタッチする。

：プリセットリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストが初期化されます。

(例)プリセットリスト画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

時計表示設定／中継・系列局サーチ設定

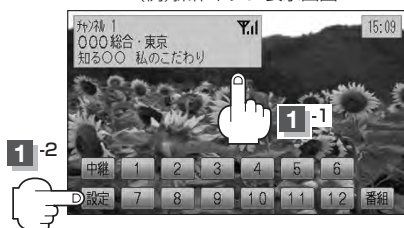
ワンセグ受信中に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。また、お車の走行地域が変わって、放送局が受信できなくなった場合、“自動で中継・系列局サーチを起動”するかどうかの設定をすることができます。

☞「中継・系列局サーチをする」I-11をご覧ください。

1 画面をタッチし、**設定**をタッチする。

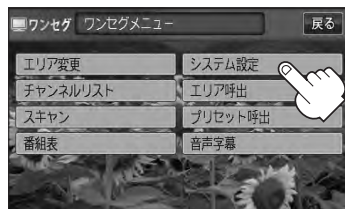
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



2 **システム設定**をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。



3 **各種設定**をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。



ワンセグ
(チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する)／(設定をする)

4

時計表示をする／しない、中継・系列局サーチの自動／手動の設定をする。

■ 時計を表示する／しないを選択する場合

□ 時計を表示させるとき

1. **する** をタッチする。

：受信画面で常に表示されます。

□ 時計を表示させないとき

1. **しない** をタッチする。

：時計を表示しません。



■ 中継・系列局サーチを設定する場合

□ 自動でサーチするとき

1. **自動** をタッチする。

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

□ 手動でサーチするとき

1. **手動** をタッチする。

：放送局が受信できなくなった場合、“受信できません”とメッセージが表示されます。

※手動で中継・系列局サーチをするには **中継** をタッチします。

☞「中継・系列局サーチをする」1-11



5

設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1 画面をタッチし、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



ワンセグ
〔設定をする〕

2 **システム設定** をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **受信レベル確認** をタッチする。

：受信レベル確認画面が表示されます。

システム設定画面

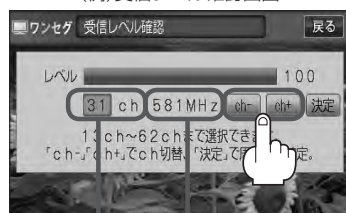


4 **ch-** / **ch+** をタッチする。

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

(例)受信レベル確認画面



周波数表示

チャンネル表示
(物理チャンネル13ch～62ch)

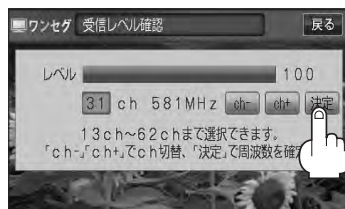
設定をする(3)

VXM-128VS

5

決定 をタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できません。)



6

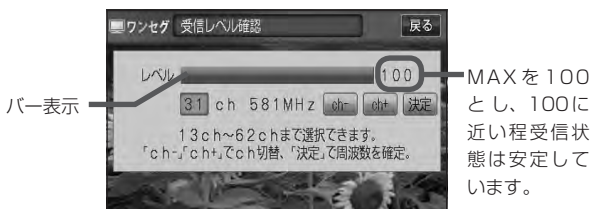
設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さの数値にて)確認することができます。
- 受信レベルが高くても視聴できるとは限りません。

(例) 受信レベル確認画面



アンテナ電源の設定をする

アンテナ電源設定をすることができますが、通常は **電源 入** に設定してください。

電源 切 に設定すると正常に受信できません。

1 画面をタッチし、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面



ワンセグ
〔設定をする〕

2 **システム設定** をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **アンテナ電源** をタッチする。

：アンテナ電源画面が表示されます。

システム設定画面



4 **電源 入** をタッチする。

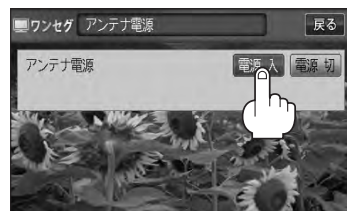


アトハイス

アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合やアンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に **電源 切** に設定されます。

※ **電源 入** に設定できない場合は、お買い上げの Honda 販売店にご相談ください。

(例)アンテナ電源画面



5 設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

設定をする(4)

VXM-128VS

設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1 画面をタッチし、**設定**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

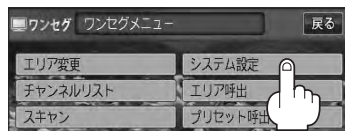
(例)操作ボタン表示画面



2 **システム設定**をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

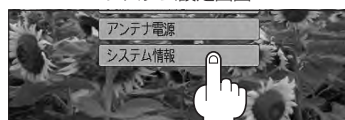
ワンセグメニュー画面



3 **システム情報**をタッチする。

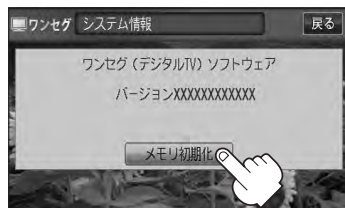
：システム情報画面が表示され現在のバージョン情報が表示されます。

システム設定画面



4 **メモリ初期化**をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチしていくと設定内容を初期化します。



5 初期化を終えたら、初期化完了のメッセージが表示されるので

OKをタッチする。

6 設定を終えるには**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

- 初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

音声と字幕の設定をする

数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。また映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1 画面をタッチし、**設定** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **音声字幕** をタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。



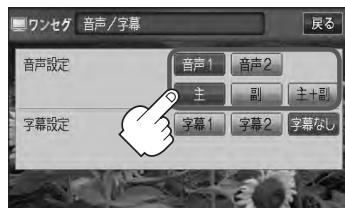
3 音声または字幕の設定をする。

■ 音声の設定をする場合

- ① **音声1** ／ **音声2** および **主** ／ **副** ／ **主+副** をタッチする。

：タッチした時点でその設定(選択した音声)が確定(決定)されます。

※複数音声放送と二重音声放送の場合に有効となります。

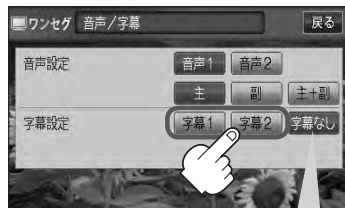


■ 字幕の設定をする場合

- ① **字幕1** ／ **字幕2** をタッチする。

：タッチした時点で選択した字幕が確定(決定)されます。

※字幕がある番組の場合に有効となります。



字幕の表示を止めるときは **字幕なし** をタッチしてください。

4 設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

J

CD / MP3 / WMA (CD / CD-R / CD-RW)

CD

各部の名称とはたらき	J-2
タッチパネル部について	J-2
表示部(再生画面)について	J-3
CD / MP3 / WMA プレーヤーを使う	J-4
再生を一時停止する	J-4
トラックリストより好きなトラックを選び	
再生させる	J-4
好きなフォルダを選ぶ	J-5

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)CDモード TOP画面



(例)MP3モード TOP画面



① **▶||** ボタン(再生／一時停止)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。

【図】 J-4

② **リピート** ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。

【図】 G-30

③ **ランダム** ボタン

曲を順序不同で再生します。

【図】 G-30

④ **スキャン** ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。

【図】 G-30

⑤ **リスト** ボタン

リストを表示させて選曲することができます。

【図】 J-4

⑥ **切替** ボタン

時計表示に切り替わります。

※時計表示画面で**切替**をタッチすると、選択中のモード画面に戻ります。

【図】 G-38

⑦ **フォルダー** ボタン

前のフォルダに戻ります。

【図】 J-5

⑧ **フォルダ+** ボタン

次のフォルダに進みます。

【図】 J-5



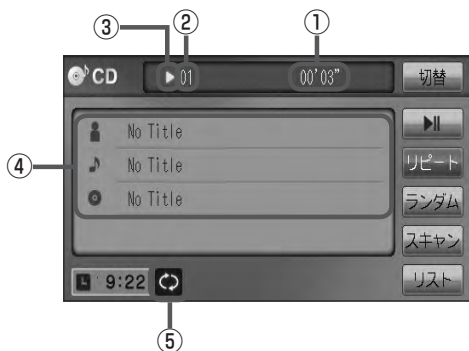
アドバイス

●1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAのデータが混在する場合は、MP3／WMAデータは再生できません。

●パネル部に配置されているボタンにつきましては【図】 G-20を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)CDモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)MP3モード TOP画面
(リピート再生時)



① 再生時間表示

② トラック番号*¹

③ 再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

④ タイトル名表示

アーティスト名/トラック名/アルバム名*¹

アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名*²

⑤ リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては「P. G-30」をご覧ください。

⑥ 再生ファイル表示

※ WMAモードの場合は **WMA** となります。

WMA
MP3

〔各部の名称とはたらき〕



アドバンス

- アーティスト名/トラック名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)

- フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。*²

- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

※走行中はスクロールしません。

- DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名/トラック名/アルバム名が表示されます。
DISCにCD-TEXT情報がなければ、アーティスト名/トラック名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。(市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。)

- アーティスト名/トラック名/アルバム名が記録されていないDISCの場合は、“No Title”と表示されます。*²

- アーティスト名/トラック名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

* 1 印…CDモードの場合

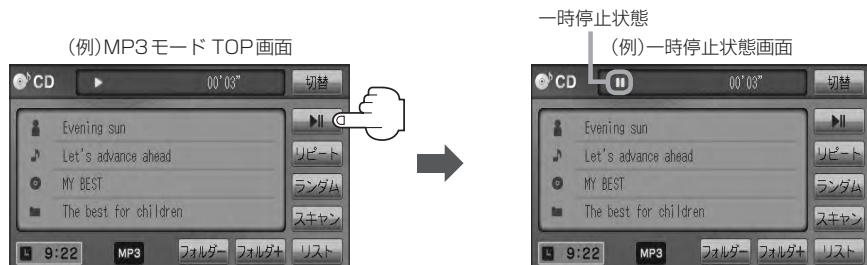
* 2 印…MP3/WMAモードの場合

CD / MP3 / WMA プレーヤーを使う

再生を一時停止する

1 (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にを表示し、音声が一時的に止まります。



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にを表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 リスト をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※ MP3 / WMA モードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は、手順**1**を省略することができます。



2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。





- / を押してトラックを選択することもできます。

G-28

CDモード時のトラックリストについて

- DiscにCD-TEXT情報があれば、トラックリストにトラック名が表示されます。
- DiscにCD-TEXT情報がなければ、トラックリストにTRACK 1、TRACK 2、TRACK 3…と表示されます。

MP3/WMAモード時のトラックリストについて

- トラックリストにはトラック名が表示されます。

3

TOP画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



好きなフォルダを選ぶ

※MP3/WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

- ① **フォルダー** をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

- ① **フォルダ+** をタッチする。

(例)MP3モード TOP画面



CD
WMA

CD / MP3 / WMAプレーヤーを使う

K DVD

VXM-128VS

映像
DVD

各部の名称とはたらき	K-2
タッチパネル部について	K-2
DVDプレーヤーを使う	K-4
再生を停止する	K-5
再生を一時停止(静止)する	K-6
画面のサイズを変更する	K-6
再生中にチャプターを戻す／進める	K-7
コマ戻し／コマ送りをする	K-8
スロー戻し／スロー送りをする	K-9
DVDメニューを使う	K-10
タイトルメニューを使う	K-12
好きな所から再生する(サーチ選択)	K-14
音声言語／字幕言語を切り替える	K-16
時間の表示を替える	K-17
リピート(繰り返し)再生する	K-18
アングル(角度)を切り替える	K-19
VRモードディスク内の映像をリストより 選択し再生させる	K-20
DVDの初期設定について	K-22
初期設定を変更する	K-22

タッチパネル部について

操作ボタン1表示画面



① **メニュー** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。【P K-10】

※VRモードディスク再生中にタッチすると、プレイリストが表示されます。【P K-20】

② **タイトル** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。【P K-12】

※VRモードディスク再生中にタッチすると、タイトルリストが表示されます。【P K-20】

③ **音声** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすること、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。【P K-16】

※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ **字幕** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすること、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。【P K-16】

⑤ **アングル** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすること、アングルが切り替わります。【P K-19】

⑥ **リジューム** ボタン

DVDビデオ再生中にメニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行いません。【P K-11、K-13】

※パネル部に配置されているボタンにつきましては【P G-20】を参照してください。

(例)停止画面



⑦ **次へ** ボタン

操作ボタン2の画面を表示します。

⑧ **画面サイズ** ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。

【P K-6】

⑨ **■** ボタン(停止)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。【P K-5】

⑩ **▶||** ボタン(再生/一時停止)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

【P K-6】

⑪ **ボタン消** ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ボタン消をタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **DVD設定** ボタン

DVD設定画面を表示します。【P K-22】

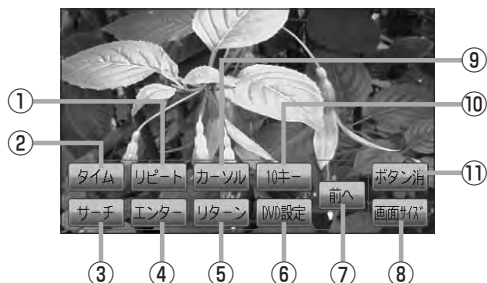
⑬ **続き再生解除** ボタン

続きメモリー機能を解除します。【P K-5】

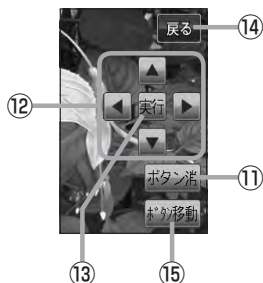
⑭ **▶||** ボタン(再生)

再生を始めるときに使用します。【P K-5】

操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面



10キー入力画面

⑦ **リピート** ボタン

タッチすることによりリピートモードが切り替わります。
 [変 K-18

⑧ **タイム** ボタン

再生の時間を表示します。[変 K-17

⑨ **サーチ** ボタン

チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。[変 K-14

⑩ **エンター** ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

⑪ **リターン** ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
 ※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑫ **DVD設定** ボタン

DVD設定画面を表示します。[変 K-22

⑬ **前へ** ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

⑭ **画面サイズ** ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。
 [変 K-6

⑮ **カーソル** ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

⑯ **10キー** ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑰ **ボタン消** ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。
 ※ボタン消をタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑱ **▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン(カーソルキー)**

項目を上下左右選択します。

⑲ **実行** ボタン

画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑳ **戻る** ボタン

操作ボタン2表示画面を表示します。

㉑ **ボタン移動** ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

㉒ **訂正** ボタン

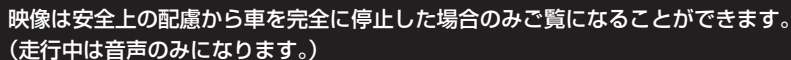
10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

㉓ **0 ~ 9 ボタン(10キー)**

数字を入力するときに使用します。

㉔ **切替** ボタン

サーチモードを切り替えます。

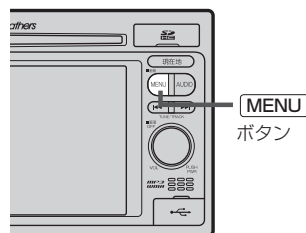


DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

- ※操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。 **ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。



- : 操作ボタン 1 表示画面が表示されます。



- ：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

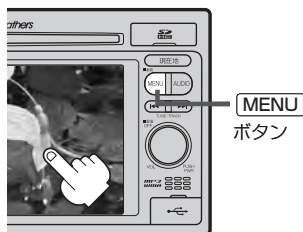


- ※その他の操作につきましてはそれぞれのページを参照してください。

再生を停止する

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 (停止)をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。

(続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に  (停止) をタッチすると、本機は再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に「▶▶ ボタンで続きから再生します」と表示し、映像／音声を止めます。▶▶ (再生) をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、**続き再生解除** をタッチするかディスクジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。
※ **DVD設定** をタッチした場合も続きメモリーは解除されます。[?] K-22



映像
DVD

〔再生を始める〕／〔再生を停止する〕

3 再び再生を始めるには、 ▶▶ (再生)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。

続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

停止画面



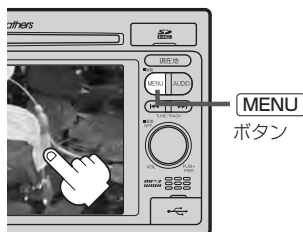
アドバンス

ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面) のとき **続き再生解除** をタッチし、▶▶ (再生) をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **▶||** (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に“**▶||**”を表示し、映像を一時停止します。
(音声も止まります。)

一時停止アイコン



3 再び再生を始めるには、

▶|| (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

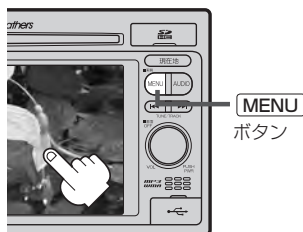
4 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消**をタッチする。

画面のサイズを変更する

再生中の画面のサイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

画面サイズ をタッチする。

: 画面サイズ選択画面が表示されます。



3

変更したい画面(**ノーマル** / **フル** / **ワイド** / **シネマ**)を選択し、タッチする。

: 選択した画面に切り替わります。



アドバイス

シネマ を選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下が画像が切れて見えなくなります。



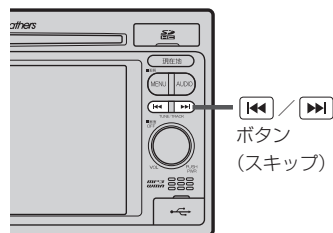
ノーマル : 4 : 3 の映像の画面
 フル : 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9 にした画面
 ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面
 シネマ : 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面

再生中にチャプターを戻す／進める

1

◀◀ / **▶▶** (スキップ) を押す。

: 前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。



◀◀ / **▶▶**
 ボタン
 (スキップ)

■ 前のチャプターに戻る場合

① **◀◀** を2回押す。

※ 1回押した場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。*

■ 次のチャプターに進む場合

① **▶▶** を押す。

アドバイス

* 印…チャプター再生開始から3秒以内に押した場合は、前のチャプターの頭に戻ります。

● チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。

● ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

● ボタンを押し続けると早戻し／早送りします。[G-29]

〔再生を一時停止する〕

映像
DVD

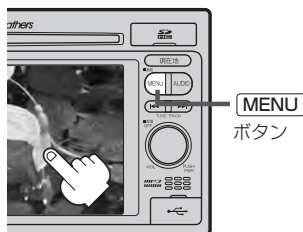
〔画面のサイズを変更する〕／〔チャプターを戻す／進める〕

コマ戻し／コマ送りをする

1

画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

▶|| (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に“**||**”を表示し、映像を一時停止します。
(音声も止まります。)



3

◀◀／**▶▶** (スキップ)を押す。

■ コマ戻しをする場合

① **◀◀**を押す。

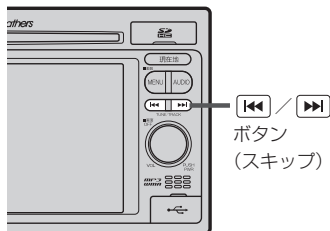
：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

■ コマ送りをする場合

① **▶▶**を押す。

：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには **▶||** (再生／一時停止)をタッチします。



4

画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消**をタッチする。



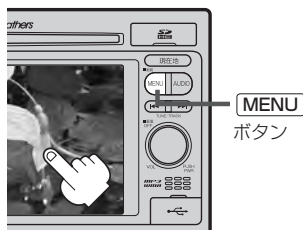
アドハイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **▶||** (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に“**||**”を表示し、映像を一時停止します。
(音声も止まります。)



3 **◀◀**／**▶▶** (スキップ)を押し続ける。

■ スロー戻しをする場合

① **◀◀**を押し続ける。

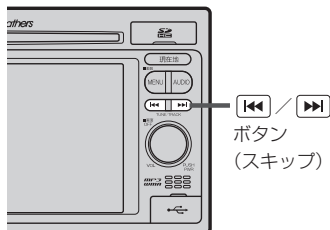
：スロー戻しで戻ります。

■ スロー送りをする場合

① **▶▶**を押し続ける。

：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。



4 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消**をタッチする。



アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

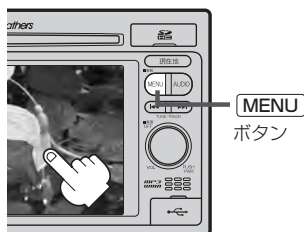


アドバイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 画面をタッチするか、**MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **メニュー** をタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
(**AV** K-20)

操作ボタン1表示画面



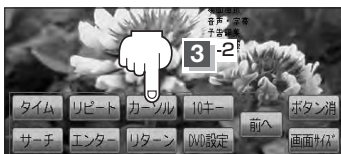
3 **次へ** → **カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



4 **▲▼◀▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、
手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示画面



カーソル表示

カーソル表示

5

画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。
また、K-10手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書もお読みください。

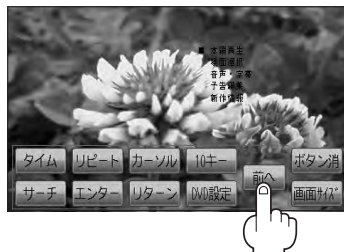
■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

□ 操作ボタン2またはカーソルが表示されているとき

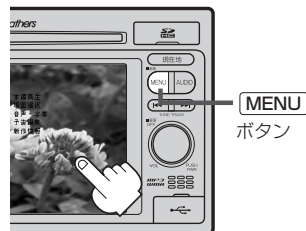
1. **前へ**／**戻る** をタッチする。

操作ボタン2表示画面



□ 操作ボタンの表示が消えているとき

1. 画面をタッチするか、**MENU** を押す。



② **リジューム** をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



映像
DVD
「DVDメニューを使う」

タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。



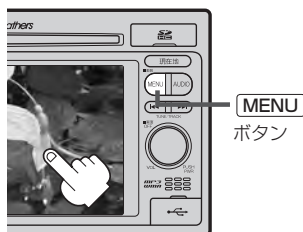
下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

画面をタッチするか、**MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

タイトル をタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(**LP** K-20)

操作ボタン1表示画面



3

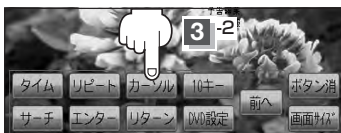
次へ → **カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



4

▲ ▼ ◀ ▶ (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** を繰り返してください。

カーソル表示画面



ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示

カーソル表示

5

画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※ VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。
また、K-12手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書もあわせてお読みください。

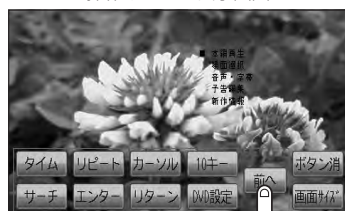
■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

□ 操作ボタン2またはカーソルが表示されているとき

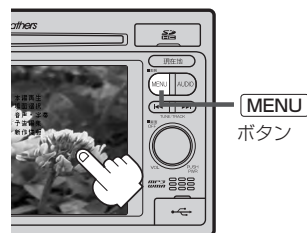
1. **前へ** / **戻る** をタッチする。

操作ボタン2表示画面



□ 操作ボタンの表示が消えているとき

1. 画面をタッチするか、**MENU** を押す。



② **リジューム** をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



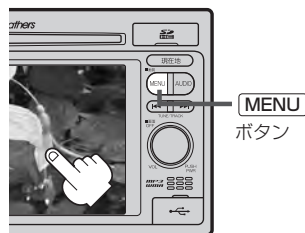
映像
DVD
「タイトルメニューを使う」

好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 次へ → **サーチ** をタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



3 サーチ選択画面で **0** ～ **9** (10キー) をタッチして、再生したいチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- チャプター、タイトル、タイム(経過時間)は **切替** をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ → タイトルサーチ
↑ 表示なし ← タイムサーチ ←

(例)サーチ選択画面

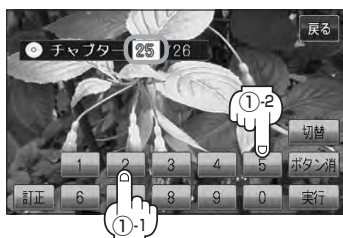


モード表示 **0** ～ **9** ボタン(10キー)

例 チャプター番号“25”を入力する場合

① 10キーを **2**、**5** とタッチする。

：表示が“25”となります。



例 タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合 (例)**① 切替** を2回タッチする。

: タイム(経過時間)入力画面になります。

② 10キーを 0、0、1、5、0、0 とタッチする。

: 表示が  →  となります。

**4****実行** をタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

(例) チャプター番号25を入力した場合

映像
DVD**5**

画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了します。その場合は、**切替** をタッチし、もう一度手順 **③** (**⏮** K-14) からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、**切替** をタッチし、もう一度手順 **③** (**⏮** K-14) からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

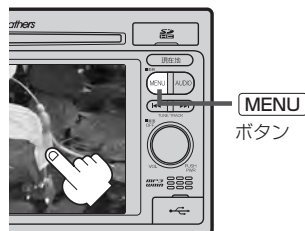
[サーチ選択]

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記に従って言語を選ぶことができます。

1 画面をタッチするか、**MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **音声** または **字幕** をタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



(例) 音声言語リスト



(例) 字幕言語リスト



3 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVD メニュー (K-10) や言語設定 (K-24) でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVD メニュー (K-10) または言語設定 (K-24) で切り替えてください。

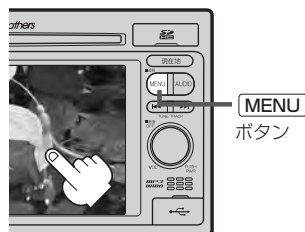
時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- T(現在のタイトル) / C(チャプター情報)
- タイトル時間 タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間 タイトルの残時間を表示
- チャプター時間 チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間 チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF 何も表示しない

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

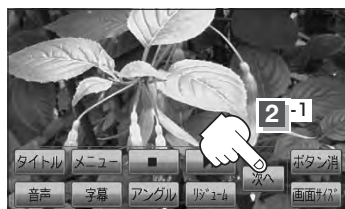
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 次へ → **タイム** をタッチする。

：タッチすることにより時間表示が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



■ 時間表示を消す場合

- ① **タイム** をタッチして “DISPLAY OFF” を表示させる。

3 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消** をタッチする。

映像
DVD

〔音声言語／字幕言語切替〕〔時間表示切替〕

リピート(繰り返し)再生する

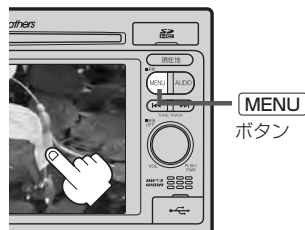
再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート 再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート 再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 次へ → **リピート** をタッチする。

：タッチすることによりモードが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面

リピート
モード表示
(例)



■ 通常の再生に戻す場合

- ① **リピート** をタッチして“リピートOFF”を表示させる。

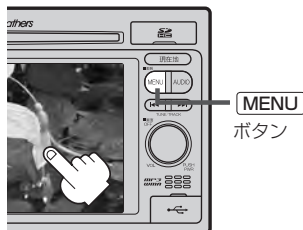
3 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消**をタッチする。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。
この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **アングル**をタッチする。

: タッチすることによりアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



映像
DVD

リプレイ再生／アングル切替

3 画面の操作ボタンの表示を消すには、**ボタン消**をタッチする。



アドバイス

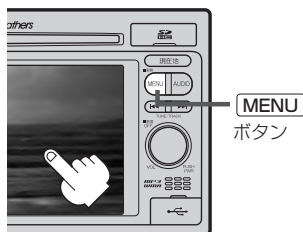
- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVD-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 タイトルリストまたはプレイリストを表示させる。

■ タイトルリストより選択する場合

① **タイトル** をタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

① **メニュー** をタッチする。

：プレイリストが表示されます。

操作ボタン1表示画面



アドバイス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。

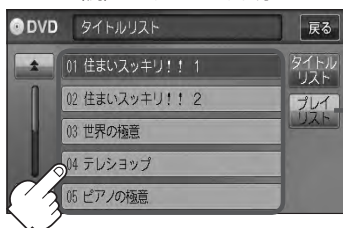
※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト/プレイリストの詳細につきましてはDVDレコーダーの取扱説明書を参照してください。

3

リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

(例)タイトルリスト表示



タイトルリスト画面のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリスト画面を表示します。

(例)プレイリスト表示



プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示します。



アドバンス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、手順 **2** (K-20) で **メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声chを切り替えることができます。

映像

DVD

VRモードディスクの再生

DVDの初期設定について(1)

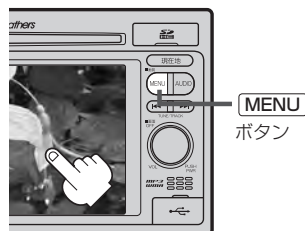
VXM-128VS

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 画面をタッチするか、**MENU**を押す。

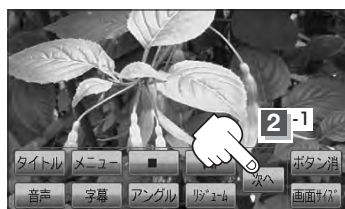
: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



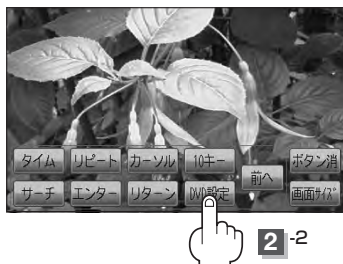
2 次へ → **DVD 設定** をタッチする。

: DVD 設定画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



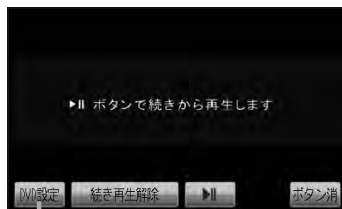
アドバンス

■ (停止) → **DVD 設定** をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



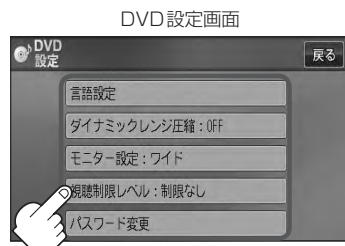
DVD 設定 ボタン

※ **DVD 設定** を選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

3

画面の設定したい項目(**言語設定** ／
ダイナミックレンジ圧縮 ／ **モニター設定** ／
視聴制限レベル ／ **パスワード変更**)を
 タッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え	[K-24]
ダイナミックレンジ圧縮	● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)	[K-27]
モニター設定	● 画像アスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え	[K-27]
視聴制限レベル	● レベル ：視聴制限レベルの設定	[K-28]
パスワード変更	● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更	[K-29]

映像
DVD
〔初期設定変更〕



アドバース

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。
この場合はDVDメニュー([K-10])で切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中で止める場合は **戻る** をタッチしてください。
- ※ 停止画面のとき再び再生させる場合は **▶II** (再生) をタッチしてください。(ディスクの先頭から再生します。)

停止画面



4

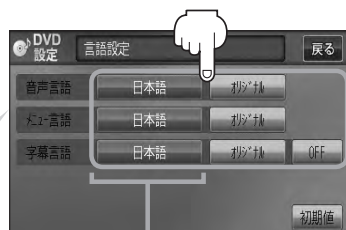
■ 手順 3 (㊦ K-23)で“言語設定”を選んだ場合

- ① 音声言語／メニュー言語／字幕言語の変更したい項目(日本語／オリジナル／OFF)をタッチする。

“音声言語” ……DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“メニュー言語” ……DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

“字幕言語” ……DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。



設定されている言語を表示(ここをタッチすると言語コード入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が**オリジナル**または**OFF**に設定されている場合は**言語を選択**と表示が替わります。

□ 言語を変更するとき

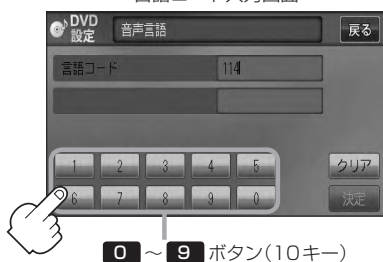
1. **日本語**／**言語を選択**をタッチする。

：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。



2. 言語コード表(㊦ K-26)を参照し、言語コードの数字を**0**～**9**(10キー)をタッチして入力する。

言語コード入力画面



3. 入力が終わったら**決定**をタッチする。

入力した数字を訂正するときは、**クリア**をタッチして数字を再入力してください。



□ 言語設定を初期値に戻すとき

1. 言語設定画面で **初期値** をタッチする。

：変更した言語設定が初期値に戻ります。



アドバイス

- DVD設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語” のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

映像

DVD

言語設定

DVDの初期設定について(3)

VXM-128VS

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アブバシア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ペラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスマラ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラビュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

■ 手順 3 (K-23)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

① ダイナミックレンジの圧縮をする／しない (ON / OFF)の設定をする。

：ONをタッチすると圧縮し、OFFをタッチすると圧縮しません。

ONは小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに、OFFは標準音域で聞くとときに選んでください。



② 戻る をタッチする。

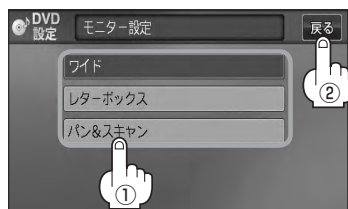
：DVD設定画面に戻ります。

■ 手順 3 (K-23)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

① 設定したいアスペクト比(ワイド / レターボックス / パン&スキャン)をタッチ する。

※ 16:9ワイドスクリーン / 4:3レターボックス /
4:3パン&スキャンとなります。



② 戻る をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。



アドバイス

ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。

⚠ 注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

■ 手順3 (Ⓔ K-23)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

- ① 下記の視聴制限レベルを参照して
設定したいレベルをタッチする。

視聴 制限 レベル	“制限なし” 視聴制限を無効
	“8” —すべてのDVDビデオの再生可
	“7” —
	“6” —
	“5” — 子供向／一般向のみ再生可
	“4” —
	“3” —
	“2” —
	“1” — 子供向のみ再生可 (一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなります。



※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“制限なし”を選択してください。

□ レベルを変更したとき

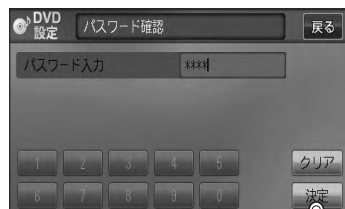
レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

1. 現在のパスワードを **0** ~ **9**
(10キー)をタッチして入力する。

2. 入力が終わったら
決定 をタッチする。



0 ~ **9** ボタン(10キー)



アドバイス

- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力しなおしてください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。
(現在のパスワードは変更することができます。(Ⓔ K-29 参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

■ 手順 3 (K-23)で“パスワード変更”を選んだ場合

- ① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を **0** ～ **9** (10キー)をタッチして入力する。



- ② **決定** をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。



アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

L

SD(SDカード)

SD

各部の名称とはたらき	L-2
タッチパネル部について	L-2
表示部(再生画面)について	L-3
SDカードを使う	L-4
再生を一時停止する	L-4
リストより選曲する	L-4
好きなフォルダを選ぶ	L-6

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について



① **▶|| ボタン**(再生／一時停止)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。

🔊 L-4

② **リピート ボタン**

現在再生中の曲を繰り返し再生します。

🔊 G-30

③ **ランダム ボタン**

曲を順序不同で再生します。

🔊 G-30

④ **スキャン ボタン**

曲の頭(イントロ)を約 10 秒間再生します。

🔊 G-30

⑤ **リスト ボタン**

リストを表示させて選曲することができます。

🔊 L-4

⑥ **フォルダ+ ボタン**

次のフォルダに進みます。

🔊 L-6

⑦ **フォルダー ボタン**

前のフォルダに戻ります。

🔊 L-6

⑧ **切替 ボタン**

時計表示に切り替わります。

※時計表示画面で **切替** をタッチすると、
選択中のモード画面に戻ります。

🔊 G-38

表示部(再生画面)について



① 再生時間表示

② 全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③ 再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

④ アーティスト名／トラック名*¹／アルバム名／フォルダ名表示

⑤ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WMA / AAC

⑥ リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては「 G-30」をご覧ください。



アドバイス

* 1 印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※走行中はスクロールしません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては「 G-20」を参照してください。

SD

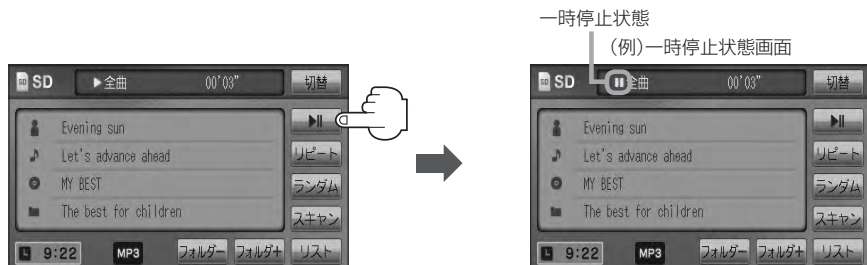
(各部の名称とはたつき)

SDカードを使う(1)

再生を一時停止する

1 (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にを表示し、音声が一時的に止まります。



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にを表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲(トラック)を選択し、再生させることができます。

1 **リスト** をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

※すでにリスト表示になっている場合は手順**1**を省略することができます。



2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① **全曲リスト** をタッチする。

：SDカード内の全ての曲(トラック)が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。



② 再生させたい曲(トラック)を選び
タッチする。

: 曲(トラック)の再生が始まります。

(例)全曲リスト



■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** をタッチする。

: フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

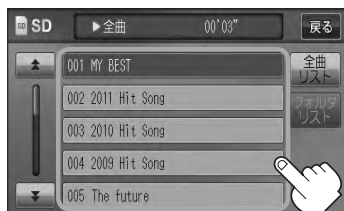
(例)全曲リスト画面



② フォルダリストから再生させたいフォルダ
を選びタッチする。

: フォルダ内の曲リストが表示され、最初の曲
が再生されます。

(例)フォルダリスト画面



③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を
選びタッチする。

: 曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面



SD

(SDカードを使う)

3

TOP 画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



アドバイス

⏮ / ⏭ を押して曲(トラック)を選択することもできます。 [G-28]

SDカードを使う(2)

好きなフォルダを選ぶ

SDカードの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー／**フォルダ+** をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① **フォルダー** をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① **フォルダ+** をタッチする。

(例)SDモードTOP画面



M

VTR

V
T
R

各部の名称とはたらき	M-2
タッチパネル部について	M-2
VTR機能を使う	M-3
接続する	M-3
画面のサイズを変更する	M-5

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

※操作ボタンは画面をタッチしたときに表示されます。



① 画面サイズ ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。

☞ M-5

② ボタン消 ボタン

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。

☞ M-4

VTR 機能を使う(1)

接続する

※接続の前に、接続する機器の電源を切り、車のエンジンスイッチを0(ロック)にして、本機の電源を切ってください。

本機に別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

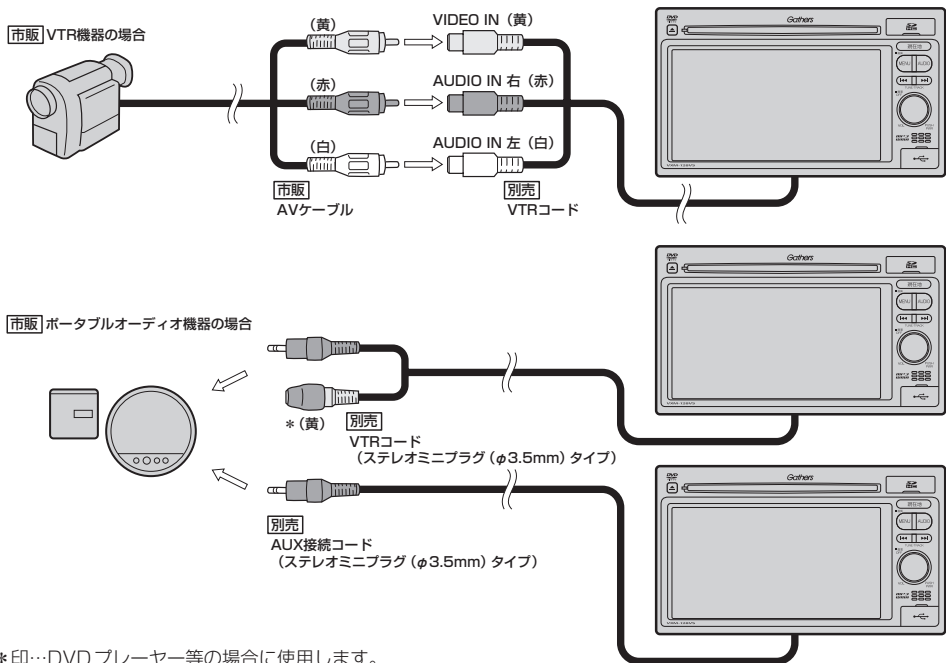
※出力するには、別売の下記コードをお買い求めください。



VTR機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

機器を接続する。



* 印…DVDプレーヤー等の場合に使用します。

VTR機能を使う(2)

2 本機と使用する機器の電源を入れる。

※車のエンジンスイッチⅡ(ON)状態

3 VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



注意 本機の電源をOFF(電源G-26)、または、エンジンスイッチⅡ(ロック)にする場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。



アドバイス

- 別売のAUX接続コードを接続した場合の操作方法は、VTRモードから行なってください。
- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- VTRの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
[音]「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」G-40
- **ボタン消** をタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 市販の音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声聞こえません。ご購入前にご確認ください。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子(RCA×1系統)

映像入力レベル

1Vpp(入力インピーダンス75Ω)

音声最大入力レベル

2.0V(入力インピーダンス47kΩ)

- 接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

画面のサイズを変更する

別売のVTRコードを接続してVTRモードにしている場合、画面のサイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。

▶「別売品(システムアップ)について」P-57

1 画面をタッチし、**画面サイズ** をタッチする。

：画面サイズ選択画面が表示されます。



2 変更したい画面サイズ(**ノーマル** ／ **フル** ／ **ワイド** ／ **シネマ**)を選択し、タッチする。

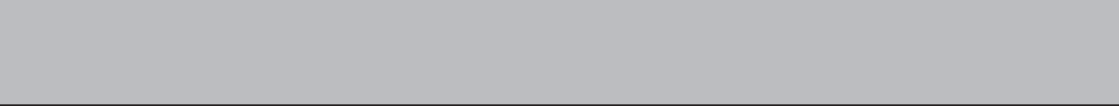
：選択した画面に切り替わります。



シネマ を選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下の画像が切れて見えなくなることがあります。



- ノーマル : 4 : 3 の映像の画面
- フル : 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9 にした画面
- ワイド : "フル" の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面



N

USB / iPod

各部の名称とはたらき	N-2
タッチパネル部について	N-2
表示部(再生画面)について	N-3
接続する	N-4
USB 機器を本機に接続する	N-4
iPod を本機に接続する	N-4
iPod を本機に接続すると	N-5
USB 機器または iPod の接続をやめる	N-5
USB 機器を使う	N-6
再生を一時停止する	N-6
リストより選曲する	N-6
好きなフォルダを選ぶ	N-8
iPod を使う	N-9
再生を一時停止する	N-9
リストより好きなトラックを選び再生させる	N-10
選曲モードより選択し再生させる	N-11

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)USBモード TOP画面



(例)iPodモード TOP画面



① **▶||** ボタン(再生／一時停止)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。

【例】N-6

② **リピート** ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。

【例】G-30

③ **ランダム** ボタン

曲を順序不同で再生します。

【例】G-30

④ **スキャン** ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。

【例】G-30

⑤ **リスト** ボタン

リストを表示させて選曲することができます。

【例】N-6

⑥ **フォルダー** ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑦ **フォルダ+** ボタン

次のフォルダに進みます。

⑧ **シャッフル** ボタン

シャッフル再生をすることができます。

【例】G-30

⑨ **選曲** ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。

【例】N-11

⑩ **切替** ボタン

時計表示に切り替わります。

※時計表示画面で**切替**をタッチすると、選択中のモード画面に戻ります。

【例】G-38



アドバイス

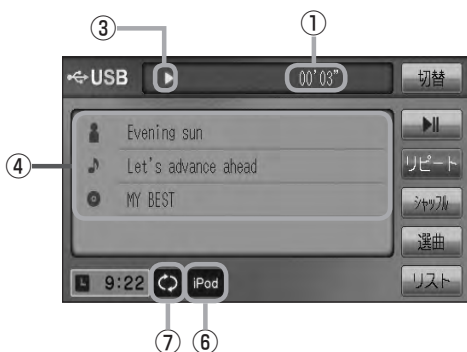
パネル部に配置されているボタンにつきましては【例】G-20を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)USBモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)iPodモード TOP画面
(リピート再生時)



① 再生時間表示

② 全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③ 再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

④ タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名*¹
アーティスト名／トラック名／アルバム名*²

⑤ 再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 / WMA / AAC

⑥ iPodを接続している場合に表示

⑦ 再生モード表示

リピート／ランダム／スキャン*¹

※表示内容につきましては「G-30」をご覧ください。

リピート／トラックシャッフル／アルバムシャッフル*²

※表示内容につきましては「G-30」をご覧ください。



アトハイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)

- アーティスト名／アルバム名が記録されていない場合は、「No Title」と表示されます。

- トラック名がない場合はファイル名を表示します。*¹

- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

※タイトル順が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

※走行中はスクロールしません。

- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機ではー(ハイフン表示)となります。

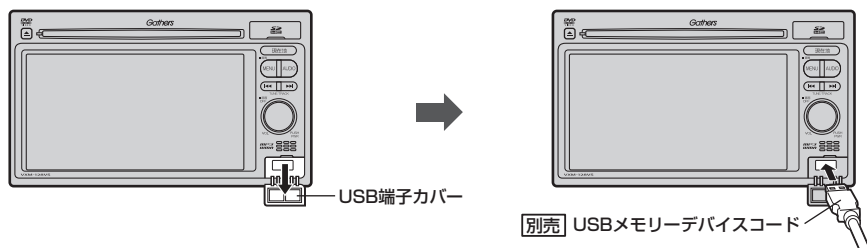
* 1 印…USBモードの場合

* 2 印…iPodモードの場合

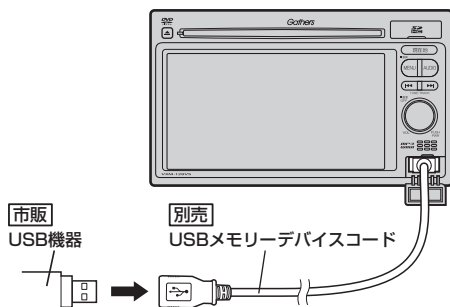
接続する

USB 機器を本機に接続する

- 1 USB 端子カバーを開け、別売の USB メモリーデバイスコードを接続する。



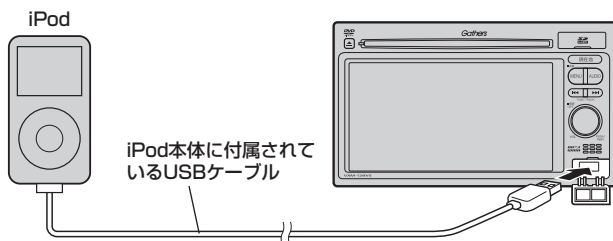
- 2 別売の USB メモリーデバイスコードに USB 機器を接続する。



iPod を本機に接続する

iPod 本体に付属されている USB ケーブルを使用して再生させることができます。

- 1 USB 端子カバーを開け、iPod 本体に付属されている USB ケーブルを接続する。



アドバイス

- 本機で iPod を再生させる場合も **USB** をタッチしてください。[G-23]
- 本機に iPod を接続するときはヘッドフォンなどの機器は外して iPod 単体としてください。
- iPod は本機の状態や車のエンジンスイッチ O (ロック) にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod 側での操作はできません。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチを O (ロック) にすると約 2 分後に iPod 本体の電源も OFF されます。

iPodを本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示され、タッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。

USB機器またはiPodの接続をやめる

1

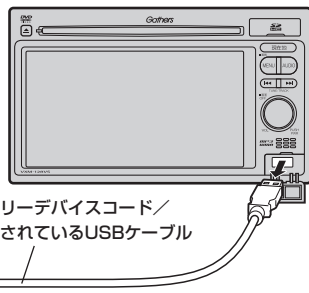
○(VOL / PUSH PWR)を押す。

：画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

※もう一度押すとオーディオモードをONします。

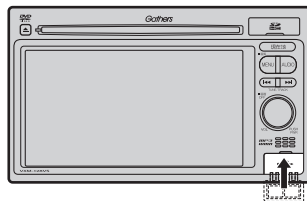
2

USBメモリーデバイスコード／USBケーブル
を外す。



3

USB端子カバーを“カチッ”と音がするまで
はめる。



アドハイス

- USB機器を外し、再度接続して再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
※ USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生することがあります。
- 音楽再生中にUSB機器を外すと、データがこわれたりUSB機器が破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

USB 機器を使う(1)

再生を一時停止する

1 (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にを表示し、音声が一時的に止まります。



一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にを表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲(トラック)を選択し、再生させることができます。

1 **リスト** をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)USBモードTOP画面



2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① **全曲リスト** をタッチする。

：USB 機器内の全ての曲(トラック)が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。



② 再生させたい曲(トラック)を選び
タッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)全曲リスト画面



■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** をタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

(例)全曲リスト画面



② フォルダリストから再生させたいフォルダ
を選びタッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示され、最初の曲
が再生されます。

(例)フォルダリスト画面



③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を
選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面



3

TOP画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



を押して曲(トラック)を選択することもできます。[G-28]

USB 機器を使う(2)

好きなフォルダを選ぶ

USB 機器の中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① **フォルダー** をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① **フォルダ+** をタッチする。



iPodを使う(1)

再生を一時停止する

1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：画面に **||** を表示し、音声が一時的に止まります。



一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に **▶|| (再生／一時停止) をタッチする。**

：画面に **▶** を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

好きなフォルダを選ぶ／再生を一時停止する

USB/iPod

iPodを使う(2)

リストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞ N-11)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ポッドキャスト/ジャンル/プレイリスト/作曲家)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例) iPod モード TOP 画面



2

再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例) iPod モード リスト画面



3

TOP 画面に戻るには、**戻る** をタッチする。



☞ / ☞ を押して曲(トラック)を選択することもできます。☞ G-28

選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲 をタッチする。

：選曲画面が表示されます。

(例) iPod モード TOP 画面



2

選曲画面より選曲する方法(**全曲** / **アルバム** /

アーティスト / **ポッドキャスト** / **ジャンル** /

プレイリスト / **作曲家**) を選択する。

選曲画面



アドバンス

- 選曲モードは、iPod 本体に収録されている内容となります。
- iPod のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲画面を選択する前に **戻る** をタッチすると TOP 画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

：全曲のトラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例) 全曲画面



リストより選択

USB/iPod

選曲モードより選択再生(全曲)

iPodを使う(3)

- **アルバム** をタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいアルバムをタッチする。
- ② 再生させたいトラックをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

: 選択した曲(トラック)を再生します。

(例) アルバムリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例) トラックリスト画面



- **アーティスト** をタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいアーティストをタッチする。
- ② 再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

(例) アーティストリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内全曲の全アルバムが表示されます。[B] 手順②へ

(例) アルバムリスト画面



すべて をタッチすると iPod 内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲(トラック)を再生します。

(例) トラックリスト画面



- **ポッドキャスト** をタッチした場合 : ポッドキャスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいポッドキャストをタッチする。

: 選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

(例)ポッドキャスト画面



ポッドキャスト

- ② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

: 選択したポッドキャストを再生します。

(例)ポッドキャストリスト画面



- **ジャンル** をタッチした場合 : ジャンルリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名)をタッチする。

: 選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

(例)ジャンルリスト画面



すべて をタッチするとiPod内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

〔B〕 N-14 手順④へ

- ② 再生させたいアーティストをタッチする。

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例)アーティストリスト画面



すべて をタッチすると手順①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

〔B〕 N-14 手順④へ

iPodを使う(4)

- ③ 再生させたいアルバムをタッチする。 ④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例)アルバムリスト画面



すべて をタッチすると手順②(「N-13」)で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。「N-14」へ

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例)トラックリスト画面



アドバンス

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

■ プレイリストをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

- ① 再生させたいプレイリストをタッチする。 ② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例)プレイリスト画面



プレイリスト

(例)トラックリスト画面



トラック

■ 作曲家 をタッチした場合

：作曲家リスト画面が表示されます。

- ① 再生させたい作曲者をタッチする。 ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例) 作曲家リスト画面



「すべて」をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに「すべて」をタッチするとiPod内の全曲トラックリスト表示とともに曲が再生されます。[👉] 手順③へ

(例) アルバムリスト画面



「すべて」をタッチすると手順①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリストが表示されます。[👉] 手順③へ

- ③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例) トラックリスト画面



3

設定を終えるには、**戻る** または **選曲終了** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**選曲終了** をタッチするとTOP画面に戻ります。

O

ハンズフリー

VXM-128VS

ハンズフリーについて	0-2
Bluetoothとは	0-2
ハンズフリーとは	0-2
音声について	0-2
安全上のご注意	0-2
使用上のご注意	0-3
初期登録設定	0-5
携帯電話を登録する	0-5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	0-8
携帯電話を切り替える	0-10
登録した携帯電話の自動接続を設定する	0-11
登録した携帯電話の優先接続の設定をする	0-13
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	0-14
発着信音量を設定する	0-15
受話音量を設定する	0-16
送話音量を設定する	0-17
バスキーを変更する	0-18

電話を受ける	0-20
着信音量を調整する	0-20
電話に出る	0-20
保留にする	0-21
通話を拒否(終了)する	0-22
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	0-22
通話を携帯電話に切り替える	0-23
トーン入力する	0-24
電話をかける	0-25
電話番号から	0-25
リダイヤルから	0-27
履歴から	0-28
発着履歴を削除する	0-31
通話中に地図画面を表示する	0-32

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

Bluetoothとは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- ハンズフリーのBluetooth機能を利用するには、初期登録をする必要があります。
【初期登録設定】0-5
初期登録後、自動接続“する”の場合は車のエンジンスイッチをⅠ（アクセサリ）またはⅡ（ON）にして本機に電源が入ると自動的にBluetooth接続となります。



アドバイス

本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。



BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。



音声について

発信後および着信後は、本機に内蔵のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

安全上のご注意



警告

- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときは、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけなおす」ことを伝え、安全な場所に停車してかけなおしてください。
- 電話（本機）を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時 ・ 高速走行時 ・ 窓を開けているとき ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機はすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth対応携帯電話はBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth対応携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示/動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合、心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・ 通話エリア外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth通信の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビゲーション本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは本機に内蔵のマイクを使用して通話します。マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのよう聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に本機の操作を行なった場合、内蔵マイクに直接振動が伝わり、相手に大きな音が伝わる(聞こえる)場合があります。



アドバンス

携帯電話にはご利用にならない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/>

- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)等を操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行なった場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すぐに本製品の使用をやめてお買い上げのHonda販売店へご相談ください。
 - 3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解や改造をする
 - ・ ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器がBluetooth接続されている場合、本機とBluetooth接続を行なうことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBluetooth接続を切断してください。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetoothの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行なってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

初期登録設定(1)

VXM-128VS

“Bluetooth対応携帯電話”を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

- 下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側のBluetoothが使用できるように設定してください。
※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲のBluetooth機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

1

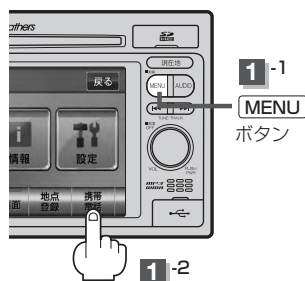
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**携帯電話について**」F-47を参照してください。



「ハンズフリーについて」／「初期登録設定」

ハンズフリー

2

設定 → **携帯電話機器登録** をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※登録されている携帯電話が2台ある場合 **携帯電話機器登録** は選択できません。



携帯電話設定画面



アドバイス

QQ コール は Honda 販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合には表示されます。

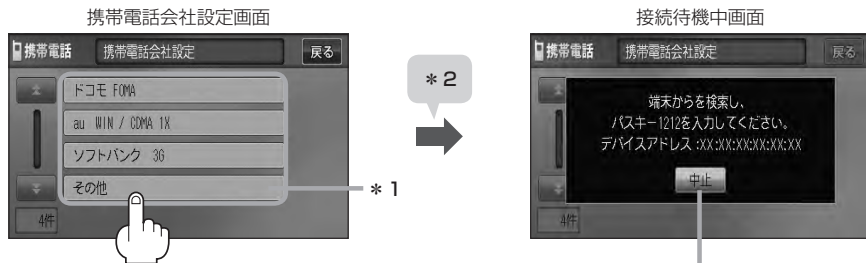
※ 印… **QQ コール** をタッチすると、QQ コールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。QQ コールの表示につきましては、「**QQ コールを表示する**」E-44を参考にしてください。

3 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※携帯電話の会社名を選択することで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行なわれます。

：接続待機中画面が表示されます。

※携帯電話側を操作し、ハンズフリーとして登録を行ないます。操作方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



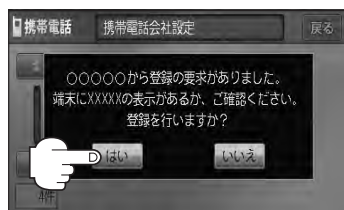
※接続待機中に **中止** をタッチすると接続を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

■ パスキーの入力が不要な場合

登録する携帯電話の仕様(Bluetooth Ver2.1以降)によっては、パスキーの入力が不要な場合があります。(セキュア・シンプル・ペアリング機能)

- ① 接続待機中画面から右記画面に表示が替わった場合、携帯電話に表示されている数字と、本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチする。

：登録が完了します。



* 1 印…ご使用の携帯電話がドコモ/au/ソフトバンク以外の場合、**その他** を選択してください。本機にて接続を確認している携帯電話は、下記アドレスをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/>

* 2 印…すでに登録済(Bluetooth接続済)の携帯(番号)がある場合、その携帯(Bluetoothの接続)を切断するかどうかのメッセージが表示されるので「はい」を選択してください。

※「はい」を選択すると現在接続中の携帯との通信を切断し、検索中画面が表示されます。「いいえ」を選択した場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、Bluetoothに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行なってください。
- パスキーとは、「Bluetooth対応携帯電話」を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称等で判断してください。

「**車載機(本機)のBluetooth情報を見る**」 O-14

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行なうことができます。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。



アンテナ3本：電波状態良好



圏外：電波は届いてません

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。

(良好でも圏外となることがあります。)

また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。



電池残量

初期登録設定(3)

VXM-128VS

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1

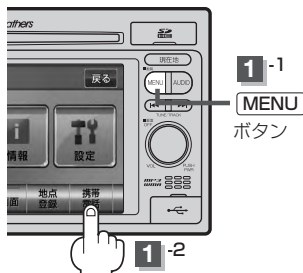
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**携帯電話について**」F-47を参照してください。



2

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



携帯電話設定画面



3

詳細情報を見るまたは削除する。

■ 詳細情報を見る場合

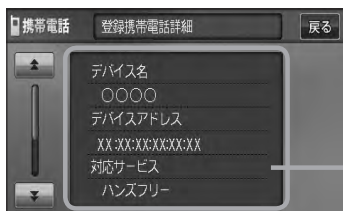
- ① 詳細情報を見たい携帯電話の
詳細 をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

(例) 携帯電話登録一覧画面



(例)詳細情報画面



対応サービスとは登録した端末が、
どのサービスに対応しているかを
表示します。

登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。

(※パスキーの数字は表示されません。)

※お手持ちの携帯電話の名称(デバイス名)に絵文字を使用している場合、

本機では“_” (アンダーバー)で表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で
名称(デバイス名)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※自局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。
(取得できなかった場合には“_” (ハイフン)で表示されます。)

■ 削除する場合

① 削除したい携帯電話の **削除** をタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示
されるので **はい** をタッチすると携帯電話を
削除し、携帯電話設定画面に戻ります。



アドバース

2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除
した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話とし
て自動で切り替えます。

(例)携帯電話登録一覧画面



〔初期登録設定〕

ハンズフリー

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバース

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

初期登録設定(4)

VXM-128VS

携帯電話を切り替える

接続可能な携帯電話を切り替えます。

※ Bluetooth 接続できる携帯電話機は 1 台です。

1

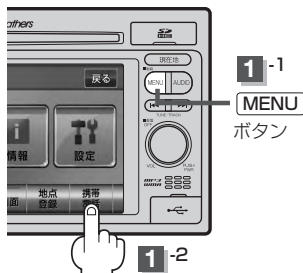
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**携帯電話について**」F-47を参照してください。



2

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



携帯電話設定画面



3

切り替えたい携帯電話の **接続する** を
タッチする。

：メッセージを表示し Bluetooth 接続する携帯電話が切り替わります。

接続する携帯電話がない場合も切り替えはできますが、
接続相手の携帯がないのでアイコンは表示されません。

(例) 携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。

※初期設定は“する”に設定されています。

1

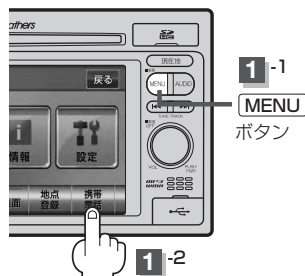
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**携帯電話について**」F-47を参照してください。



2

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



携帯電話設定画面



3

自動接続の設定をする。

■ **する** をタッチした場合

：ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続します。

■ **しない** をタッチした場合

：ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しません。

※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行います。

(例) 携帯電話登録一覧画面



“する”に設定した場合、

携帯電話が接続されました。

起動時にメッセージが表示されます。

初期登録設定

ハンズフリー

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBluetooth接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

1

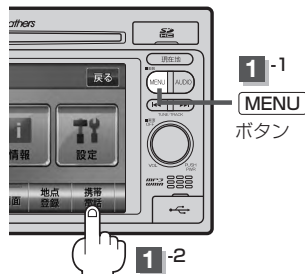
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
☞ 「携帯電話について」 F-47 を参照してください。



2

設定 → **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



3

優先したいほうの **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチを I (アクセサリ) または II (ON) にしたときより設定が有効となります。

※☞ O-11 手順 **3** で自動接続をしない設定にすると **優先する** は選択できません。

(例) 携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 登録機器が 1 台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

〔初期登録設定〕
ハンズフリー

初期登録設定(6)

VXM-128VS

車載機(本機)のBluetooth情報を見る

携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)のBluetooth情報を見たいときに使用します。

1

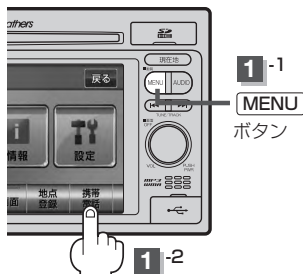
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**携帯電話について**」F-47を参照してください。

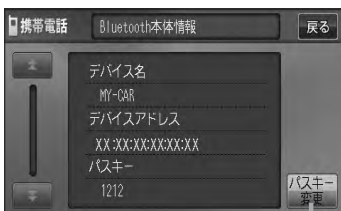
**2**

設定 → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。



(例)Bluetooth本体情報画面



パスキー変更 ボタン

パスキーの変更をすることができます。

「**パスキーを変更する**」O-18

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

発着信音量を設定する

発信音量と着信音量の大きさ(+1～+15)を設定することができます。

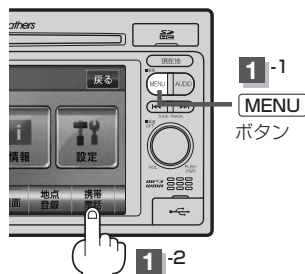
1

MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**設定**」→「携帯電話について」F-47を参照してください。



2

設定 → **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



3

- / **+** をタッチして音量を設定する。

■ **-** をタッチした場合

：発信音量が小さくなります。

■ **+** をタッチした場合

：発信音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中に調整することもできます。「**着信音量を調整する**」O-20

受話音量を設定する

通話先相手の声の大きさ(+1～+15)を設定することができます。

1

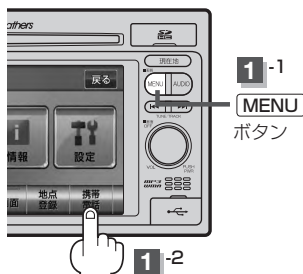
MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**設定**」→「携帯電話について」F-47を参照してください。



2

設定 → **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



携帯電話設定画面



3

- / **+** をタッチして音量を設定する。

■ **-** をタッチした場合

：受話音量が小さくなります。

■ **+** をタッチした場合

：受話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく設定してください。エコーが出ることがあります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 通話中に調整することもできます。【**設定**】O-26

送話音量を設定する

相手に聞こえる自分の声の大きさ(+1～+7)を設定することができます。

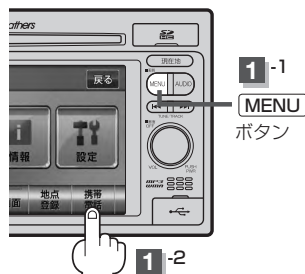
1

MENU を押し **携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「**設定**」→「携帯電話について」F-47を参照してください。



2

設定 → **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



3

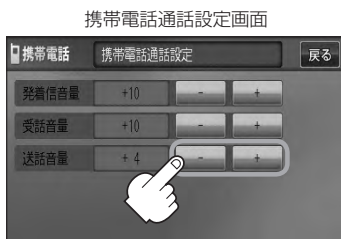
- / **+** をタッチして音量を設定する。

■ **-** をタッチした場合

：送話音量が小さくなります。

■ **+** をタッチした場合

：送話音量が大きくなります。



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドハイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中／通話中に調整することもできます。 **設定** O-20

パスキーを変更する

パスキーとは、Bluetooth対応携帯電話を本機に登録するときに使用するパスワードです。
(「」「携帯電話を登録する」0-6手順3参照)お互いのパスワードが一致して初めて通信(接続)可能となります。そのパスキーを変更したい場合は、下記手順に従って操作してください。

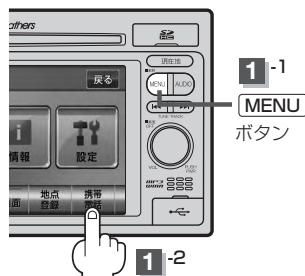
1 MENU を押し 携帯電話 をタッチする。

: 携帯電話画面が表示されます。



アドバイス

設定メニューから携帯電話を選択する場合は、
「」「携帯電話について」F-47を参照してください。



2 設定 → Bluetooth本体情報 をタッチする。

: Bluetooth本体情報画面が表示されます。



3 パスキー変更 をタッチする。

: パスキー変更画面が表示されます。

(例) Bluetooth本体情報画面



4

◀訂正 をタッチして変更したい数字を削除する。

※全ての数字を削除する場合は、◀訂正 を長めにタッチしてください。



5

10キーボタン(0～9)をタッチして、パスキー(4～6桁)を入力し、決定 をタッチする。

: Bluetooth本体情報画面に戻ります。



6

設定を終えるには、戻る をタッチまたは 現在地 を押す。

: 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、現在地 を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 上記手順 5 で 決定 をタッチしないで 現在地 / MENU / AUDIO を押したり、戻る をタッチした場合は設定が保存されません。
- 入力した数字を訂正するときは ◀訂正 をタッチして数字を再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。

(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 着信音が鳴っているときに、**−**／**+**をタッチして音量を調整する。

■ **−**をタッチした場合

：着信音量が小さくなります。

■ **+**をタッチした場合

：着信音量が大きくなります。

(例)着信通知画面



アドバンス

携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

[設定]「**着信音量を設定する**」0-15

電話に出る

1 **開始**をタッチする。

：通話可能となります。



アドバンス

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。

[設定]「**受話音量を設定する**」0-16

- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

(例)着信通知画面



通話中に**−**／**+**をタッチすると送話音量が増減します。

(相手に聞こえる自分の声の大きさの調整)

保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、**保留** をタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。



アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に **終了** をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

(例)着信通知画面



■ 通話できる状態になった場合

① **通話** をタッチする。

：通話可能となります。

(例)着信保留画面



② 通話が終わったら **終了** をタッチする。

：電話が切れます。



アドバイス

通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

(例)通話中画面



電話を受ける
ハンズフリー

電話を受ける(2)

VXM-128VS

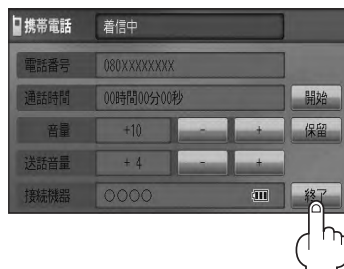
通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1 着信通知画面で **終了** をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。

(例) 着信通知画面



通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。

※相手の声は聞こえます。

1 着信通知画面で **開始** をタッチして通話しているときに、**ミュート** をタッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

(※電話回線はつながったままの状態です。)

(例) 着信通知画面



(例) 通話中画面



■ 再びこちらの音声を出す場合

① **通話** をタッチする。

：自分の声が相手に聞こえます。

(例) ミュート中画面



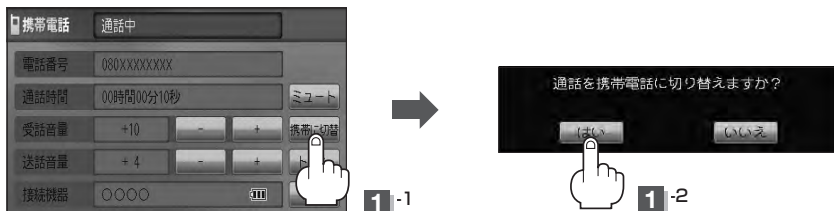
通話を携帯電話に切り替える

ハンズフリー通話から携帯電話での通話へ切り替えます。

1 通話中画面で **携帯に切替** をタッチする。

: 切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、通話を携帯電話に切り替えます。

(例)通話中画面

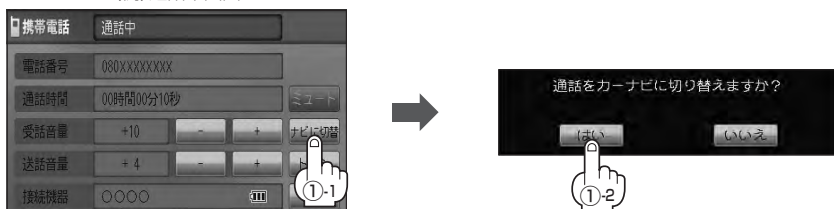


■ 通話を本機に戻す場合

① 通話中画面で **ナビに切替** をタッチする。

: ハンズフリー通話に切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、通話をハンズフリー通話(本機)に切り替えます。

(例)通話中画面



トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービス等で利用することができます。

1 通話中画面で **トーン** をタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。

(例)通話中画面



2 入力したい番号を10キーボタンをタッチして入力する。



アドバイス

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ入力することができます。

トーン入力画面



警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法(電話番号／リダイヤル／履歴／施設の詳細＊／登録地点詳細＊)で電話をかけることができます。

*印… C-5、E-38、F-29

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1

MENU を押す。

：トップMENU画面が表示されます。

2

携帯電話 → **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。



2-1



* 1 印…ボタンをタッチした後、携帯電話から電話番号を入力するのではなく、ナビゲーション本体から相手側の電話番号を入力してください。 下記手順 **3**

3

相手先の電話番号を入力し、**発信** をタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、22桁まで表示します。入力した番号が23桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** / **いいえ** を選択してください。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、発信できないことがあります。この場合携帯電話側の仕様をご確認ください。



- 入力した数字を1つ訂正する場合
◀**訂正** をタッチする。
- 全ての数字を訂正する場合
◀**訂正** を長めにタッチする。

〔電話を受ける〕／〔電話をかける〕

ハンズフリー



発信中画面で

アドバイス

音量の **-** / **+** をタッチすると、発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。

(例) 発信中画面



終了 をタッチすると発信を中止することができます。

4

通話が終わったら **終了** をタッチする。

：電話が切れます。

(例) 通話中画面



通話中に **-** / **+** をタッチすると受話音量が増減します。(通話先相手の声の大きさの調整)



アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** を選択(【**電話**】O-25手順【**2**】)することができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は、【**電話**】O-23を参考に操作してください。

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

1

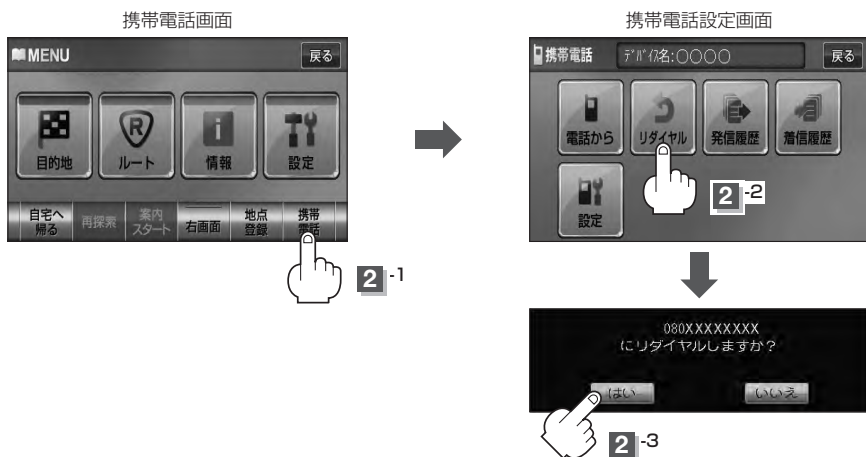
MENU を押す。

：トップMENU画面が表示されます。

2

携帯電話 → **リダイヤル** をタッチする。

：リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択してください。



アドバイス

発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 **リダイヤル** は選択できません。

〔電話をかける〕

ハンズフリー

履歴から

ナビゲーション接続状態での発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1

MENU を押す。

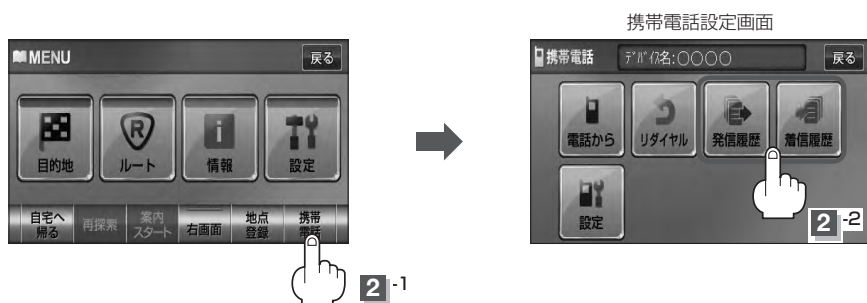
：トップMENU画面が表示されます。

2

携帯電話 → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

※発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** は選択できません。

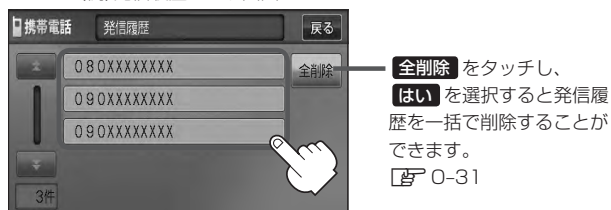


■ 発信履歴からかける場合

電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。
登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の番号をタッチする。

(例) 発信履歴リスト画面



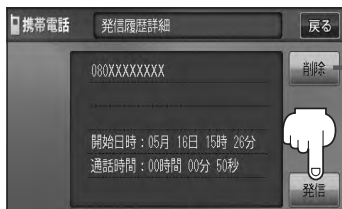
アドバイス

- 本機に発信履歴がない場合 **発信履歴** は選択できません。
- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名／地点名は表示されません。)
- 携帯電話本体を操作して発信を行なった場合には、本機の発信履歴には保存されません。

② 発信 をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

(例) 発信履歴詳細画面



削除 をタッチし、**はい** を選択すると選択中の発信履歴を削除することができます。
※全ての発信履歴を一括で削除することもできます。
☞ 「発信履歴を削除する」 O-31

※発信中画面(☞ O-26のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞ O-26の手順 4 参照)になります。

■ 着信履歴からかける場合

電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が着信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。

ご使用中の携帯電話の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示される場合もあります。

① リストの中からかけたい相手の番号を選択する。

：着信履歴詳細画面が表示されます。

(例) 着信履歴リスト画面



全削除 をタッチし、**はい** を選択すると着信履歴を一括で削除します。
☞ O-31



アドバイス

- 本機に着信履歴がない場合 **着信履歴** は選択できません。
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知と表示されます。また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

② **発信** をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

(例) 着信履歴詳細画面



削除 をタッチし、**はい** を選択すると選択中の着信履歴を削除することができます。
※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
[P] 「発信履歴を削除する」 O-31

※発信中画面([P] O-26のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(下記)になります。

3

通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

(例) 通話中画面



アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

発着履歴を削除する

VXM-128VS

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1

MENU を押す。

：トップMENU画面が表示されます。

2

携帯電話 → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

※発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** は選択できません。



2-1



2-2

3

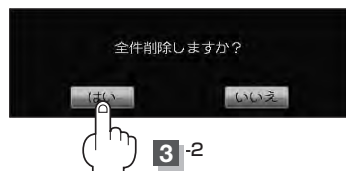
全削除 をタッチする。

：全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。

(例) 発信履歴リスト画面



3-1



3-2

〔電話をかける〕／〔発信履歴を削除する〕

ハンズフリー

通話中に地図画面を表示する

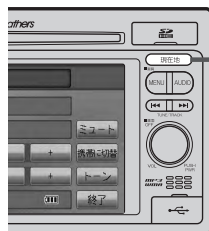
VXM-128VS

“Bluetooth対応携帯電話”を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1

通話中に **現在地** を押す。

：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。



現在地
ボタン



ナビゲーション画面



■ 再び通話中画面にする場合

① **MENU** を押し、**携帯電話** をタッチする。

：通話中画面に戻ります。



①-1
MENU
ボタン



(例) 通話中画面



アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

P

その他

画質調整のしかた	P-2
画質調整を初期値に戻す	P-3
オーディオ リモコン スイッチ	P-4
音声はそのまま画面を消す	P-6
ボタンの照明について	P-6
個人情報の取り扱いについて	P-7
工場出荷状態に戻す	P-7
ルート案内時の注意点	P-8
出発地・経由地・目的地の設定について	P-12
経由地、目的地の登録のポイント	P-12
経由地を使って上手にルートを作る	P-13
地図ソフトについて	P-14
地図に表示される記号	P-18
市街地図(10m/25m/50m スケール)の収録エリア	P-20

☆印…VXM-128VSの場合

VICSについてのお問い合わせ	P-24
VICSの概要	P-24
VICS 情報有料放送サービス契約約款	P-26
VICS 削除リンクに関する告知	P-27
故障かな?と思ったら	P-28
メッセージ表示について	P-44
チャンネル一覧☆	P-48
用語説明	P-50
初期設定一覧	P-55
別売品(システムアップ)について	P-57
主な仕様	P-58
構成内容	P-59
保証/アフターサービスについて	P-60

画質調整のしかた

- ナビゲーションモード／ラジオ(FM／AM)／CD／MP3／WMA／SD／USB／iPodモード画面のときは、明るさ／コントラスト調整ができます。
- ワンセグ☆／DVD☆／VTRモード画面のときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。(ただし走行中は明るさ／コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に別売のリアカメラを接続しているときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。



アドバイス

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、ナビゲーションモード／ラジオ(FM／AM)／CD／MP3／WMA／SD／USB／iPodモードの画面、ワンセグ☆画面、DVD☆画面、VTR画面で別々に調整することができます。
- **携帯電話** タッチ(☎ F-47、O-5)後(ハンズフリー機能)は、**[MENU]**を2秒以上押しても画質調整を行なうことはできません。(画質調整画面は表示されません。)画質調整には、ハンズフリー機能画面以外で行なってください。☆

☆印…VXM-128VSの場合

1

[MENU]を2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。

2

調整したい項目(**明るさ**／**コントラスト**／**色の濃さ**／**色合い**)をタッチする。

(例)画質調整画面



3

－／**＋**をタッチして値を調整する。



アドバイス

調整はタッチパネルの **－** または **＋** をタッチし続けると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。
お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

(例)画質調整画面



■ 明るさ(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると暗くなり、**＋** をタッチすると明るくなる。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれお好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると黒さが増し、**＋** をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると淡くなり、**＋** をタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると赤が強くなり、**＋** をタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻す

手順 **2**、**3** (P-2) で調整した画質(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1

P-2 手順 **1** に従って操作し、

初期値 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

(例)画質調整画面

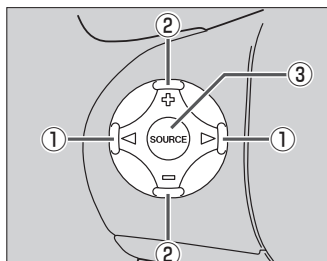
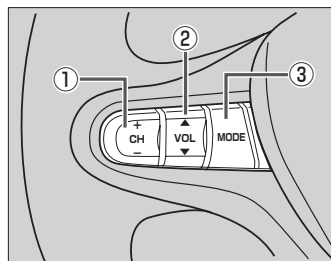


オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。

イラストはイメージ図です。



車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。

※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH+ / CH- スイッチ、◀ / ▶ スイッチ

■ ラジオを聞いている / ワンセグ☆を見ている場合

CH+ / ▶ を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。

CH+ / CH- を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

■ CD / SD / USB を聞いている場合

CH+ / ▶ を押す。：スキップ(次の曲の頭出し)します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。

CH+ を長く押す。：早送りします。

CH- を長く押す。：早戻しします。

■ DVD☆を見ている場合

CH+ / ▶ を押す。：スキップ(次のチャプターの頭出し)します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ(再生中や前のチャプターの頭出し)します。

CH+ を長く押す。：早送りします。

CH- を長く押す。：早戻しします。

② VOL▲ / VOL▼ スイッチ、⊕ / ⊖ スイッチ

VOL▲ / ⊕ を押す。：音量が大きくなります。

VOL▼ / ⊖ を押す。：音量が小さくなります。

VOL▲ / ⊕ を長く押す。：連続して音量が大きくなります。

VOL▼ / ⊖ を長く押す。：連続して音量が小さくなります。

☆印…VXM-128VSの場合

③ **MODE**、**SOURCE** スイッチ

スイッチを押すたびに、下記のようにモードが切り替わります。

■ ご使用の型式がVXM-128VSの場合

CD/DVD → FM → AM → ワンセグ
 ↑ ↑ ↑
 USB*¹ ← SD ← VTR*² ←

■ ご使用の型式がVXM-128Cの場合

CD → FM → AM → VTR*²
 ↑ ↑ ↑
 USB*¹ ← SD ←

* 1 印…USBの接続方法につきましては、**2**「**USB機器を本機に接続する**」N-4、

または**3**「**iPodを本機に接続する**」N-4をご覧ください。

* 2 印…VTRの接続方法につきましては、**3**「**接続する**」M-3をご覧ください。



アドバイス

- オーディオモード ↔ ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体パネルの **AUDIO** ↔ **現在地** を押し
て切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
※オーディオモード終了(OFF)のときに **MODE** または **SOURCE** スイッチを押すとCD/DVD*モード
を表示します。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
・CD/MP3/WMA/DVD*ディスク未挿入、VTR未接続。

☆印…VXM-128VSの場合

音声はそのまま画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

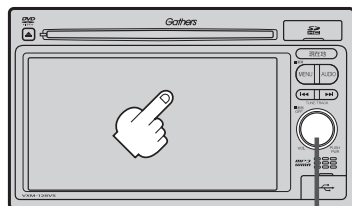
1 ○(VOL / PUSH PWR)を2秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、
再度○(VOL / PUSH PWR)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



○ ボタン(VOL / PUSH PWR)

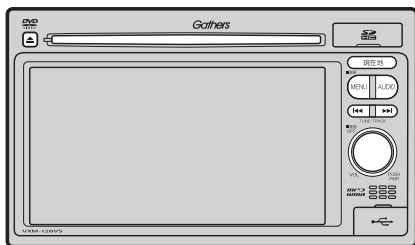


アドバイス

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消モード中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消モードに戻ります。
- リアカメラを接続し、カメラ映像を表示している場合は、○(VOL / PUSH PWR)を長押ししても画面を消すことはできません。

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタン
(**現在地**)やボタンの文字(MENU、AUDIO)、
イラスト(▲、◀▶)、○(VOL / PUSH
PWR)の周囲、ディスクの挿入口が点灯します。



個人情報取り扱いについて

工場出荷状態に戻す

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞ 「データを初期化(消去)する」 F-49

■ それぞれの設定箇所での消去する場合

- 本機に内蔵されている地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)に関する情報の削除☆

☞ 「設定を初期化する」 I-28

- 本機から発信または本機に着信した履歴情報の削除☆

☞ 「発着履歴を削除する」 O-31

☆印…VXM-128VSの場合

ルート案内時の注意点(1)

- 表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。
- 道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。
- ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除したときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どれか1か所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
 - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
 - 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
 - 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行ないません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
 - 細街路から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
 - 極度に迂回したルートしかない場合。
 - その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

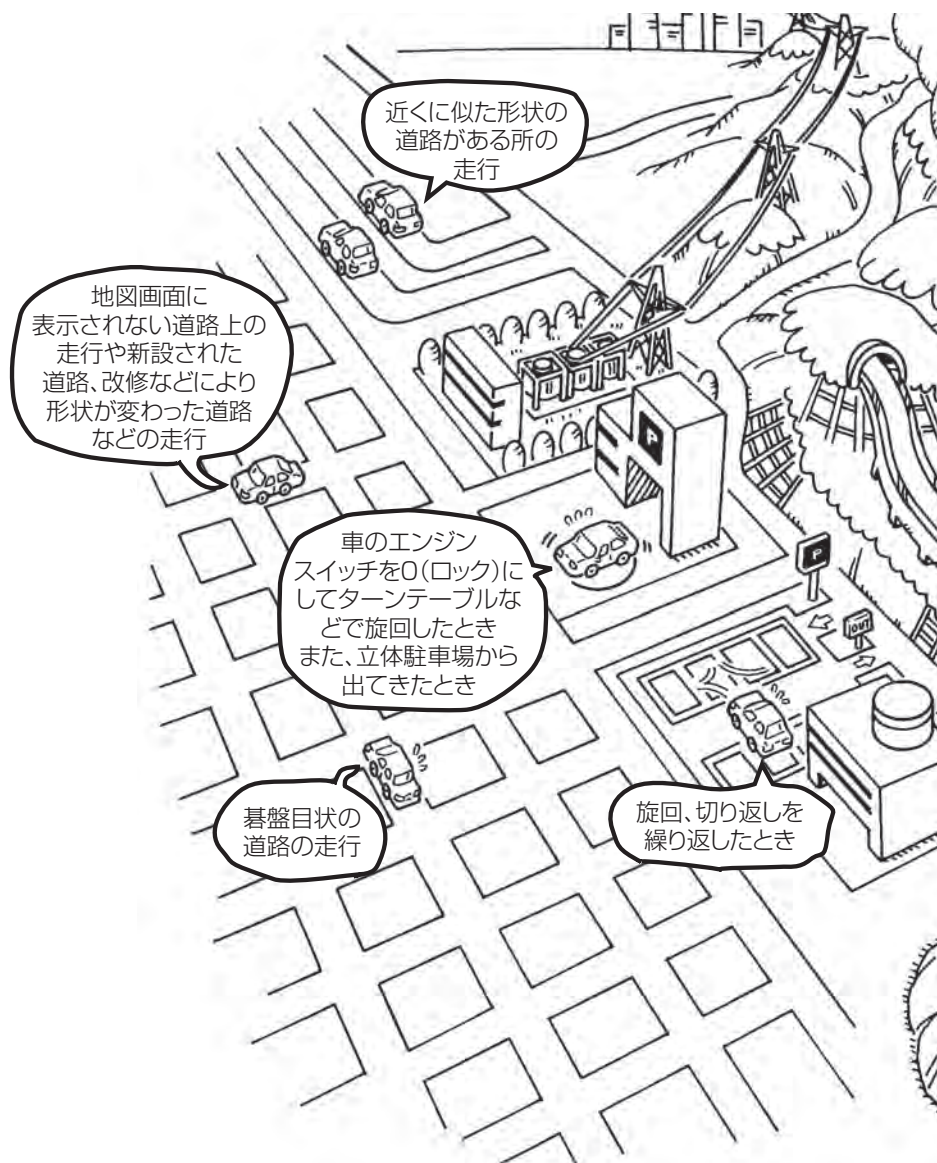
●以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自転車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示されることがあります。
この場合は自転車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自転車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示されることがあります。
修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 一般優先**に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや**探索条件**の設定でフェリーを優先“しない”に設定しても、フェリー航路でのルートが設定されることがあります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

ルート案内時の注意点(2)

自車マークの表示誤差について

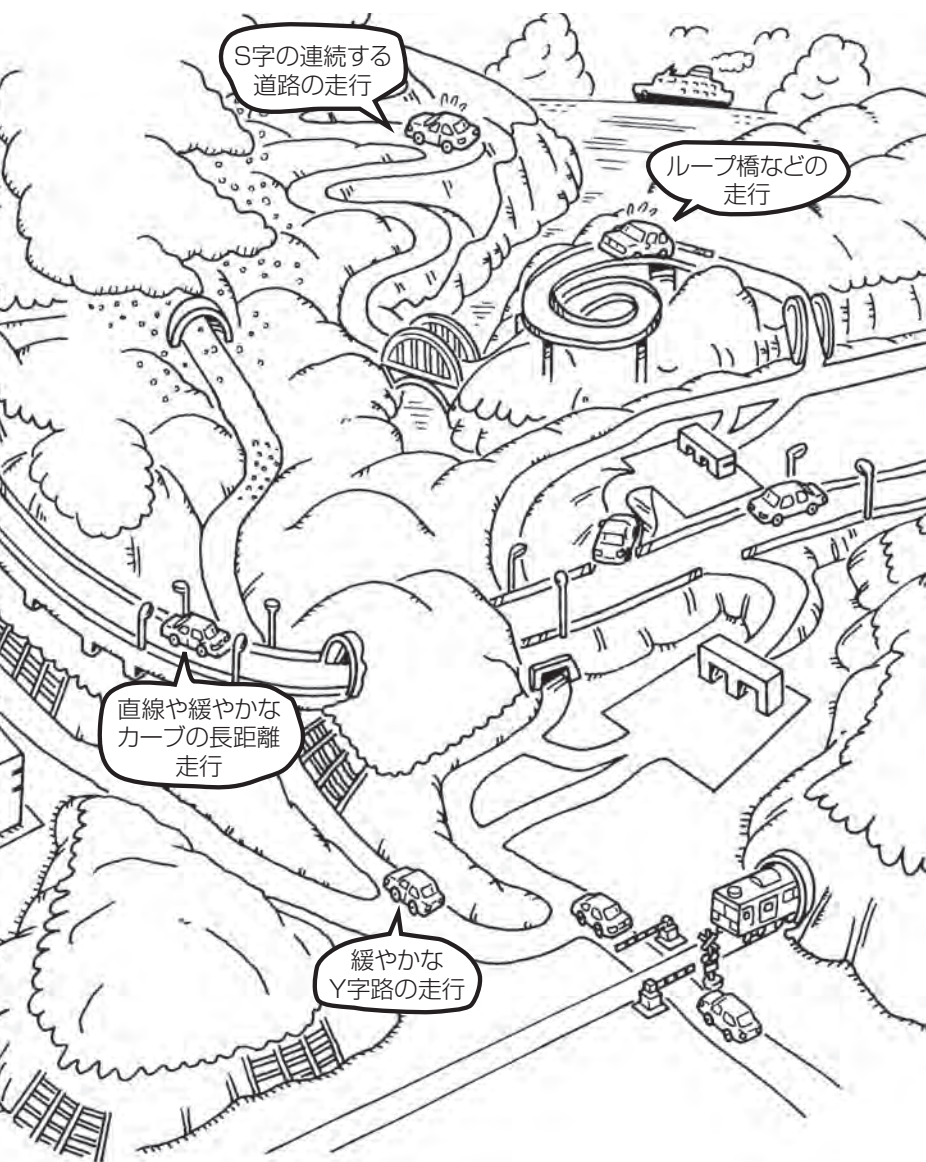
自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。





アドバイス

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。



「ルート案内時の注意点」

その他

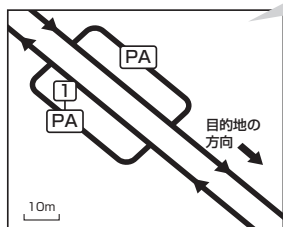
出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の登録のポイント

経由地、目的地は必ず最詳細地図で設定してください。

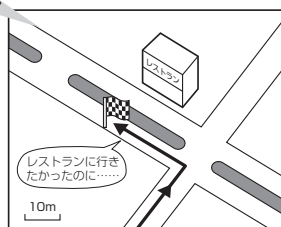
最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例)高速道路のPAに経由地を設定した場合



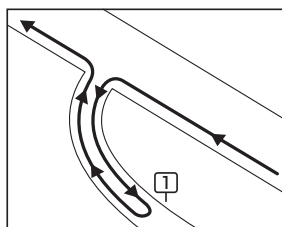
目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

例)中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りルートを設定することがあります。

例)設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

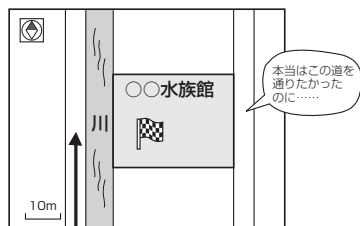
経由地は最詳細地図で目的地方向上にあるPA、車線側に設定してください。

目的地は最詳細地図で、車線等を確認して設定してください。

経由地／目的地は、交差点には設定しないでください。

メニューの検索で施設の地図を探した場合

例)「名称で地点を探す [施設 50 音]」で“〇〇水族館”の地図を表示し、目的地を登録した場合



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

出発地／経由地／目的地のマークは施設上に登録されますが、ルート探索の実際の出発地／経由地／目的地は、登録した地点に一番近い探索データのある道路上の地点となります。このため、意図したルートとはちがうルートが設定される場合があります。

これを避けるには、最詳細地図で、探索データのある道路のうち、好きな道路上(目的地方向の車線側)に登録してください。

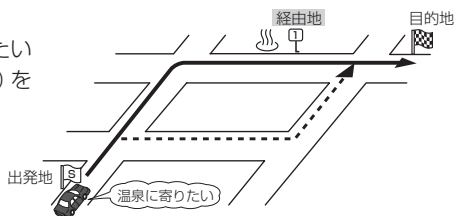


出発地／経由地／目的地を登録した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

経由地を使って上手にルートを作る

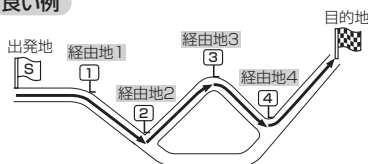
例) ルートの途中に立ち寄りたい場所があるとき

経由地を設定しない場合、立ち寄りたい場所を通らないルート(-----▶)を作ることがあります。

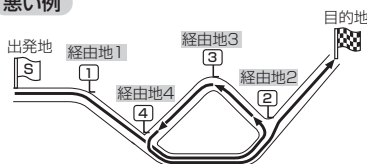


例) 経由地は出発地(現在地)から近い順に、1、2、3...と、設定してください。

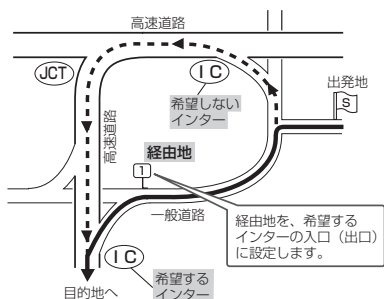
良い例



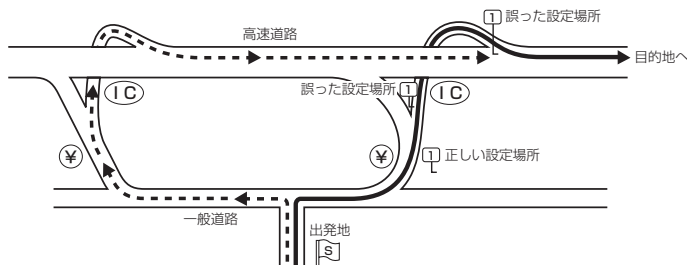
悪い例



例) 希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。



ICの本線や分岐点などには経由地を設定しないでください。
遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。

地図ソフトについて(1)

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「本機」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)の間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、お客様が管理使用する機器 1 台に限り本商品を使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停車させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内、料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 弊社は、本ソフトに関する損害賠償責任を、弊社の故意または重過失による場合を除き、一切負わないこと。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

警告



運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。



運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本ソフトに収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本ソフトを救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本ソフトにはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号平20業使、第204-662号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図を使用しています。(承認番号平21業使、第757-186号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認07-173)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2010年11月のものを使用しています。
-  **vics**® は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

地図ソフトについて(2)

■道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2010年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2010年9月までに収集した情報をもとに製作しておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

◆3D交差点……………ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
(約1750交差点、約5600画像)

※すべての交差点において収録しているわけではありません。

◆ジャンクションビュー……………ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。(約3950ヶ所、約7850方面)

◆方面看板……………ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。

(全国の主要交差点)

※全ての交差点において収録しているわけではありません。

■細街路規制データは、おおむね2010年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。

■経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

■交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

■「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録していない地域があります。

■電話番号検索データはタウンページ(2010年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

■個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

■VICSリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

※収録エリアには2011年11月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

(財) 道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45(土曜、日曜、祝日を除く)

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集した情報をもとに作成しております。

■道路：2010年12月(高速・有料道路)／2010年9月(国道・都道府県道)

■交通規制^{*1}：2010年11月

■住所検索：2010年11月

■電話番号検索：2010年11月

■個人宅電話番号検索：2010年10月

■郵便番号検索：2010年11月

■ジャンル検索：2010年10月

■高速・有料道路料金^{*2}：2010年12月

■市街地図：2010年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

「本機」に収録されている高速(有料)道路料金データについては、高速道路無料化社会実験の内容が反映されております。無料化社会実験については、2011年6月に終了致しましたので、実際の料金と収録内容が異なります。事前に料金を確認して、ご利用ください。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、収録エリアには2011年11月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

地図についてのお問い合わせ先

株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 10:00～17:00 月～金(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・自動車電話・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

2011年11月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2010 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2010 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2011 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に表示される記号

地図表示記号(例)

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色：一般道、細街路(経路案内対象外)

青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象とはなりません。

立体アイコン(例)



東京タワー



サンシャイン60



神宮球場



松江城



日本武道館



横浜ランド
マークタワー



東京都庁
(第一庁舎)



通天閣



金閣寺



原爆ドーム

市街地図(○10m/○25m/○50mスケール)の収録エリア(1)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → 、50%未満収録地域 →

北海道	札幌市、函館市、 小樽市 、旭川市、室蘭市、釧路市、 帯広市 、 北見市 、夕張市、 苫小牧市 、稚内市、 美唄市 、 芦別市 、 江別市 、 赤平市 、紋別市、 士別市 、 名寄市 、 三笠市 、 根室市 、千歳市、 恵庭市 、 北広島市 、 石狩市 、 当別町 、 釧路町 、 岩見沢市 、 網走市 、 留萌市 、 滝川市 、 砂川市 、 歌志内市 、 深川市 、 富良野市 、 登別市 、 江差町 、 斜里町 、 伊達市 、 白老町 、 音更町 、 北斗市 、 池田町 、 洞爺湖町 、 新ひだか町 、 清水町 、 芽室町 、 幕別町 、 七飯町 、 八雲町 、 岩内町 、 余市町 、 奈井江町 、 鷹栖町 、 東神楽町 、 美瑛町 、 南幌町 、 新篠津村 、 上砂川町 、 壮瞥町 、 安平町 、 新十津川町 、 当麻町 、 中札内村 、 月形町 、 剣淵町 、 赤井川村 、 東川町 、 喜茂別町 、 小平町 、 京極町 、 長沼町 、 更別村 、 比布町
	三沢市、 青森市 、 弘前市 、 八戸市 、 黒石市 、 五所川原市 、 十和田市 、 むつ市 、 藤崎町 、 大鰐町 、 東北町 、 つがる市 、 平川市 、 野辺地町 、 田舎館村 、 鶴田町 、 おいらせ町 、 板柳町 、 六戸町 、 五戸町 、 階上町 、 七戸町 、 東通村 、 六ヶ所村 、 南部町 、 平内町 、 鯉ヶ沢町
青森県	
岩手県	盛岡市 、 宮古市 、 大船渡市 、 花巻市 、 北上市 、 久慈市 、 遠野市 、 陸前高田市 、 釜石市 、 二戸市 、 雫石町 、 岩手町 、 滝沢村 、 一関市 、 紫波町 、 矢巾町 、 大槌町 、 山田町 、 岩泉町 、 八幡平市 、 奥州市 、 金ヶ崎町 、 平泉町 、 野田村 、 住田町 、 一戸町 、 藤沢町
宮城県	多賀城市 、 仙台市 、 石巻市 、 塩竈市 、 気仙沼市 、 白石市 、 角田市 、 名取市 、 岩沼市 、 大河原町 、 山元町 、 松島町 、 七ヶ浜町 、 利府町 、 富谷町 、 色麻町 、 加美町 、 登米市 、 栗原市 、 東松島市 、 美里町 、 大崎市 、 蔵王町 、 村田町 、 柴田町 、 亘理町 、 大和町 、 大衡村 、 涌谷町 、 大郷町 、 川崎町 、 七ヶ宿町 、 丸森町
秋田県	秋田市 、 能代市 、 横手市 、 大館市 、 男鹿市 、 湯沢市 、 鹿角市 、 五城目町 、 井川町 、 由利本荘市 、 潟上市 、 大仙市 、 北秋田市 、 にかほ市 、 仙北市 、 八郎潟町 、 美郷町 、 小坂町 、 羽後町
山形県	山形市 、 米沢市 、 鶴岡市 、 酒田市 、 新庄市 、 寒河江市 、 上山市 、 村山市 、 長井市 、 天童市 、 東根市 、 尾花沢市 、 南陽市 、 山辺町 、 中山町 、 河北町 、 高畠町 、 川西町 、 庄内町 、 三川町 、 大石田町 、 鮭川村 、 舟形町 、 大江町 、 遊佐町 、 金山町 、 大蔵村 、 戸沢村 、 西川町 、 最上町 、 白鷹町
福島県	福島市 、 会津若松市 、 郡山市 、 いわき市 、 白河市 、 須賀川市 、 喜多方市 、 相馬市 、 二本松市 、 桑折町 、 国見町 、 本宮市 、 鏡石町 、 西郷村 、 矢吹町 、 小野町 、 田村市 、 南相馬市 、 伊達市 、 川俣町 、 会津美里町 、 石川町 、 玉川村 、 三春町 、 広野町 、 楡葉町 、 富岡町 、 大熊町 、 双葉町 、 浪江町 、 湯川村 、 大玉村 、 泉崎村 、 磐梯町 、 新地町 、 猪苗代町 、 天栄村 、 中島村 、 会津坂下町 、 浅川町 、 塙町 、 平田村 、 下郷町
茨城県	水戸市 、 日立市 、 土浦市 、 取手市 、 ひたちなか市 、 五霞町 、 境町 、 守谷市 、 利根町 、 古河市 、 石岡市 、 結城市 、 龍ケ崎市 、 下妻市 、 常陸太田市 、 高萩市 、 北茨城市 、 笠間市 、 牛久市 、 つくば市 、 鹿嶋市 、 潮来市 、 茨城町 、 大洗町 、 東海村 、 鉾田市 、 神栖市 、 阿見町 、 常陸大宮市 、 那珂市 、 筑西市 、 坂東市 、 稲敷市 、 かずみがうら市 、 桜川市 、 行方市 、 常総市 、 つくばみらい市 、 小美玉市 、 河内町 、 城里町 、 大子町 、 美浦村 、 八千代町
栃木県	宇都宮市 、 小山市 、 足利市 、 栃木市 、 佐野市 、 鹿沼市 、 日光市 、 真岡市 、 大田原市 、 矢板市 、 上三川町 、 益子町 、 市貝町 、 芳賀町 、 壬生町 、 野木町 、 那須町 、 那須塩原市 、 さくら市 、 那須烏山市 、 下野市 、 西方町 、 茂木町 、 岩舟町 、 塩谷町 、 那珂川町 、 高根沢町
群馬県	前橋市 、 高崎市 、 伊勢崎市 、 太田市 、 桐生市 、 榛東村 、 吉岡町 、 甘楽町 、 中之条町 、 東吾妻町 、 嬬恋村 、 草津町 、 みなかみ町 、 玉村町 、 板倉町 、 明和町 、 千代田町 、 大泉町 、 邑楽町 、 沼田市 、 館林市 、 渋川市 、 藤岡市 、 富岡市 、 安中市 、 みどり市 、 下仁田町 、 昭和村 、 神流町 、 川場村 、 上野村 、 長野原町 、 高山村
埼玉県	川越市 、 熊谷市 、 川口市 、 さいたま市 、 所沢市 、 飯能市 、 加須市 、 本庄市 、 春日部市 、 狭山市 、 深谷市 、 上尾市 、 草加市 、 越谷市 、 蕨市 、 戸田市 、 入間市 、 鳩ヶ谷市 、 朝霞市 、 志木市 、 和光市 、 新座市 、 桶川市 、 久喜市 、 北本市 、 八潮市 、 富士見市 、 三郷市 、 蓮田市 、 鶴ヶ島市 、 吉川市 、 三芳町 、 毛呂山町 、 松伏町 、 行田市 、 秩父市 、 東松山市 、 羽生市 、 鴻巣市 、 坂戸市 、 幸手市 、 日高市 、 伊奈町 、 越生町 、 滑川町 、 嵐山町 、 小川町 、 川島町 、 吉見町 、 鳩山町 、 横瀬町 、 皆野町 、 長瀬町 、 小鹿野町 、 東秩父村 、 美里町 、 神川町 、 上里町 、 寄居町 、 宮代町 、 白岡町 、 杉戸町 、 ふじみ野市 、 ときがわ町

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市	山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、 韮崎市 、南アルプス市、北杜市、 甲斐市 、 笛吹市 、昭和町、 富士河口湖町 、 上野原市 、 甲州市 、 市川三郷町 、中央市、 身延町 、 西桂町 、 忍野村 、 山中湖村 、 鳴沢村 、 富士川町 、 南部町 、 道志村 、 小菅村 、 早川町 、 丹波山村
	松本市、 長野市 、 上田市 、岡谷市、飯田市、 諏訪市 、 須坂市 、 小諸市 、 伊那市 、 駒ヶ根市 、 中野市 、 大町市 、飯山市、 茅野市 、 塩尻市 、 佐久市 、千曲市、 東御市 、 軽井沢町 、 御代田町 、 下諏訪町 、 富士見町 、 辰野町 、 箕輪町 、 南箕輪村 、 松川町 、 高森町 、 阿智村 、 白馬村 、 坂城町 、 小布施町 、 山ノ内町 、 筑北村 、 安曇野市 、 原村 、 飯島町 、 中川村 、 宮田村 、 喬木村 、 豊丘村 、 山形村 、 池田町 、 松川村 、 高山村 、 野沢温泉村 、 木島平村 、 飯綱町 、 麻績村 、 泰阜村 、 朝日村 、 青木村 、 立科町 、 生坂村 、 下條村 、 天龍村 、 大鹿村 、 信濃町 、 木祖村 、 木曾町 、 佐久穂町 、 長和町		
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、 檜原村 、 奥多摩町	長野県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸市、 大垣市 、 高山市 、 関市 、 中津川市 、 美濃市 、 瑞浪市 、 下呂市 、 羽島市 、 恵那市 、 美濃加茂市 、 土岐市 、 各務原市 、 可児市 、 山県市 、 瑞穂市 、 笠松町 、 坂祝町 、 富加町 、 飛騨市 、 本巣市 、 郡上市 、 海津市 、 北方町 、 輪之内町 、 安八町 、 養老町 、 垂井町 、 揖斐川町 、 大野町 、 池田町 、 川辺町 、 八百津町 、 御嵩町 、 七宗町 、 白川村
	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、 山北町 、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村		岐阜県
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、 山北町 、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村	静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、 島田市 、 磐田市 、 焼津市 、 掛川市 、 藤枝市 、 御殿場市 、 袋井市 、 下田市 、 裾野市 、 湖西市 、 伊豆市 、 東伊豆町 、 河津町 、 松崎町 、 西伊豆町 、 函南町 、 清水町 、 長泉町 、 小山町 、 御前崎市 、 吉田町 、 菊川市 、 森町 、 伊豆の国市 、 牧之原市 、 南伊豆町 、 川根本町
	新潟市、 三条市 、 長岡市 、 柏崎市 、 新発田市 、 小千谷市 、 加茂市 、 十日町市 、 燕市 、 糸魚川市 、 五泉市 、 上越市 、 阿賀野市 、 佐渡市 、 魚沼市 、 聖籠町 、 見附市 、 村上市 、 田上町 、 湯沢町 、 妙高市 、 南魚沼市 、 胎内市 、 弥彦村 、 刈羽村		愛知県
富山県	富山市、高岡市、魚津市、 氷見市 、滑川市、黒部市、 砺波市 、 小矢部市 、 南砺市 、 射水市 、 舟橋村 、 上市町 、 立山町 、 入善町 、 朝日町	石川県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、 豊田市 、 安城市 、 西尾市 、 蒲郡市 、 犬山市 、 江南市 、 小牧市 、 稲沢市 、 東海市 、 大府市 、 知多市 、 知立市 、 尾張旭市 、 高浜市 、 岩倉市 、 豊明市 、 日進市 、 田原市 、 東郷町 、 長久手町 、 豊山町 、 清須市 、 大口町 、 扶桑町 、 大治町 、 蟹江町 、 飛島村 、 弥富市 、 阿久比町 、 東浦町 、 南知多町 、 武豊町 、 一色町 、 幸田町 、 豊橋市 、 半田市 、 豊川市 、 常滑市 、 新城市 、 美浜町 、 吉良町 、 幡豆町 、 愛西市 、 北名古屋市 、 みよし市 、 あま市
	野々市町、内灘町、 金沢市 、 七尾市 、 小松市 、 輪島市 、 珠洲市 、 加賀市 、 羽咋市 、 津幡町 、 かほく市 、 白山市 、 能美市 、 志賀町 、 川北町 、 宝達志水町 、 中能登町 、 能登町 、 穴水町		愛知県
石川県	野々市町、内灘町、 金沢市 、 七尾市 、 小松市 、 輪島市 、 珠洲市 、 加賀市 、 羽咋市 、 津幡町 、 かほく市 、 白山市 、 能美市 、 志賀町 、 川北町 、 宝達志水町 、 中能登町 、 能登町 、 穴水町	福井県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、 豊田市 、 安城市 、 西尾市 、 蒲郡市 、 犬山市 、 江南市 、 小牧市 、 稲沢市 、 東海市 、 大府市 、 知多市 、 知立市 、 尾張旭市 、 高浜市 、 岩倉市 、 豊明市 、 日進市 、 田原市 、 東郷町 、 長久手町 、 豊山町 、 清須市 、 大口町 、 扶桑町 、 大治町 、 蟹江町 、 飛島村 、 弥富市 、 阿久比町 、 東浦町 、 南知多町 、 武豊町 、 一色町 、 幸田町 、 豊橋市 、 半田市 、 豊川市 、 常滑市 、 新城市 、 美浜町 、 吉良町 、 幡豆町 、 愛西市 、 北名古屋市 、 みよし市 、 あま市
	富井市、鯖江市、 坂井市 、 美浜町 、 高浜町 、 敦賀市 、 小浜市 、 大野市 、 勝山市 、 あわら市 、 越前市 、 永平寺町 、 越前町 、 おおい町 、 若狹町 、 南越前町 、 池田町		愛知県
福井県	富井市、鯖江市、 坂井市 、 美浜町 、 高浜町 、 敦賀市 、 小浜市 、 大野市 、 勝山市 、 あわら市 、 越前市 、 永平寺町 、 越前町 、 おおい町 、 若狹町 、 南越前町 、 池田町		名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、 豊田市 、 安城市 、 西尾市 、 蒲郡市 、 犬山市 、 江南市 、 小牧市 、 稲沢市 、 東海市 、 大府市 、 知多市 、 知立市 、 尾張旭市 、 高浜市 、 岩倉市 、 豊明市 、 日進市 、 田原市 、 東郷町 、 長久手町 、 豊山町 、 清須市 、 大口町 、 扶桑町 、 大治町 、 蟹江町 、 飛島村 、 弥富市 、 阿久比町 、 東浦町 、 南知多町 、 武豊町 、 一色町 、 幸田町 、 豊橋市 、 半田市 、 豊川市 、 常滑市 、 新城市 、 美浜町 、 吉良町 、 幡豆町 、 愛西市 、 北名古屋市 、 みよし市 、 あま市

市街地図(○10m/○25m/○50mスケール)の収録エリア(2)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → 、50%未満収録地域 →

三重県	津市、 松阪市 、 いなべ市 、東員町、 菟野町 、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、 尾鷲市 、 亀山市 、鳥羽市、 熊野市 、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、 多気町 、 明和町 、 南伊勢町 、 紀北町 、 御浜町 、 紀宝町 、 大紀町 、 大台町
滋賀県	近江八幡市 、草津市、 大津市 、 彦根市 、 長浜市 、守山市、栗東市、 野洲市 、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、 米原市 、 高島市 、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、久都部市、 福知山市 、 舞鶴市 、 綾部市 、宇治市、 宮津市 、 亀岡市 、長岡京市、宇治田原町、笠置町、 和束町 、 南山城村 、 京丹後市 、 南丹市 、 大山崎町 、 伊根町 、 与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、 福崎町 、太子町、 上郡町 、神戸市、 姫路市 、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、 篠山市 、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、 養父市 、 丹波市 、 宍粟市 、朝来市、たつの市、 多可町 、 香美町 、 新温泉町 、加東市、 市川町 、 神河町 、 佐用町
奈良県	奈良市、橿原市、 桜井市 、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、 宇陀市 、三宅町、 高取町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村 、 山添村 、 曾爾村 、 御杖村 、 下北山村 、 天川村 、 上北山村 、 野迫川村 、 東吉野村 、 十津川村
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、 かつらぎ町 、 湯浅町 、橋本市、有田市、御坊市、 田辺市 、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、 有田川町 、 高野町 、 紀美野町 、 九度山町 、 広川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 上富田町 、 太地町 、 串本町 、 北山村
鳥取県	鳥取市 、米子市、倉吉市、境港市、 岩美町 、三朝町、日吉津村、八頭町、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 伯耆町 、 智頭町 、 大山町 、 南部町 、 日野町 、 江府町
島根県	松江市 、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、 来方市 、 江津市 、 雲南市 、 斐川町 、 東出雲町 、 吉賀町
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、 津山市 、笠岡市、井原市、総社市、 高梁市 、 新見市 、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市、 新庄村
広島県	呉市、尾道市、福山市、 府中市 、府中町、坂町、江田島市、 広島市 、竹原市、三原市、 三次市 、 庄原市 、大竹市、 東広島市 、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市、 安芸太田町 、 神石高原町 、 北広島町 、 世羅町
山口県	下関市 、宇部市、 山口市 、 萩市 、防府市、下松市、 岩国市 、 山陽小野田市 、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祢市 、周南市、和木町、平生町、周防大島町、 田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、 阿南市 、 吉野川市 、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、 三好市 、 つるぎ町 、 東みよし町 、 佐那河内村 、 勝浦町 、 神山町
香川県	高松市 、 丸亀市 、坂出市、善通寺市、 観音寺市 、さぬき市、東かがわ市、土庄町、 綾川町 、宇多津町、 まんのう町 、 琴平町 、 多度津町 、 三豊市 、 小豆島町 、 三木町 、 直島町
愛媛県	松山市 、 今治市 、 宇和島市 、八幡浜市、新居浜市、 西条市 、 大洲市 、伊予市、 四国中央市 、 松前町 、 砥部町 、 伊方町 、 久万高原町 、 西予市 、 東温市 、 内子町 、 上島町 、 鬼北町 、 松野町

高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、 須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、 梼原町、四万十市、香南市、香美市、 四万十町、黒潮町、いの町、越知町、大川村、 津野町
福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、 久留米市、中間市、小都市、春日市、宗像市、 志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、 田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、 行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、 太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、 篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、 岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、 苅田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、 朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、 小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、 添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、 福智町、みやこ町、上毛町、東峰村
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、 武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、 神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、 みやき町、玄海町、江北町、有田町、大町町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、 大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、 対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、 南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、 水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、 菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、 小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、 玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、 氷川町、芦北町、津奈木町、和水町、山江村、 相良村、産山村、球磨村、錦町、苓北町、 西原村、五木村
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、 臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、 杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、 九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、 日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、 高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、 川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、 いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、 指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、 日置市、曾於市、霧島市、南さつま市、 志布志市、奄美市、南九州市、さつま町、 湧水町、肝付町

沖縄県

那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、
沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、
北中城村、中城村、西原町、豊見城市、
与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、
宮古島市、南城市、八重瀬町、今帰仁村、
宜野座村、恩納村、大宜味村、東村、金武町



アドバイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2010年7月です。

VICS についてのお問い合わせ(1)

VICS の概要

VICSは Vehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。「**VICS**」および「 **vicss**」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)^{*1}から、FM多重放送^{*2}を使ってリアルタイム^{*3}に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

本機では、FM多重放送のVICS情報を受信し、レベル1～3を表示します。

※本書および画面表示では、VICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

*1 (財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

*2 FM多重放送では広域情報を提供します。

*3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。(平成23年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

FM多重放送……24時間(ただし、第1、第3日曜日の翌日の月曜日、
午前1時～午前5時までは放送を休止する場合があります。)

※ VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICSリンクデータベース：VICSリンクと(財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 問い合わせ項目	お買い上げの Honda 販売店	VICSセンター* (東京センター)
VICSの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

*印…VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

*印…VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは(財)VICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)
(財)VICSセンター

お問い合わせ窓口 サービス・サポート・センター

電話番号 0570-00-8831

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間 平日9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号 (03)3562-1719

FAX受付時間 24時間

URL <http://www.vics.or.jp/index1.html>

*お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。
※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS についてのお問い合わせ(2)

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランプラー1台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれたFM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者が所有するVICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

- (1) 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

- (2) 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場

合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- (2) VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】視聴料金 315円（うち消費税 15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

VICS 削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまねない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を継続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	○(VOL/PUSH PWR)で調整してください。	G-33
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	音質・音量バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。	G-34
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズやラベルの付いているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	A-20
ディスクを読み込まない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	A-20
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シート等が貼ってある。	保護シート等の種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	—
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW/MIDDLE/HIGHになっている。	車速連動音量を設定してください。	G-36

モ ニ タ ー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	P-2
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	P-6
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
ワンセグ☆などの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	P-2
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—

☆印…VXM-128VSの場合

「故障かな?と思ったら」
その他

故障かな？と思ったら(2)

ナビゲーション

自転車マーク関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
平面地図画面と3Dビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行なっています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	A-24
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 を押してください。	—
自転車マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地 を押してください。	—
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	A-5
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックス等を塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	A-6
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	A-24
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	B-7
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

ナビゲーション

目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行なってください。	－
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行なってください。	D-6、 D-9
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	B-19、 D-19
ルート探索後、有料道路出入口付近を通過しても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。(案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示)	探索されたルート上を走行してください。	－
自動再探索ができない。	道幅が3m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行ないます。	D-17
経由地が設定できない。	すでに経由地を5か所設定している	経由地は5か所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行なってください。	－

音声案内関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行なってください。	D-6、 D-9、 D-17
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	B-19、 D-19
	消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	F-33
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	－

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(3)

ナビゲーション

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	—
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	—
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため*、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	—
遠回りな自動ルートを探る。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため*、遠回りなルートになることがあります。	基本道路に近づけて設定してください。	—
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路*を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—

※印…細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

*印…政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

ナビゲーション

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考ページ
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線等を確認して設定してください。	P-12
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	P-12

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考ページ
VICS 情報(レベル1とレベル2)が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS)を受信します を選択していない。	交通情報番組(VICS)を受信します を選択してください。	E-10
VICS 情報(レベル3)が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS)を受信します を選択していない。	交通情報番組(VICS)を受信します を選択してください。	E-10
	地図の縮尺スケールが拡大されている。	地図の縮尺スケールを500m以下にしてください。	B-15
一般情報が表示されない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	一般情報番組を受信します を選択していない。	一般情報番組を受信します を選択してください。	E-10

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(4)

リアカメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
カメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。	セレクトレバーがRの位置になっているか確認してください。	F-51
カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	F-55
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。	CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。	—
	車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。		
リアカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行なってください。	—
	ガイド表示が“OFF”になっている。	セレクトレバーがRの位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。	F-52
リアカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	Honda販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。	—

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	H-6
“ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	H-6
	周りに障害物があるなど、受信状態 が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少 なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動した ノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入 る場合があります。電装品の動作を 止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置 いている。	妨害を受ける可能性がありますので 離してご使用ください。	—

ワンセグ☆

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してくださ い。	—
受信できない。	エリア変更をしていない。	エリアを変更してください。	I-8
	アンテナ電源の設定が正しく設定さ れていない。 ※アンテナ端子やアンテナコードを ショートさせた場合や、アンテナ の故障等で過電流を検出すると自 動的に「電源 切」に設定されます。	アンテナ電源を「電源 入」に設定して ください。 ※設定できない場合は、お買い上げ のHonda販売店にご相談くださ い。	I-27
番組表が表示される までに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—
本機に設定した内容、 プリセット登録など が消失している。	● 初期化を行なった ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消 失する場合があります。	消失したデータについては補償でき ません。	—

☆印…VXM-128VSの場合

故障かな？と思ったら(5)

CD、MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CD、MP3／WMA モードに切り替わ らない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	—
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性あります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	A-20
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないとか音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
ディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がります。ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

CD、MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3／WMA ファイルを再生できない。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在している場合、MP3 ファイルは再生できません。	—
	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された MP3／WMA ファイルにしてください。	G-5
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMA ディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA 以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。 (MP3 形式でないファイルに「.mp3」、WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けた CD-R、CD-RW を再生しないでください。)	—
聞きたい MP3／WMA ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3／WMA ファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW 書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02 など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。	—

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(6)

DVD☆

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がオフになっている。	設定を変えてください。	K-16、 K-24
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが挿入されていない、または、裏向きに挿入されている。	印刷面を上にして、正しく挿入してください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	A-20
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部に付まって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	A-17
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	G-11
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	K-28
“⓪” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	A-20
	振動の生じる場所で使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

☆印…VXM-128VSの場合

DVD☆

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声言語／字幕言語 が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	K-28
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	K-24
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクのファイナライズ処理をしてください。	—

☆印…VXM-128VSの場合

「故障かな?と思ったら」
その他

故障かな？と思ったら(7)

SD

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SDカードの再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してから音楽ファイルを入れてください。	F-49
	本機で再生できないSDカードを差し込んでいる。	再生可能なSDカードを差し込んでください。	G-13
		対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
SDの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入。	SDカードを差し込んでください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録したい順と異なる。	MP3／WMA ファイルの再生順序は、SD書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SDへ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—

USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
USBの再生画面を表示しない。	USB機器未接続。	USB機器を接続してください。	N-4
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	G-16
再生が始まるまでに時間がかかる。	USB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
USB機器を認識していない。	対応しないUSB機器の可能性があります。	別のUSB機器で試してください。	N-4
	別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPod本体に付属されているUSBケーブルが正しく接続されていない。	別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPod本体に付属されているUSBケーブルが正しくUSB接続端子に接続されているか確認してください。	

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(8)

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続端子にiPod本体に付属されているUSBケーブルを使って、iPodを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	N-4
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	G-18
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れて(●(VOL/PUSH PWR)を押して)ください。	G-26、 N-4

ハンズフリー☆

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビルの谷間などで音声が入る。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ●相手の声が聞こえない。 ●着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	O-15、 O-16
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中)	音量を上げるか、ミュートを解除してください。	O-17、 O-22
通話後、オーディオの音が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	G-33
携帯電話と接続できない。	Bluetoothで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBluetooth機能をONにするか、車のエンジンスイッチを0(ロック)→Ⅱ(ON)にしてください。	—
	Bluetooth対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページより確認してください。	O-3 アドバイス

☆印…VXM-128VSの場合

「故障かな?と思ったら」

その他

メッセージ表示について(1)

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではないとき。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていないとき。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を1.5秒以上タッチして登録しようとしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	E-20
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチしたとき。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は動きません。	E-20
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居るとき。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できないとき。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっているとき。 一般情報放送局を受信しているが、交通情報を受信する設定になっているとき。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	E-10
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信しているとき。	すべてのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	E-10
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとしたとき。	パーキングブレーキ信号入力リード線を配線していない場合は、配線してください。安全な場所に車を止めてください。 ご不明な点はお買い上げのHonda販売店にご相談ください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“信号が受信できません。” ☆	放送エリア外に居るとき。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。 ご不明な点はお買い上げのHonda販売店にご相談ください。	I-25
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。 また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内に居るが、受信できないとき。	社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
“このキーにはプリセットの設定がされていません。” ☆	設定がされていない エリア / プリセット をタッチしたとき。	チャンネルリスト画面またはプリセットリスト画面でプリセットを確認してください。	I-15、I-17

☆印…VXM-128VSの場合

（メッセージ表示について）

その他

メッセージ表示について(2)

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンが違います。” ☆	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	G-11
“視聴制限により再生できません。” ☆	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	K-28
“入力されたパスワードが違います。” ☆	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	K-28
“走行中は映りません。”	走行中にDVD ☆ / ワンセグ ☆ / VTR を見ようとしたとき。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
“再生ファイルがありません。SDカードを確認してください。”	SDカードに再生可能なMP3 / WMA / AAC ファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	G-13
“再生ファイルがありません。USB機器を確認してください。”	USB機器に再生可能なMP3 / WMA / AAC ファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	G-16
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード / USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をオフにし、SDカード / USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	G-25、 G-26、 N-4
“SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	G-13、 G-25
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をオフにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	G-25、 G-26

☆印…VXM-128VSの場合

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“使用できないSDカードが挿入されています。SDカードを確認してください。”	使用できないSDカードが差し込まれている。	対応可能なSDカードを使用し、本機で初期化したSDカードを使用してください。	F-49、G-13
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	正しいディスクを挿入してください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを挿入してください。	A-17、A-20
	ディスクが逆に挿入されている。	ディスクを正しく挿入してください。	
	ディスクに汚れ／異常がある。	● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、前のディスクに異常がある可能性があります。	
	音楽用ディスク以外のディスクが挿入されている。	正しいディスクを挿入してください。	
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	N-4
“USB機器が接続されていません。USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないとき。	再生可能なファイルが入ったUSB機器を接続してください。	G-16、N-4
“接続されているUSB機器では、再生することができません。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されているとき。	本機が対応しているUSB機器を使用してください。	G-16
“携帯電話の接続が解除されました。”☆	携帯電話との接続が切れたとき。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページより確認してください。	0-3 アドバイス
“登録できませんでした。”☆	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なるとき。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	0-5
	他のBluetooth機種からの登録が行なわれているとき。	ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。	—

チャンネル一覧

VXM-128VS

地域設定で選択された地域の、エリア番号と放送局の組み合わせは、下記ようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。

割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。

一度放送局を受信(視聴)すると、最新の放送局名が表示されます。

※放送局側の都合により放送局名等変更になる場合があります。

■ 表のみかた

徳島	お住まいの地域
① 四国放送	エリア番号
2 NHK教育・徳島	放送局名
3 NHK総合・徳島	

(2011年3月現在)

お住まいの地域	北海道(函館)	北海道(札幌)	北海道(室蘭)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・函館 3 NHK総合・函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・札幌 3 NHK総合・札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・室蘭 3 NHK総合・室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・旭川 3 NHK総合・旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・帯広 3 NHK総合・帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・北見 3 NHK総合・北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道(釧路)	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・釧路 3 NHK総合・釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHK教育・青森 3 NHK総合・青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 7 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合・秋田 2 NHK教育・秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合・山形 2 NHK教育・山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー・山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 1 TBCテレビ 2 NHK教育・盛岡 4 テレビ岩手 5 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 BCBテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHK教育・仙台 3 NHK総合・仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合・福島 1 TBCテレビ 2 NHK教育・福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー・福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・甲府 2 NHK教育・甲府 4 YBS山梨放送 5 YTS山梨テレビ 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・水戸 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合・福井 2 NHK教育・福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合・金沢 1 KNB北日本放送 2 NHK教育・金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHK教育・富山 3 NHK総合・富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合・新潟 2 NHK教育・新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合・長野 2 NHK教育・長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ〜テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合・静岡 2 NHK教育・静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合・神戸 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・京都 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大阪 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・和歌山 2 NHK教育・大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・大津 2 NHK教育・大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合・奈良 2 NHK教育・大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合・松山 2 NHK教育・松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合・高知 2 NHK教育・高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合・高松 2 NHK教育・高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHK教育・徳島 3 NHK総合・徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHK教育・松江 3 NHK総合・松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 yab山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合・広島 2 NHK教育・広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHK教育・鳥取 3 NHK総合・鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合・岡山 2 NHK教育・岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合・長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB長崎国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合・熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・福岡 2 NHK教育・北九州 3 NHK総合・福岡 3 NHK総合・北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHK教育・大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHK教育・宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHK教育・鹿児島 3 NHK総合・鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合・那覇 2 NHK教育・那覇 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ (OTV)

用語説明(1)

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

DTS : Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

Joliet(ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

SDHC(エスディーエイチシー)

アソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「class2 (2MB/s)」「class4 (4MB/s)」「class6 (6MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



用語説明(2)

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表わす数値のことです。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

著作権

著作権者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言います。プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行いません。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

Bluetooth接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの英数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

用語説明(3)

マルチビュー放送

1 チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。

例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

初期設定一覧(1)

各種設定初期状態は下記のとおりです。

●ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール＝100m
	右画面	北方向を上 スケール＝400m
設定	到着予想	平均速度を自動で設定＝する ※平均速度を自動で設定“しない”にすると、一般道路／国道／有料道路が設定可能となります。 一般道路＝30km/h 国道＝40km/h 有料道路＝80km/h
	探索条件	探索条件＝推奨 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマートICを利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS 自動再探索＝する VICS 情報を考慮＝する
地図表示	[メイン画面の設定] 住所の色分けを表示＝する 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D 視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
	[右画面の設定] 右画面に地図表示＝しない 住所の色分けを表示＝する 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D 視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
設定	[地図の色] 昼夜切り替え＝時間連動 標高地図色＝季節連動	
	[情報バー表示の設定] MAPCODEを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO 情報を表示＝しない	
設定	[その他の設定] 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する	

設 定	ルート案内	全ルートを表示＝する ルート色＝ピンク ルート情報を表示＝しない JCTビューを表示＝する 交差点拡大図を表示＝する 交差点情報を表示＝する リアル3Dを表示＝する 方面看板を表示＝する VICS案内＝する 合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝する 盗難多発地点案内＝しない AV画面中の案内割込み＝しない 目的地方向を表示＝しない	
	ランドマーク	カーディーラー＝Honda Cars店	
	現在地	矢印	
	案内音量	15目盛中左から8目盛目	
	VICS	一般道＝ON 駐車場＝ON 渋滞無し＝OFF 点滅＝ON	有料道＝ON 規制＝ON 渋滞混雑＝ON
設 定	ETC設定	カード挿入アイコン表示＝する 本体ブザー音＝する 音声案内＝する ETCレーン表示＝する カード入れ忘れ警告＝する カード有効期限内案内＝する 表示割込み時間＝5秒	
	お知らせ	オイル交換＝しない クリーンフィルター交換＝しない 車検・点検＝しない タイヤローテーション＝しない 結婚記念日＝しない 誕生日1＝しない 誕生日2＝しない お好み＝しない	
	その他	キー操作音＝する	
情 報	エコドライブ設定	評価履歴＝残す エコドライブ表示＝しない 評価レベル＝初級 急加減速のお知らせ＝する エコ速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝する	
	FM多重	受信番組設定	交通情報番組(VICS)を受信します
周波数設定		自動選局＝ON プリセット選局＝未設定	
走行軌跡	軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし		

(用語説明)／(初期設定一覧)

その他

初期設定一覧(2)

●音質／音量バランス調整 G-34

各項目の調整値＝0

●車速連動音量 G-36

設定＝MIDDLE

●音量調整 G-33

音量＝3

●画質調整 P-2

明るさ＝29(イルミネーションON時は9)
コントラスト＝16(DVD*モード時は22)
色の濃さ＝21
色合い＝18

●FM／AM(ラジオ) H-1

FM周波数＝76.0MHz
AM周波数＝522kHz
交通情報＝1620kHz

●DVD☆ K-1

音声言語＝日本語
メニュー言語＝日本語
字幕言語＝日本語
ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし

●ワンセグ☆ I-1

エリア変更＝自動
視聴エリア＝東京
プリセット登録(**1** ～ **12** (エリア))＝登録済(東京)
チャンネルリスト＝登録済(東京)
プリセットリスト＝未登録

音声設定＝音声1、主

字幕表示＝字幕なし

システム設定

各種設定

時計表示＝する

中継・系列局サーチ＝自動

アンテナ電源

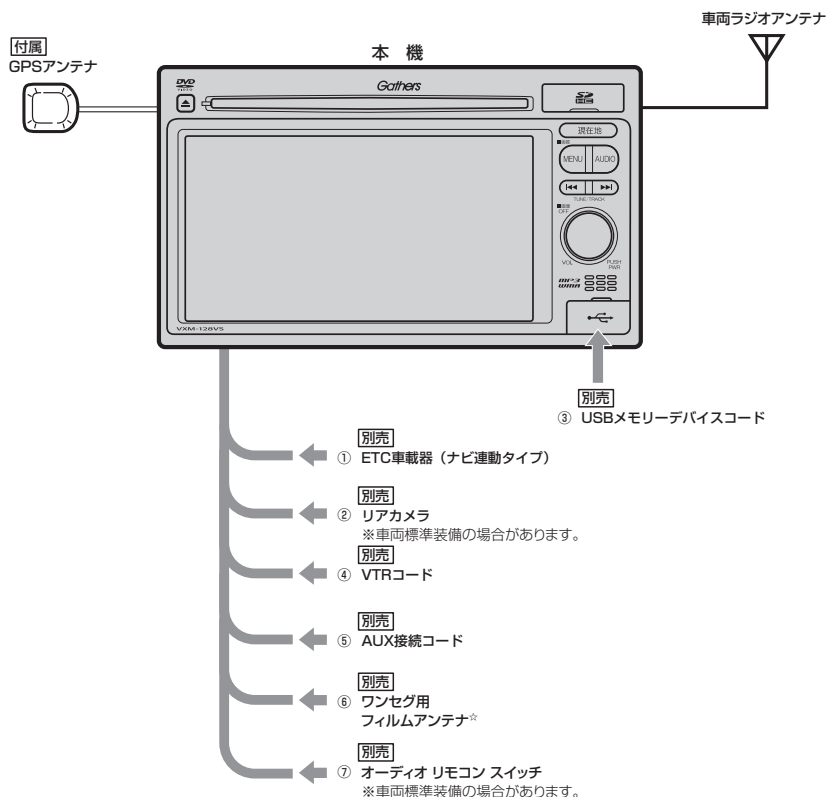
アンテナ電源＝電源 入

●ハンズフリー☆ O-1

パスキー＝1212
発着信音量＝＋10
受話音量＝＋10
送話音量＝＋4
自動接続＝する

☆印…VXM-128VSの場合

別売品(システムアップ)について



① ETC車載器(ナビ連動タイプ)

② リアカメラ

③ USBメモリーデバイスコード

USB機器を接続する場合に必要です。

④ VTRコード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

⑤ AUX接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

⑥ ワンセグ用フィルムアンテナ☆

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を受信します。

⑦ オーディオ リモコン スイッチ

※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

☆印…VXM-128VSの場合

主な仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	6.1V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ☆部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～62チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPS アンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	-142dBm
位置更新時間	約0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリー フォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000Hz
S/N比	75dB以上
高調波ひずみ率	0.1%以下(1kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0MHz AM 522～1629kHz
実用感度	FM 15dBμ AM 32dBμ
S/N比	FM 55dB AM 50dB
ステレオ セパレーション	FM 30dB
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

DVD☆部

対応ディスク	種類 DVD ビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20Hz～20,000Hz
S/N比	80dB以上
高調波ひずみ率	0.1%以下(1kHz)
ダイナミック レンジ	80dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	GT13専用コネクター ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
USB端子	TYPE A コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
ワンセグアンテナ入力端子☆	2ピン専用コネクター

その他

VXM-128VSの場合

電源	DC12V
最大出力	45W×4(15.2V)
外形寸法	約190.5×111×166.7mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	約1860g

VXM-128Cの場合

電源	DC12V
最大出力	45W×4(15.2V)
外形寸法	約190.5×111×166.7mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	約2120g

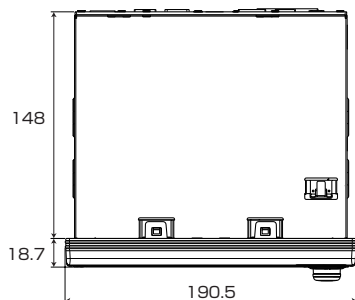
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※モニター部の画面サイズのV型(6.1V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

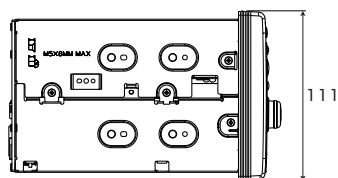
☆印…VXM-128VSの場合

構成内容

外形寸法図(本体)



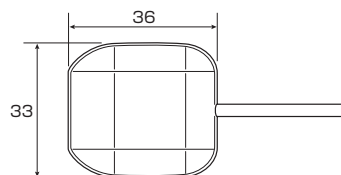
[平面図]



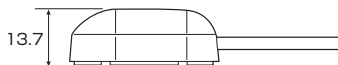
[左側面図]

(単位 : mm)

(GPS アンテナ)



[平面図]



[側面図]

(単位 : mm)

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 調子が悪いとき …………… まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …………… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …………… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

Q

索引

索引(1)

数字・アルファベット

1 ルート探索	D-6
3D 地図画面	B-8
3D ビュー	B-11
3D ビューの角度調整	F-9
AAC の再生について	G-14, G-16
AM	
交通情報	H-12
選局する	H-6
タッチパネル部について	H-2
バンド(FM/AM)を切り替える	H-5
表示部について	H-4
プリセットボタンにメモリーする	H-10
AV SOURCE 画面	G-23
AV SOURCE 画面のモードボタンについて	G-27
CD	
一時停止	J-4
タッチパネル部について	J-2
トラックリストより選曲する	J-4
パネル部のボタンで選曲する	G-28
早戻し/早送りをする	G-29
表示部(再生画面)について	J-3
リピート/ランダム/スキャン再生	G-30
DVD [*]	
DVD ビデオについて	G-11
DVD メニューを使う	K-10
VR モードディスクの再生	K-20
アングルを切り替える	K-19
一時停止	K-6
音声言語/字幕言語を切り替える	K-16
コマ戻し/コマ送り	K-8
サーチ選択	K-14
再生を停止する	K-5
時間表示を替える	K-17
初期設定を変更する	K-22
スロー戻し/スロー送り	K-9
タイトルメニューを使う	K-12
タッチパネル部について	K-2
チャプターを戻す/進める	K-7
リピート再生	K-18
ETC	
ETC について	F-39
各機能を設定する	F-36
情報を見る	E-41
予告案内/警告表示について	F-41
料金所通過表示について	F-40
利用する	F-40

FM

交通情報	H-12
選局する	H-6
タッチパネル部について	H-2
バンド(FM/AM)を切り替える	H-5
表示部について	H-4
プリセットボタンにメモリーする	H-10

GPS

GPS 受信表示	B-5, B-9
GPS について	A-24
アンテナについて	A-6
受信しにくい場所について	A-24
受信するまでの時間について	A-24

iPod

iPod について	G-18
一時停止	N-9
接続する	N-4
接続をやめる	N-5
選曲モード選択	N-11
対応可能な iPod	G-19
タッチパネル部について	N-2
トラックリストより選曲する	N-10
パネル部のボタンで選曲する	G-28
表示部(再生画面)について	N-3
リピート/ランダム/スキャン/ シャッフル再生	G-30

MP3/WMA

一時停止	J-4
タッチパネル部について	J-2
ディスクの MP3/WMA 音楽再生について	G-5
トラックリストより選曲する	J-4
表示部(再生画面)について	J-3
フォルダを選択する	J-5
リピート/ランダム/スキャン再生	G-30

QQ コール

表示する	E-44
利用する	E-43

SD カード

SD カードについて	A-21
SD カードの音楽再生について	G-13
一時停止	L-4
入れる/取り出す	B-4
初期化(消去)	F-50
タッチパネル部について	L-2
取り扱いかた	A-23
パネル部のボタンで選曲する	G-28
早戻し/早送りをする	G-29
表示部(再生画面)について	L-3

フォルダを選択する	L-6
リストより選曲する	L-4
リピート／ランダム／スキャン再生	G-30
USB	
USB 機器について	A-21
USB 機器の音楽再生について	G-16
一時停止	N-6
接続する	N-4
接続をやめる	N-5
タッチパネル部について	N-2
パネル部のボタンで選曲する	G-28
早戻し／早送りをする	G-29
表示部(再生画面)について	N-3
フォルダを選択する	N-8
リストより選曲する	N-6
リピート／ランダム／スキャン再生	G-30
VICS	
VICS 案内設定	F-21
VICS 自動再探索設定	F-4
VICS 情報の考慮設定	F-4
VICS 情報の受信について	E-2
VICS タイムスタンプ	B-9, D-27
VICS 放送局	E-7
エリア選局	E-19
概要	P-24
緊急情報を見る	E-14
契約約款	P-26
交通情報(図形情報)を見る	E-13
交通情報(文字情報)／一般情報を見る	E-11
自動選局	E-16
自動選局を止める	E-17
渋滞地点を確認する	D-27
受信する情報を選ぶ	E-10
手動選局	E-18
情報の消去について	E-9
情報表示を止める	F-35
表示設定	F-34
表示について	E-5
プリセット(保存)する	E-20
プリセット(保存)の上書き	E-22
プリセット(保存)の呼び出し	E-21
マーカー一覧表	E-7
VTR	
画面のサイズを変更する	M-5
接続する	M-3
タッチパネル部について	M-2

ア

アフターサービス	P-60
案内音量	B-19
迂回探索	D-18
エコドライブ	
グラフ表示	E-26
設定する	E-25
評価を開始する	E-24
評価を止める	E-24
右画面に表示する	B-28
履歴を削除する	E-27
履歴を見る	E-26
オーディオモード ON / OFF	G-26
オーディオ リモコン スイッチ	P-4
主な仕様	P-58
音質 / 音量バランス調整	G-34
音声案内について	A-26
音声案内の音量調整(ナビゲーション)	F-33
音声案内を止める(ナビゲーション)	F-33
音声はそのまま画面を消す	P-6
音声はそのままナビゲーションを 表示する	G-40
音量調整(オーディオモード)	G-33

カ

各部の名称とはたらき	
オーディオ	G-20
ナビゲーション	B-2
画質調整	P-2
カメラ	
リアカメラ映像設定	F-51
画面サイズ	
DVD*	K-6
VTR	M-5
画面の曇りについて	A-5
キー操作音設定	F-48
軌跡	
確認	E-30
削除する	E-30
使う	E-29
表示 / 非表示	E-29
クイック機能	B-19
携帯電話*	F-47

索引(2)

経由地

経由地をスキップする	D-22
地点の入れ替え	D-15
追加	D-12
変更／削除	D-14

現在地

表示する	B-7
補正について	B-7

現在地マーク

位置を変更する	F-30
マークの種類を設定する	F-32

故障かな？と思ったら

個人情報の取り扱いについて

サ

細街路探索

再生できるディスク

再探索

削除

軌跡を削除	E-30
経由地の削除	D-14
現在のルートを削除	D-24
自宅を削除	E-39
登録地点を削除	E-39
ハンズフリー☆	
・携帯電話を削除	O-8
・発着履歴を削除	O-31
評価履歴を削除	E-27
保存したルートの削除	D-26
目的地履歴の削除	C-25

市街地図

収録エリア	P-20
-------	------

自転車マーク

位置を変更する	F-30
種類を設定する	F-32

システムアップ(別売品)

施設情報

ジャンルから探す	C-12
周辺にある施設から探す	C-15
表示できる施設	C-18
名称で探す [50音]	C-2

自宅

位置を変更する	B-25
自宅周辺の地図を表示する	C-14
自宅までのルートを探索する	B-27
自宅を呼び出す	E-38

登録する	B-23
------	------

渋滞地点を確認する

仕様

初期化

SDカードの初期化	F-49
画質調整を初期値に戻す	P-3
出荷状態に戻す	F-49
センサー学習結果の初期化	F-49
チャンネルリスト／プリセットリストの初期化☆	I-21
ルート学習結果の初期化	F-49
ワンセグメニューの初期化☆	I-28

初期設定一覧

自律航法とマップマッチング

スクロール

地図スクロール	B-12
微調整	B-14

スマートIC

接続

AUX 接続コードを接続する	M-3
iPod を接続する	N-4
USB 機器を接続する	N-4
VTR コードを接続する	M-3
携帯電話を接続(登録)する	O-5

設定

DVD の初期設定を変更する☆	K-22
ナビゲーション	
・3D ビューの角度調整	F-9
・AUDIO 情報の表示設定をする	F-11
・ETC の各機能設定	F-36
・MAPCODE の表示設定をする	F-11
・VICS 表示設定	F-34
・緯度・経度の表示設定をする	F-11
・キー操作音の設定をする	F-48
・現在地(自車)マークの種類を設定する	F-32
・現在地(自車)マークの位置を変更する	F-30
・車速連動音量設定	G-36
・地図情報の表示設定をする	F-11
・地図色を設定する	F-10
・登録地点の表示設定をする	F-11
・平均速度を設定する	F-2
・右画面設定	F-7
・メイン画面設定	F-7
・メンテナンス情報設定	F-42
・ランドマーク表示の設定をする	F-28
・リアカメラ映像設定	F-51
・ルート案内画面の設定をする	F-13
・ルート探索条件の設定をする	F-3

ハンズフリー初期登録設定*	0-5
ワンセグ*	
・アンテナ電源設定	I-27
・音声と字幕設定	I-29
・中継・系列局サーチ設定	I-23
・時計表示設定	I-23

選局

FM／AM	H-6
VICS	E-16
ワンセグ*	I-14

選曲

CD／MP3／WMA	J-4
iPod	N-10
SD	L-4
USB	N-6
パネルのボタンで選曲する	G-28

タ

探索

1 ルート探索	D-6
迂回探索	D-18
現在地から自宅までのルート探索	B-27
現在地から目的地までのルート探索	B-26
再探索	D-17
探索条件の変更	D-15, F-3
複数ルート探索	D-9

地図

VICSレベル3(地図)表示	E-6
拡大／縮小	B-15
市街地図の収録エリア	P-20
スクロール	B-12
地図画面の表示について	A-5
地図ソフトについて	P-14
地図に表示される記号	P-18
テナント情報	A-11
表示する	B-5, B-7
表示(方位)を切り替える	B-10
見かた	B-8
右画面に地図を表示する	B-28

地点

削除する	E-39
渋滞地点を確認する	D-27
地点の入れ替え	D-15
登録する	B-21
並び替えをする	C-23, E-36
編集／見る	E-31
呼び出す	E-38

地点を探す

緯度・経度から	C-30
施設のジャンルから	C-12
住所から	C-8
周辺にある施設から	C-15
地図から	C-32
地名から	C-27
電話番号から	C-6
登録地点から	C-21
マップコードから	C-31
名称から	C-2
目的地履歴から	C-24
郵便番号から	C-29

登録

携帯電話登録*	0-5
経由地の追加	D-12
自宅を登録する	B-23
地点を登録する	B-21
登録地点の編集／見る	E-31
並び替えをする	C-23, E-36
保存したルートの呼び出し	D-25

ナ

ナビゲーション画面を表示する	G-40
入力	
文字／数字の入力方法	B-31

ハ

早戻し／早送り	G-29
ハンズフリー*	

Bluetooth 情報を見る	0-14
初期登録設定	0-5
・携帯電話登録	0-5
・携帯電話を切り替える	0-10
・自動接続設定	0-11
・受話音量設定	0-16
・送話音量設定	0-17
・着信音量設定	0-15
・パスキー変更	0-18
・優先接続設定	0-13
通話中に地図画面を表示する	0-32
電話を受ける	0-20
・着信音量設定	0-20
・通話拒否(終了)	0-22
・通話切替(携帯⇄ハンズフリー)	0-23

索引(3)

・ 電話に出る	0-20
・ トーン入力	0-24
・ 保留にする	0-21
・ ミュートにする	0-22
電話をかける	0-25
・ 電話番号から	0-25
・ リダイヤルから	0-27
・ 履歴から	0-28
登録した携帯電話の詳細情報を見る	0-8
登録した携帯電話を削除する	0-8
発着履歴を削除する	0-31
ハンズフリーについて	0-2
微調整(スクロール)	B-14
表示項目	
MAPCODE / 地図情報 / AUDIO 情報 /	
緯度・経度 / 登録地点表示	F-11
表示できる施設	C-18
表示部	
CD / MP3 / WMA	J-3
FM / AM	H-4
SD	L-3
USB / iPod	N-3
平均速度設定	F-2
ページ送り / 戻し	B-18, G-26
別売品(システムアップ)について	P-57
放送局	
VICS 放送局	E-7
保証 / アフターサービスについて	P-60
保存	
現在のルートを保存	D-23
プリセット(保存)する	E-20
プリセット(保存)の上書きをする	E-22
ボタンの照明について	P-6

マ

マップコード	C-31
右画面	
3Dビューの角度調整	F-9
地図 / 情報を表示する	B-28
方位 / 縮尺スケールを変える	B-30
右画面の設定をする	F-7
メイン画面 / 右画面の設定をする	F-7
メッセージ表示について	P-44
メニュー画面	
各メニュー項目について	B-17

表示させる	B-16
ワンセグメニュー画面について☆	I-4
メンテナンス情報の設定	F-42
モード選択	G-22
目的地の変更	D-10
文字 / 数字	
訂正する	B-33
入力方法	B-31

ヤ

用語説明	P-50
-------------	-------------

ラ

ランドマーク表示設定	F-28
リアカメラ映像を設定する	F-51
カメラ映像について	F-55
警告文の位置を下げる	F-53
リアカメラ映像を表示する	F-51
リアカメラガイドの見かた	F-54
リアカメラガイドを表示する	F-52
立体アイコン	P-19
リピート / ランダム / スキャン /	
シャッフル再生	G-30
ルート案内ストップ / スタート	D-19
ルート案内設定	F-13
AV 画面中の音声案内割り込み設定	F-26
JCT ビュー表示	F-16
VICS 案内設定	F-21
交差点拡大図	F-17
交差点情報	F-18
合流案内設定	F-22
専用レーン案内設定	F-24
全ルート表示	F-13
盗難多発地点案内	F-25
踏み切り案内設定	F-23
方面看板表示	F-20
リアル 3D 表示	F-19
ルート情報表示	F-14
ルート色	F-14
ルート探索条件の設定	F-3
ルート編集	
現在のルートを削除	D-24
現在のルートを表示	D-20
現在のルートを保存	D-23

保存したルートの削除	D-26
保存したルートの呼び出し	D-25
ルートを変更する	D-10

ワ

ワンセグ[☆]

設定

・アンテナ電源設定	I-27
・音声と字幕設定	I-29
・受信レベル確認	I-25
・設定を初期化する	I-28
・時計表示／中継・系列局サーチ設定	I-23

ワンセグ

・視聴エリアの変更をする	I-8
・初期スキャン／再スキャン／エリアスキャン	I-12
・タッチパネル部について	I-3
・地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更 (リパック)について	G-2
・チャンネルリスト／プリセットリストの 初期化	I-21
・中継・系列局サーチ	I-11
・バーナー表示	I-2
・番組表を見る	I-6
・プリセットで放送局を選ぶ	I-15
・プリセットボタンにメモリーする	I-19
・マルチサービスについて	G-3
・ワンセグについて	G-2
・ワンセグの画像について	G-4
・ワンセグの番組受信について	G-3
・ワンセグメニュー画面について	I-4

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店
または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時／

但し、土日・祝祭日、弊社指定日は除く)

販売元 株式会社 ホンダ アクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
〒680-8634 鳥取県鳥取市立川町7丁目101番地